

令和2年度 老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業

**外国人介護人材の質の向上等に資する
学習支援等調査研究事業**

報告書

令和3年3月

公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会

目次

第1章 事業の概要	7
1. 事業の背景と目的	8
2. 実施内容	8
(1) 国家試験結果の分析	8
(2) 先行研究・調査の実施・分析	9
(3) 留学生・養成校へのアンケート調査の実施・分析	9
(4) 試行試験・模擬試験の実施・分析	10
(5) 留学生・養成校へのヒアリングの実施	11
(6) ガイドラインの作成	11
2. 実施体制	12
(1) 検討委員会・作業部会名簿	12
(2) 委員会・作業部会開催実績及び検討内容	13
第2章 先行研究・調査の分析	15
1. 先行研究・調査 検索の前提	16
2. 抽出した論文	16
3. 先行研究・調査まとめ	17
(1) 既存の文献で明らかになっていること	17
(2) 先行研究・調査の分析結果をふまえ本調査・研究事業で行うこと	17
第3章 養成校に所属する留学生の学習に関する調査結果	19
1. 回答者の属性	21
(1) 留学生の学力評価試験の点数	21
(2) 性別	22
(3) 年齢	22
(4) 国籍	23
(5) 日本語能力試験 (JLPT) のレベル	24
(6) 最終学歴・資格	24
(7) 住居	26
(8) 学費・生活費	27
(9) アルバイト	28
2. 介護の勉強について	34
(1) 毎日の勉強時間	34
(2) 介護学習の相談	36
(3) 補講への参加	36
(4) 授業に対する満足度	39
(5) 授業に対する理解度	40
(6) 困難な科目	42
(7) 国家試験の勉強に際しての困難度	44
3. 日本語の勉強について	59
(1) 日本語理解のレベル	59
(2) 日本語学習の相談	65
4. 将来について	66
(1) 卒後の在日要望	66
(2) 介護福祉士国家資格の取得要望	67
(3) 介護職の像	69

5. 日本での生活について.....	70
(1)生活相談.....	70
(2)生活の満足度.....	72
第4章 養成校での留学生の学習指導に関する調査結果.....	73
1. 養成校に所属する留学生の情報.....	75
(1)留学生の学力評価試験の点数.....	75
(2)留学生の国家試験合格率.....	76
(3)令和3年3月卒業予定の学生のうち留学生の割合.....	77
2. 留学生に求める能力・資質.....	78
(1)合格要件.....	78
3. 留学生の募集.....	82
(1)受入れの意向.....	82
4. 留学生の受入れ体制.....	84
(1)サポート体制.....	84
(2)提携機関.....	86
(3)施設等の整備.....	93
5. 留学生への教育.....	95
(1)クラス構成.....	95
(2)留学生をサポートするために活用する教材.....	100
(3)国家試験対策.....	102
(4)日本語の専門学習.....	122
(5)科目別の指導困難度.....	135
(5)教育方針や課題等の検討会議.....	148
6. 留学生のアルバイト.....	149
(1)アルバイトの管理.....	149
7. 留学生のモチベーション管理.....	154
(1)特別なサポート体制.....	154
8. 留学生の卒後支援.....	155
(1)卒後支援.....	155
9. その他の事柄.....	160
(1)国家試験対策に関する自由意見.....	160
第5章 試行試験・学力評価試験等調査結果.....	161
1. 複数の国家試験データの分析について.....	163
(1)データ分析の目的・手法.....	163
(2)データを入手した試験.....	163
(3)データ分析結果.....	164
2. 学力評価試験の分析について.....	165
(1)データ分析の目的・手法.....	165
(2)学力評価試験データの整理.....	165
(3)データを分析する際の観点.....	166
(4)分析結果.....	173
付属資料.....	179
資料1：留学生アンケート調査票.....	180
資料2：養成校アンケート調査票.....	184

はじめに

わが国においては毎年要介護者が増加し、これに伴う介護従事者の需要は令和7年度（2025年度）までに約245万人と推計されています。またこれと同時に、介護ニーズの複雑化・多様化・高度化に伴い質の高い介護が求められており、優秀な介護人材の確保は喫緊の課題となっています。

これまで介護人材は、専門性が不明確でそれぞれの役割が混在している「まんじゅう型」の状態にあり、今後は、裾野を広げつつ専門性の向上や機能分化を実現する「富士山型」へと構造転換する必要があるとされています。そのために、人材の層に応じたきめ細かな方策を講じることとされており、介護の専門人材である介護福祉士には、介護業務のマネジメントや、現場でのチームリーダー等のスペシャリストとしてのキャリアを形成することが望まれています。

介護福祉士の養成については、平成29年（2017年）9月1日から在留資格「介護」が創設されたことにより、介護福祉士養成施設への外国人留学生（以下、留学生という）の入学者数は近年急激に増加しており、令和2年度の入学者数は2,395人となっています。

令和2年3月卒業の留学生836人のうち、97.6%が日本で介護施設等の福祉分野に就職している状況にあり、養成校で介護を専門的に学んだ者として、将来の介護業界における中核的な役割を担う介護人材として大いに期待されているところです。

しかし、介護福祉士国家試験における留学生の合格率は39.2%（令和元年度）と大変低く、6割以上の留学生が国家試験に合格できていない状況です。

このため、本事業では、先行研究・調査分析、留学生・介護福祉士養成施設へのアンケート調査、ヒアリング調査、試行試験・模擬試験、を行い、その調査結果等を踏まえ検討委員会及び作業部会において検討し、「介護福祉士国家資格取得に向けた留学生指導についてのガイドライン」（別冊）を作成しました。

本事業の実施にあたっては、検討委員会及び作業部会の委員の皆様をはじめ、ご指導をいただいた厚生労働省社会・援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室の皆様、業務支援をいただいた株式会社日本能率協会総合研究所の皆様、ヒアリング調査にご協力いただいた介護福祉士養成施設の皆様、試行試験やアンケート調査等にご協力いただいた全国の介護福祉士養成施設の皆様など、数多くの方々にご協力をいただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

最後に、本事業の成果が全国の外国人介護福祉士を養成する皆様の一助になりますとともに、介護サービス全体の向上に寄与できることを願います。

第 1 章 事業の概要

1. 事業の背景と目的

介護福祉士養成施設（以下、養成校という）においては、介護のスペシャリストとなる介護福祉士の養成が求められているが、在留資格「介護」の候補者である留学生の国家試験合格率は、日本人の合格率を相当下回っている。これは、養成校に求められている「専門人材である介護福祉士」の養成ができていないだけでなく、外国人介護人材を介護業界から失うということも意味する。

このため、本事業では、留学生が抱える様々な就学上の課題を調査・分析し、専門職養成に向けて適切な学習支援方法を記載した養成校向けのガイドラインを作成した。

2. 実施内容

上記の目的を達成するため、本事業では有識者、実務関係者等の8名で構成する検討委員会を設置するとともに、検討委員会直下に主に実務者等5名で構成するガイドライン作成のための作業部会を設置し、各調査の設計・結果分析・とりまとめについて検討を行い、一連の業務を円滑かつ効果的に進めた。具体的には以下(1)～(6)の7項目について取り組んだ。

- (1) 国家試験結果の分析
- (2) 先行研究・調査の分析
- (3) 養成校・留学生へのアンケート調査の実施・分析
- (4) 試行試験・模擬試験の実施・分析
- (5) 養成校・留学生へのヒアリングの実施
- (6) ガイドラインの作成

(1) 国家試験結果の分析

以下①の通りの目的・手法で行った。分析に使用したデータは以下②の通りである。
なお、分析結果については「第5章 試行試験・学力評価試験等調査結果」に掲載している。

① データ分析の目的・手法

以下の目的、手法にて分析を行った。

図表：データ分析の目的・手法

データ分析の目的	介護福祉士国家試験の科目別得点率を比較した際、留学生が苦手とする科目が存在するか否かを明らかにすること
データ分析の手法	日本人高校生、留学生、日本人学生の国家試験データの得点率を、領域別・科目別に得点率算出し、ヒートマップを作成する

② データを入手した試験

本事業では、当協会が実施した以下調査（イ.～オ.）以外にも、文部科学省から福祉系高校に所属する学生のデータの入手（以下、ア.）も受け、データを分析した。

図表：使したデータ

試験種別	番号	対象者	実施日	データ抽出先
令和元年度 介護福祉士国家試験 にかかるデータ	ア.	令和元年度卒業の 高校生	令和元年度介護 福祉士国家試験 日と同一日	文部科学省から提供
	イ.	令和元年度卒業の 留学生	令和元年度介護 福祉士国家試験 日と同一日	当協会にて令和元年度に独 自に抽出
	ウ.	令和2年度卒業予定の 留学生	令和2年 9/30～10/30	本事業にて行った試行試験の 結果をもって当協会にて独自 に抽出
令和2年度 学力評価試験 にかかるデータ	エ.	令和2年度卒業予定の 日本人学生	令和2年 11/23～11/29	本事業にて行った学力評価 試験の結果をもって当協会に て独自に抽出
	オ.	令和2年度卒業予定の 留学生	令和2年 11/23～11/29	本事業にて行った学力評価 試験の結果をもって当協会に て独自に抽出

(2) 先行研究・調査の実施・分析

本事業においては留学生が介護福祉士資格を取得すること、そのための国家試験合格率向上の支援の方策を分析していくことが主となる。このため、介護分野における留学生の学力指導（介護、日本語学習の両側面）に関連する先行調査・研究にかかる論文・報告書を主に収集し、内容の分析を行った。

先行研究の分析結果は、以下「(3) 養成校・留学生へのアンケート調査の実施・分析」のアンケート調査票項目の作成、「(4) 試行試験・模擬試験の実施・分析」の分析軸の作成等に活用した。

なお、先行研究の分析結果については「第2章 先行研究・調査の分析」に掲載している。

(3) 留学生・養成校へのアンケート調査の実施・分析

留学生に対しては、養成校で就学するうえで困難に思う点、介護福祉士国家試験の領域や科目群ごとに感じる難易度や学習の困難点等について調査を実施した。また、養成校に対しては、留学生を指導するうえでどのような点で困難な点があるか等について調査を実施した。

なお、調査結果については、留学生：「第3章 養成校に所属する留学生の学習に関する調査結果」、養成校：「第4章 養成校での留学生の学習指導に関する調査結果」に掲載している。

図表：留学生調査概要

項目	内容
実施期間	令和2年11/9～11/23
実施対象	全国の養成施設に所属する卒業年度の留学生 悉皆（今年度卒業予定の外国人留学生計2,009名）
調査方法	WEBにて実施
調査結果主要集計項目	・保有資格別（学位、看護、日本語等） ・養成施設入学までの経緯別（日本語学校での就学の有無等） 等
督促	養成校調査の催促を行う際に養成校を通じて留学生に回答いただくようメールにて督促
備考	問い合わせには電話・メールで対応
有効回答数	1,011名（50.3%）

図表：養成校調査概要

項目	内容
実施期間	令和2年11/9～11/23
実施対象	全国の留学生が所属する養成施設 悉皆（163校）
調査方法	WEBにて実施
調査結果主要集計項目	・養成施設の職員人数別 ・所属留学生の国籍、保有資格、日本語能力 ・独自カリキュラム等の有無 等
督促	未回答の養成校に対してメールによる督促
備考	問い合わせには電話・メールで対応
有効回答数	120校（73.6%）

（4） 試行試験・模擬試験の実施・分析

留学生が国家試験を受験するにあたり、どのような問題を誤答しているか、また、点数が高い留学生の傾向や、留学生の平均点が高い養成校の傾向等を把握する目的で、以下①②の試験を実施し、分析した。

① 試行試験の実施・分析

令和2年度卒業予定の留学生を対象に、令和元年度（第32回）介護福祉士国家試験問題を使用した試行的試験を実施し、回答の集計・分析を行った。

また、当該回答にあたり「留学生がなぜ誤答したか」を把握するための誤回答の理由について、各設問ごとに収集した。なお、一部の養成校においては、誤解答の理由だけでなく、母国語に翻訳された試験問題を留学生に見せたうえで、母国語であれば回答ができたかどうかの点も確認いただき、誤回答の理由に加筆いただいた。

留学生の回答の集計結果は、前述「(1) 国家試験結果の分析」のデータの1つとして使用しているとともに、留学生の誤回答の理由の集計結果については、「介護福祉士国家資格取得に向けた留学生指導についてのガイドライン」（別冊）の巻末参照編として掲載している。

図表：試行試験の実施

実施時期	実施対象	有効回答数
令和2年 9/30～10/30	留学生が所属する養成校 153校 のうち賛同があった71校 ^(※) とその 留学生	53校（回収率74.6%）

※当協会から試行試験に関する協力可否の文書を発出し、当協会あてに「協力可」と回答があった養成校

② 模擬試験の実施

養成校に所属する令和2年度卒業予定者の留学生に、当協会が毎年実施する学力評価試験¹を受験いただき、当該結果を前述「(3) 養成校・留学生へのアンケート調査の実施・分析」に記載のアンケート調査結果と突合させ、分析した。また、留学生の回答の集計結果は、前述「(1) 国家試験結果の分析」のデータの1つとして使用した。

なお、分析結果については「第5章 試行試験・学力評価試験等調査結果」に掲載している。

¹ 学力評価試験は、当協会が実施する試験で、毎年全国の会員校において実施されている。この試験は、領域・科目ごとの問題数、問題用紙（ふりがな付きの問題用紙も提供）、マークシート方式である回答方式、試験時間（1.5倍の延長を可能とする）など、介護福祉士国家試験と同じ条件で実施されている。

図表：模擬試験の実施

実施時期	実施対象	有効回答数
令和2年 11/23～11/29	留学生が所属する養成校 153 校と その留学生	67 校（回収率 43.7%） ^(※) -留学生 631 名

※ここでいう回収率とは、模擬試験、および「(3) 留学生・養成校へのアンケート調査の実施・分析」に記載する留学生調査・養成校調査のすべてに回答した養成校のことをいう。

(5) 留学生・養成校へのヒアリングの実施

事業実施にあたり以下の通り①②の2種類のヒアリングを実施した。

① アンケート調査作成のための事前ヒアリング

「(4) 試行試験・模擬試験の実施・分析」で行ったアンケート調査の項目作成の際、実際に留学生を指導する立場の教員に対するヒアリングを実施し、日ごろの介護指導対応、国家試験に向けた対応内容等に関する意見聴取を行った。

図表：事前ヒアリング概要

実施時期	実施対象	ヒアリング項目
令和2年8月	・外国人留学生の教育に熱心な学校(3校)	・養成校の基礎情報 ・所属留学生の基礎情報 ・日ごろの介護指導対応 ・国家試験に向けた対応内容 等

② ガイドライン作成のためのヒアリング

「介護福祉士国家資格取得に向けた留学生指導についてのガイドライン」(別冊)を作成するため、実際に留学生を指導する立場の教員に対するヒアリングを実施し、実際に国家試験に向けた養成校の対応等に関する意見聴取を行った。また、一部の学校については留学生に対するヒアリングも実施し、日ごろの授業での悩み、国家試験に向けた対応等について意見聴取を行った。

図表：事前ヒアリング概要

実施時期	実施対象	ヒアリング項目
令和2年8月	・外国人留学生の試験結果が優秀な養成校(3校) ・外国人留学生の教育に熱心な養成校(2校) ・外国人留学生の教育に特徴がある養成校(1校)	・養成校の基礎情報 ・所属留学生の基礎情報 ・日ごろの日本語指導(指導時間数、指導内容、日本語サポート等) ・日ごろの介護指導(使用するテキスト名、入学初年度の対応、カリキュラム上での工夫) ・国家試験に向けた対応(能力別対応、目標の設定、科目別指導内容、留学生がわかり辛いポイントの具体例) 等

(6) ガイドラインの作成

先述(1)～(5)の実施結果を踏まえ、養成校教員が留学生に対し、国家試験に向けてどのように指導していけばよいか等を記載したガイドラインを作成した。

なお、ガイドラインの内容は「介護福祉士国家資格取得に向けた留学生指導についてのガイドライン」(別冊)を参照のこと。

3. 実施体制

本事業では有識者、実務関係者等の8名で構成する検討委員会を設置するとともに、検討委員会直下に主に実務者等5名で構成するガイドライン作成のための作業部会を設置し、各調査の設計・結果分析・とりまとめについて検討を行った。

(1) 検討委員会・作業部会名簿

<検討委員会名簿>※◎：委員長、五十音順、敬称略、所属等は令和3年3月時点

氏名	所属・役職
◎川井 太加子	桃山学院大学 社会学部 学部長・教授
井之上 芳雄	日本介護福祉士養成施設協会 副会長
大代 貴輝	全国社会福祉法人経営者協議会 福祉人材対策委員会 外国人介護人材特命チーム サブリーダー
塚田 典子	日本大学商学部 教授
永嶋 昌樹	日本介護福祉士会 常任理事
橋本 由紀江	国際交流&日本語支援 Y 代表理事
矢口 浩也	国際厚生事業団 国際・研修事業部 部長

<作業部会名簿>※◎：作業部会長、五十音順、敬称略、所属等は令和3年3月時点

氏名	所属・役職
◎井之上 芳雄	日本介護福祉士養成施設協会 副会長
岡本 匡弘	京都保育福祉専門学院 学院長
武井 幸一	国際厚生事業団 外国人介護人材支援部 主任
橋本 由紀江	国際交流&日本語支援 Y 代表理事
八子 久美子	日本福祉教育専門学校 学科新設準備室長

<オブザーバー>※敬称略、所属等は令和3年3月時点

氏名	所属・役職
富原 博	厚生労働省 社会・援護局 福祉基盤課 福祉人材確保対策室 室長補佐
翁川 純尚	同 室長補佐
伊藤 優子	同 介護福祉専門官
羽染 敬規	同 外国人介護人材受入企画調整係長・介護技能実習支援係長
磯部 祐亮	同 外国人介護人材受入企画調整係員
榊原 剛	同 外国人介護人材受入企画調整係員

<事務局>

氏名	所属・役職
山田 洋輔	日本介護福祉士養成施設協会 事務局長
田中 佐千代	同 事務局員

<事務局補助>

氏名	所属・役職
布施 和美	(株)日本能率協会総合研究所 福祉・医療・労働政策研究部 主任研究員
岡田 泰治	同 研究員

(2) 委員会・作業部会開催実績及び検討内容

以下の通り、検討委員会は3回、作業部会は5回実施した。

<検討委員会 開催実績及び検討内容>

回数	日程・場所	議事内容
第1回	令和2年8月5日(水) @日本能率協会総合研究所 第1会議室(ZOOM 併用)	1. 本調査・研究にかかる背景および事業の全体概要について 2. 本年度の実施事項について
第2回	令和3年2月12日(金) @日本能率協会総合研究所 第1会議室(ZOOM 併用)	1. 本事業の進捗・論点整理 2. アンケート調査結果について 3. 模擬試験・試行試験結果について 4. ガイドライン初案について 5. これからの流れについて
第3回	令和3年3月22日(月) @日本能率協会 共用第2会議室(ZOOM 併用)	1. ガイドライン最終案について 2. 今後のガイドライン修正について

<作業部会 開催実績及び検討内容>

回数	日程・場所	議事内容
第1回	令和2年8月12日(水) @日本能率協会総合研究所 第1会議室(ZOOM 併用)	1. 本調査・研究にかかる背景および事業の全体概要について 2. 試験分析等にかかる実施事項について 3. アンケート調査およびヒアリング調査について
第2回	令和2年9月8日(火) @日本能率協会総合研究所 第1会議室(ZOOM 併用)	1. 養成校への依頼文書について 2. 令和元年度国家試験分析について 3. アンケート調査について
第3回	令和2年12月8日(火) @日本能率協会 共用第2会議室(ZOOM 併用)	1. アンケートおよび学力評価試験の分析方法について 2. ガイドライン項目案について
第4回	令和3年1月19日(火) @日本能率協会 共用第2会議室(ZOOM 併用)	1. アンケート結果について 2. 試験分析・パターン分析について 3. ガイドライン初案について 4. これからの流れについて
第5回	令和3年3月9日(火) @日本能率協会総合研究所 第1会議室(ZOOM 併用)	1. ガイドライン案について 2. 検討委員会までのガイドラインの確認・修正の分担

第 2 章 先行研究・調査の分析

1. 先行研究・調査 検索の前提

日本で働く外国人介護人材の受入れに関する在留資格については、設置年順に在留資格「特定活動」(以下「EPA」とする)(平成20年)、技能実習「介護」(平成29年)、在留資格「介護」(平成29年)、在留資格「特定技能」(平成31年)の4種類があり、本調査・研究事業においては、在留資格「介護」を目的として入国している外国人介護人材が対象となっている。

4つある在留資格のうち、EPA以外は制定されてから日が浅く、論文数も多くないことが想定されるが、本調査・研究事業においては、留学生の学力や指導方法(介護、日本語学習の両側面)、留学生の国家試験受験等に関する内容に関連する論文等の内容を参考にすることが必要であり、留学生と同様に国家試験受験が求められるEPAに関する文献も参考になることが想定される。

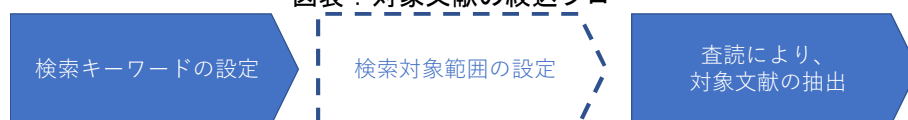
このため、本調査・研究事業で行う先行研究検索においては、特に在留資格を問わず、外国人介護人材に関する介護、日本語指導や国家試験に関する内容に触れている文献を主に収集した。

文献収集方法としては、以下に記載するインターネット上の論文検索サイト等で、以下に記載する検索ワードを使用し、検索を行った。収集した文献は、査読の上、本調査・研究事業において内容確認をすべき文献かどうかを確認し、対象文献を抽出した。

図表：先行研究・調査の収集について

項目	内容
収集する文献内容	外国人介護人材に関する介護、日本語指導や国家試験に関する文献
実施時期	令和2年7月
検索媒体	インターネット全般、主に Google Scholar および CiNii を活用
検索キーワード	外国人 × 介護 × 国家試験、教育、指導、日本語、言葉、言語、ことば 等

図表：対象文献の絞り込みフロー



2. 抽出した文献

先行研究・調査で抽出した文献は以下²である。主にEPAにかかる文献が主であり、在留資格「介護」にかかる文献は少ない結果となった。特に、文献の形態としては報告書が多い形となり、論文として取りまとめられたものは少なかった。

図表：先行研究・調査の収集した文献(一部)

No.	内容	年度
1.	外国人介護人材受入れの在り方に関する検討会関連資料(厚生労働省)	—
2.	介護職種の技能実習生の日本語学習等支援事業関連資料(厚生労働省)	—
3.	EPA 受入施設、看護師、介護福祉士候補者実態調査(外国人看護師・介護福祉士支援協議会 経年調査)	—
4.	外国人介護福祉士候補者受入れ施設巡回訪問実施結果(国際厚生事業団 経年実施)	—
5.	介護職種の技能実習指導員講習テキスト(日本介護福祉士会)	R2

² 実際には下記以外にも検討委員会・作業部会委員からの紹介を受けた文献等、数多く文献の収集しているが、ここでは代表的なもののみ記載する。

No.	内容	年度
6.	外国人介護人材の受入れ実態等に関する調査研究事業報告書(三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング)	R1
7.	EPA 介護福祉士候補者受入れ標準的な学習プログラム及び研修の手引き(国際厚生事業団)	R1
8.	外国人留学生等に対する相談支援等の体制整備事業アンケート調査報告書(日本介護福祉士養成施設協会)	H30
9.	介護分野の技能実習生の実習指導者の日本語学習指導者向け手びき(日本介護福祉士会)	H29
10.	外国人日本語学習者の介護分野への就業を促進する教育プログラムの開発事業(文部科学省)	H28
11.	外国人介護福祉士候補者の素養、スキルを養う教育プログラムの開発・実施(文部科学省)	H28
12.	福祉の現場から 国人介護福祉士候補者の自立学習研究の必要性:候補者に対する日本語教育及び学習支援の現状報告(野村愛)	H28
13.	外国人介護労働者に係る実態調査報告書(国際厚生事業団)	H27
14.	介護の用語の平易化 一開かれた介護を目指す営みー 研究報告書(三枝令子)	H26
15.	EPA 介護福祉士の定着促進の課題に係る調査報告書(国際厚生事業団)	H26
16.	外国人介護人材に関する日本語教育研究の現状と課題(大関由貴・奥村匡子・神吉宇一)	H26
17.	介護福祉士国家試験におけるカタカナ語の特徴(中川健司・斉藤真美)	H26
18.	介護福祉士国家試験の日本語：外国人介護従事者にとってのことばの問題(三枝令子)	H24
19.	介護現場のことばのわかりにくさ 外国人介護従事者にとってのことばの問題(遠藤織枝)	H24
20.	外国人スタッフ雇用に関する課題点の調査研究事業(全国老人保健施設協会)	H22

3. 先行研究・調査まとめ

(1) 先行研究・調査の分析で明らかになったこと

介護学習の側面では、EPA の事例において、実際の介護業務の取り組み状況、技能の業務水準、介護業務についての就業前・就業後のギャップ、国家試験の結果等、全国調査で把握されていた。しかし、介護業務についての OJT 等、国家資格取得のための具体的指導方法を調査した先行研究・調査は見当たらなかった。

また、送り出し国で看護大学を卒業して介護福祉士候補者として来日することに疑問を持つ候補者も少なからずおり、外国人介護人材の保持資格によって勉強へのモチベーション等が異なる可能性があることがうかがえたが、モチベーションの管理等について具体的な解決方法が記載された文献は見当たらなかった。

日本語学習の側面では、外国人の日本語習得にとって大きな壁となっている難解な介護用語(外来語・医学・看護用語を含む)についての実態が調査されており、困難な用語については一定の文献が存在する一方、日本語と介護を絡めた指導方法をどのように行うかという点において記載された文献は少なかった。

(2) 先行研究・調査の分析結果をふまえ本調査・研究事業で行うこと

先行研究で明らかになっていない国家資格取得のための具体的指導方法や外国人介護人材に対するモチベーション管理については、各養成校・留学生へのアンケート調査およびヒアリングを通して確認していく。また、アンケート調査項目については、先行研究で実施されている質問紙調査項目を部分的に活用する。

さらに、試行試験・模擬試験等の分析を行う際、介護の日本語の側面から先行研究での日本語の分類を活用して分析軸を作成する。

第 3 章 養成校に所属する留学生の 学習に関する調査結果

※ クロス集計表については、以下の通り色付けを行っています。

平均 10%以上 : 赤網掛け赤文字
平均 5%以上 10%未満 : 赤文字
平均 5%以下 10%未満 : 青文字
平均 10%以下 : 青網掛け青文字

※ クロス集計に関しては、留学生調査内のクロス集計、留学生調査で回答のあった留学生が所属する養成校のクロス集計の2種行っています。いずれのクロス集計も、特筆すべき点があったものを抜き出して掲載しています。

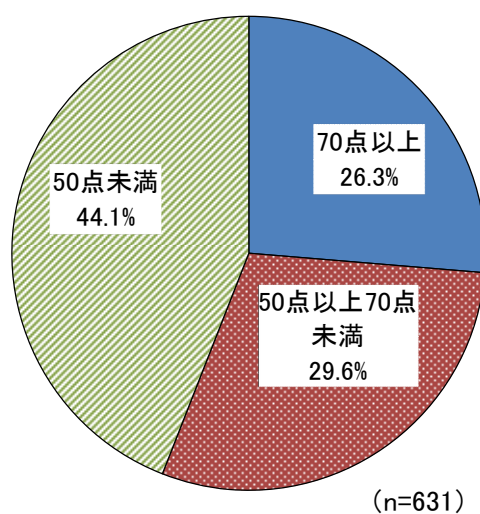
1. 回答者の属性

(1) 留学生の学力評価試験の点数

令和元年度に行った学力評価試験のうち、留学生調査、学力評価試験に回答があり、かつ留学生の所属する養成校が本養成校調査に回答している条件の全てを満たした留学生計 631 名の回答からグラフを作成している。

- ※ 学力評価試験とは、当協会が1年に1回実施する、介護福祉士国家試験の模擬試験のことをいう
- ※ 満点は、介護福祉士国家試験と同じく 125 点となっている
- ※ 留学生調査回答者 1011 人のうち、学力評価試験結果データの紐づけができた 631 人を n 数とする
- ※ (2) 以降は学力評価試験の紐づけができない回答者も n 数に含まれるため、最大 n 数は 1011 となる

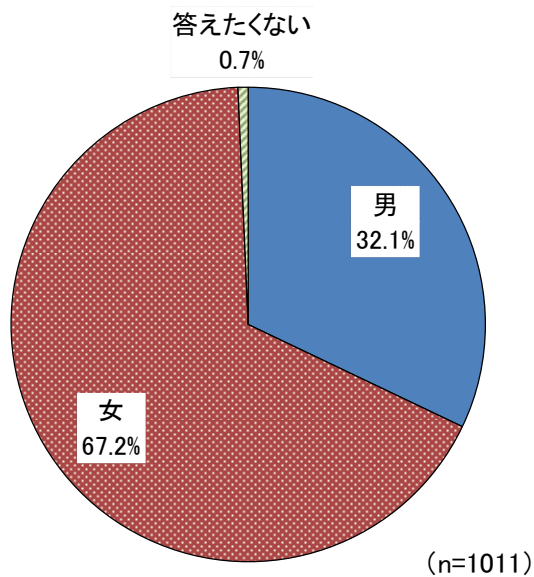
- ・ 「50 点未満」が 44.1%と最も高く、次いで「50 点以上 70 点未満」が 29.6%、「70 点以上」が 26.3%であった。



(2) 性別

問2：あなたの性別を教えてください。

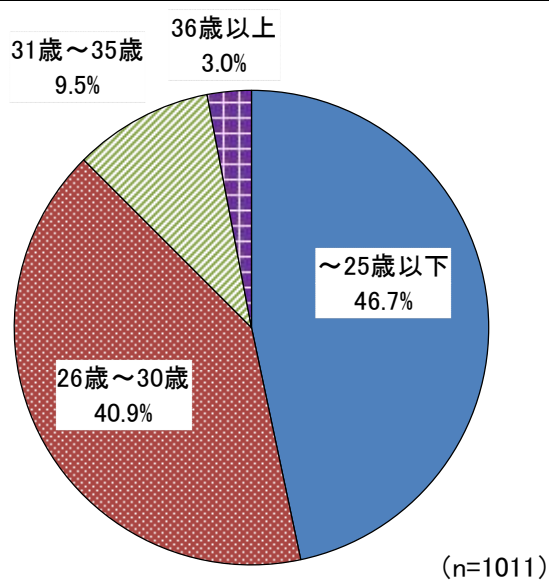
- ・ 「男」(32.1%)、「女」(67.2%)、「答えたくない」(0.7%)であった。



(3) 年齢

問3：あなたの年齢を教えてください。

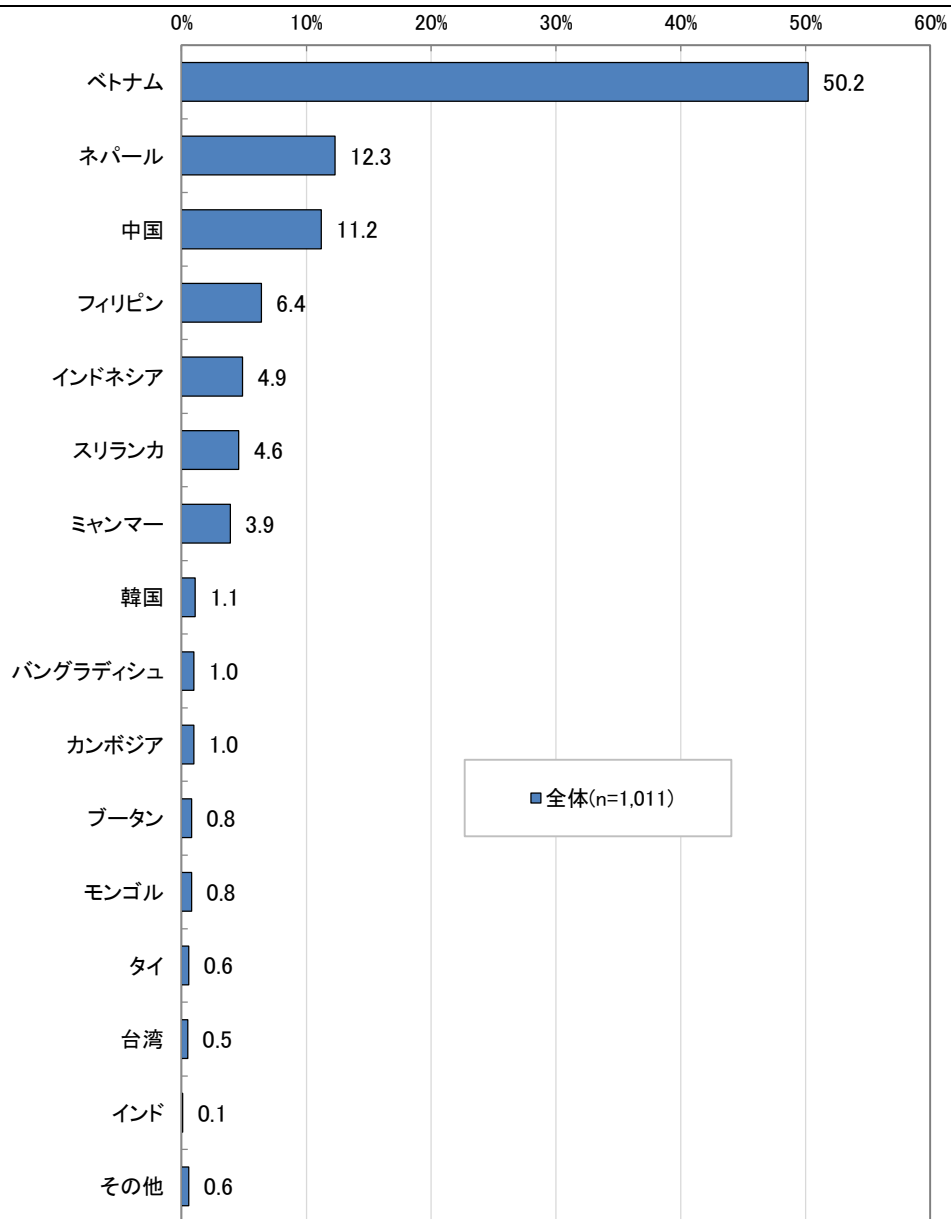
- ・ 「～25歳以下」が46.7%と最も高く、次いで「26歳～30歳」が40.9%、「31歳～35歳」が9.5%、「36歳以上」が3.0%であった。



(4) 国籍

問 4：あなたの国籍を教えてください。

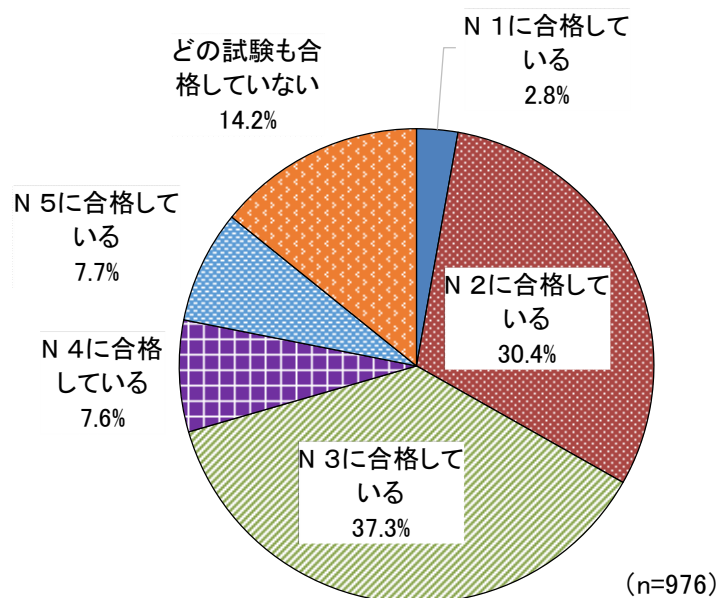
・ 「ベトナム」が 50.2%と最も高く、次いで「ネパール」が 12.3%、「中国」が 11.2%と続いた。



(5) 日本語能力試験(JLPT)のレベル

問 19：あなたは、現在（2020年9月1日現在）の日本語能力試験（JLPT）のどのレベルの試験に合格していますか。

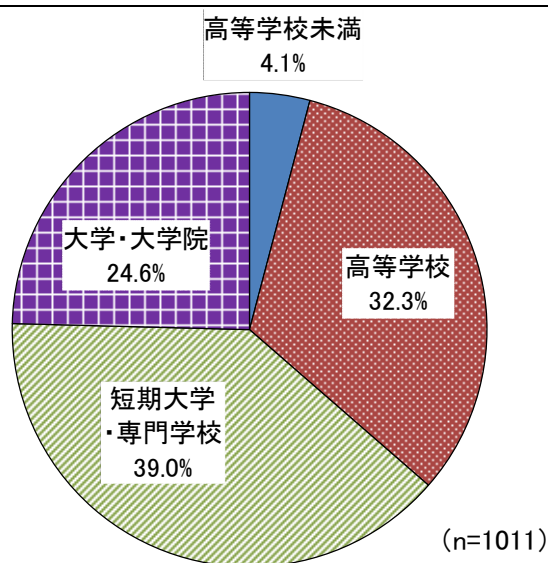
- ・ 「N3に合格している」が37.3%と最も高く、次いで「N2に合格している」が30.4%、「どの試験も合格していない」が14.2%と続いた。



(6) 最終学歴・資格

問 5.1：あなたの母国で卒業した学校、持っている資格について教えてください。

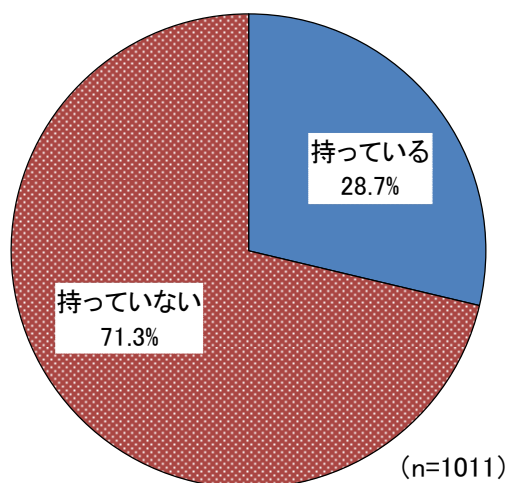
- ・ 「高等学校未満」(4.1%)、「高等学校」(32.3%)、「短期大学・専門学校」(39.0%)、「大学・大学院」(24.6%)であった。



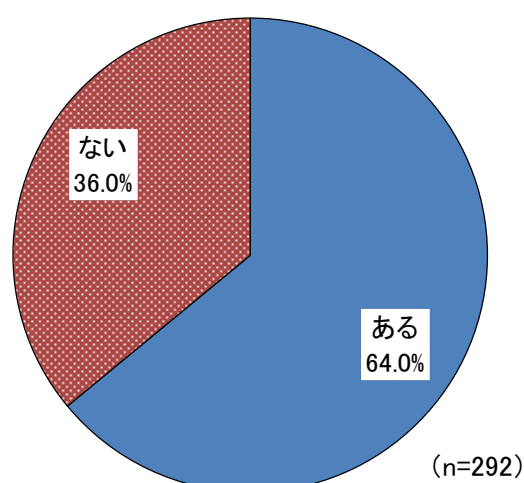
問 5.2 : あなたの国での看護に関する資格（看護師など）・卒業資格がありますか。またあなたの国で看護の仕事をした経験がありますか。

- ・ 看護に関する資格については、「持っている」(28.7%)、「持っていない」(71.3%)であった。
- ・ 看護に関する資格保持者のうち、看護の仕事をした経験については、「ある」(64.0%)、「ない」(36.0%)であった。

<看護に関する資格>



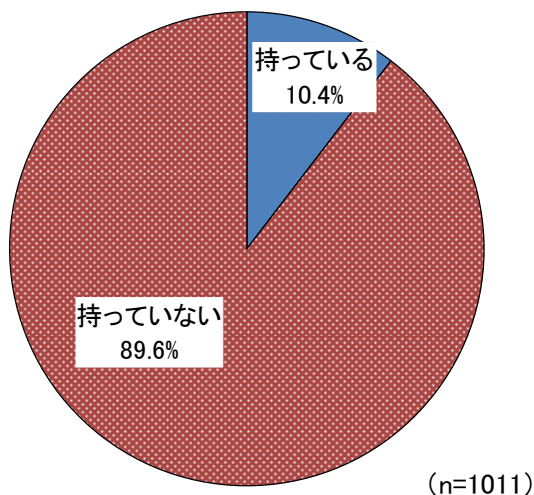
<看護の仕事をした経験>



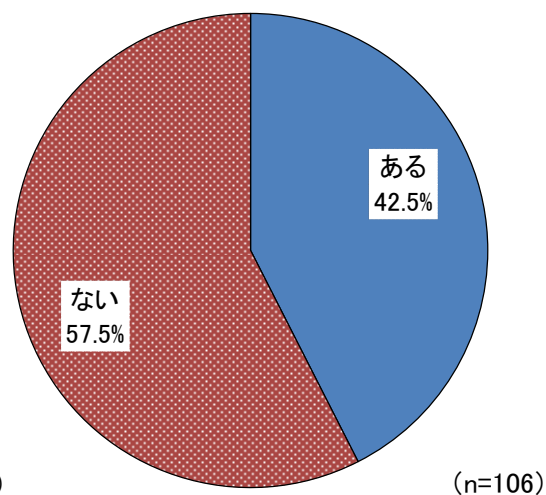
問 5.3 : あなたの国での介護に関する資格（介護士など）・卒業資格がありますか。またあなたの国で介護の仕事をした経験がありますか。

- ・ 介護に関する資格については、「持っている」(10.4%)、「持っていない」(89.6%)であった。
- ・ 介護に関する資格保持者のうち、介護の仕事をした経験については、「ある」(42.5%)、「ない」(57.5%)であった。

<介護に関する資格>



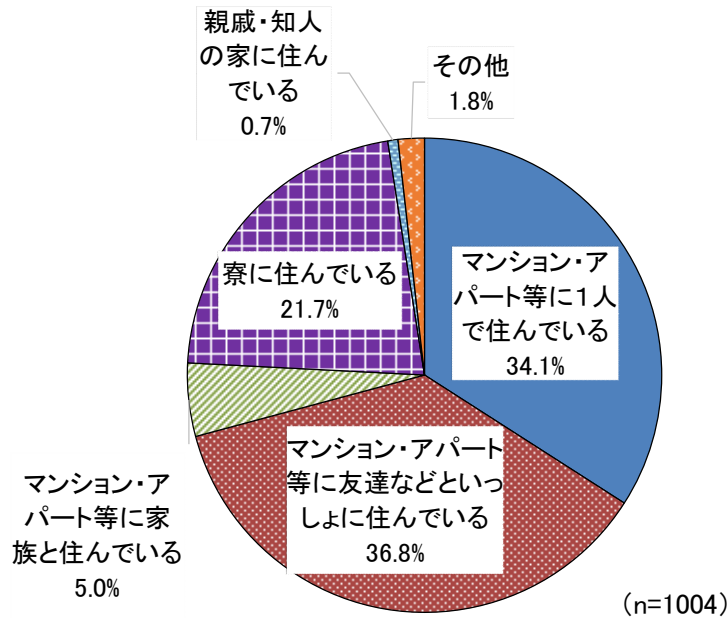
<介護の仕事をした経験>



(7)住居

問6：あなたは、今どのようなところに誰と住んでいますか。

- ・「マンション・アパート等に友達などといっしょに住んでいる」(36.8%)、「マンション・アパート等に1人で住んでいる」(34.1%)がともに高く、次いで「寮に住んでいる」が21.7%と続いた。
- ・留学生別、養成校別でみると、ともに、学力評価試験点数が高い(学力評価試験点数の平均点が高い養成校に所属する)留学生の場合、寮に住んでいる割合が高い傾向にあった。



<留学生調査クロス集計表>

		調査数	マンション・アパート等に1人で住んでいる	マンション・アパート等に友達などといっしょに住んでいる	マンション・アパート等に家族と住んでいる	寮に住んでいる	親戚・知人の家に住んでいる	その他
	全体	1004	34.1	36.8	5.0	21.7	0.7	1.8
留学生の学力評価試験点数	70点以上	164	30.5	29.3	4.3	30.5	0.6	4.9
	50点以上70点未満	187	26.2	44.9	3.7	23.0	0.5	1.6
	50点未満	276	37.7	37.0	4.3	20.3	0.0	0.7

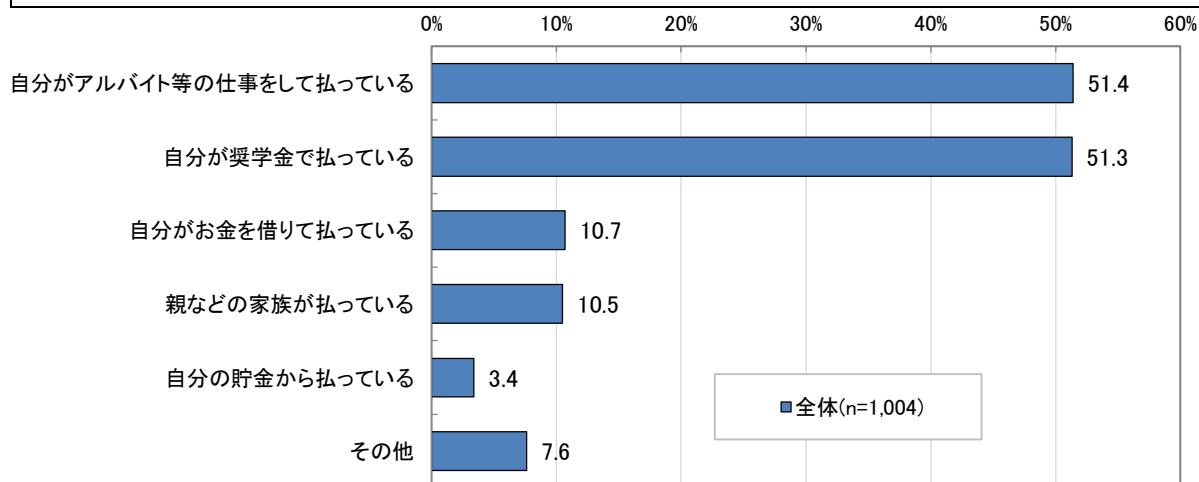
<養成校調査クロス集計表>

		調査数	マンション・アパート等に1人で住んでいる	マンション・アパート等に友達などといっしょに住んでいる	マンション・アパート等に家族と住んでいる	寮に住んでいる	親戚・知人の家に住んでいる	その他
	全体	1004	34.1	36.8	5.0	21.7	0.7	1.8
留学生の学力評価試験点数(学校平均)	70点以上	124	19.4	39.5	1.6	33.9	0.8	4.8
	50点以上70点未満	273	33.3	39.2	4.8	20.9	0.4	1.5
	50点未満	266	38.7	34.6	6.0	19.5	0.0	1.1

(8) 学費・生活費

問7：あなたは、学校の授業料や生活費をどうやって払っていますか。

- ・ 「自分がアルバイト等の仕事をして払っている」(51.4%)、「自分が奨学金で払っている」(51.3%)がともに高かった。
- ・ 留学生別、養成校別でみると、ともに、学力評価試験点数が高い（学力評価試験点数の平均点が高い養成校に所属する）留学生ほど奨学金で学費・生活費を払っている割合が高くなり、アルバイト等の仕事をして払っている割合が低くなった。



<留学生調査クロス集計表>

	調査数	自分が奨学金で払っている	自分がお金を借りて払っている	自分がアルバイト等の仕事をして払っている	自分の貯金から払っている	親などの家族が払っている	その他
全体	1004	51.3	10.7	51.4	3.4	10.5	7.6
留学生の学力評価試験点数	70点以上	67.7	8.5	37.8	4.9	7.3	9.8
	50点以上70点未満	57.8	10.7	42.8	2.1	11.8	8.0
	50点未満	51.1	9.1	54.7	1.1	4.0	6.2

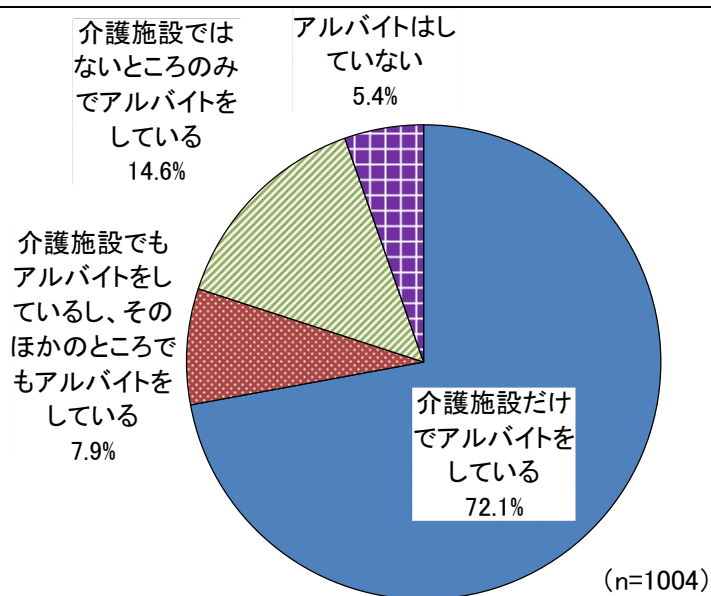
<養成校調査クロス集計表>

	調査数	自分が奨学金で払っている	自分がお金を借りて払っている	自分がアルバイト等の仕事をして払っている	自分の貯金から払っている	親などの家族が払っている	その他
全体	1004	51.3	10.7	51.4	3.4	10.5	7.6
留学生の学力評価試験点数 (学校平均)	70点以上	62.1	10.5	41.9	3.2	6.5	10.5
	50点以上70点未満	58.2	9.5	42.5	2.6	9.5	6.6
	50点未満	53.0	10.5	54.1	2.6	5.3	7.5

(9) アルバイト

問 8：あなたはどこでアルバイトをしていますか。

- ・「介護施設だけでアルバイトをしている」が 72.1%と最も高く、次いで「介護施設ではないところのみでアルバイトをしている」が 14.6%と続いた。
- ・留学生別にみても特段違いはみられないが、養成校別にみると、学力評価試験の平均点が高い養成校に所属する留学生の場合、介護施設のみでアルバイトをしている割合がやや高かった。
- ・養成校別にみると、H31年3月・R2年3月の留学生の国家試験合格者率（留学生5人以上の学校）100%の学校に所属する留学生のうち、96.6%は介護施設のみでアルバイトをしている。



<留学生調査クロス集計表>

		調査数	介護施設だけでアルバイトをしている	介護施設でもアルバイトをしているし、ほかのところでもアルバイトをしている	介護施設ではないところのみでアルバイトをしている	アルバイトはしていない
全体		1004	72.1	7.9	14.6	5.4
留学生の学力評価試験点数	70点以上	164	76.8	7.3	9.8	6.1
	50点以上70点未満	187	73.3	6.4	12.3	8.0
	50点未満	276	76.1	6.9	14.1	2.9

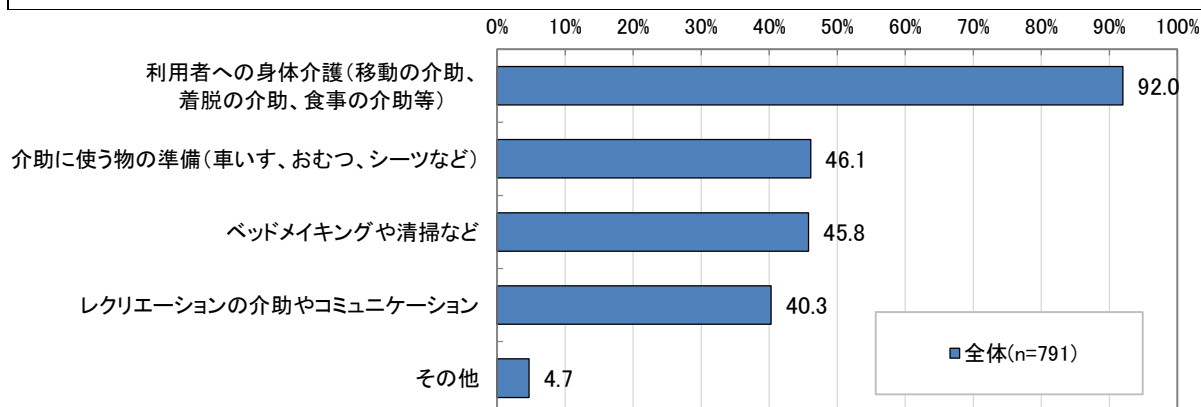
<養成校調査クロス集計表>

		調査数	介護施設だけでアルバイトをしている	介護施設でもアルバイトをしているし、ほかのところでもアルバイトをしている	介護施設ではないところのみでアルバイトをしている	アルバイトはしていない
	全体	1004	72.1	7.9	14.6	5.4
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	124	80.6	5.6	7.3	6.5
	50点以上70点未満	273	74.4	6.2	11.4	8.1
	50点未満	266	74.8	8.3	15.4	1.5
H31年3月・R2年3月の留学生の国家試験合格者率（留学生合計1人以上5人未満の学校）	100%	32	78.1	3.1	18.8	0.0
	75%以上（100%除く）	1	0.0	100.0	0.0	0.0
	50%以上75%未満	11	72.7	0.0	27.3	0.0
	50%未満（0%除く）	13	84.6	7.7	7.7	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の国家試験合格者率（留学生5人以上の学校）	100%	29	96.6	0.0	0.0	3.4
	75%以上（100%除く）	49	40.8	0.0	24.5	34.7
	50%以上75%未満	101	75.2	14.9	7.9	2.0
	50%未満（0%除く）	242	77.3	7.0	11.6	4.1
	0%	96	69.8	9.4	17.7	3.1

【問8で「1. 介護施設だけでアルバイトをしている」「2. 介護施設でもアルバイトをしているし、そのほかのところでもアルバイトをしている」と回答の方】

問8-1：あなたは介護施設で、どんな仕事をしていますか。

- ・「利用者への身体介護（移動の介助、着脱の介助、食事の介助等）」が92.0%と最も高く、次いで「介助に使う物の準備（車いす、おむつ、シーツなど）」が46.1%、「ベッドメイキングや清掃など」が45.8%と続いた。
- ・留学生別、養成校別で学力評価試験点数をみても、介護施設でのアルバイトの内容によって試験の得点に大きな差はなかった。



<留学生調査クロス集計表>

	調査数	利用者への身体介護 (移動の介助、着脱の介助、食事の介助等)	レクリエーションの介助やコミュニケーション	ベッドメイキングや清掃など	介助に使う物の準備 (車いす、おむつ、シーツなど)	その他
全体	791	92.0	40.3	45.8	46.1	4.7
留学生の学力評価試験点数						
70点以上	138	88.4	39.9	51.4	43.5	4.3
50点以上70点未満	148	95.3	41.9	48.0	45.9	2.0
50点未満	226	92.5	33.2	34.5	40.7	4.0

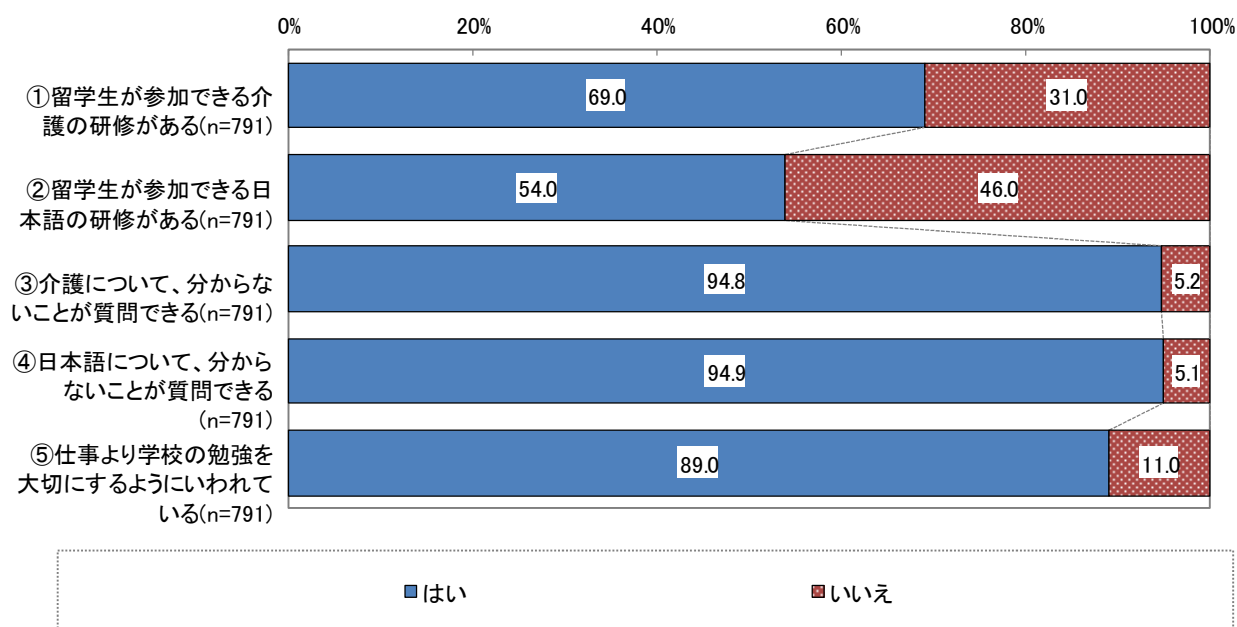
<養成校調査クロス集計表>

	調査数	利用者への身体介護 (移動の介助、着脱の介助、食事の介助等)	レクリエーションの介助やコミュニケーション	ベッドメイキングや清掃など	介助に使う物の準備 (車いす、おむつ、シーツなど)	その他
全体	791	92.0	40.3	45.8	46.1	4.7
留学生の学力評価試験点数(学校平均)						
70点以上	107	86.9	38.3	53.3	43.0	2.8
50点以上70点未満	217	95.9	40.1	44.7	47.9	4.1
50点未満	220	92.3	35.0	35.9	38.2	3.2

【問8で「1. 介護施設だけでアルバイトをしている」「2. 介護施設でもアルバイトをしているし、そのほかのところでもアルバイトをしている」と回答の方】

問8-2：あなたがアルバイトをしている介護施設について、教えてください。

- ・「介護について、分からないことが質問できる」(94.8%)、「日本語について、分からないことが質問できる」(94.9%)と、ほとんどの留学生が介護や日本語について分からないことを質問できており、また、「仕事より学校の勉強を大切にするようにいわれている」(89.0%)となり、アルバイト先からも勉強優先の姿勢を理解してもらっている。また、留学生が参加できる研修においては、介護の研修、日本語の研修、それぞれ半数程度の留学生のアルバイト先で参加が可能であった。
- ・留学生別、養成校別に見ても、学力評価試験点数が高い（学力評価試験点数の平均点が高い養成校に所属する）留学生が、指導等の手厚い介護施設等でアルバイトをしているという実態は確認できなかった。



<留学生調査クロス集計表>

	調査数	留学生が参加できる介護の研修がある		留学生が参加できる日本語の研修がある		介護について、分からないことが質問できる		日本語について、分からないことが質問できる		仕事より学校の勉強を大切にするようにいわれている		
		はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	
		全体	791	69.0	31.0	54.0	46.0	94.8	5.2	94.9	5.1	89.0
留学生の学力評価試験点数	70点以上	138	58.7	41.3	39.9	60.1	96.4	3.6	97.1	2.9	90.6	9.4
	50点以上70点未満	148	76.4	23.6	54.7	45.3	95.9	4.1	95.9	4.1	90.5	9.5
	50点未満	226	76.5	23.5	63.3	36.7	93.8	6.2	92.9	7.1	88.9	11.1

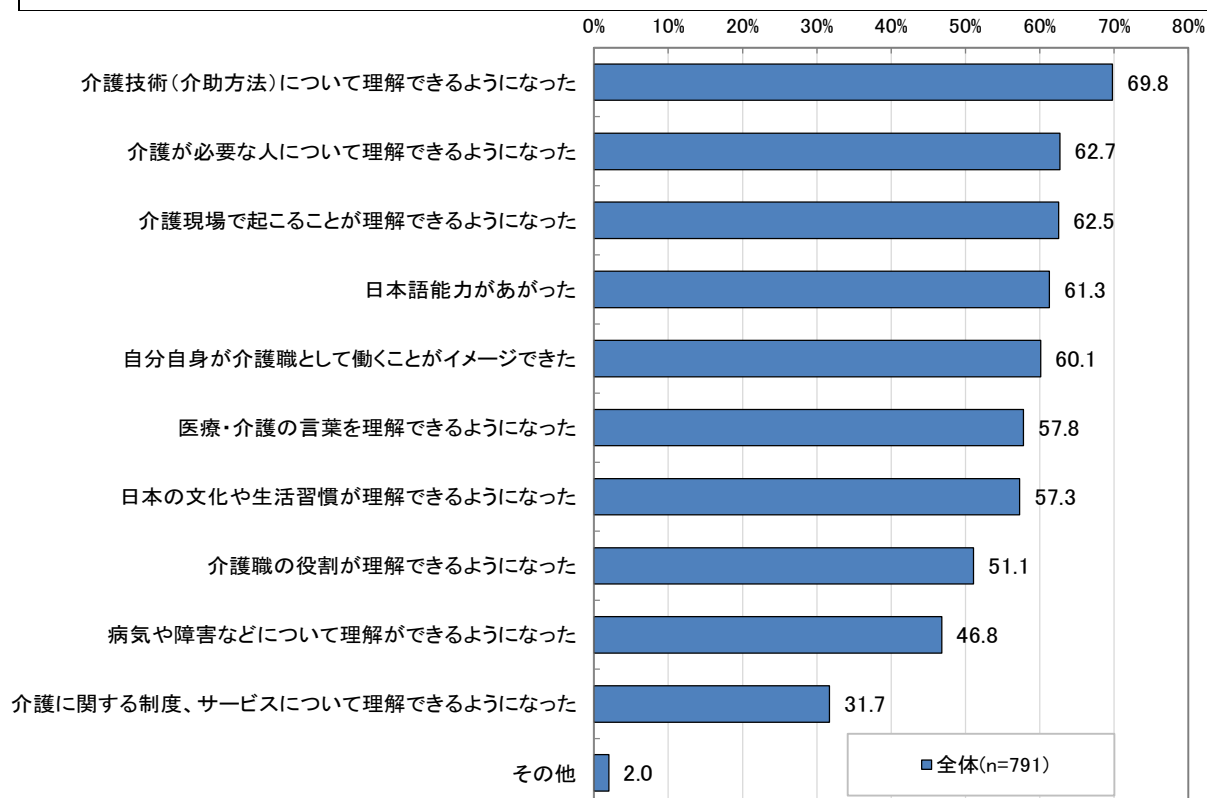
<養成校調査クロス集計表>

	調査数	留学生が参加できる介護の研修がある		留学生が参加できる日本語の研修がある		介護について、分からないことが質問できる		日本語について、分からないことが質問できる		仕事より学校の勉強を大切にするようにいわれている		
		はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ	
		全体	791	69.0	31.0	54.0	46.0	94.8	5.2	94.9	5.1	89.0
留学生の学力評価試験点数(学校平均)	70点以上	107	58.9	41.1	50.5	49.5	96.3	3.7	96.3	3.7	91.6	8.4
	50点以上70点未満	217	71.9	28.1	50.7	49.3	95.9	4.1	95.9	4.1	88.0	12.0
	50点未満	220	74.1	25.9	55.5	44.5	93.6	6.4	93.2	6.8	90.9	9.1

【問8で「1. 介護施設だけでアルバイトをしている」「2. 介護施設でもアルバイトをしているし、そのほかのところでアルバイトをしている」と回答の方】

問8-3：あなたが介護施設でアルバイトをして、どんな良いことがありましたか。

- ・「介護技術（介助方法）について理解できるようになった」が69.8%と最も高く、次いで「介護が必要な人について理解できるようになった」が62.7%、「介護現場で起こることが理解できるようになった」が62.5%と続いた。
- ・学力評価試験点数、最終学歴、日本語理解能力いずれにおいても高いほど、良いことがあったと回答する傾向にあった。また、「病気や障害などについて理解できるようになった」、「介護現場で起こることが理解できるようになった」、「介護職の役割が理解できるようになった」等については、学力評価試験点数の多寡による差が他の項目に大きく、点数が高いほど選択され、低いほど選択されていない傾向にあったが、「介護が必要な人について理解できるようになった」「介護に関する制度、サービスについて理解できるようになった」、「日本の文化や生活習慣が理解できるようになった」等は、点数の多寡による差が他の項目に比べて小さかった。
- ・養成校別に見ても、学力評価試験点数の平均点が高い養成校に所属する留学生ほど、良いことがあったと回答する傾向にあった。



<留学生調査クロス集計表>

	調査数	医療・介護の言葉を理解できるようになった	病気や障害などについて理解できるようになった	介護現場で起こることが理解できるようになった	介護が必要な人について理解できるようになった	介護技術（介助方法）について理解できるようになった	介護に関する制度、サービスについて理解できるようになった	日本語能力があがった	日本の文化や生活習慣が理解できるようになった	介護職の役割が理解できるようになった	自分自身が介護職として働くことがイメージできた	その他	
全体	791	57.8	46.8	62.5	62.7	69.8	31.7	61.3	57.3	51.1	60.1	2.0	
留学生の学力評価試験点数	70点以上	138	65.2	55.8	71.0	71.0	76.1	29.0	68.1	63.0	61.6	65.2	0.7
	50点以上70点未満	148	57.4	46.6	64.2	55.4	74.3	36.5	58.8	55.4	51.4	65.5	1.4
	50点未満	226	55.8	42.9	55.3	65.0	67.3	31.9	61.1	57.5	47.3	54.9	2.2
最終学歴	大卒以上	188	64.4	47.9	68.6	68.1	75.5	34.0	60.1	61.7	60.1	58.5	3.2
	大卒未満	603	55.7	46.4	60.5	61.0	68.0	31.0	61.7	55.9	48.3	60.5	1.7
看護師資格の有無	看護師資格有	248	59.7	45.2	59.7	56.9	69.8	27.0	56.9	54.0	47.6	56.5	2.8
	看護師資格無	543	56.9	47.5	63.7	65.4	69.8	33.9	63.4	58.7	52.7	61.7	1.7
介護関連の資格の有無	介護関連の資格有	86	61.6	41.9	54.7	53.5	62.8	27.9	52.3	51.2	41.9	53.5	3.5
	介護関連の資格無	705	57.3	47.4	63.4	63.8	70.6	32.2	62.4	58.0	52.2	60.9	1.8
看護の仕事の経験の有無	看護師の仕事の経験有	162	59.9	46.3	59.3	59.3	70.4	25.3	53.1	56.8	46.3	55.6	1.9
	看護師の仕事の経験無	89	58.4	41.6	60.7	51.7	68.5	29.2	64.0	48.3	49.4	56.2	4.5
介護の仕事の経験の有無	介護の仕事の経験有	40	70.0	50.0	55.0	50.0	67.5	27.5	57.5	57.5	45.0	57.5	2.5
	介護の仕事の経験無	49	53.1	32.7	55.1	55.1	59.2	26.5	49.0	44.9	38.8	46.9	4.1
日本語理解能力	N2以上	245	63.7	58.0	74.7	68.6	73.9	36.3	71.8	60.8	58.8	63.7	2.4
	N3以下	536	55.4	42.2	56.9	60.1	67.9	29.5	56.7	56.0	48.1	58.8	1.7

<養成校調査クロス集計表>

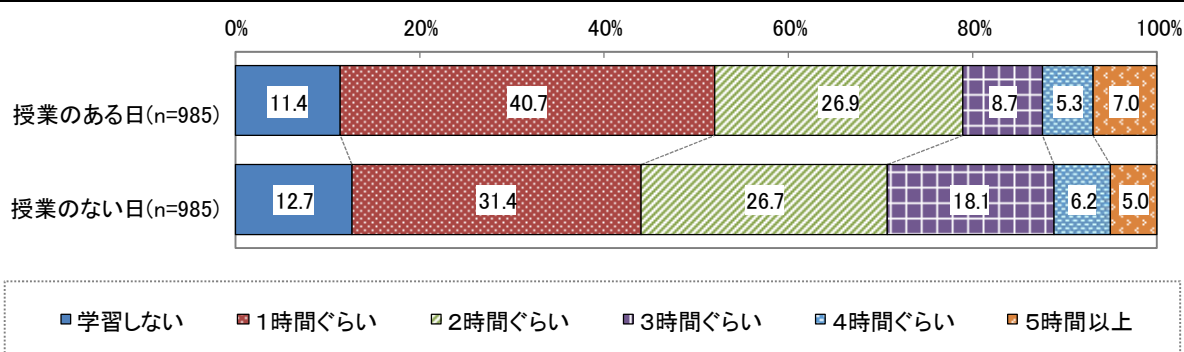
	調査数	医療・介護の言葉を理解できるようになった	病気や障害などについて理解できるようになった	介護現場で起こることが理解できるようになった	介護が必要な人について理解できるようになった	介護技術（介助方法）について理解できるようになった	介護に関する制度、サービスについて理解できるようになった	日本語能力があがった	日本の文化や生活習慣が理解できるようになった	介護職の役割が理解できるようになった	自分自身が介護職として働くことがイメージできた	その他	
全体	791	57.8	46.8	62.5	62.7	69.8	31.7	61.3	57.3	51.1	60.1	2.0	
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	107	54.2	45.8	68.2	68.2	72.0	25.2	60.7	62.6	57.0	64.5	0.9
	50点以上70点未満	217	63.6	52.5	63.6	63.1	76.0	38.2	65.0	57.6	53.5	63.1	1.8
	50点未満	220	55.5	40.9	58.2	62.7	65.0	29.5	59.1	56.8	48.2	58.2	1.8

2. 介護の勉強について

(1) 毎日の勉強時間

問 12：あなたは、毎日自宅でどのくらい介護の勉強をしていますか。

- ・ 授業のある日、授業のない日ともに、「1時間ぐらい」と回答した割合が最も高く、次いで「2時間ぐらい」が続いた。
- ・ 学力評価試験点数が高い学生が、長い時間自宅で勉強しているという実態は確認できなかった。
- ・ 養成校別にみると、学力評価試験点数の平均点が高い養成校に所属する留学生の方が、そうでない留学生より自宅で勉強している傾向がややみられた。



<留学生調査クロス集計表>

ー授業のある日ー

		調査数	学習しない	1時間ぐらい	2時間ぐらい	3時間ぐらい	4時間ぐらい	5時間以上
	全体	985	11.4	40.7	26.9	8.7	5.3	7.0
留学生の学力評価試験点数	70点以上	163	14.7	36.2	29.4	11.0	4.9	3.7
	50点以上70点未満	186	8.1	42.5	25.3	10.2	4.3	9.7
	50点未満	273	11.4	39.9	25.3	8.8	6.2	8.4

ー授業のない日ー

		調査数	学習しない	1時間ぐらい	2時間ぐらい	3時間ぐらい	4時間ぐらい	5時間以上
	全体	985	12.7	31.4	26.7	18.1	6.2	5.0
留学生の学力評価試験点数	70点以上	163	8.6	27.0	27.6	20.2	9.8	6.7
	50点以上70点未満	186	12.4	31.2	20.4	21.5	8.1	6.5
	50点未満	273	11.4	33.3	30.4	16.5	4.0	4.4

<養成校調査クロス集計表>

ー授業のある日ー

		調査数	学習しな い	1時間ぐ らい	2時間ぐ らい	3時間ぐ らい	4時間ぐ らい	5時間以 上
	全体	985	11.4	40.7	26.9	8.7	5.3	7.0
留学生の学力評価試 験点数（学校平均）	70点以上	124	12.1	38.7	32.3	12.1	2.4	2.4
	50点以上70点未満	269	8.2	40.9	27.5	13.0	3.7	6.7
	50点未満	265	16.6	37.7	21.9	4.9	7.9	10.9
留学生への独自のサ ポート体制	3種類以上	345	10.7	43.2	27.2	10.1	3.2	5.5
	3種類未満	640	11.7	39.4	26.7	8.0	6.4	7.8

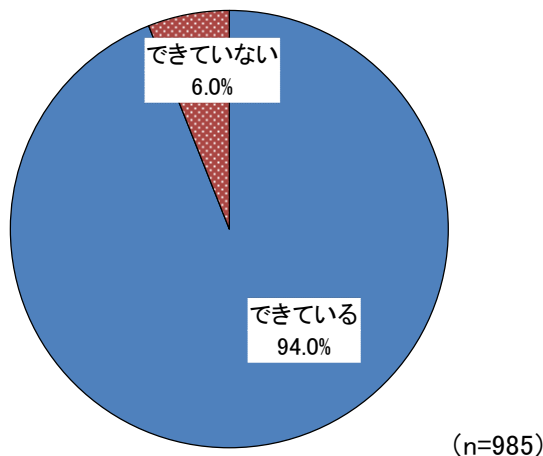
ー授業のない日ー

		調査数	学習しな い	1時間ぐ らい	2時間ぐ らい	3時間ぐ らい	4時間ぐ らい	5時間以 上
	全体	985	12.7	31.4	26.7	18.1	6.2	5.0
留学生の学力評価試 験点数（学校平均）	70点以上	124	9.7	21.0	28.2	26.6	8.9	5.6
	50点以上70点未満	269	8.6	30.1	26.0	20.1	9.3	5.9
	50点未満	265	15.8	37.7	25.3	13.6	3.0	4.5
留学生への独自のサ ポート体制	3種類以上	345	12.5	33.9	27.8	14.8	7.0	4.1
	3種類未満	640	12.8	30.0	26.1	19.8	5.8	5.5

(2) 介護学習の相談

問 13：あなたは、介護の勉強で困ったとき、学校の先生や職員に相談できますか。

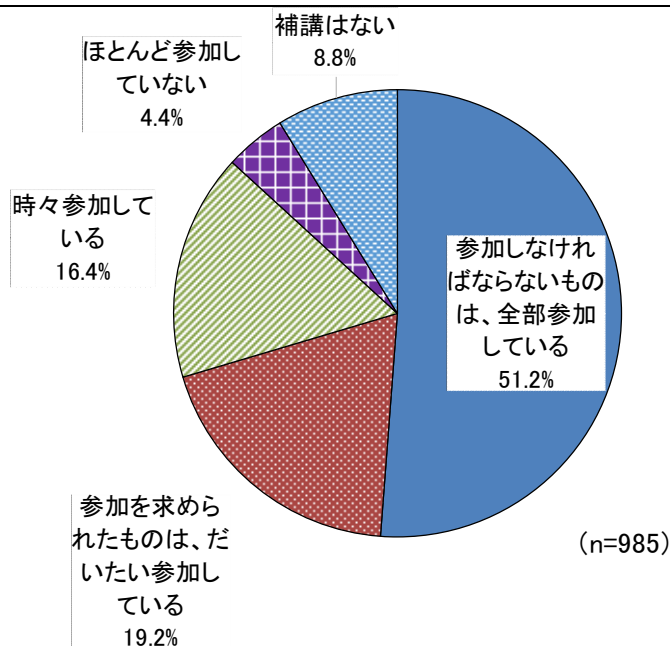
- ・ 「できている」(94.0%)、「できていない」(6.0%)であった。



(3) 補講への参加

問 14：あなたは、学校の介護の補講に参加していますか。

- ・ 「参加しなければならないものは、全部参加している」が 51.2%と最も高く、次いで「参加を求められたものは、だいたい参加している」が 19.2%、「時々参加している」が 16.4%と続いた。
- ・ 学力評価試験点数の多寡によって補講の参加頻度に違いは見られなかったが、自宅での勉強時間においては、非授業日の勉強時間が多いほど、補講にもすべて参加しているという傾向がみられた。
- ・ 養成校別にみると、学力評価試験の平均点が高い養成校に所属する留学生ほど、また留学生受け入れを増やしたいとしている学校に所属する留学生ほど、補講にもすべて参加しているという傾向がみられた。また、留学生比率が 25%未満の学校の所属する留学生は、他の学校に所属する留学生と比べて補講にすべて参加している割合が高い。



<留学生調査クロス集計表>

		調査数	参加しなければならぬものは、全部参加している	参加を求められたものは、だいたい参加している	時々参加している	ほとんど参加していない	補講はない
全体		985	51.2	19.2	16.4	4.4	8.8
留学生の学力評価試験点数	70点以上	163	54.6	19.6	13.5	4.3	8.0
	50点以上70点未満	186	59.1	17.7	12.9	3.8	6.5
	50点未満	273	54.9	21.2	13.2	2.2	8.4
介護の自宅での勉強時間（授業日）	3時間以上	207	52.2	17.9	15.5	1.4	13.0
	1時間以上3時間未満	666	51.7	20.6	17.1	4.7	6.0
	学習しない	112	46.4	13.4	14.3	8.0	17.9
介護の自宅での勉強時間（非授業日）	3時間以上	288	58.7	20.8	11.8	2.1	6.6
	1時間以上3時間未満	572	49.0	18.9	18.4	4.2	9.6
	学習しない	125	44.0	16.8	18.4	10.4	10.4

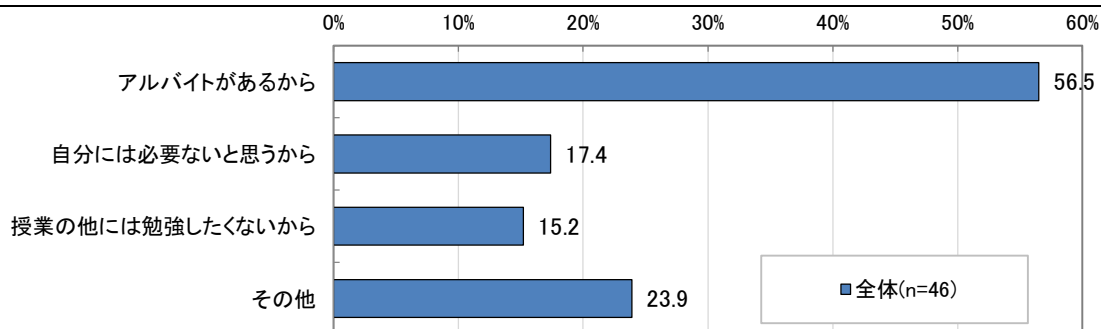
<養成校調査クロス集計表>

		調査数	参加しなければならぬものは、全部参加している	参加を求められたものは、だいたい参加している	時々参加している	ほとんど参加していない	補講はない
全体		985	51.2	19.2	16.4	4.4	8.8
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	124	65.3	12.9	13.7	4.8	3.2
	50点以上70点未満	269	51.7	23.0	12.6	3.0	9.7
	50点未満	265	50.6	18.1	19.2	3.0	9.1
R3年3月卒業生における留学生比率	75%以上	266	48.5	23.3	17.3	2.3	8.6
	50%以上75%未満	250	46.0	18.4	18.4	5.2	12.0
	25%以上50%未満	118	54.2	19.5	16.9	5.9	3.4
入学時日本語要件	25%未満	92	64.1	10.9	9.8	3.3	12.0
	N2以上	219	59.4	12.3	15.1	4.1	9.1
	N3以下	302	46.7	21.9	18.9	3.0	9.6
留学生受入れ意向	増やしたい	143	56.6	15.4	16.8	1.4	9.8
	現状を維持したい	486	50.8	18.9	16.7	4.5	9.1
	減らしたい・やめたい	97	40.2	27.8	16.5	5.2	10.3

【問 14 で「4. ほとんど参加していない」と回答の方】

問 14-1：補講に参加しない理由を教えてください。

- ・「アルバイトがあるから」が 56.5%と最も高く、「自分には必要ないと思うから」が 17.4%、「授業の他には勉強したくないから」が 15.2%となった。
- ・学力評価試験点数が低いほど、アルバイトがあるからを理由としている傾向にあった。
- ・養成校別にみても、特筆的な特徴はなかった



<留学生調査クロス集計表>

		調査数	自分には必要ないと思うから	アルバイトがあるから	授業の他には勉強したくないから	その他
	全体	46	17.4	56.5	15.2	23.9
留学生の学力評価試験点数	70点以上	7	14.3	28.6	28.6	28.6
	50点以上70点未満	7	28.6	42.9	28.6	14.3
	50点未満	7	14.3	71.4	0.0	28.6

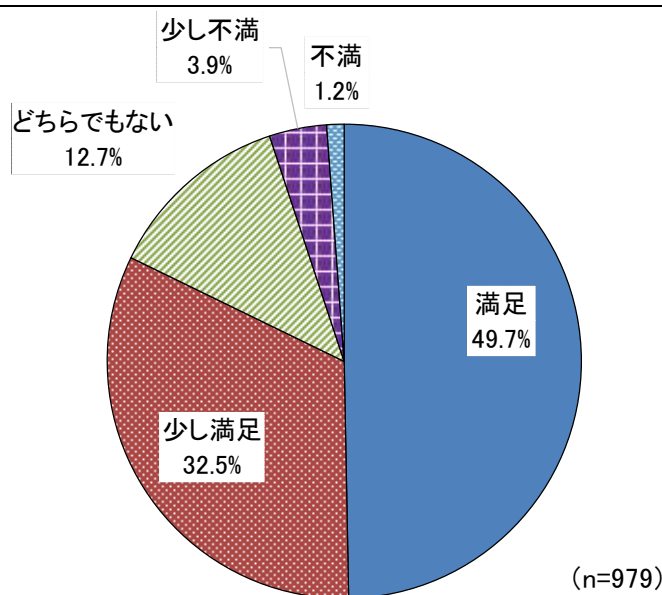
<養成校調査クロス集計表>

- ・特筆的な特徴なし

(4) 授業に対する満足度

問 15：あなたは学校の授業に満足していますか。

- ・ 「満足」(49.7%)、「少し満足」(32.5%)、「どちらでもない」(12.7%)、「少し不満」(3.9%)、「不満」(1.2%)であった。
- ・ 介護関連の資格がある場合、および介護の仕事の経験がある場合、満足度が低い傾向にあった。
- ・ 養成校別にみると、留学生比率が低い学校に所属する留学生ほど、満足となる傾向にあった。



<留学生調査クロス集計表>

		調査数	満足	少し満足	どちらでもない	少し不満	不満
全体		979	49.7	32.5	12.7	3.9	1.2
看護師資格の有無	看護師資格有	280	46.8	36.8	12.9	2.9	0.7
	看護師資格無	699	50.9	30.8	12.6	4.3	1.4
介護関連の資格の有無	介護関連の資格有	98	39.8	37.8	16.3	5.1	1.0
	介護関連の資格無	881	50.9	31.9	12.3	3.7	1.2
看護の仕事の経験の有無	看護師の仕事の経験有	184	48.9	34.8	11.4	3.8	1.1
	看護師の仕事の経験無	99	43.4	40.4	15.2	1.0	0.0
介護の仕事の経験の有無	介護の仕事の経験有	45	37.8	42.2	15.6	4.4	0.0
	介護の仕事の経験無	56	42.9	33.9	16.1	5.4	1.8

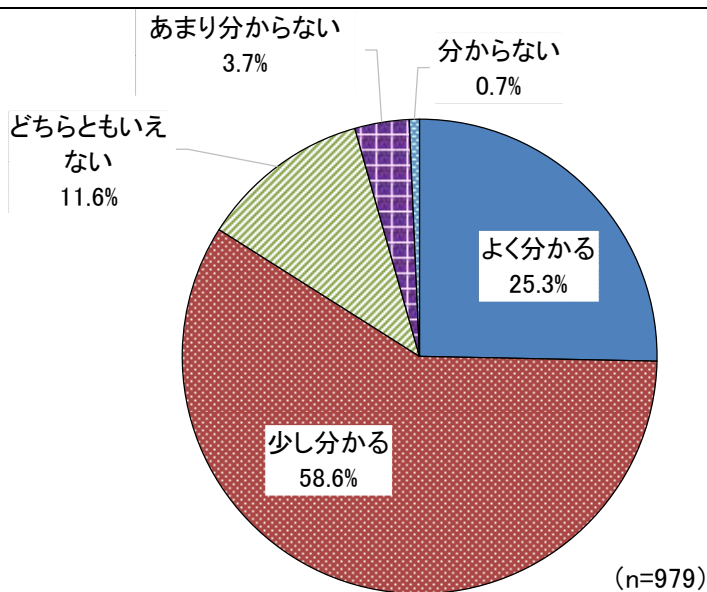
<養成校調査クロス集計表>

		調査数	満足	少し満足	どちらでもない	少し不満	不満
全体		979	49.7	32.5	12.7	3.9	1.2
R3年3月卒業生における留学生比率	75%以上	265	46.0	35.5	12.8	5.3	0.4
	50%以上75%未満	250	41.6	35.6	16.0	4.0	2.8
	25%以上50%未満	118	55.9	28.0	14.4	1.7	0.0
	25%未満	92	63.0	23.9	7.6	3.3	2.2

(5) 授業に対する理解度

問 16：あなたが、学校の授業の内容について、どのくらい分かりますか。

- ・ 「少し分かる」が 58.6%と最も高く、次いで「よく分かる」が 25.3%と続いた。
- ・ 留学生別にみると、日本語理解能力によっては N2 以上保持者の方が「よく分かる」としている傾向がややあった。
- ・ 留学生別、養成校別にみると、学力評価試験点数（学力評価試験点数の学校別平均点）の多寡によって特筆的な傾向はみられず、留学生の授業の理解度の捉え方は、必ずしも試験結果に結びついているわけではないことがうかがえる。



<留学生調査クロス集計表>

	調査数	よく分かる	少し分かる	どちらともいえない	あまり分からない	分からない
全体	979	25.3	58.6	11.6	3.7	0.7
留学生の学力評価試験点数	70点以上	33.3	48.8	14.8	2.5	0.6
	50点以上70点未満	24.2	54.8	15.1	3.8	2.2
	50点未満	16.2	68.0	10.3	5.5	0.0
日本語理解能力	N2以上	34.9	49.4	11.7	3.4	0.6
	N3以下	20.4	63.3	11.7	3.8	0.8

<養成校調査クロス集計表>

	調査数	よく分かる	少し分かる	どちらともいえない	あまり分からない	分からない	
全体	979	25.3	58.6	11.6	3.7	0.7	
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	28.5	46.3	19.5	4.1	1.6	
	50点以上70点未満	25.3	56.5	14.1	3.3	0.7	
	50点未満	18.2	69.3	7.6	4.5	0.4	
入学時日本語要件	N2以上	28.3	53.4	12.8	4.1	1.4	
	N3以下	22.9	59.5	13.6	3.3	0.7	
クラスの編成	日本人学生/ 留学生が完全分割	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	日本人学生/ 留学生が授業によって分割	95	28.4	56.8	11.6	3.2	0.0
	日本人学生/ 留学生が混在	601	22.6	59.7	12.5	4.3	0.8
	日本人学生が不在	29	27.6	58.6	13.8	0.0	0.0

・また、留学生による学校の授業の理解度を「分かる」（よく分かる＋少し分かる）、「分からない」（どちらともいえない＋あまり分からない＋分からない）と二分割し、それらの留学生が所属する養成校の傾向をみたところ、以下の傾向が見られた。（以下、傾向があった部分のみ抜粋）

<入学時日本語要件>

		調査数	N2以上	N3以下
	全体	381	40.9	59.1
学校の授業の理解度	分かる	305	38.0	62.0
	分からない	69	50.7	49.3

・調査全般を通して入学時 N 要件が高いほど試験等の成績も良い傾向にあるが、授業の理解については N 要件が高い学校の方が「分からない」とする留学生が多い。日ごろから難易度の高い授業を行っていることが類推される。

<留学生をサポートするための教材>

		調査数	何らかの留学生向けの教材を活用している	留学生向けに特別な教材は活用していない
	全体	511	67.3	32.7
学校の授業の理解度	分かる	408	68.6	31.4
	分からない	95	62.1	37.9

・養成校調査では、試験等の成績の良い養成校において、特別な教材を活用していない傾向にあったが、授業の理解度においては逆の結果となり、留学生向けの教材を活用したほうが、授業においては「分かる」とされる傾向にある。

<日本語学習補講の頻度(卒業年度以外・通年)>

		調査数	週に数回以上	月に1回～数回程度	月に1回未満
	全体	214	43.0	31.3	25.7
学校の授業の理解度	分かる	173	43.9	31.8	24.3
	分からない	38	42.1	26.3	31.6

・養成校調査では、試験等の成績の良い学校において、卒業年度になる前に日本語学習である程度成果を出し、卒業年度においては試験対策等、その他の事柄に時間を割いている傾向がうかがえたが、日本語学習の補講においても同様の傾向であり、「分からない」とした留学生の所属校では、卒業年度以外の日本語学習補講の頻度が少ない。

<日本語試験模試の頻度(卒業年度)>

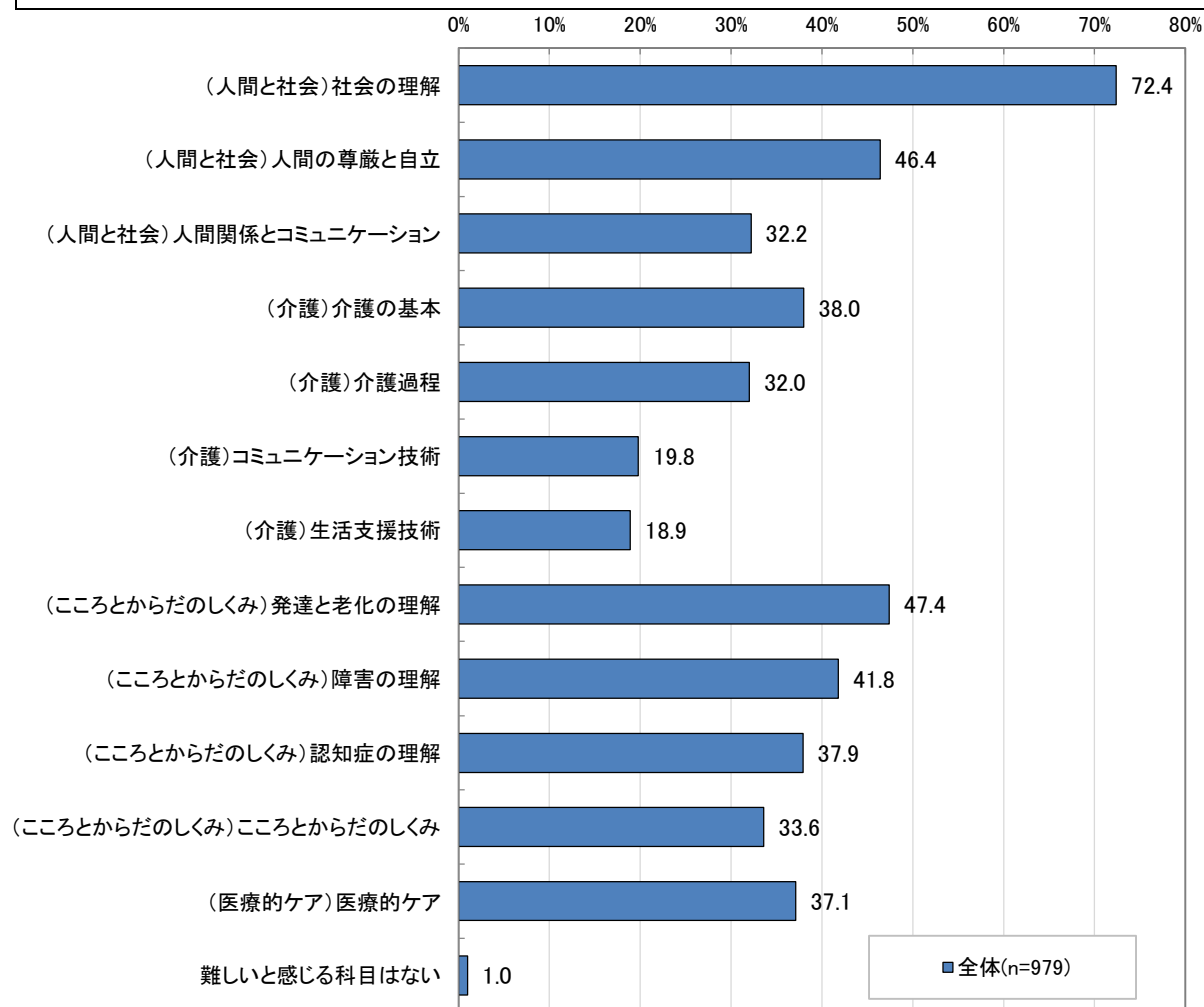
		調査数	年6回以上	年2～5回	年1回・実施していない
	全体	74	4.1	81.1	14.9
学校の授業の理解度	分かる	60	5.0	81.7	13.3
	分からない	14	0.0	78.6	21.4

・上記「日本語学補講の頻度（卒業年度以外・通年）」と同様の傾向であり、「分からない」とした留学生の所属校では、日本語試験模試の頻度が少ない。

(6) 困難な科目

問 17：あなたが、学校の授業の科目について、難しいと感じる科目を、教えてください。

- ・ 「(人間と社会) 社会の理解」が 72.4%と最も高く、「(こころとからだのしくみ) 発達と老化の理解」が 47.4%、「(人間と社会) 人間の尊厳と自立」が 46.4%、と続いた。
- ・ 留学生別、養成校別にみると、学力評価試験点数が低い（学力評価試験点数の平均点が低い養成校に所属する）留学生ほど、多くの科目で難しいと感じる傾向にあった。また、「社会の理解」、「障害の理解」については、その他の科目と傾向が異なり、学力評価試験点数が高い場合や日本語理解能力が高い場合ほど、難しいと感じる傾向がみられた。
- ・ 留学生別にみると、上記以外では、日本語理解能力が低い場合、介護の自宅での勉強をしない場合、補講の参加度合いが低い場合、学校の授業の満足度が低い場合、学校の授業の理解度が低い場合で難しいと感じる傾向がみられた。また、「人間の尊厳と自立」、「介護の基本」、「医療的ケア」については、看護の仕事の経験がある留学生の方が難しいと感じていない傾向にあったが、介護の仕事の経験がある留学生においては、逆の結果となった。
- ・ 養成校別にみると、留学生比率が低い学校に所属する留学生の方が、概ねどの科目においても難しいと感じていない傾向にあった。



<留学生調査クロス集計表>

		調査数	人間の尊厳と自立	人間関係とコミュニケーション	社会の理解	介護の基本	コミュニケーション技術	生活支援技術	介護過程	発達と老化の理解	認知症の理解	障害の理解	こころとからだのしくみ	医療的ケア	難しいと感じる科目はない
	全体	979	46.4	32.2	72.4	38.0	19.8	18.9	32.0	47.4	37.9	41.8	33.6	37.1	1.0
留学生の学力評価試験点数	70点以上	162	43.2	23.5	82.1	38.9	9.9	12.3	22.2	51.2	32.1	47.5	32.7	19.8	0.0
	50点以上70点未満	186	47.8	31.7	76.3	38.2	15.1	15.1	28.5	47.8	37.1	43.0	36.0	32.3	1.1
	50点未満	272	51.8	37.9	70.6	40.4	24.6	23.9	34.9	50.7	41.9	39.7	36.4	49.6	0.4
日本語理解能力	N2以上	324	42.0	26.5	78.4	35.2	13.3	13.0	25.9	46.3	35.8	43.8	32.1	25.0	1.2
	N3以下	652	48.6	35.1	69.8	39.6	23.2	21.9	35.1	48.2	39.1	40.6	34.5	43.3	0.9
看護師資格の有無	看護師資格有	280	46.4	33.6	73.6	39.3	19.3	20.4	27.9	42.9	38.2	38.2	27.9	32.1	0.0
	看護師資格無	699	46.4	31.6	72.0	37.5	20.0	18.3	33.6	49.2	37.8	43.2	35.9	39.1	1.4
介護関連の資格の有無	介護関連の資格有	98	49.0	34.7	65.3	40.8	21.4	27.6	34.7	49.0	36.7	38.8	33.7	39.8	1.0
	介護関連の資格無	881	46.1	31.9	73.2	37.7	19.6	17.9	31.7	47.2	38.0	42.1	33.6	36.8	1.0
看護の仕事の経験の有無	看護師の仕事の経験有	184	42.4	35.9	75.0	37.0	19.6	17.9	26.1	38.0	36.4	37.5	26.6	26.6	0.0
	看護師の仕事の経験無	99	53.5	29.3	71.7	44.4	19.2	24.2	32.3	50.5	41.4	40.4	30.3	42.4	0.0
介護の仕事の経験の有無	介護の仕事の経験有	45	51.1	35.6	62.2	46.7	22.2	20.0	44.4	40.0	31.1	31.1	26.7	42.2	0.0
	介護の仕事の経験無	56	46.4	33.9	69.6	37.5	21.4	32.1	28.6	53.6	41.1	46.4	39.3	37.5	1.8
介護施設でのアルバイト	している	783	47.6	32.8	75.0	39.8	20.2	19.2	33.7	49.0	39.2	42.4	35.4	37.5	0.5
	していない	196	41.3	29.6	62.2	30.6	18.4	17.9	25.0	40.8	32.7	39.3	26.5	35.2	3.1
介護の自宅での勉強時間(授業日)	3時間以上	205	43.4	33.7	69.3	31.2	21.0	19.5	26.8	40.5	34.1	36.6	29.8	34.6	0.5
	1時間以上3時間未満	662	43.7	29.8	72.1	38.8	17.7	18.1	32.0	48.9	38.4	41.8	32.9	36.6	0.9
	学習しない	112	67.9	43.8	80.4	45.5	30.4	22.3	41.1	50.9	42.0	50.9	44.6	44.6	2.7
介護の自宅での勉強時間(非授業日)	3時間以上	285	41.1	30.5	74.4	34.0	19.6	16.8	26.7	41.8	33.7	37.9	28.1	29.8	1.1
	1時間以上3時間未満	570	47.4	31.4	71.6	39.3	19.1	19.5	32.1	48.8	37.5	42.1	35.3	40.2	0.9
	学習しない	124	54.0	39.5	71.8	41.1	23.4	21.0	43.5	54.0	49.2	49.2	38.7	39.5	1.6
介護の補習の参加頻度	概ね参加	691	43.1	30.0	72.5	36.6	18.2	17.9	30.0	48.2	36.9	39.7	34.4	38.2	1.0
	概ね不参加	288	54.2	37.5	72.2	41.3	23.6	21.2	36.8	45.5	40.3	46.9	31.6	34.4	1.0
学校の授業の満足度	満足	805	44.1	29.9	71.2	36.8	18.1	17.4	30.6	45.1	36.5	40.4	31.9	36.5	0.7
	不満足	174	56.9	42.5	78.2	43.7	27.6	25.9	38.5	58.0	44.3	48.3	41.4	39.7	2.3
学校の授業の理解度	分かる	822	44.3	30.4	71.0	35.4	16.9	16.5	29.1	44.0	35.8	38.4	30.7	34.8	1.2
	分からない	157	57.3	41.4	79.6	51.6	35.0	31.2	47.1	65.0	49.0	59.2	49.0	49.0	0.0

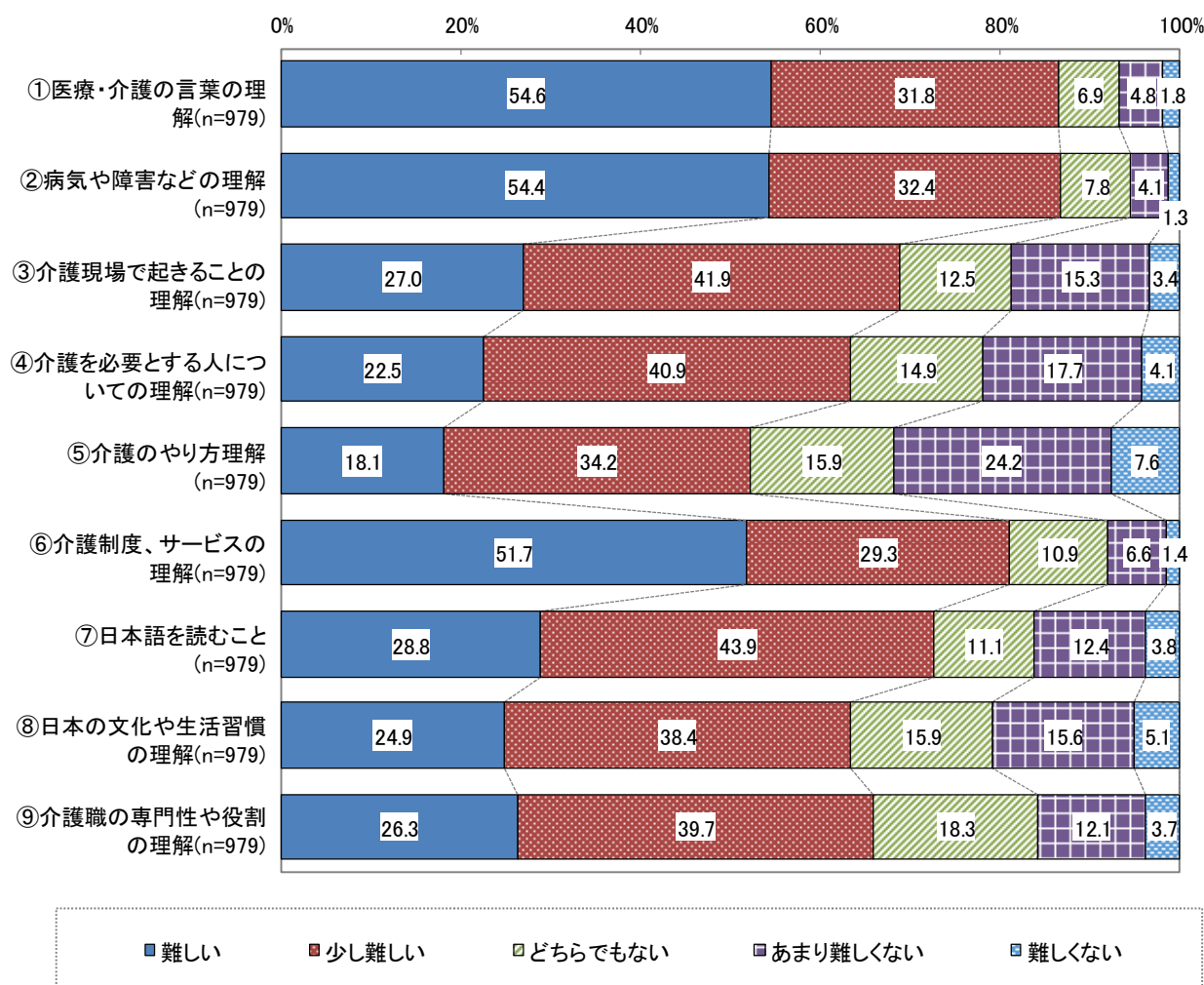
<養成校調査クロス集計表>

		調査数	人間の尊厳と自立	人間関係とコミュニケーション	社会の理解	介護の基本	コミュニケーション技術	生活支援技術	介護過程	発達と老化の理解	認知症の理解	障害の理解	こころとからだのしくみ	医療的ケア	難しいと感じる科目はない
	全体	979	46.4	32.2	72.4	38.0	19.8	18.9	32.0	47.4	37.9	41.8	33.6	37.1	1.0
留学生の学力評価試験点数(学校平均)	70点以上	123	35.8	14.6	85.4	48.0	5.7	13.8	23.6	51.2	30.9	50.4	30.9	16.3	0.0
	50点以上70点未満	269	48.0	33.8	75.1	33.1	14.9	16.4	28.6	46.1	35.7	39.8	31.6	37.9	1.1
	50点未満	264	56.1	37.1	71.6	41.3	26.9	21.2	35.2	51.1	42.4	42.0	39.0	45.8	0.4
R3年3卒業生における留学生比率	75%以上	265	47.9	31.7	71.3	33.6	20.4	17.7	28.3	42.6	31.3	35.1	31.3	41.5	0.8
	50%以上75%未満	250	54.4	37.6	78.8	49.2	24.0	24.0	34.0	54.4	43.6	46.4	35.6	40.0	0.4
	25%以上50%未満	118	38.1	19.5	77.1	28.8	7.6	7.6	32.2	44.9	32.2	38.1	32.2	24.6	0.8
	25%未満	92	43.5	28.3	71.7	37.0	16.3	17.4	35.9	48.9	40.2	44.6	39.1	32.6	1.1

(7) 国家試験の勉強に際しての困難度

問 18：あなたが国家試験について勉強を行う中で、次の項目は、どのくらい難しいですか。

- ・ 「難しい」、「少し難しい」を合わせると、次いで「病気や障害などの理解」が 86.8% (54.4% + 32.4%) が最も高く、次いで「医療・介護の言葉の理解」が 86.4% (54.6% + 31.8%)、「介護制度、サービスの理解」が 81% (51.7% + 29.3%) と続いた。
- ・ 留学生別、養成校別にみると、学力評価試験点数が高い（学力評価試験点数の平均点が高い養成校に所属する）留学生の場合、医療・介護の言葉の理解、日本語を読むこと、日本の文化や生活習慣の理解等、国家試験を受験するにおいて基礎と思われる分野においては、点数が低い学生よりも難しくないとしている傾向にあった。
- ・ また、留学生別にみると、「医療・介護の言葉の理解」、「介護現場で起きることの理解」等の項目において、看護や介護関連の資格ある人ほど、またそれらの仕事経験がある人ほど「難しい」としている傾向が存在した。専門職としての学習段階において、まず言語の理解があった上で専門的な理解に進んでいく課程として、理解が深まっていく過程の途中にあると類推される。



<留学生調査クロス集計表>

①医療・介護の言葉の理解

		調査数	難しい	どちらでもない	難しくない
	全体	979	86.4	6.9	6.6
留学生の学力評価試験点数	70点以上	162	77.1	11.7	11.1
	50点以上70点未満	186	90.9	3.2	5.9
	50点未満	272	90.0	6.3	3.7
日本語理解能力	N2以上	324	76.5	9.9	13.6
	N3以下	652	91.3	5.5	3.3
看護師資格の有無	看護師資格有	280	85.4	8.6	6.1
	看護師資格無	699	86.9	6.3	6.8
介護関連の資格の有無	介護関連の資格有	98	91.9	8.2	0.0
	介護関連の資格無	881	85.8	6.8	7.3
看護の仕事の経験有無	看護師の仕事の経験有	184	85.3	8.7	5.9
	看護師の仕事の経験無	99	85.9	8.1	6.1
介護の仕事の経験有無	介護の仕事の経験有	45	88.9	11.1	0.0
	介護の仕事の経験無	56	94.6	5.4	0.0
介護施設でのアルバイト	している	783	87.2	6.9	5.8
	していない	196	83.2	7.1	9.7
介護の自宅での勉強時間（授業日）	3時間以上	205	87.3	6.3	6.4
	1時間以上3時間未満	662	87.2	7.1	5.8
	学習しない	112	80.4	7.1	12.6
介護の自宅での勉強時間（非授業日）	3時間以上	285	88.1	6.3	5.6
	1時間以上3時間未満	570	86.3	7.0	6.7
	学習しない	124	83.0	8.1	8.8
介護の補講の参加頻度	概ね参加	691	87.3	6.9	5.8
	概ね不参加	288	84.4	6.9	8.7
学校の授業の満足度	満足	805	88.1	5.6	6.3
	不満足	174	78.7	13.2	8.0
学校の授業の理解度	分かる	822	86.4	6.7	6.9
	分からない	157	86.7	8.3	5.0

- ・ 留学生別にみると、学力評価試験点数が低い場合、日本語理解能力が低い場合、学校の授業の満足度が低い場合で、難しいと感じる傾向にあった。
- ・ 介護関連の資格を持ち、かつ介護の経験がある留学生は、難しいと感じる傾向にあったが、看護師資格の有無や、看護の経験の有無によっては差は見られず、いずれも9割弱「難しい」としていた。

②病気や障害などの理解

		調査数	難しい	どちらでもない	難しい
	全体	979	86.8	7.8	5.4
留学生の学力評価試験点数	70点以上	162	80.3	13.6	6.2
	50点以上70点未満	186	92.5	4.8	2.7
	50点未満	272	89.4	7.0	3.6
日本語理解能力	N2以上	324	78.7	11.4	9.9
	N3以下	652	90.8	6.0	3.2
看護師資格の有無	看護師資格有	280	85.0	9.6	5.4
	看護師資格無	699	87.5	7.0	5.4
介護関連の資格の有無	介護関連の資格有	98	83.7	12.2	4.1
	介護関連の資格無	881	87.2	7.3	5.6
看護の仕事の経験有無	看護師の仕事の経験有	184	84.3	9.8	5.9
	看護師の仕事の経験無	99	86.9	9.1	4.0
介護の仕事の経験有無	介護の仕事の経験有	45	82.3	15.6	2.2
	介護の仕事の経験無	56	85.7	8.9	5.4
介護施設でのアルバイト	している	783	87.3	7.9	4.7
	していない	196	84.7	7.1	8.2
介護の自宅での勉強時間（授業日）	3時間以上	205	85.3	9.3	5.4
	1時間以上3時間未満	662	87.7	7.1	5.1
	学習しない	112	84.0	8.9	7.2
介護の自宅での勉強時間（非授業日）	3時間以上	285	85.6	8.1	6.4
	1時間以上3時間未満	570	87.2	8.1	4.7
	学習しない	124	87.9	5.6	6.4
介護の補講の参加頻度	概ね参加	691	87.1	8.4	4.5
	概ね不参加	288	86.1	6.3	7.7
学校の授業の満足度	満足	805	88.0	6.6	5.3
	不満足	174	81.0	13.2	5.7
学校の授業の理解度	分かる	822	86.7	7.2	6.1
	分からない	157	87.3	10.8	1.9

- ・ 留学生別にみると、学校の授業が満足できていない場合で、難しいと感じる傾向にあった。
- ・ 看護師・介護関連の資格を保持している場合、また看護・介護関連の仕事の経験がある場合、やや難しいのポイントが高かったが、資格の有無、経験の有無によらず、いずれも8割以上は「難しい」としていた。

③介護現場で起きることの理解

		調査数	難しい	どちらでもない	難しくない
	全体	979	68.9	12.5	18.7
留学生の学力評価試験点数	70点以上	162	61.7	22.8	15.4
	50点以上70点未満	186	68.8	9.1	22.0
	50点未満	272	73.6	12.1	14.3
日本語理解能力	N2以上	324	55.3	16.0	28.7
	N3以下	652	75.8	10.6	13.7
看護師資格の有無	看護師資格有	280	71.4	12.9	15.7
	看護師資格無	699	67.8	12.3	19.8
介護関連の資格の有無	介護関連の資格有	98	76.5	10.2	13.2
	介護関連の資格無	881	68.0	12.7	19.3
看護の仕事の経験有無	看護師の仕事の経験有	184	73.9	10.3	15.8
	看護師の仕事の経験無	99	67.7	17.2	15.2
介護の仕事の経験有無	介護の仕事の経験有	45	77.7	13.3	8.9
	介護の仕事の経験無	56	76.8	7.1	16.1
介護施設でのアルバイト	している	783	69.6	12.4	18.0
	していない	196	65.8	12.8	21.4
介護の自宅での勉強時間（授業日）	3時間以上	205	71.7	11.2	17.1
	1時間以上3時間未満	662	68.3	12.4	19.3
	学習しない	112	67.0	15.2	17.9
介護の自宅での勉強時間（非授業日）	3時間以上	285	67.1	11.2	21.8
	1時間以上3時間未満	570	70.0	13.2	16.9
	学習しない	124	67.7	12.1	20.2
介護の補講の参加頻度	概ね参加	691	68.1	12.9	18.9
	概ね不参加	288	70.5	11.5	18.1
学校の授業の満足度	満足	805	69.8	11.4	18.8
	不満足	174	64.4	17.2	18.3
学校の授業の理解度	分かる	822	68.5	11.4	20.1
	分からない	157	70.7	17.8	11.5

- ・ 留学生別にみると、学力評価試験点数が低い場合、日本語理解能力が低い場合等で、難しいと感じる傾向にあった。
- ・ 介護関連の資格を保持している場合、難しいと感じる傾向にあった。

④介護を必要とする人についての理解

		調査数	難しい	どちらでもない	難しい
	全体	979	63.4	14.9	21.8
留学生の学力評価試験点数	70点以上	162	61.7	18.5	19.7
	50点以上70点未満	186	60.2	14.5	25.3
	50点未満	272	65.8	15.8	18.4
日本語理解能力	N2以上	324	54.3	17.6	28.1
	N3以下	652	68.1	13.7	18.2
看護師資格の有無	看護師資格有	280	67.5	16.4	16.1
	看護師資格無	699	61.6	14.3	24.1
介護関連の資格の有無	介護関連の資格有	98	69.4	15.3	15.3
	介護関連の資格無	881	62.6	14.9	22.5
看護の仕事の経験有無	看護師の仕事の経験有	184	68.4	16.8	14.6
	看護師の仕事の経験無	99	66.6	15.2	18.2
介護の仕事の経験有無	介護の仕事の経験有	45	71.1	22.2	6.7
	介護の仕事の経験無	56	69.7	8.9	21.5
介護施設でのアルバイト	している	783	64.2	15.1	20.7
	していない	196	59.7	14.3	26.0
介護の自宅での勉強時間（授業日）	3時間以上	205	66.8	13.7	19.5
	1時間以上3時間未満	662	62.4	15.1	22.5
	学習しない	112	62.5	16.1	21.4
介護の自宅での勉強時間（非授業日）	3時間以上	285	61.4	13.0	25.6
	1時間以上3時間未満	570	64.2	16.3	19.5
	学習しない	124	63.7	12.9	23.4
介護の補講の参加頻度	概ね参加	691	63.7	14.2	22.1
	概ね不参加	288	62.5	16.7	20.9
学校の授業の満足度	満足	805	64.4	13.3	22.4
	不満足	174	58.6	22.4	18.9
学校の授業の理解度	分かる	822	62.4	14.0	23.6
	分からない	157	68.2	19.7	12.1

- ・ 日本語理解能力が低い場合、学校の授業の理解が低い場合、難しいと感じる傾向にあった。
- ・ 看護師・介護関連の資格を保持している場合、看護・介護関連の仕事の経験がある場合、介護施設でのアルバイトをしている場合、介護の自宅での勉強を多くしている場合で、難しいと感じる傾向にあった。

⑤介護のやり方理解

		調査数	難しい	どちらでもない	難しくない
	全体	979	52.3	15.9	31.8
留学生の学力評価試験点数	70点以上	162	53.7	21.0	25.3
	50点以上70点未満	186	45.7	18.3	36.0
	50点未満	272	53.6	16.9	29.4
日本語理解能力	N2以上	324	45.7	19.1	35.2
	N3以下	652	55.6	14.4	30.1
看護師資格の有無	看護師資格有	280	51.4	20.0	28.5
	看護師資格無	699	52.6	14.3	33.0
介護関連の資格の有無	介護関連の資格有	98	55.1	20.4	24.5
	介護関連の資格無	881	52.0	15.4	32.6
看護の仕事の経験有無	看護師の仕事の経験有	184	52.7	21.2	26.1
	看護師の仕事の経験無	99	50.5	17.2	32.3
介護の仕事の経験有無	介護の仕事の経験有	45	60.0	22.2	17.7
	介護の仕事の経験無	56	53.6	17.9	28.6
介護施設でのアルバイト	している	783	52.5	16.2	31.3
	していない	196	51.6	14.8	33.6
介護の自宅での勉強時間（授業日）	3時間以上	205	56.6	17.1	26.4
	1時間以上3時間未満	662	50.9	14.8	34.3
	学習しない	112	52.7	20.5	26.8
介護の自宅での勉強時間（非授業日）	3時間以上	285	51.5	13.7	34.7
	1時間以上3時間未満	570	51.6	17.0	31.4
	学習しない	124	57.3	16.1	26.6
介護の補講の参加頻度	概ね参加	691	50.6	17.2	32.2
	概ね不参加	288	56.2	12.8	30.9
学校の授業の満足度	満足	805	53.3	14.8	31.9
	不満足	174	47.7	21.3	31.0
学校の授業の理解度	分かる	822	51.7	15.0	33.4
	分からない	157	55.4	21.0	23.6

- ・ 日本語理解能力が低い場合、介護の仕事の経験がない場合、介護の補講に参加していない場合で、難しいとする傾向にあった。
- ・ 介護の仕事の経験がある留学生の方が、難しいとしている傾向にあった。

⑥介護制度、サービスの理解

		調査数	難しい	どちらでもない	難しくもない
	全体	979	81.0	10.9	8.0
留学生の学力評価試験点数	70点以上	162	83.9	11.7	4.3
	50点以上70点未満	186	85.0	9.1	5.9
	50点未満	272	77.6	13.2	9.2
日本語理解能力	N2以上	324	83.3	11.1	5.5
	N3以下	652	80.1	10.7	9.2
看護師資格の有無	看護師資格有	280	83.6	11.1	5.4
	看護師資格無	699	80.0	10.9	9.2
介護関連の資格の有無	介護関連の資格有	98	76.5	17.3	6.1
	介護関連の資格無	881	81.5	10.2	8.3
看護の仕事の経験の有無	看護師の仕事の経験有	184	84.2	10.9	4.9
	看護師の仕事の経験無	99	82.8	11.1	6.1
介護の仕事の経験の有無	介護の仕事の経験有	45	75.5	20.0	4.4
	介護の仕事の経験無	56	78.5	14.3	7.1
介護施設でのアルバイト	している	783	81.6	11.6	6.8
	していない	196	78.6	8.2	13.2
介護の自宅での勉強時間（授業日）	3時間以上	205	80.5	11.2	8.3
	1時間以上3時間未満	662	82.2	10.0	7.9
	学習しない	112	75.0	16.1	8.9
介護の自宅での勉強時間（非授業日）	3時間以上	285	82.8	8.4	8.8
	1時間以上3時間未満	570	80.0	12.3	7.7
	学習しない	124	81.4	10.5	8.0
介護の補講の参加頻度	概ね参加	691	81.1	10.7	8.2
	概ね不参加	288	80.9	11.5	7.6
学校の授業の満足度	満足	805	82.0	9.7	8.4
	不満足	174	76.4	16.7	6.9
学校の授業の理解度	分かる	822	81.5	9.7	8.8
	分からない	157	78.3	17.2	4.5

- ・ 介護の自宅での勉強時間が多い場合、学校の授業に満足している場合等で難しいと感じる傾向にあった。特筆的な傾向はみられず、いずれの分類においても8割程度「難しい」とされていた。
- ・ 介護制度やサービスの理解についてはどの学生においても「難しい」と考えられているといえる。

⑦日本語を読むこと

		調査数	難しい	どちらでもない	難しくない
	全体	979	72.7	11.1	16.2
留学生の学力評価試験点数	70点以上	162	<u>61.8</u>	16.0	<u>22.2</u>
	50点以上70点未満	186	75.3	10.8	14.0
	50点未満	272	<u>78.7</u>	8.8	12.5
日本語理解能力	N2以上	324	<u>58.9</u>	13.6	<u>27.5</u>
	N3以下	652	<u>79.6</u>	9.8	10.5
看護師資格の有無	看護師資格有	280	76.8	11.4	11.8
	看護師資格無	699	71.1	11.0	17.9
介護関連の資格の有無	介護関連の資格有	98	<u>82.6</u>	11.2	<u>6.1</u>
	介護関連の資格無	881	71.6	11.1	17.3
看護の仕事の経験有無	看護師の仕事の経験有	184	76.6	12.5	10.8
	看護師の仕事の経験無	99	76.8	9.1	14.1
介護の仕事の経験有無	介護の仕事の経験有	45	<u>84.4</u>	15.6	<u>0.0</u>
	介護の仕事の経験無	56	<u>80.3</u>	7.1	12.5
介護施設でのアルバイト	している	783	73.9	10.7	15.3
	していない	196	67.8	12.8	19.4
介護の自宅での勉強時間（授業日）	3時間以上	205	<u>78.0</u>	9.8	12.2
	1時間以上3時間未満	662	72.9	11.0	16.0
	学習しない	112	<u>61.6</u>	14.3	<u>24.1</u>
介護の自宅での勉強時間（非授業日）	3時間以上	285	75.1	9.5	15.4
	1時間以上3時間未満	570	71.9	11.6	16.5
	学習しない	124	71.0	12.9	16.1
介護の補講の参加頻度	概ね参加	691	75.1	10.3	14.6
	概ね不参加	288	<u>67.0</u>	13.2	19.8
学校の授業の満足度	満足	805	74.8	9.6	15.7
	不満足	174	<u>63.2</u>	<u>18.4</u>	18.4
学校の授業の理解度	分かる	822	72.6	10.1	17.3
	分からない	157	73.2	<u>16.6</u>	<u>10.1</u>

- ・ 学力評価試験点数が低い場合、日本語理解能力が低い場合、難しいと感じる傾向にあった。
- ・ 介護関連の資格がある留学生の方が、難しいとしている傾向にあった。

⑧日本の文化や生活習慣の理解

		調査数	難しい	どちらでもない	難しくない
	全体	979	63.3	15.9	20.7
留学生の学力評価試験点数	70点以上	162	58.0	24.1	17.9
	50点以上70点未満	186	61.3	17.7	20.9
	50点未満	272	66.2	14.3	19.5
日本語理解能力	N2以上	324	55.3	20.1	24.7
	N3以下	652	67.3	14.0	18.7
看護師資格の有無	看護師資格有	280	64.3	17.5	18.2
	看護師資格無	699	63.0	15.3	21.8
介護関連の資格の有無	介護関連の資格有	98	69.4	15.3	15.3
	介護関連の資格無	881	62.6	16.0	21.3
看護の仕事の経験有無	看護師の仕事の経験有	184	68.5	15.2	16.3
	看護師の仕事の経験無	99	56.6	21.2	22.2
介護の仕事の経験有無	介護の仕事の経験有	45	71.1	20.0	8.9
	介護の仕事の経験無	56	67.8	10.7	21.4
介護施設でのアルバイト	している	783	65.1	16.3	18.5
	していない	196	56.2	14.3	29.6
介護の自宅での勉強時間（授業日）	3時間以上	205	60.5	17.1	22.5
	1時間以上3時間未満	662	64.6	15.6	19.8
	学習しない	112	60.8	16.1	23.2
介護の自宅での勉強時間（非授業日）	3時間以上	285	65.6	15.1	19.3
	1時間以上3時間未満	570	62.7	15.6	21.8
	学習しない	124	61.3	19.4	19.4
介護の補講の参加頻度	概ね参加	691	64.7	15.1	20.2
	概ね不参加	288	60.1	18.1	21.8
学校の授業の満足度	満足	805	64.2	15.0	20.7
	不満足	174	59.2	20.1	20.7
学校の授業の理解度	分かる	822	64.4	14.5	21.0
	分からない	157	57.4	23.6	19.1

- ・ 学力評価試験点数が低い場合、日本語理解能力が低い場合、難しいと感じる傾向にあった。

⑨介護職の専門性や役割の理解

		調査数	難しい	どちらでもない	難しくない
	全体	979	66.0	18.3	15.8
留学生の学力評価試験点数	70点以上	162	61.1	25.9	13.0
	50点以上70点未満	186	66.1	19.9	14.0
	50点未満	272	68.4	18.0	13.6
日本語理解能力	N2以上	324	56.2	24.1	19.8
	N3以下	652	71.0	15.3	13.7
看護師資格の有無	看護師資格有	280	70.4	18.2	11.4
	看護師資格無	699	64.3	18.3	17.5
介護関連の資格の有無	介護関連の資格有	98	72.5	17.3	10.2
	介護関連の資格無	881	65.3	18.4	16.4
看護の仕事の経験有無	看護師の仕事の経験有	184	70.6	17.9	11.5
	看護師の仕事の経験無	99	69.7	19.2	11.1
介護の仕事の経験有無	介護の仕事の経験有	45	77.8	20.0	2.2
	介護の仕事の経験無	56	67.9	16.1	16.1
介護施設でのアルバイト	している	783	67.6	18.0	14.4
	していない	196	59.7	19.4	20.9
介護の自宅での勉強時間（授業日）	3時間以上	205	69.3	16.6	14.1
	1時間以上3時間未満	662	65.9	18.7	15.4
	学習しない	112	60.8	18.8	20.6
介護の自宅での勉強時間（非授業日）	3時間以上	285	66.3	17.9	15.8
	1時間以上3時間未満	570	65.9	18.6	15.4
	学習しない	124	65.3	17.7	16.9
介護の補講の参加頻度	概ね参加	691	66.4	17.8	15.8
	概ね不参加	288	64.9	19.4	15.7
学校の授業の満足度	満足	805	67.8	16.1	16.0
	不満足	174	57.5	28.2	14.4
学校の授業の理解度	分かる	822	66.5	17.0	16.4
	分からない	157	63.0	24.8	12.1

- ・ 学力評価試験点数が低い場合、日本語理解能力が低い場合、難しいと感じる傾向にあった。
- ・ 介護関連の資格を持ち、かつ介護の経験がある留学生は、難しいと感じる傾向にあった。

<養成校調査クロス集計表>

①医療・介護の言葉の理解

		調査数	難しい	どちらでもない	難しくない
	全体	979	86.4	6.9	6.6
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	123	81.3	9.8	8.9
	50点以上70点未満	269	86.3	6.7	7.1
	50点未満	264	89.0	6.4	4.5
R3年3月卒業生における留学生比率	75%以上	265	85.3	7.5	7.1
	50%以上75%未満	250	88.8	7.6	3.6
	25%以上50%未満	118	79.7	8.5	11.9
	25%未満	92	85.9	8.7	5.4
入学時日本語要件	N2以上	219	84.5	6.8	8.7
	N3以下	301	86.1	8.6	5.3
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	345	86.4	7.2	6.4
	3種類未満	634	86.4	6.8	6.8

・ 養成校別にみたところ、特筆的な特徴はなかった。

②病気や障害などの理解

		調査数	難しい	どちらでもない	難しくない
	全体	979	86.8	7.8	5.4
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	123	87.0	8.9	4.0
	50点以上70点未満	269	86.2	9.3	4.4
	50点未満	264	89.1	6.4	4.6
R3年3月卒業生における留学生比率	75%以上	265	85.3	7.2	7.5
	50%以上75%未満	250	86.4	9.6	4.0
	25%以上50%未満	118	83.9	10.2	5.9
	25%未満	92	89.2	6.5	4.4
入学時日本語要件	N2以上	219	86.7	5.5	7.7
	N3以下	301	87.0	8.3	4.7
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	345	88.7	6.7	4.6
	3種類未満	634	85.8	8.4	5.8

・ 養成校別にみたところ、特筆的な特徴はなかった。

③介護現場で起きることの理解

		調査数	難しい	どちらでもない	難しくない
	全体	979	68.9	12.5	18.7
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	123	64.3	21.1	14.7
	50点以上70点未満	269	66.9	12.6	20.5
	50点未満	264	73.5	11.4	15.2
R3年3月卒業生における留学生比率	75%以上	265	70.2	9.8	20.0
	50%以上75%未満	250	70.0	15.6	14.4
	25%以上50%未満	118	60.1	15.3	24.6
	25%未満	92	68.5	7.6	23.9
入学時日本語要件	N2以上	219	66.2	10.5	23.3
	N3以下	301	69.7	13.0	17.3
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	345	68.9	11.6	19.4
	3種類未満	634	68.7	12.9	18.3

- ・ 養成校別にみたところ、留学生比率が低い養成校に所属する留学生の場合、難しいと感じていない傾向にあった。

④介護を必要とする人についての理解

		調査数	難しい	どちらでもない	難しくない
	全体	979	63.4	14.9	21.8
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	123	61.8	22.0	16.3
	50点以上70点未満	269	61.3	17.1	21.6
	50点未満	264	65.1	12.9	22.0
R3年3月卒業生における留学生比率	75%以上	265	61.1	12.5	26.4
	50%以上75%未満	250	64.8	17.6	17.6
	25%以上50%未満	118	55.0	18.6	26.2
	25%未満	92	58.7	15.2	26.1
入学時日本語要件	N2以上	219	56.6	16.0	27.4
	N3以下	301	65.5	15.6	18.9
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	345	62.6	14.2	23.2
	3種類未満	634	63.7	15.3	21.0

- ・ 養成校別にみたところ、入学時日本語要件を N2 以上とした学校に所属する留学生の場合、難しいと感じていない傾向にあった。

⑤介護のやり方理解

		調査数	難しい	どちらでもない	難しくない
	全体	979	52.3	15.9	31.8
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	123	53.7	19.5	26.9
	50点以上70点未満	269	50.5	18.2	31.3
	50点未満	264	51.2	17.0	31.8
R3年3月卒業生における留学生比率	75%以上	265	50.2	17.7	32.1
	50%以上75%未満	250	55.6	14.8	29.6
	25%以上50%未満	118	48.3	13.6	38.2
	25%未満	92	40.2	18.5	41.3
入学時日本語要件	N2以上	219	48.0	14.6	37.4
	N3以下	301	52.2	18.9	28.9
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	345	51.0	15.1	33.9
	3種類未満	634	52.9	16.4	30.6

- ・ 養成校別にみたところ、留学生比率が低い養成校に所属する留学生の場合、入学時日本語要件を N2 以上とした学校に所属する留学生の場合で、難しいと感じていない傾向にあった。

⑥介護制度、サービスの理解

		調査数	難しい	どちらでもない	難しくない
	全体	979	81.0	10.9	8.0
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	123	84.6	13.0	2.4
	50点以上70点未満	269	82.5	11.9	5.6
	50点未満	264	77.7	11.7	10.6
R3年3月卒業生における留学生比率	75%以上	265	78.5	13.2	8.3
	50%以上75%未満	250	82.4	10.0	7.6
	25%以上50%未満	118	82.2	11.9	5.9
	25%未満	92	76.0	13.0	10.9
入学時日本語要件	N2以上	219	81.8	12.8	5.5
	N3以下	301	81.1	11.0	7.9
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	345	81.7	11.3	6.9
	3種類未満	634	80.6	10.7	8.7

- ・ 養成校別にみたところ、学力評価試験点数の平均点が低い養成校に所属する留学生の場合、難しいと感じていない傾向にあった。

⑦日本語を読むこと

		調査数	難しい	どちらでもない	難しくない
	全体	979	72.7	11.1	16.2
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	123	68.3	12.2	19.5
	50点以上70点未満	269	73.3	10.8	16.0
	50点未満	264	74.2	11.4	14.4
R3年3月卒業生における留学生比率	75%以上	265	71.3	11.7	17.0
	50%以上75%未満	250	72.4	13.2	14.4
	25%以上50%未満	118	64.4	11.9	23.7
	25%未満	92	76.1	15.2	8.7
入学時日本語要件	N2以上	219	70.3	11.0	18.8
	N3以下	301	73.1	13.3	13.6
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	345	70.4	11.6	18.0
	3種類未満	634	73.9	10.9	15.2

- ・ 養成校別にみたところ、特筆的な特徴はなかった。

⑧日本の文化や生活習慣の理解

		調査数	難しい	どちらでもない	難しくない
	全体	979	63.3	15.9	20.7
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	123	65.9	20.3	13.8
	50点以上70点未満	269	63.2	17.1	19.7
	50点未満	264	60.6	17.8	21.6
R3年3月卒業生における留学生比率	75%以上	265	62.7	15.8	21.5
	50%以上75%未満	250	62.0	18.0	20.0
	25%以上50%未満	118	55.1	21.2	23.7
	25%未満	92	60.9	18.5	20.6
入学時日本語要件	N2以上	219	56.2	16.9	26.9
	N3以下	301	63.4	18.3	18.3
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	345	60.8	15.9	23.2
	3種類未満	634	64.7	15.9	19.4

- ・ 養成校別にみたところ、入学時日本語要件を N2 以上とした学校に所属する留学生の場合、難しいと感じていない傾向にあった。

⑨介護職の専門性や役割の理解

		調査数	難しい	どちらでもない	難しくない
	全体	979	66.0	18.3	15.8
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	123	66.6	22.0	11.4
	50点以上70点未満	269	63.2	23.4	13.4
	50点未満	264	67.5	17.0	15.5
R3年3月卒業生における留学生比率	75%以上	265	63.0	17.4	19.6
	50%以上75%未満	250	66.8	19.6	13.6
	25%以上50%未満	118	55.9	27.1	16.9
	25%未満	92	64.1	21.7	14.1
入学時日本語要件	N2以上	219	59.4	21.5	19.1
	N3以下	301	65.1	21.3	13.6
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	345	61.1	22.6	16.2
	3種類未満	634	68.6	15.9	15.4

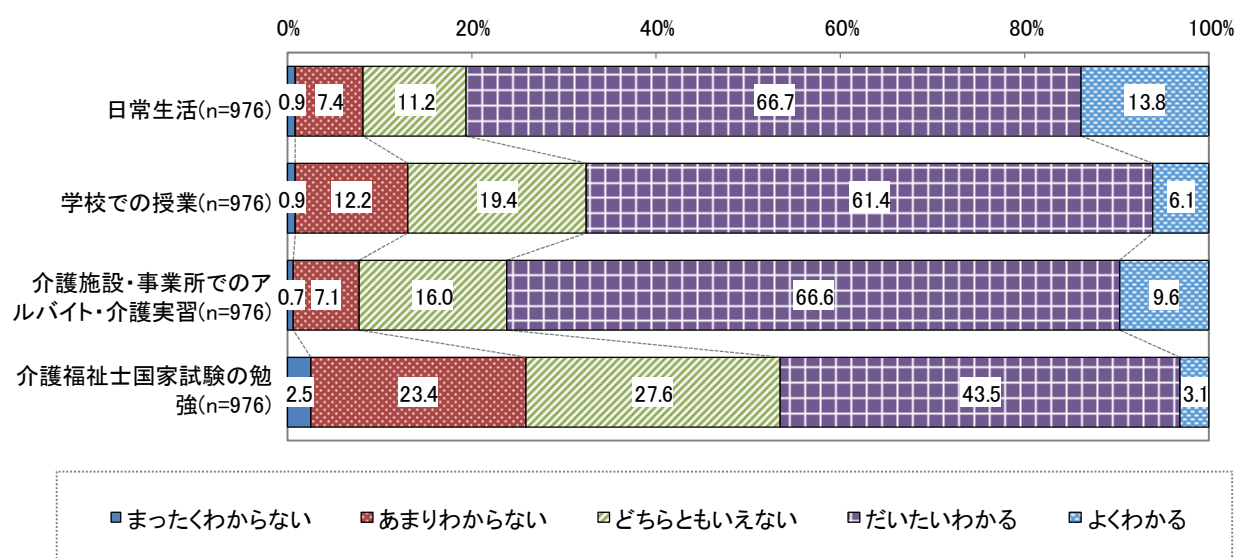
- ・ 養成校別にみたところ、入学時日本語要件を N2 以上とした学校に所属する留学生の場合、難しいと感じていない傾向にあった。

3. 日本語の勉強について

(1) 日本語理解のレベル

問 20：あなたは、次の場面で、どのくらい日本語がわかりますか。

- ・ 「よくわかる」と「だいたいわかる」を合わせると、「日常生活」が 80.5%（13.8%+66.7%）と最も高く、次いで「介護施設・事業所でのアルバイト・介護実習」が 76.2%（66.6%+9.6%）と続いた。
- ・ 留学生別、養成校別にみると、学力評価試験点数が高い（学力評価試験点数の平均点が高い養成校に所属する）留学生の場合、どのような環境においても日本語がわかるという傾向が高く、特に介護福祉士国家試験の勉強に関しては、この傾向が最も高かった。



<留学生調査クロス集計表>

日常生活

		調査数	わからない	どちらとも いえない	わかる
	全体	976	8.3	11.2	80.5
留学生の学力評価試験点数	70点以上	161	5.0	8.7	86.3
	50点以上70点未満	185	10.2	11.4	78.4
	50点未満	272	8.5	12.1	79.4
日本語理解能力	N2以上	324	4.6	8.3	87.1
	N3以下	652	10.1	12.6	77.3
看護師資格の有無	看護師資格有	280	9.3	11.1	79.7
	看護師資格無	696	7.9	11.2	80.9
介護関連の資格の有無	介護関連の資格有	98	9.2	10.2	80.6
	介護関連の資格無	878	8.2	11.3	80.6
看護の仕事の経験有無	看護師の仕事の経験有	184	9.3	7.6	83.1
	看護師の仕事の経験無	99	9.1	17.2	73.8
介護の仕事の経験有無	介護の仕事の経験有	45	11.1	6.7	82.2
	介護の仕事の経験無	56	7.1	12.5	80.4
居住形態	一人暮らし	328	7.0	11.3	81.7
	それ以外	631	9.2	11.3	79.6
介護施設でのアルバイト	している	781	8.9	10.8	80.4
	していない	195	6.1	12.8	81.0
介護の自宅での勉強時間（授業日）	3時間以上	205	10.3	9.3	80.5
	1時間以上3時間未満	659	7.0	11.1	82.0
	学習しない	112	12.5	15.2	72.4
介護の自宅での勉強時間（非授業日）	3時間以上	283	7.1	7.1	85.9
	1時間以上3時間未満	570	7.5	12.8	79.7
	学習しない	123	14.7	13.0	72.3
介護の補講の参加頻度	概ね参加	689	7.7	9.1	83.2
	概ね不参加	287	9.8	16.0	74.2
学校の授業の満足度	満足	803	7.9	9.0	83.1
	不満足	173	9.8	21.4	68.8
学校の授業の理解度	分かる	819	6.7	8.7	84.6
	分からない	157	16.6	24.2	59.2

- ・ 学力評価試験点数が高い場合、日本語理解能力が高い場合、介護の自宅での勉強時間が長い場合、学校の授業の満足度・理解度が高い場合等で、わかると感じる傾向にあり、特に学校の授業の満足度・理解度が高い場合でその差が大きかった。

学校での授業

		調査数	わからない	どちらとも いえない	わかる
全体		976	13.1	19.4	67.5
留学生の学力評価試験点数	70点以上	161	8.1	16.8	75.1
	50点以上70点未満	185	13.0	22.2	64.9
	50点未満	272	13.9	19.5	66.5
日本語理解能力	N2以上	324	7.4	18.5	74.1
	N3以下	652	16.0	19.8	64.2
看護師資格の有無	看護師資格有	280	11.8	18.2	70.0
	看護師資格無	696	13.7	19.8	66.6
介護関連の資格の有無	介護関連の資格有	98	12.2	11.2	76.5
	介護関連の資格無	878	13.2	20.3	66.5
看護の仕事の経験有無	看護師の仕事の経験有	184	11.4	15.8	72.8
	看護師の仕事の経験無	99	13.1	22.2	64.6
介護の仕事の経験有無	介護の仕事の経験有	45	13.3	8.9	77.8
	介護の仕事の経験無	56	12.5	12.5	75.0
介護施設でのアルバイト	している	781	12.8	19.1	68.1
	していない	195	14.3	20.5	65.1
介護の自宅での勉強時間（授業日）	3時間以上	205	15.1	18.0	66.8
	1時間以上3時間未満	659	11.1	19.0	70.0
	学習しない	112	21.5	24.1	54.5
介護の自宅での勉強時間（非授業日）	3時間以上	283	9.2	14.5	76.3
	1時間以上3時間未満	570	11.9	21.6	66.5
	学習しない	123	27.7	20.3	52.1
介護の補講の参加頻度	概ね参加	689	11.9	18.4	69.7
	概ね不参加	287	16.0	21.6	62.4
学校の授業の満足度	満足	803	11.5	17.2	71.4
	不満足	173	20.8	29.5	49.7
学校の授業の理解度	分かる	819	9.4	16.6	74.0
	分からない	157	32.5	33.8	33.8

- ・ 学力評価試験点数が高い場合、日本語理解能力が高い場合、介護の自宅での勉強時間が長い場合、学校の授業の満足度・理解度が高い場合等で、わかると感じる傾向にあった。

介護施設・事業所でのアルバイト・介護実習

		調査数	わからない	どちらとも いえない	わかる
	全体	976	7.8	16.0	76.2
留学生の学力評価試験点数	70点以上	161	5.0	16.8	78.3
	50点以上70点未満	185	10.8	16.8	72.4
	50点未満	272	7.0	16.9	76.1
日本語理解能力	N2以上	324	5.9	13.0	81.2
	N3以下	652	8.7	17.5	73.8
看護師資格の有無	看護師資格有	280	8.6	15.4	76.1
	看護師資格無	696	7.5	16.2	76.3
介護関連の資格の有無	介護関連の資格有	98	9.2	15.3	75.5
	介護関連の資格無	878	7.6	16.1	76.3
看護の仕事の経験有無	看護師の仕事の経験有	184	9.3	13.0	77.7
	看護師の仕事の経験無	99	7.1	19.2	73.8
介護の仕事の経験有無	介護の仕事の経験有	45	13.3	6.7	80.0
	介護の仕事の経験無	56	5.4	21.4	73.2
介護施設でのアルバイト	している	781	7.7	15.0	77.3
	していない	195	8.2	20.0	71.8
介護の自宅での勉強時間（授業日）	3時間以上	205	11.7	12.7	75.6
	1時間以上3時間未満	659	6.0	15.9	78.2
	学習しない	112	11.6	22.3	66.0
介護の自宅での勉強時間（非授業日）	3時間以上	283	7.1	10.6	82.3
	1時間以上3時間未満	570	7.0	16.8	76.1
	学習しない	123	13.1	24.4	62.6
介護の補講の参加頻度	概ね参加	689	7.0	15.7	77.4
	概ね不参加	287	9.7	16.7	73.6
学校の授業の満足度	満足	803	7.4	12.8	79.7
	不満足	173	9.3	30.6	60.1
学校の授業の理解度	分かる	819	6.0	12.1	81.9
	分からない	157	17.1	36.3	46.5

- ・ 日本語理解能力が高い場合、介護の仕事の経験がある場合、介護の自宅での勉強時間が長い場合、学校の授業の満足度・理解度が高い場合等で、わかると感じる傾向にあった。

介護福祉士国家試験の勉強

		調査数	わからない	どちらとも いえない	わかる
全体		976	25.9	27.6	46.6
留学生の学力評価試験点数	70点以上	161	<u>10.5</u>	31.1	<u>58.4</u>
	50点以上70点未満	185	28.6	31.4	40.0
	50点未満	272	<u>32.3</u>	26.8	40.8
日本語理解能力	N2以上	324	<u>15.4</u>	29.9	<u>54.7</u>
	N3以下	652	<u>31.0</u>	26.4	42.6
看護師資格の有無	看護師資格有	280	24.6	30.0	45.4
	看護師資格無	696	26.3	26.6	47.1
介護関連の資格の有無	介護関連の資格有	98	28.6	21.4	50.0
	介護関連の資格無	878	25.5	28.2	46.3
看護の仕事の経験の有無	看護師の仕事の経験有	184	24.5	27.7	47.8
	看護師の仕事の経験無	99	25.3	<u>34.3</u>	40.4
介護の仕事の経験の有無	介護の仕事の経験有	45	26.6	26.7	46.7
	介護の仕事の経験無	56	30.4	<u>17.9</u>	<u>51.8</u>
介護施設でのアルバイト	している	781	26.3	27.7	46.1
	していない	195	24.2	27.2	48.7
介護の自宅での勉強時間（授業日）	3時間以上	205	27.3	24.9	47.8
	1時間以上3時間未満	659	23.7	28.1	48.3
	学習しない	112	<u>35.7</u>	29.5	<u>34.9</u>
介護の自宅での勉強時間（非授業日）	3時間以上	283	<u>20.5</u>	25.8	<u>53.7</u>
	1時間以上3時間未満	570	24.4	29.5	46.1
	学習しない	123	<u>44.7</u>	22.8	<u>32.5</u>
介護の補講の参加頻度	概ね参加	689	24.4	27.7	47.9
	概ね不参加	287	29.3	27.2	43.6
学校の授業の満足度	満足	803	24.5	26.2	49.3
	不満足	173	<u>31.7</u>	<u>34.1</u>	<u>34.1</u>
学校の授業の理解度	分かる	819	22.7	26.3	51.0
	分からない	157	<u>42.1</u>	<u>34.4</u>	<u>23.6</u>

- ・ 学力評価試験点数が高い場合、日本語理解能力が高い場合、介護の自宅での勉強時間が長い場合、学校の授業の満足度・理解度が高い場合等で、わかると感じる傾向にあった。
- ・ 特に、学力評価試験点数の多寡による差が大きく、高得点のためには国家試験の日本語に慣れることが必要と類推される。

<養成校調査クロス集計表>

日常生活

		調査数	わからない	どちらとも いえない	わかる
全体		976	8.3	11.2	80.5
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	123	5.7	11.4	82.9
	50点以上70点未満	267	6.8	11.2	82.1
	50点未満	264	12.5	11.4	76.2

学校での授業

		調査数	わからない	どちらとも いえない	わかる
全体		976	13.1	19.4	67.5
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	123	8.1	18.7	73.2
	50点以上70点未満	267	10.8	20.2	68.9
	50点未満	264	16.6	20.1	63.3

介護施設・事業所でのアルバイト・介護実習

		調査数	わからない	どちらとも いえない	わかる
全体		976	7.8	16.0	76.2
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	123	7.3	14.6	78.0
	50点以上70点未満	267	6.0	18.0	76.0
	50点未満	264	9.5	16.7	73.9

介護福祉士国家試験の勉強

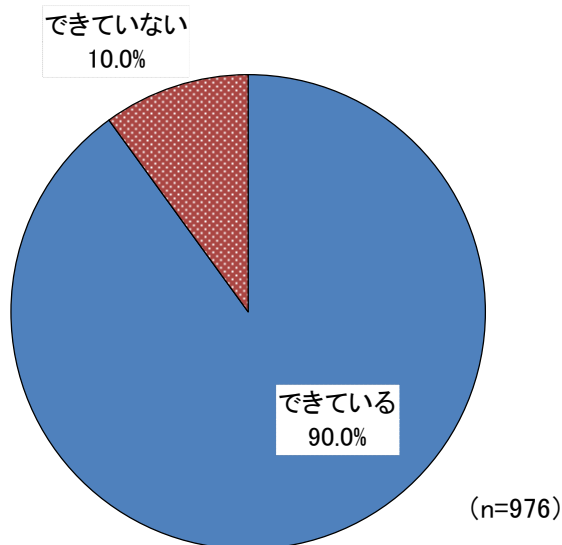
		調査数	わからない	どちらとも いえない	わかる
全体		976	25.9	27.6	46.6
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	123	13.0	28.5	58.6
	50点以上70点未満	267	24.7	33.0	42.3
	50点未満	264	33.7	25.8	40.5

- ・ 養成校別でみると、いずれの環境においても、入学時日本語要件を N2 以上とした学校に所属する留学生の場合、わかるとする傾向にあり、特に介護福祉士国家試験の勉強においては、その差が顕著であった。

(2) 日本語学習の相談

問 21：あなたが、日本語の勉強に困ったとき、あなたは、学校の先生や職員に相談できますか。

- ・ 「できている」(90.0%)、「できていない」(10.0%)であった。
- ・ 介護施設でのアルバイトをしていない場合、介護の自宅での勉強ができていない場合、学校の授業に満足していない場合、学校の授業の理解度が低い場合で、相談もできていない傾向にあった。
- ・ 養成校別にみたところ、特筆的な特徴はなかった。



<留学生調査クロス集計表>

		調査数	できている	できていない
全体		976	90.0	10.0
介護施設でのアルバイト	している	781	91.3	8.7
	していない	195	84.6	15.4
介護の自宅での勉強時間（授業日）	3時間以上	205	92.7	7.3
	1時間以上3時間未満	659	90.9	9.1
	学習しない	112	79.5	20.5
介護の自宅での勉強時間（非授業日）	3時間以上	283	94.0	6.0
	1時間以上3時間未満	570	90.0	10.0
	学習しない	123	80.5	19.5
学校の授業の満足度	満足	803	92.8	7.2
	不満足	173	76.9	23.1
学校の授業の理解度	分かる	819	92.1	7.9
	分からない	157	79.0	21.0

<養成校調査クロス集計表>

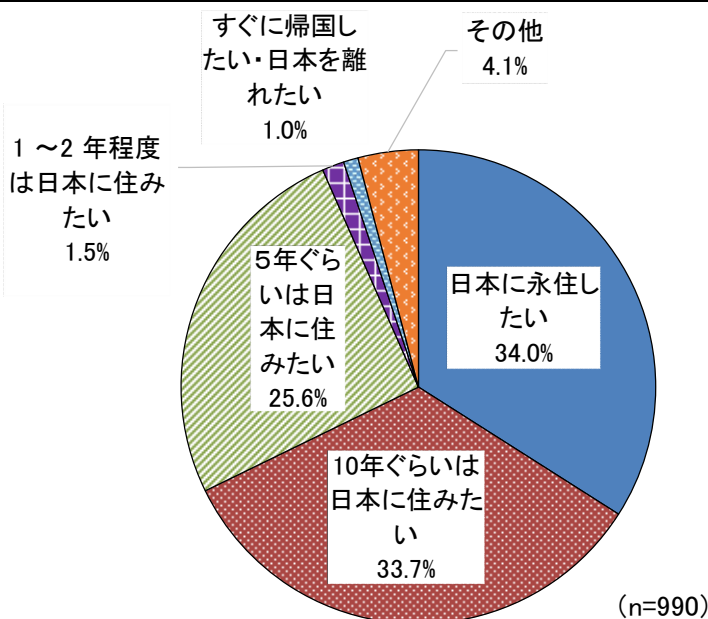
- ・ 特筆的な特徴なし

4. 将来について

(1) 卒後の在日要望

問 9：あなたは、学校を卒業したあと、どのくらい日本に住みたいですか。

- ・ 「日本に永住したい」が34.0%と最も高く、次いで「10年ぐらいは日本に住みたい」が33.7%、「5年ぐらいは日本に住みたい」が25.6%と続いた。
- ・ 看護や介護の経験がある留学生の方が永住したいとする傾向にあった。
- ・ 養成校別にみたところ、特筆的な特徴はなかった。



<留学生調査クロス集計表>

		調査数	日本に永住したい	10年ぐらいは日本に住みたい	5年ぐらいは日本に住みたい	1~2年程度は日本に住みたい	すぐに帰国したい・日本を離れたい	その他
全体		990	34.0	33.7	25.6	1.5	1.0	4.1
看護師資格の有無	看護師資格有	285	26.0	36.1	29.8	1.1	1.1	6.0
	看護師資格無	705	37.3	32.8	23.8	1.7	1.0	3.4
介護関連の資格の有無	介護関連の資格有	103	37.9	29.1	26.2	2.9	1.0	2.9
	介護関連の資格無	887	33.6	34.3	25.5	1.4	1.0	4.3
看護の仕事の経験有無	看護師の仕事の経験有	186	28.5	34.4	29.0	1.6	1.6	4.8
	看護師の仕事の経験無	102	21.6	40.2	30.4	0.0	0.0	7.8
介護の仕事の経験有無	介護の仕事の経験有	45	51.1	28.9	11.1	6.7	0.0	2.2
	介護の仕事の経験無	61	27.9	31.1	36.1	0.0	1.6	3.3

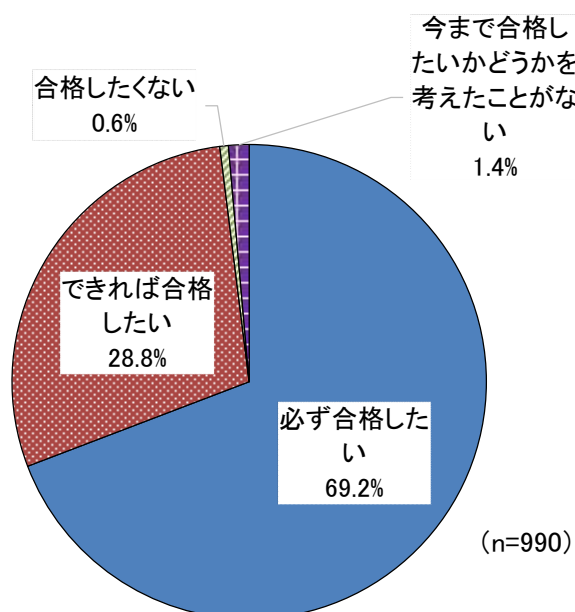
<養成校調査クロス集計表>

- ・ 特筆的な特徴なし

(2) 介護福祉士国家資格の取得要望

問 10：あなたは、介護福祉士国家試験に合格したいですか。

- ・ 「必ず合格したい」が 69.2%と最も高く、次いで「できれば合格したい」が 28.8%、「今まで合格したいかどうかを考えたことがない」が 1.4%、「合格したくない」が 0.6%となった。
- ・ 学力評価試験点数が高い場合、日本語理解能力が高い場合、最終学歴が高い場合、看護師資格がある場合、介護職員としての目指す将来像が管理者層以上の場合、介護の自宅での勉強時間が多い場合で、必ず合格したいとする傾向があった。
- ・ 養成校別にみると、学力評価試験点数の平均点が高い養成校に所属する留学生ほど、入学時日本語要件を N2 以上に設定している養成校に所属する留学生ほど、また留学生受け入れ意向が増やしたいとしている学校に所属する留学生ほど、必ず合格したいとする傾向があった。



<留学生調査クロス集計表>

		調査数	必ず合格したい	できれば合格したい	合格したくない	今まで合格したいかどうかを考えたことがない
全体		990	69.2	28.8	0.6	1.4
留学生の学力評価試験点数	70点以上	163	89.0	9.8	1.2	0.0
	50点以上70点未満	186	69.4	28.0	1.1	1.6
	50点未満	273	58.6	38.8	0.4	2.2
日本語理解能力	N2以上	324	80.2	18.5	0.9	0.3
	N3以下	652	64.0	33.9	0.3	1.8
最終学歴	大卒以上	242	76.4	19.8	0.8	2.9
	大卒未満	748	66.8	31.7	0.5	0.9
看護師資格の有無	看護師資格有	285	76.1	22.5	0.7	0.7
	看護師資格無	705	66.4	31.3	0.6	1.7
看護の仕事の経験有無	看護師の仕事の経験有	186	79.6	19.4	0.5	0.5
	看護師の仕事の経験無	102	69.6	28.4	1.0	1.0
介護職員としての将来像	介護施設・事業所等を経営したい	201	74.6	23.9	0.5	1.0
	介護施設・事業所等でリーダーとして頑張りたい	451	73.6	25.3	0.4	0.7
	介護施設・事業所等で働けるだけでいい	311	60.1	37.6	0.3	1.9
	介護施設・事業所等で働きたいと思わない	27	59.3	22.2	7.4	11.1
介護の自宅での勉強時間（授業日）	3時間以上	207	71.5	28.0	0.0	0.5
	1時間以上3時間未満	666	69.8	28.7	0.3	1.2
	学習しない	112	62.5	29.5	3.6	4.5
介護の自宅での勉強時間（非授業日）	3時間以上	288	78.8	20.1	0.3	0.7
	1時間以上3時間未満	572	68.9	29.7	0.2	1.2
	学習しない	125	49.6	43.2	3.2	4.0

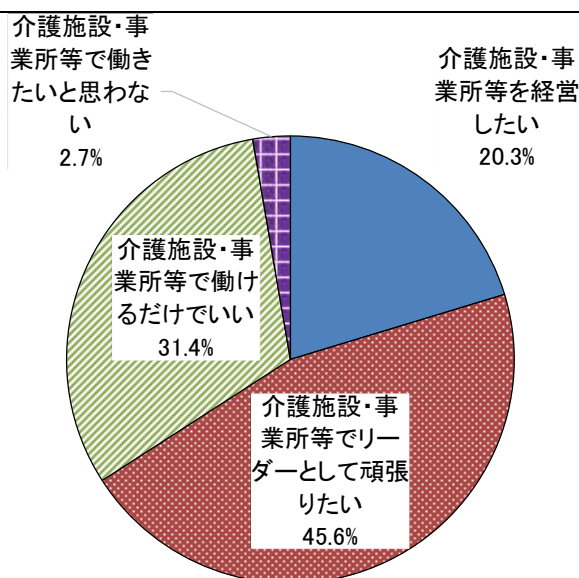
<養成校調査クロス集計表>

		調査数	必ず合格したい	できれば合格したい	合格したくない	今まで合格したいかどうかを考えたことがない
全体		990	69.2	28.8	0.6	1.4
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	124	88.7	8.9	1.6	0.8
	50点以上70点未満	269	66.5	31.6	0.7	1.1
	50点未満	265	61.1	36.2	0.4	2.3
入学時日本語要件	N2以上	219	75.3	21.5	1.8	1.4
	N3以下	302	65.2	34.1	0.0	0.7
留学生受入れ意向	増やしたい	143	77.6	21.7	0.0	0.7
	現状を維持したい	487	67.8	30.6	0.6	1.0
	減らしたい・やめたい	97	64.9	28.9	3.1	3.1

(3) 介護職の像

問 11：あなたは就職後、どんな介護職員になりたいですか。

- ・「介護施設・事業所等でリーダーとして頑張りたい」が 45.6%と最も高く、次いで「介護施設・事業所等で働けるだけでいい」が 31.4%と続いた。
- ・介護関連の資格有の（特に介護の仕事の経験がある）場合、長期の日本滞在希望がある場合、国家試験への合格意欲がある場合、日本語理解能力が高い場合で、介護施設・事業所を経営したい、リーダーとして頑張りたい等の管理職以上のキャリアを望む傾向にあった。
- ・養成校別にみたところ、特筆的な特徴はなかった。



<留学生調査クロス集計表>

(n=990)

		調査数	介護施設・事業所等を経営したい	介護施設・事業所等でリーダーとして頑張りたい	介護施設・事業所等で働けるだけでいい	介護施設・事業所等で働きたいと思わない
	全体	990	20.3	45.6	31.4	2.7
介護関連の資格の有無	介護関連の資格有	103	25.2	48.5	22.3	3.9
	介護関連の資格無	887	19.7	45.2	32.5	2.6
介護の仕事の経験の有無	介護の仕事の経験有	45	28.9	55.6	11.1	4.4
	介護の仕事の経験無	61	23.0	41.0	32.8	3.3
居住形態	一人暮らし	336	22.3	49.7	26.2	1.8
	それ以外	636	19.2	43.7	34.1	3.0
長期の日本滞在希望	10年以上	671	22.2	51.1	24.7	1.9
	10年未満	319	16.3	33.9	45.5	4.4
国家試験への合格意欲	必ず合格したい	685	21.9	48.5	27.3	2.3
	出来れば合格したい	285	16.8	40.0	41.1	2.1
	合格したくない、考えたことがない	20	15.0	25.0	35.0	25.0
日本語理解能力	N2以上	324	21.6	45.4	28.7	4.3
	N3以下	652	19.3	46.0	32.8	1.8

<養成校調査クロス集計表>

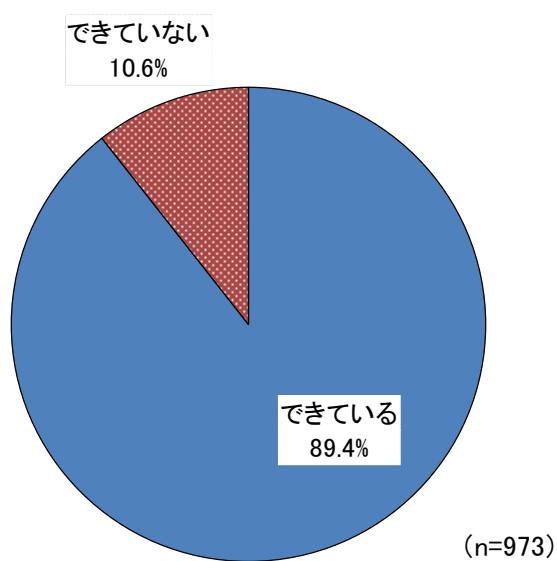
- ・特筆的な特徴なし

5. 日本での生活について

(1) 生活相談

問 22：あなたが、日本での生活に困ったとき、あなたは、学校の先生や職員に相談できますか。

- ・ 「できている」(89.4%)、「できていない」(10.6%)であった。
- ・ 介護施設のアルバイトをしていない場合、国家試験の合格意欲が低い場合、介護職員としての将来像で働きたいと思わない場合、介護の自宅での勉強時間が少ない場合、学校の授業の満足度が低い場合、学校の授業の理解度が低い場合で、相談できない傾向にあった。
- ・ 養成校別にみたところ、特筆的な特徴はなかった。



<留学生調査クロス集計表>

		調査数	できている	できていない
	全体	973	89.4	10.6
介護施設でのアルバイト	している	779	91.0	9.0
	していない	194	83.0	17.0
国家試験への合格意欲	必ず合格したい	676	89.5	10.5
	出来れば合格したい	279	90.3	9.7
	合格したくない、考えたことがない	18	72.2	27.8
介護職員としての将来像	介護施設・事業所等を経営したい	195	92.8	7.2
	介護施設・事業所等でリーダーとして頑張りたい	446	88.8	11.2
	介護施設・事業所等で働けるだけでいい	306	89.2	10.8
	介護施設・事業所等で働きたいと思わない	26	76.9	23.1
介護の自宅での勉強時間（授業日）	3時間以上	204	92.2	7.8
	1時間以上3時間未満	657	90.6	9.4
	学習しない	112	77.7	22.3
介護の自宅での勉強時間（非授業日）	3時間以上	282	92.2	7.8
	1時間以上3時間未満	568	89.3	10.7
	学習しない	123	83.7	16.3
学校の授業の満足度	満足	801	91.8	8.2
	不満足	172	78.5	21.5
学校の授業の理解度	分かる	816	91.2	8.8
	分からない	157	80.3	19.7

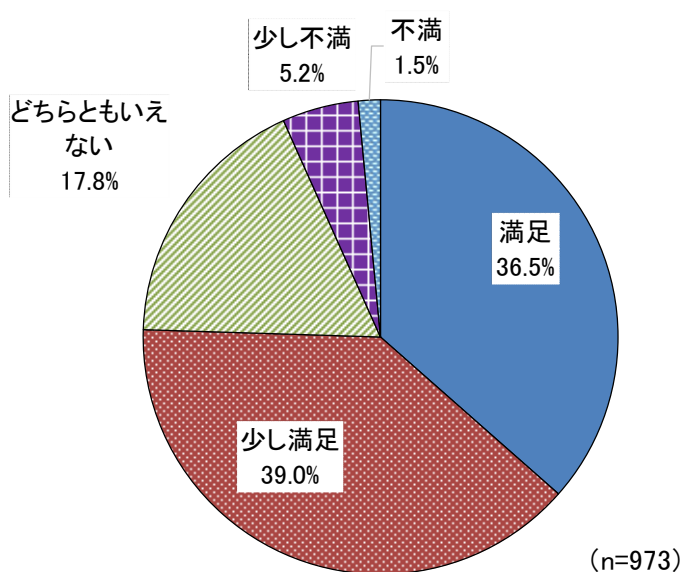
<養成校調査クロス集計表>

- ・特筆的な特徴なし

(2) 生活の満足度

問 23：あなたは、日本の生活に満足していますか。

- ・ 「少し満足」が 39.0%と最も高く、次いで「満足」が 36.5%が続いた。
- ・ 国家試験の合格意欲が低い場合、介護の自宅での勉強時間が少ない場合、学校の授業の満足度が低い場合、学校の授業の理解度が低い場合で、満足できていない傾向にあった。
- ・ 養成校別にみたところ、特筆的な特徴はなかった。



<留学生調査クロス集計表>

	調査数	満足	少し満足	どちらともいえない	少し不満	不満	
全体	973	36.5	39.0	17.8	5.2	1.5	
国家試験への合格意欲	必ず合格したい	676	37.4	39.3	16.1	5.9	1.2
	出来れば合格したい	279	35.5	38.7	20.8	3.6	1.4
	合格したくない、考えたことがない	18	16.7	27.8	33.3	5.6	16.7
介護の自宅での勉強時間 (授業日)	3時間以上	204	43.1	35.3	14.7	5.9	1.0
	1時間以上3時間未満	657	36.8	40.3	17.2	4.4	1.2
	学習しない	112	22.3	37.5	26.8	8.9	4.5
介護の自宅での勉強時間 (非授業日)	3時間以上	282	41.8	36.9	16.0	4.6	0.7
	1時間以上3時間未満	568	34.3	42.6	16.7	4.9	1.4
	学習しない	123	34.1	26.8	26.8	8.1	4.1
学校の授業の満足度	満足	801	41.9	41.2	12.5	3.9	0.5
	不満足	172	11.0	28.5	42.4	11.6	6.4
学校の授業の理解度	分かる	816	39.0	42.0	14.1	4.4	0.5
	分からない	157	23.6	22.9	36.9	9.6	7.0

<養成校調査クロス集計表>

- ・ 特筆的な特徴なし

第 4 章 養成校での留学生の 学習指導に関する調査結果

※クロス集計表については、以下の通り色付けを行っています。

平均 10%以上 : 赤網掛け赤文字
平均 5%以上 10%未満 : 赤文字
平均 5%以下 10%未満 : 青文字
平均 10%以下 : 青網掛け青文字

※ クロス集計に関しては、全体 n 数 20 以下の設問については添付していません。

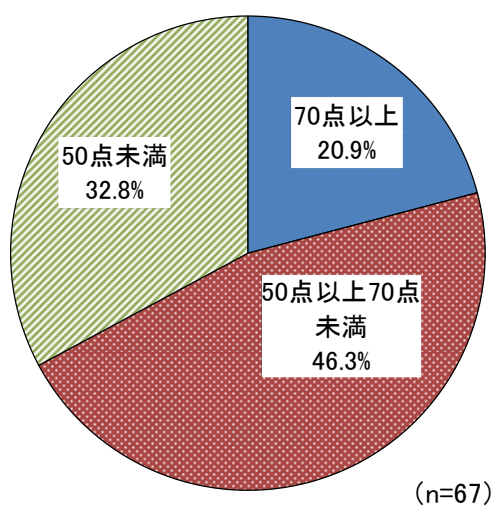
1. 養成校に所属する留学生の情報

(1) 留学生の学力評価試験の点数

令和元年度に行った学力評価試験のうち、留学生調査、学力評価試験に回答があり、かつ留学生の所属する養成校が本養成校調査に回答している条件の全てを満たした留学生計 631 名（養成校 67 校分）の回答からグラフを作成している。

- ※ 学力評価試験とは、当協会が1年に1回実施する、介護福祉士国家試験の模擬試験のことをいう
- ※ 満点は、介護福祉士国家試験と同じく 125 点となっている
- ※ 養成校の回答者 120 校のうち、留学生アンケート、学力評価試験いずれのデータの紐づけができた 67 校を n 数とする
- ※ (2) 以降は学力評価試験の紐づけができない養成校も n 数に含まれるため、最大 n 数は 120 となる。

・ 各養成校の学力評価試験の点数の平均を算出したところ、「50 点以上 70 点未満」が 46.3%と最も高く、次いで「50 点未満」が 32.8%、「70 点以上」が 20.9%であった。



(2) 留学生の国家試験合格率

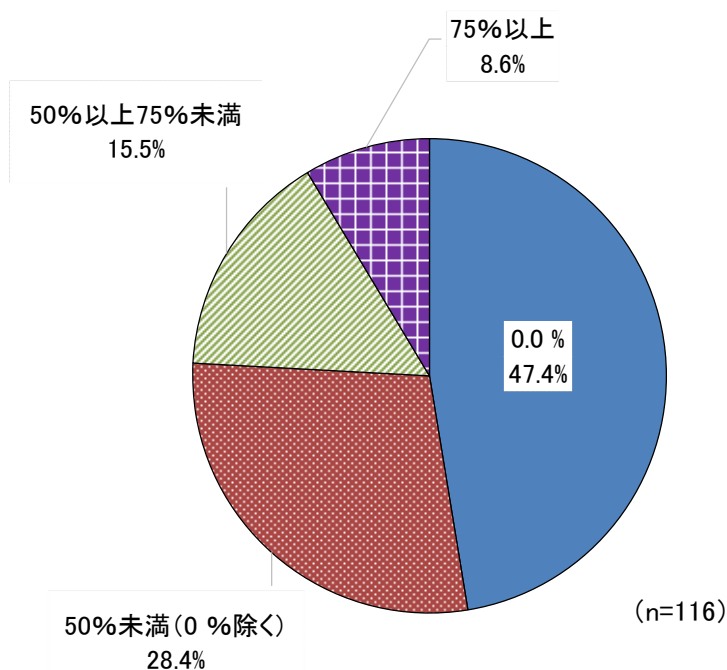
問2：貴校を卒業した留学生の人数と日本人学生の人数、及び介護福祉士国家試験受験者数と合格者数を教えてください。なお、留学生においては、日本語能力試験のレベル別に人数を教えてください。

※ 以下クロス集計にかかる一部（留学生の国家試験合格率）を掲載

※ 留学生の国家試験合格率＝平成31年度＋令和2年度の留学生数のうち国家試験合格者数÷（平成31年度＋令和2年度の入学時の留学生数－平成31年度＋令和2年度の卒業までに退学者した留学生数）

※ 受験者のうちの合格者の割合ではないことに注意

- ・平成31年度と令和2年度の各養成校の卒業生のうち、国家試験に合格した留学生の率を算出したところ、「0%」が47.4%と最も高く、次いで「50%未満（0%除く）」が28.4%、「50%以上75%未満」が15.5%、「75%以上」が8.6%となった。



(3) 令和3年3月卒業予定の学生のうち留学生の割合

問1：現在（令和2年11月1日）貴校に所属している令和3年3月卒業予定者の留学生、日本人学生の人数を教えてください。なお、留学生においては、日本語能力試験のレベル別に人数を教えてください。

- ・ 令和3年3月卒業予定者の日本人学生の養成校平均は13.9人、留学生は9.4人となった。
- ・ 留学生平均人数のうち、日本語能力レベル（日本語能力試験の結果）を確認したところ、N3保持者が最も多く2.9人となった。

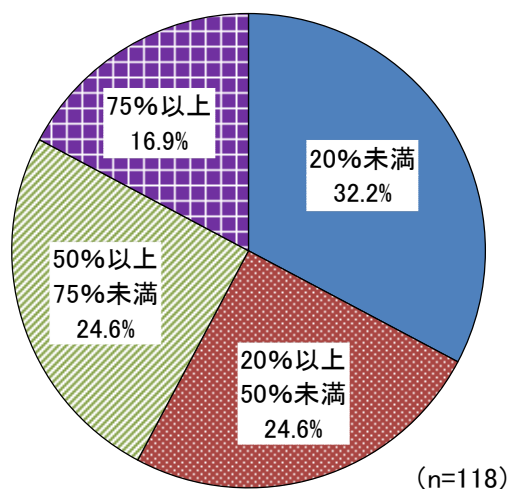
R3年3月卒業予定者の学生数	調査数	平均（人）	
		日本人学生	留学生
全体	118	13.9	9.4

R3年3月卒業予定者の留学生における日本語能力レベル	調査数	平均（人）						
		N1	N2	N3	N4	N5	未認定	未把握
全体	118	0.3	2.4	2.9	0.4	0.2	1.5	1.6

※ 以下クロス集計にかかる一部（留学生比率）を掲載

※ 留学生比率＝留学生総数÷（日本人学生数＋留学生総数）

- ・ 令和3年3月卒業予定の学生のうち、留学生が占める割合を算出したところ、「20%未満」が32.2%と最も高く、次いで「50%以上75%未満」および「20%以上50%未満」が24.6%、「75%以上」が16.9%となった。

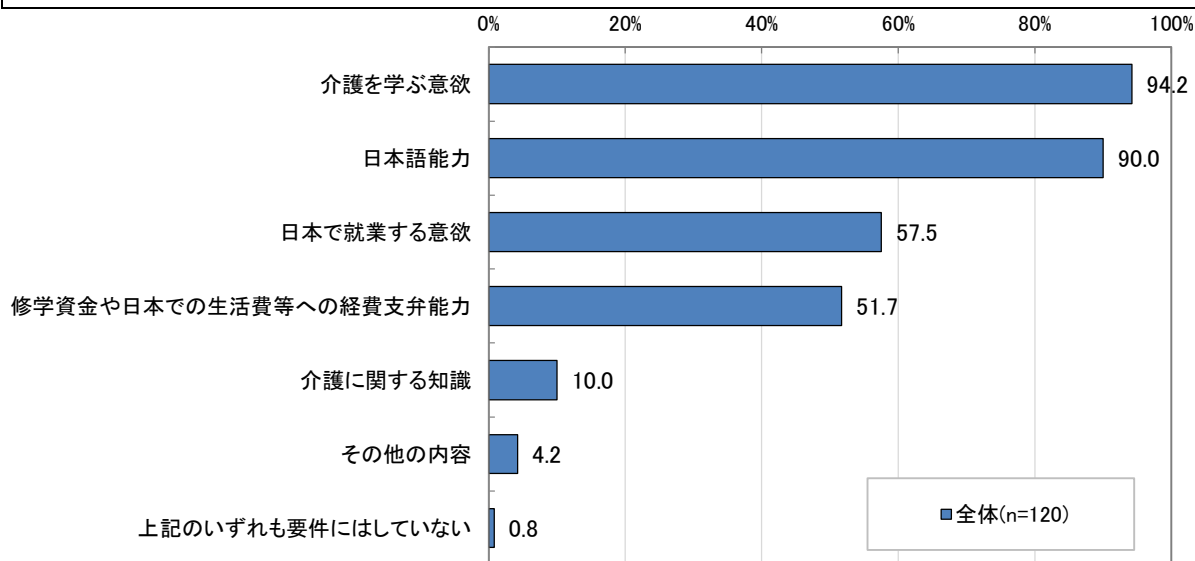


2. 留学生に求める能力・資質

(1) 合格要件

問3：貴校では、留学生の入学試験（選抜）において、どのような留学生の能力を合格の要件にしていますか。

- ・「介護を学ぶ意欲」が94.2%と最も高く、次いで「日本語能力」が90.0%と続いた。
- ・養成校別にみると、学力評価試験点数が高い学校においては、「日本で就業する意欲」や「修学資金や日本での生活費等への経費支弁能力」を確認していない傾向にあった。

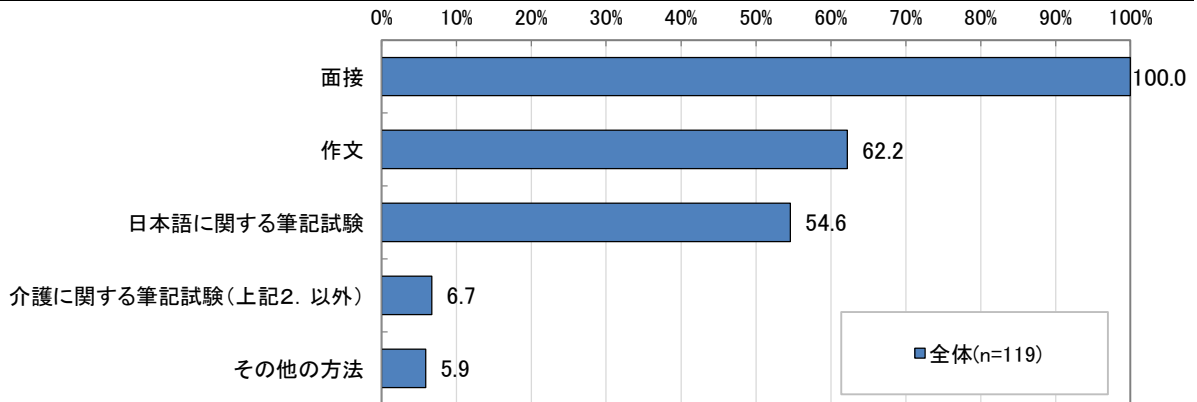


	調査数	介護に関する知識	日本語能力	介護を学ぶ意欲	日本で就業する意欲	修学資金や日本での生活費等への経費支弁能力	その他の内容	上記のいずれも要件にはしていない
全体	120	10.0	90.0	94.2	57.5	51.7	4.2	0.8
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	13	15.4	84.6	92.3	46.2	30.8	0.0
	50点以上70点未満	30	20.0	100.0	96.7	70.0	60.0	6.7
	50点未満	18	5.6	88.9	88.9	55.6	55.6	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の国家試験合格者率（留学生合計1人以上5人未満の学校）	100%	12	8.3	91.7	100.0	41.7	66.7	8.3
	75%以上（100%除く）	1	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0
	50%以上75%未満	6	16.7	83.3	100.0	83.3	16.7	0.0
	50%未満（0%除く）	4	50.0	100.0	100.0	50.0	50.0	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の国家試験合格者率（留学生5人以上の学校）	0%	11	0.0	90.9	90.9	54.5	63.6	0.0
	100%	2	0.0	50.0	100.0	100.0	50.0	0.0
	75%以上（100%除く）	6	16.7	100.0	66.7	50.0	0.0	0.0
	50%以上75%未満	9	11.1	88.9	100.0	44.4	66.7	0.0
R3年3月卒業生における留学生比率	50%未満（0%除く）	21	14.3	90.5	95.2	76.2	61.9	4.8
	0%	14	0.0	92.9	100.0	50.0	50.0	14.3
	75%以上	20	10.0	90.0	95.0	60.0	45.0	0.0
R3年3月卒業生における留学生比率	75%以上	20	10.0	90.0	95.0	60.0	45.0	0.0
	50%以上75%未満	29	17.2	89.7	100.0	69.0	51.7	3.4
	25%以上50%未満	23	8.7	91.3	95.7	56.5	39.1	8.7
25%未満	46	6.5	89.1	89.1	50.0	60.9	4.3	

【問3で「7. 上記のいずれも要件にはしていない」以外を回答の方】

問3-1：貴校では、入学試験で確認する留学生の能力について、どのような方法で確認していますか。

- ・「面接」はすべての学校で行われており100.0%と最も高く、次いで「作文」が62.2%と続いた。
- ・入学試験で確認する能力を「面接」のみで確認している学校は13校（10.9%）あった。
- ・養成校別にみると、留学生比率が高い学校においては「作文」や「介護に関する筆記試験」を行っている傾向にあった。

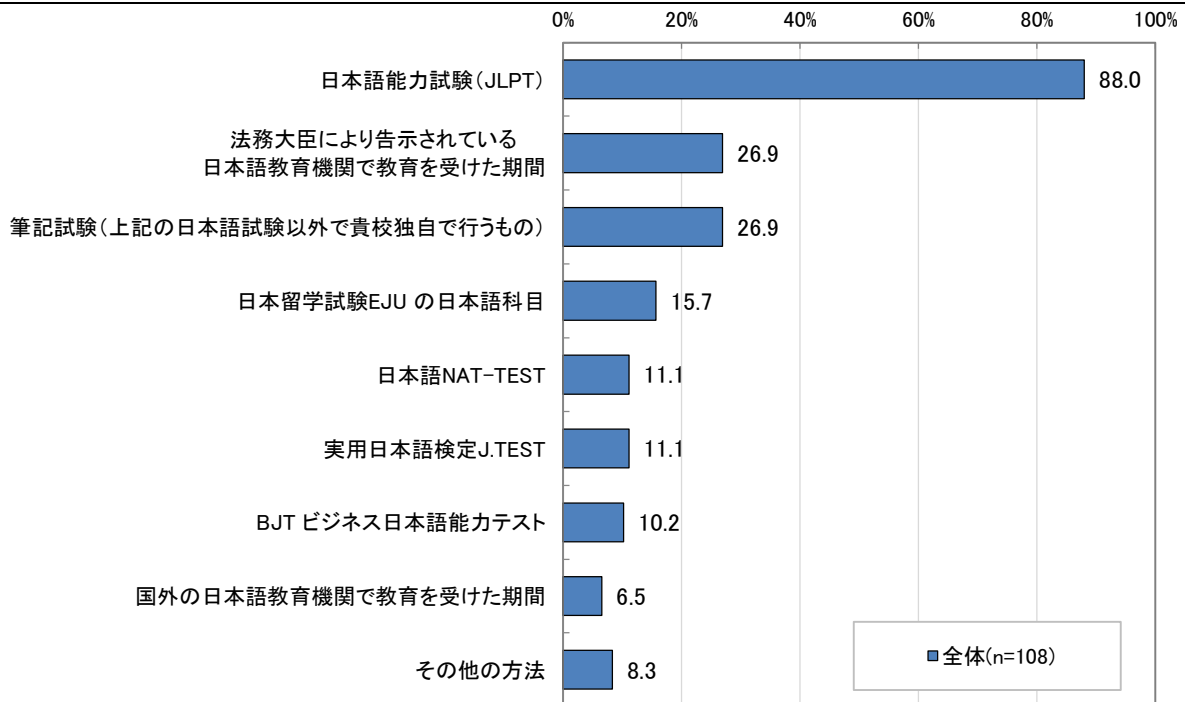


		調査数	面接	作文	介護に関する筆記試験(上記2. 以外)	日本語に関する筆記試験	その他の方法
全体		119	100.0	62.2	6.7	54.6	5.9
留学生の学力評価試験点数(学校平均)	70点以上	13	100.0	69.2	7.7	46.2	0.0
	50点以上70点未満	30	100.0	60.0	10.0	60.0	6.7
	50点未満	18	100.0	55.6	0.0	61.1	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の国家試験合格率(留学生合計1人以上5人未満の学校)	100%	12	100.0	50.0	0.0	50.0	16.7
	75%以上(100%除く)	1	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0
	50%以上75%未満	6	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	50%未満(0%除く)	4	100.0	25.0	25.0	100.0	0.0
	0%	10	100.0	60.0	10.0	60.0	20.0
H31年3月・R2年3月の留学生の国家試験合格率(留学生5人以上の学校)	100%	2	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	75%以上(100%除く)	6	100.0	66.7	16.7	66.7	0.0
	50%以上75%未満	9	100.0	77.8	0.0	55.6	0.0
	50%未満(0%除く)	21	100.0	66.7	9.5	57.1	4.8
	0%	14	100.0	85.7	7.1	50.0	7.1
R3年3月卒業生における留学生比率	75%以上	20	100.0	80.0	20.0	55.0	10.0
	50%以上75%未満	29	100.0	58.6	13.8	58.6	0.0
	25%以上50%未満	23	100.0	69.6	0.0	56.5	8.7
	25%未満	45	100.0	53.3	0.0	53.3	6.7

【問3で「2. 日本語能力」と回答の方】

問3-2：貴校では、「日本語能力」の要件をどのレベルに定めていますか。

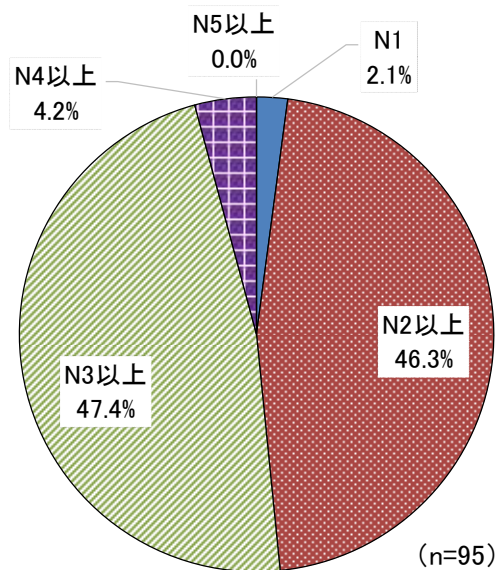
- ・「日本語能力試験（JLPT）」が88.0%と最も高く、次いで「法務大臣により告示されている日本語教育機関で教育を受けた期間」、「筆記試験（上記の日本語試験以外で貴校独自で行うもの）」が26.9%と続いた。
- ・その他の意見としては、「特に定めていない」、「日本語学校の成績」等の意見が挙げられた。
- ・養成校別にみると、学力評価試験点数が低い学校においては、「日本語能力試験（JLPT）」等の試験で確認する割合が低く、「法務大臣により告示されている日本語教育機関で教育を受けた期間」や、「その他の方法」で日本語能力を確認し、入学させている割合が高い。



	調査数	日本語能力試験(JLPT)	日本語NAT-TEST	実用日本語検定J.TEST	日本留学試験EJUの日本語科目	BJT ビジネス日本語能力テスト	法務大臣により告示されている日本語教育機関で教育を受けた期間	国外の日本語教育機関で教育を受けた期間	筆記試験(上記の日本語試験以外で貴校独自で行うもの)	その他の方法	
全体	108	88.0	11.1	11.1	15.7	10.2	26.9	6.5	26.9	8.3	
留学生の学力評価試験点数(学校平均)	70点以上	11	90.9	18.2	27.3	9.1	9.1	27.3	9.1	36.4	9.1
	50点以上70点未満	30	96.7	6.7	6.7	6.7	3.3	13.3	3.3	26.7	6.7
	50点未満	16	81.3	6.3	0.0	25.0	25.0	43.8	6.3	25.0	18.8
H31年3月・R2年3月の留学生の国家試験合格率(留学生合計1人以上5人未満の学校)	100%	11	90.9	27.3	27.3	18.2	9.1	18.2	18.2	27.3	9.1
	75%以上(100%除く)	1	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0
	50%以上75%未満	5	80.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0
	50%未満(0%除く)	4	75.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0
0%	10	90.0	0.0	20.0	30.0	20.0	20.0	0.0	30.0	10.0	
H31年3月・R2年3月の留学生の国家試験合格率(留学生5人以上の学校)	100%	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	75%以上(100%除く)	6	100.0	16.7	33.3	0.0	0.0	16.7	16.7	33.3	0.0
	50%以上75%未満	8	75.0	25.0	12.5	0.0	0.0	62.5	12.5	25.0	12.5
	50%未満(0%除く)	19	84.2	5.3	0.0	15.8	10.5	36.8	5.3	26.3	5.3
0%	13	100.0	7.7	15.4	15.4	15.4	15.4	0.0	23.1	7.7	
R3年3月卒業生における留学生比率	75%以上	18	88.9	5.6	0.0	11.1	11.1	22.2	0.0	16.7	16.7
	50%以上75%未満	26	88.5	11.5	7.7	15.4	11.5	23.1	7.7	26.9	7.7
	25%以上50%未満	21	90.5	19.0	23.8	14.3	4.8	33.3	9.5	23.8	9.5
	25%未満	41	85.4	7.3	12.2	19.5	12.2	29.3	7.3	34.1	4.9

問 3-2：貴校では、「日本語能力」の要件をどのレベルに定めていますか。（JLPT で定めている入学要件）

- ・ 「N3 以上」が 47.4%と最も高く、次いで「N2 以上」が 46.3%と続いた。「N5 以上」として
いる学校は存在しない。
- ・ N1 と N2 以上を合わせた N2 以上で 48.4%、N3 以下で 51.6%となった。
- ・ 養成校別にみると、学力評価試験点数が高い学校の場合、「N2 以上」としている傾向にある
一方で、点数が低い学校の場合は、「N4 以上」としている傾向にあった。



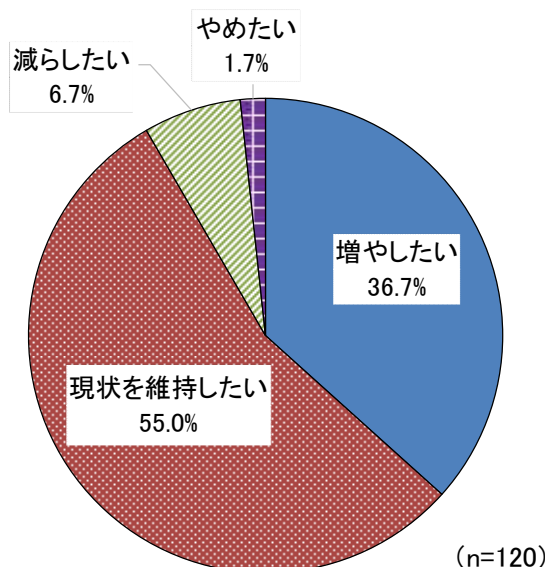
		調査数	N1	N2以上	N3以上	N4以上	N5以上
	全体	95	2.1	46.3	47.4	4.2	0.0
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	10	0.0	70.0	30.0	0.0	0.0
	50点以上70点未満	29	0.0	44.8	48.3	6.9	0.0
	50点未満	13	0.0	30.8	53.8	15.4	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格率 (留学生合計1人以上5人未満の 学校)	100%	10	0.0	70.0	30.0	0.0	0.0
	75%以上(100%除く)	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	50%以上75%未満	4	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	50%未満(0%除く)	3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
	0%	9	0.0	44.4	55.6	0.0	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格率 (留学生5人以上の学校)	100%	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	75%以上(100%除く)	6	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0
	50%以上75%未満	6	0.0	16.7	83.3	0.0	0.0
	50%未満(0%除く)	16	0.0	31.3	56.3	12.5	0.0
	0%	13	0.0	38.5	61.5	0.0	0.0
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	16	0.0	37.5	56.3	6.3	0.0
	50%以上75%未満	23	0.0	56.5	39.1	4.3	0.0
	25%以上50%未満	19	0.0	42.1	52.6	5.3	0.0
	25%未満	35	2.9	48.6	45.7	2.9	0.0

3. 留学生の募集

(1)受入れの意向

問 4：介護福祉士養成課程への留学生の受入れ意向を教えてください。

- ・「現状を維持したい」が 55.0%と最も高く、次いで「増やしたい」が 36.7%、「減らしたい」が 6.7%、「やめたい」が 1.7%となった。
- ・養成校別にみると、学力評価試験点数が高い学校においては、「増やしたい」の割合が高い傾向にあったが、平成 31 年、令和 2 年の留学生の合格率が 0%である学校においても「増やしたい」の割合が高く、留学生の指導体制が整っていると考えにくい学校においても、今後留学生が受け入れられていく可能性がうかがえる。

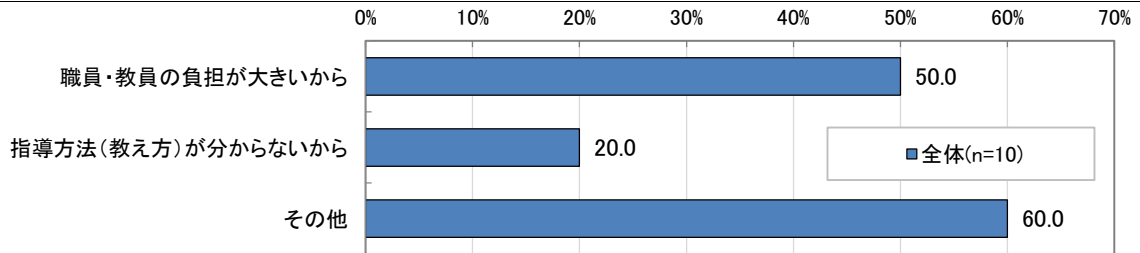


		調査数	増やした い	現状を維 持したい	減らした い	やめたい
全体		120	36.7	55.0	6.7	1.7
留学生の学力評価試験点数（学 校平均）	70点以上	13	53.8	30.8	15.4	0.0
	50点以上70点未満	30	26.7	66.7	6.7	0.0
	50点未満	18	22.2	72.2	5.6	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格率 （留学生合計1人以上5人未満の 学校）	100%	12	33.3	58.3	8.3	0.0
	75%以上（100%除く）	1	100.0	0.0	0.0	0.0
	50%以上75%未満	6	16.7	66.7	0.0	16.7
	50%未満（0%除く）	4	25.0	75.0	0.0	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格率 （留学生5人以上の学校）	100%	2	0.0	50.0	50.0	0.0
	75%以上（100%除く）	6	33.3	50.0	16.7	0.0
	50%以上75%未満	9	22.2	55.6	22.2	0.0
	50%未満（0%除く）	21	28.6	71.4	0.0	0.0
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	20	30.0	55.0	10.0	5.0
	50%以上75%未満	29	24.1	65.5	10.3	0.0
	25%以上50%未満	23	34.8	56.5	4.3	4.3
	25%未満	46	45.7	50.0	4.3	0.0
入学時日本語要件	N2以上	46	37.0	52.2	10.9	0.0
	N3以下	49	40.8	55.1	4.1	0.0

【問4で「3. 減らしたい」「4. やめたい」と回答の方】

問4-1：留学生の受入れを減らしたい、やめたいと思った理由を教えてください。

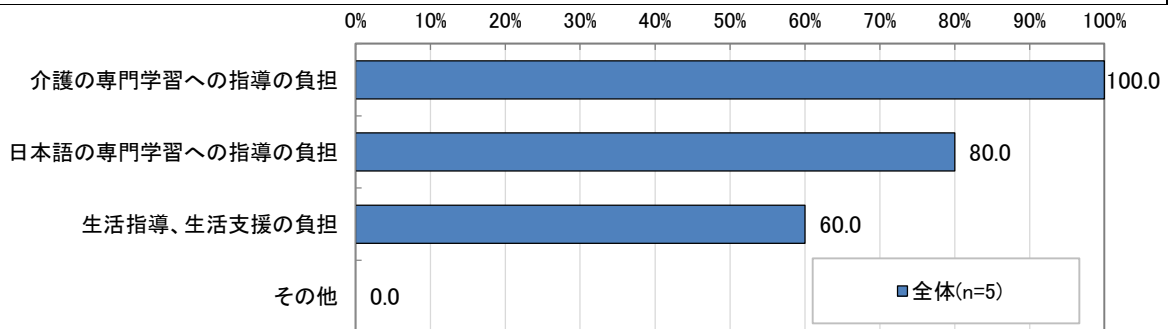
- ・「職員・教員の負担が大きいため」が50.0%、「指導方法（教え方）が分からないから」が20.0%となった。
- ・その他の意見としては、「留学生が増えることで日本語で授業を理解する意欲が薄れる」、「日本人介護福祉士養成を第一に考えたい」、「学生が増えると学生指導が行き届かない」等の意見が挙げられた。



【問4-1で「2. 職員・教員の負担が大きいため」と回答の方】

問4-1-A：どのような負担が大きいか教えてください。

- ・「介護の専門学習への指導の負担」が100.0%と最も高く、回答した学校全てが選択している。次いで、「日本語の専門学習への指導の負担」が80.0%、「生活指導、生活支援の負担」が60.0%となった。

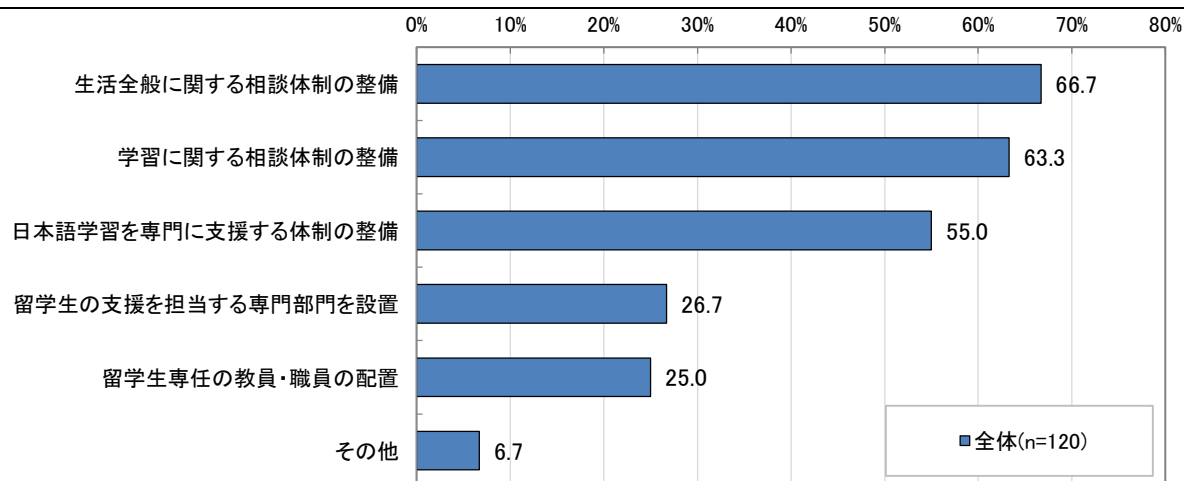


4. 留学生の受入れ体制

(1) サポート体制

問5：留学生に対し、貴校独自でどのようなサポート体制をとっていますか。

- ・ 「生活全般に関する相談体制の整備」が66.7%と最も高く、次いで「学習に関する相談体制の整備」が63.3%と続いた。また、留学生の独自のサポート体制を3種類以上行っている学校は43.3%、3種類未満の学校は56.6%であった。
- ・ その他の意見としては、「減免制度」、「日本語学校との相談窓口の連携」等の意見が挙げられた。
- ・ 養成校別にみると、学力評価試験点数が高い学校においては、「留学生の支援を担当する専門部署を設置」、「日本語学習を専門に支援する体制の整備」を行っている傾向にあるが、点数が低い学校においては、「生活全般に対する相談体制整備」を行っている傾向にある。これは、平成31年、令和2年の留学生の合格者率が低い学校においても同様の傾向がみられる。

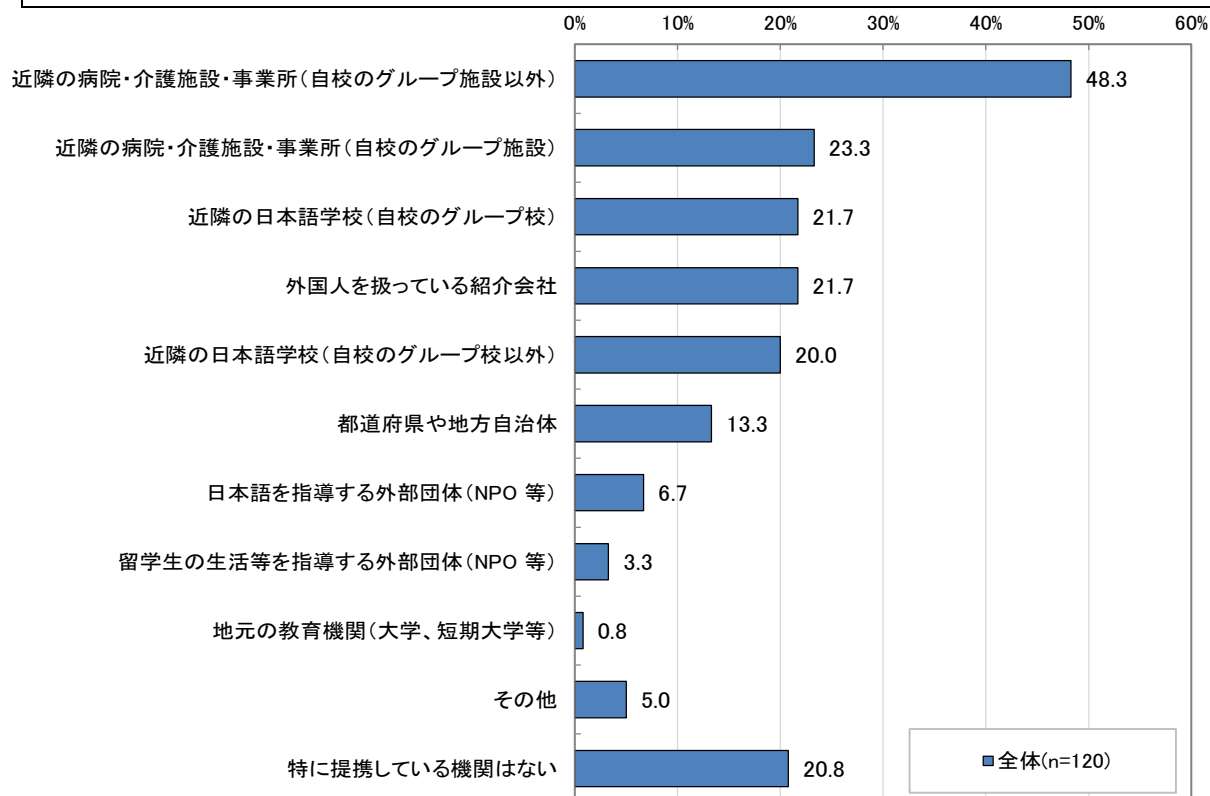


		調査数	留学生の 支援を担 当する専 門部門を 設置	留学生専 任の教 員・職員 の配置	学習に関 する相談 体制の整 備	日本語学 習を専門 に支援す る体制の 整備	生活全般 に関する 相談体制 の整備	その他
	全体	120	26.7	25.0	63.3	55.0	66.7	6.7
留学生の学力評価試験点数 (学 校平均)	70点以上	13	38.5	30.8	61.5	61.5	53.8	0.0
	50点以上70点未満	30	26.7	26.7	66.7	73.3	76.7	6.7
	50点未満	18	22.2	11.1	61.1	38.9	72.2	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 (留学生合計1人以上5人未満の 学校)	100%	12	25.0	25.0	83.3	66.7	66.7	8.3
	75%以上 (100 % 除く)	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	50%以上75%未満	6	0.0	0.0	83.3	33.3	66.7	16.7
	50%未満 (0 % 除く)	4	0.0	0.0	75.0	25.0	100.0	0.0
	0%	11	27.3	9.1	54.5	45.5	54.5	9.1
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 (留学生5人以上の学校)	100%	2	50.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0
	75%以上 (100 % 除く)	6	16.7	16.7	50.0	50.0	66.7	16.7
	50%以上75%未満	9	55.6	22.2	44.4	66.7	44.4	0.0
	50%未満 (0 % 除く)	21	28.6	28.6	57.1	57.1	81.0	4.8
	0%	14	35.7	50.0	50.0	50.0	71.4	0.0
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	20	40.0	20.0	55.0	60.0	60.0	0.0
	50%以上75%未満	29	24.1	37.9	58.6	65.5	69.0	10.3
	25%以上50%未満	23	30.4	21.7	73.9	60.9	73.9	8.7
	25%未満	46	21.7	19.6	65.2	45.7	63.0	6.5
入学時日本語要件	N2以上	46	26.1	28.3	71.7	60.9	71.7	2.2
	N3以下	49	24.5	18.4	59.2	55.1	67.3	8.2
留学生受入れ意向	増やしたい	44	34.1	31.8	63.6	50.0	65.9	2.3
	現状を維持したい	66	19.7	19.7	66.7	57.6	69.7	9.1
	減らしたい・やめたい	10	40.0	30.0	40.0	60.0	50.0	10.0

(2)提携機関

問 6：貴校では、留学生をサポートするために、どのような機関と提携していますか。

- ・ 「近隣の病院・介護施設・事業所（自校のグループ施設以外）」が 48.3%と最も高く、次いで「近隣の病院・介護施設・事業所（自校のグループ施設）」が 23.3%と続いた。
- ・ 養成校別にみると、学力評価試験点数が高い学校においては、「近隣の病院・介護施設・事業所（自校のグループ施設以外）」が高い傾向にある。また、留学生比率が高くなればなるほど、「近隣の病院・介護施設・事業所（自校のグループ施設）」が高くなる傾向にあった。

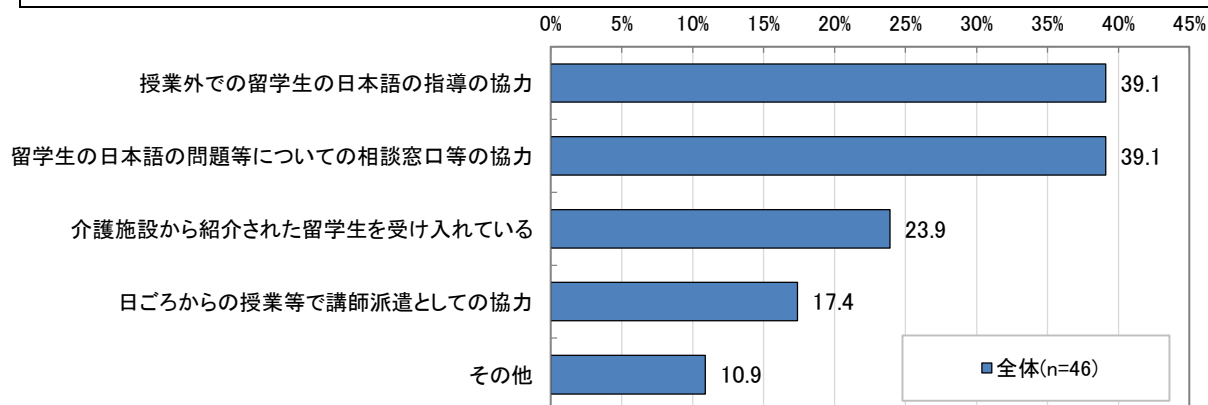


	調査数	近隣の日本語学校 (自校のグループ校)	近隣の日本語学校 (自校のグループ校以外)	近隣の病院・介護施設・事業所(自校のグループ施設以外)	近隣の病院・介護施設・事業所(自校のグループ施設以外)	都道府県や地方自治体	日本語を指導する外部団体(NPO等)	留学生の生活等を指導する外部団体(NPO等)	地元の教育機関(大学、短期大学等)	外国人を扱っている紹介会社	その他	特に提携している機関はない
全体	120	21.7	20.0	23.3	48.3	13.3	6.7	3.3	0.8	21.7	5.0	20.8
留学生の学力評価試験点数(学校平均)	13	15.4	7.7	23.1	53.8	7.7	7.7	0.0	0.0	15.4	15.4	7.7
70点以上												
50点以上70点未満	30	36.7	36.7	23.3	60.0	23.3	6.7	6.7	3.3	33.3	0.0	6.7
50点未満	18	11.1	11.1	44.4	38.9	16.7	11.1	0.0	0.0	11.1	5.6	22.2
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格率 (留学生合計1人以上5人未満の 学校)	12	16.7	41.7	0.0	58.3	25.0	0.0	0.0	0.0	16.7	8.3	25.0
100%	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
75%以上(100%除く)	6	16.7	0.0	33.3	33.3	33.3	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	33.3
50%以上75%未満 (留学生合計1人以上5人未満の 学校)	4	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
50%未満(0%除く)	11	27.3	9.1	9.1	27.3	27.3	9.1	0.0	9.1	18.2	0.0	36.4
0%	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格率 (留学生5人以上の学校)	6	50.0	0.0	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7	0.0
100%	9	22.2	11.1	33.3	55.6	0.0	11.1	11.1	0.0	11.1	11.1	11.1
75%以上(100%除く)	21	23.8	38.1	38.1	61.9	14.3	4.8	4.8	0.0	28.6	0.0	19.0
50%以上75%未満	14	14.3	21.4	21.4	64.3	14.3	0.0	0.0	0.0	42.9	7.1	7.1
50%未満(0%除く)	20	20.0	20.0	45.0	45.0	10.0	5.0	5.0	5.0	40.0	5.0	25.0
R3年3月卒業生における 留学生比率	29	27.6	41.4	31.0	55.2	13.8	6.9	3.4	0.0	31.0	3.4	10.3
75%以上	23	26.1	17.4	21.7	56.5	17.4	8.7	4.3	0.0	17.4	8.7	13.0
50%以上75%未満	46	17.4	6.5	10.9	41.3	13.0	6.5	4.3	0.0	10.9	2.2	30.4
25%以上50%未満	46	21.7	17.4	19.6	39.1	13.0	6.5	4.3	0.0	13.0	6.5	23.9
25%未満	49	24.5	28.6	22.4	55.1	12.2	6.1	4.1	0.0	28.6	6.1	12.2
入学時日本語要件	44	25.0	15.9	11.4	61.4	11.4	6.8	2.3	0.0	13.6	4.5	15.9
N2以上	66	19.7	21.2	30.3	39.4	15.2	6.1	4.5	1.5	22.7	3.0	25.8
N3以下	10	20.0	30.0	30.0	50.0	10.0	10.0	0.0	0.0	50.0	20.0	10.0
増やしたい	52	25.0	30.8	23.1	59.6	19.2	9.6	3.8	1.9	30.8	0.0	15.4
留学生受入れ意向	68	19.1	11.8	23.5	39.7	8.8	4.4	2.9	0.0	14.7	8.8	25.0
現状を維持したい												
減らしたい・やめたい												
留学生への独自のサポート体制												
3種類以上												
3種類未満												

【問6で「1. 近隣の日本語学校（自校のグループ校）」「2. 近隣の日本語学校（自校のグループ校以外）」と回答の方】

問6-1：留学生のサポートについて、日本語学校とどのような提携を行っているかについて教えてください。

- ・「授業外での留学生の日本語の指導の協力」、「留学生の日本語の問題等についての相談窓口等の協力」が39.1%と最も高かった。
- ・その他の意見としては、「個々の留学生の状況を頻繁に情報交換」、「受験料・入学金免除、授業料半額免除」等の意見が挙げられた。
- ・養成校別にみても、特筆的な傾向は見られなかった。



		調査数	日ごろからの授業等で講師派遣としての協力	授業外での留学生の日本語の指導の協力	留学生の日本語の問題等についての相談窓口等の協力	介護施設から紹介された留学生を受け入れている	その他
	全体	46	17.4	39.1	39.1	23.9	10.9
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	3	<u>66.7</u>	33.3	33.3	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>
	50点以上70点未満	19	<u>5.3</u>	<u>52.6</u>	31.6	<u>36.8</u>	10.5
	50点未満	4	<u>50.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	25.0	<u>25.0</u>
H31年3月・R2年3月の留学生の国家試験合格者率	100%	6	<u>0.0</u>	<u>16.7</u>	<u>50.0</u>	<u>33.3</u>	<u>50.0</u>
	75%以上（100%除く）	-	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>
	50%以上75%未満	1	<u>0.0</u>	<u>100.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>
	50%未満（0%除く）	-	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>
	0%	4	<u>25.0</u>	<u>75.0</u>	<u>75.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>
H31年3月・R2年3月の留学生の国家試験合格者率	100%	1	<u>100.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>
	75%以上（100%除く）	3	<u>0.0</u>	<u>66.7</u>	33.3	<u>0.0</u>	<u>33.3</u>
	50%以上75%未満	3	<u>33.3</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	<u>66.7</u>	<u>0.0</u>
	50%未満（0%除く）	11	9.1	36.4	45.5	<u>45.5</u>	9.1
	0%	5	<u>40.0</u>	<u>0.0</u>	40.0	<u>40.0</u>	<u>0.0</u>
R3年3月卒業生における留学生比率	75%以上	7	<u>42.9</u>	42.9	42.9	14.3	<u>0.0</u>
	50%以上75%未満	18	<u>5.6</u>	33.3	33.3	27.8	<u>16.7</u>
	25%以上50%未満	9	11.1	<u>22.2</u>	33.3	<u>55.6</u>	<u>22.2</u>
	25%未満	11	18.2	<u>63.6</u>	<u>54.5</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>
入学時日本語要件	N2以上	18	11.1	44.4	<u>50.0</u>	22.2	5.6
	N3以下	23	17.4	34.8	39.1	<u>30.4</u>	13.0
留学生受入れ意向	増やしたい	16	<u>25.0</u>	43.8	<u>56.3</u>	18.8	<u>0.0</u>
	現状を維持したい	25	12.0	36.0	32.0	28.0	<u>20.0</u>
	減らしたい・やめたい	5	20.0	40.0	<u>20.0</u>	20.0	<u>0.0</u>
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	27	7.4	44.4	40.7	25.9	7.4
	3種類未満	19	<u>31.6</u>	31.6	36.8	21.1	15.8

【問6で「1. 近隣の日本語学校（自校のグループ校）」「2. 近隣の日本語学校（自校のグループ校以外）」と回答の方】

問6-2：留学生のサポートに関する日本語学校との提携について、課題があれば教えてください。

- ・ 留学生の日本語能力が低い点や、その能力をどのようにして向上させるか、向上させたくともアルバイトが障壁となっている、等の意見が挙げられた。

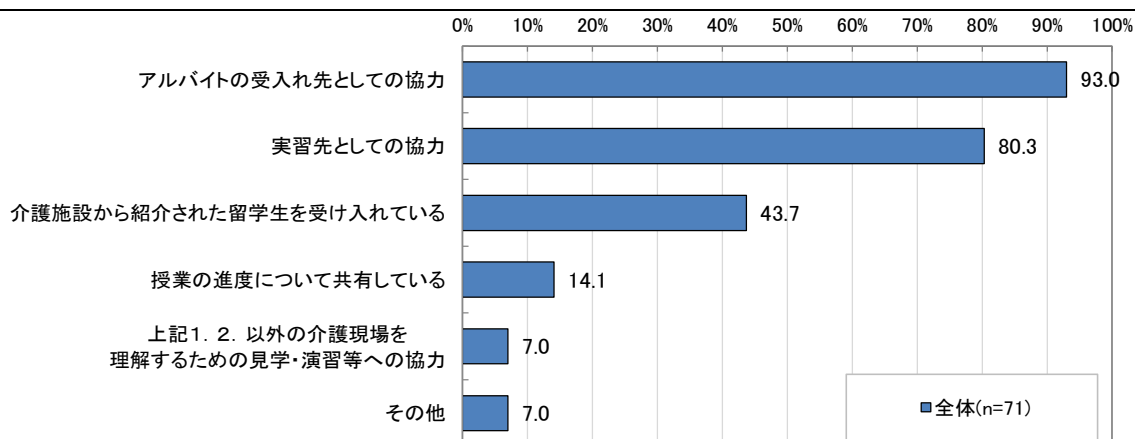
code	内容	件数
1	新型コロナによる入学者数の減少	1
2	個々の留学生への日本語教育内容や時間	2
3	入学時の日本語能力レベルが低い、差がある	2
4	日本語の補習を入れたいが留学生がアルバイトで忙しい	1
5	法人内の、グローバル人材による支援、日本語、相談等のサポート	1
6	日本語教師の介護に関する知識や理解不足	2
7	留学生の日本語能力や介護についての予備知識が必要	1
8	その他	1
9	特になし	3

14

【問6で「3. 近隣の病院・介護施設・事業所（自校のグループ施設）」「4. 近隣の病院・介護施設・事業所（自校のグループ施設以外）」と回答の方】

問6-3：留学生のサポートについて、近隣の介護施設・事業所とどのような提携を行っているかについて教えてください。

- ・「アルバイトの受入れ先としての協力」が93.0%と最も高く、次いで「実習先としての協力」が80.3%と続いた。
- ・その他の意見としては、「奨学金制度」が挙げられた。
- ・養成校別にみると、学力評価試験点数が高い学校においては、「介護施設から紹介された留学生を受け入れている」の割合が低く、点数が低い学校においては当該数値が高かった。



	調査数	アルバイトの受入れ先としての協力	実習先としての協力	上記1. 2. 以外の介護現場を理解するための見学・演習等への協力	授業の進度について共有している	介護施設から紹介された留学生を受け入れている	その他	
全体	71	93.0	80.3	7.0	14.1	43.7	7.0	
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	8	100.0	50.0	0.0	37.5	12.5	
	50点以上70点未満	21	95.2	90.5	4.8	47.6	4.8	
	50点未満	12	100.0	91.7	0.0	8.3	50.0	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の国家試験合格者率（留学生合計1人以上5人未満の学校）	100%	7	85.7	42.9	0.0	0.0	28.6	14.3
	75%以上（100%除く）	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	50%以上75%未満	3	100.0	100.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	50%未満（0%除く）	2	100.0	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	0%	4	100.0	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の国家試験合格者率（留学生5人以上の学校）	100%	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	75%以上（100%除く）	2	100.0	100.0	0.0	100.0	50.0	0.0
	50%以上75%未満	7	100.0	57.1	0.0	0.0	71.4	0.0
	50%未満（0%除く）	15	93.3	93.3	6.7	26.7	46.7	13.3
	0%	9	100.0	88.9	22.2	11.1	55.6	11.1
R3年3月卒業生における留学生比率	75%以上	13	100.0	100.0	0.0	23.1	46.2	0.0
	50%以上75%未満	19	100.0	78.9	15.8	15.8	31.6	5.3
	25%以上50%未満	15	86.7	73.3	0.0	6.7	60.0	13.3
	25%未満	23	87.0	73.9	4.3	13.0	43.5	4.3
入学時日本語要件	N2以上	22	81.8	63.6	9.1	9.1	45.5	4.5
	N3以下	33	100.0	93.9	6.1	12.1	51.5	3.0
留学生受入れ意向	増やしたい	29	86.2	69.0	6.9	3.4	44.8	10.3
	現状を維持したい	36	97.2	86.1	5.6	19.4	38.9	2.8
	減らしたい・やめたい	6	100.0	100.0	16.7	33.3	66.7	16.7
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	35	91.4	77.1	8.6	14.3	45.7	11.4
	3種類未満	36	94.4	83.3	5.6	13.9	41.7	2.8

【問6で「3. 近隣の病院・介護施設・事業所（自校のグループ施設）」「4. 近隣の病院・介護施設・事業所（自校のグループ施設以外）」と回答の方】

問6-4：留学生のサポートに関する近隣の介護施設・事業所との提携について、課題があれば教えてください。

- ・ アルバイト先や施設との日常的な情報共有ができる体制づくりに関する意見が多く、関係する施設・事業所との連携について悩んでいるという意見が見られた。また、連携する上でも、連携する施設・事業所の意識の差があるという意見もみられた。

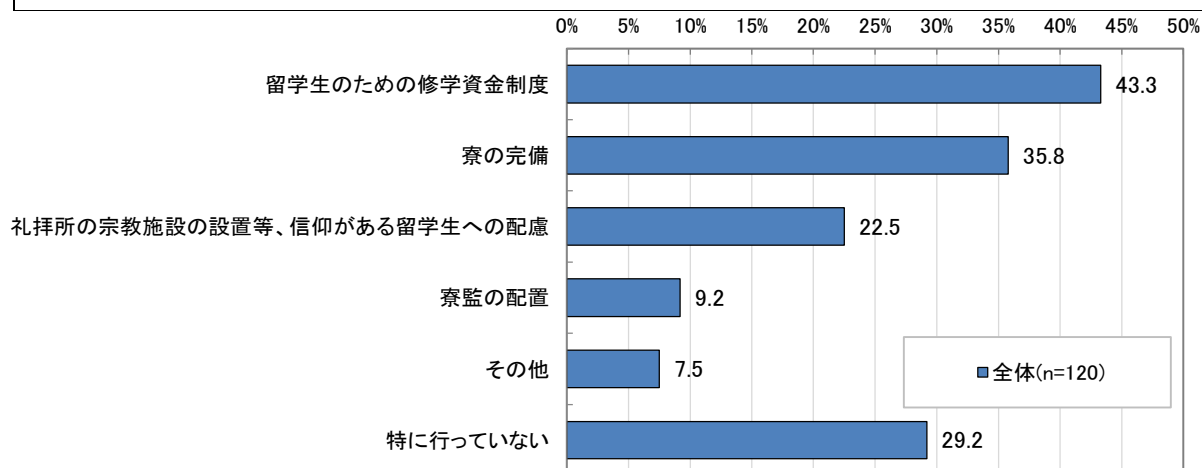
code	内容	件数
1	日本語能力の低さによる問題	2
2	アルバイトによる弊害	2
3	アルバイト先や施設との日常的な情報共有ができる体制づくり	5
4	留学生の日常生活支援	1
5	留学生が日本での不慣れな生活に苦慮している	1
6	留学生の受入れ施設の不足、意識の差	3
7	文化、宗教等への理解	1
8	介護現場では正確な知識が得にくい場合がある、日本語能力が低下	1
9	学業と現場業務との両立	1
10	施設奨学金について	2
11	その他	1
12	特になし	4

24

(3)施設等の整備

問7：貴校では、留学生に対する施設等の整備について、どのようなことを行っていますか。

- ・ 「留学生のための修学資金制度」が43.3%と最も高く、次いで「寮の完備」が35.8%と続いた。
- ・ その他の意見としては、「住居や家電製品等の設備を整える」、「留学生の日常生活支援」、「ハラル食への配慮」、「国際交流を目的とした支援室を設置」等、留学生の日常生活支援にかかる意見が挙げられた。
- ・ 養成校別にみると、学力評価試験点数が高い学校においては、「寮の完備」や「礼拝所の宗教施設の設置等、信仰がある留学生への配慮」等の学習を円滑に進める環境整備を行っている傾向にある。



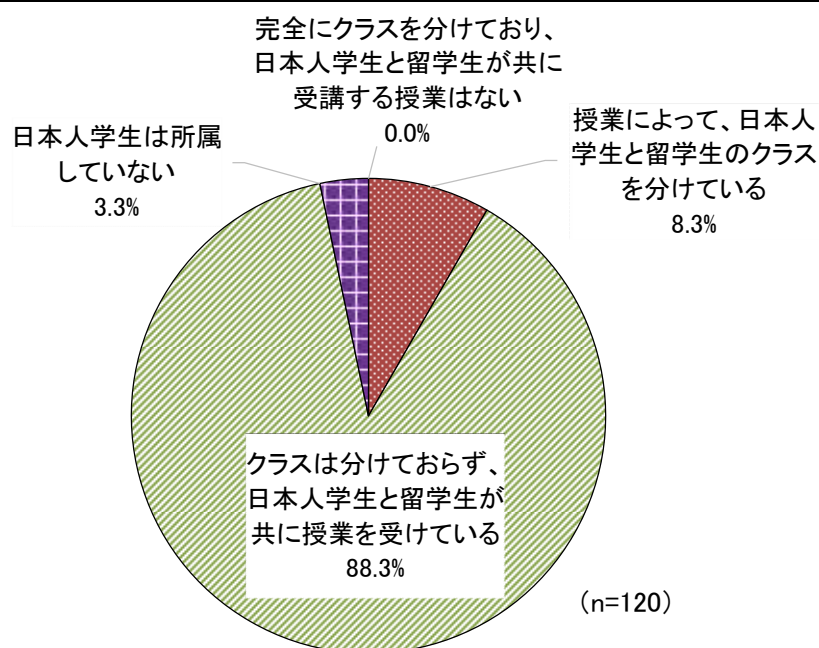
		調査数	寮の完備	寮監の配置	留学生のための修学資金制度	礼拝所の宗教施設等の設置等、信仰がある留学生への配慮	その他	特にっていない
	全体	120	35.8	9.2	43.3	22.5	7.5	29.2
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	13	38.5	7.7	46.2	30.8	7.7	15.4
	50点以上70点未満	30	36.7	6.7	40.0	20.0	10.0	33.3
	50点未満	18	22.2	5.6	38.9	11.1	0.0	44.4
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 (留学生合計1人以上5人未満の 学校)	100%	12	33.3	8.3	25.0	25.0	0.0	50.0
	75%以上（100%除く）	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	50%以上75%未満	6	33.3	16.7	33.3	0.0	0.0	50.0
	50%未満（0%除く）	4	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	0%	11	36.4	0.0	36.4	9.1	0.0	27.3
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 (留学生5人以上の学校)	100%	2	50.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0
	75%以上（100%除く）	6	66.7	0.0	50.0	33.3	0.0	33.3
	50%以上75%未満	9	33.3	11.1	22.2	22.2	11.1	11.1
	50%未満（0%除く）	21	33.3	9.5	47.6	33.3	9.5	28.6
	0%	14	28.6	7.1	57.1	21.4	0.0	14.3
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	20	45.0	15.0	50.0	20.0	10.0	25.0
	50%以上75%未満	29	55.2	17.2	58.6	31.0	0.0	17.2
	25%以上50%未満	23	13.0	0.0	39.1	30.4	13.0	26.1
	25%未満	46	30.4	4.3	30.4	13.0	8.7	41.3
入学時日本語要件	N2以上	46	39.1	10.9	47.8	23.9	2.2	32.6
	N3以下	49	32.7	2.0	46.9	22.4	10.2	26.5
留学生受入れ意向	増やしたい	44	36.4	13.6	36.4	13.6	13.6	25.0
	現状を維持したい	66	34.8	4.5	48.5	25.8	4.5	31.8
	減らしたい・やめたい	10	40.0	20.0	40.0	40.0	0.0	30.0
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	52	34.6	7.7	51.9	28.8	11.5	28.8
	3種類未満	68	36.8	10.3	36.8	17.6	4.4	29.4

5. 留学生への教育

(1) クラス構成

問 8：貴校では、留学生と日本人学生のクラスを分けていますか。

- ・ 「クラスは分けておらず、日本人学生と留学生が共に授業を受けている」が 88.3%と最も高く、9割程度を占めた。
- ・ 養成校別にみても、特筆的な傾向は見られなかった。

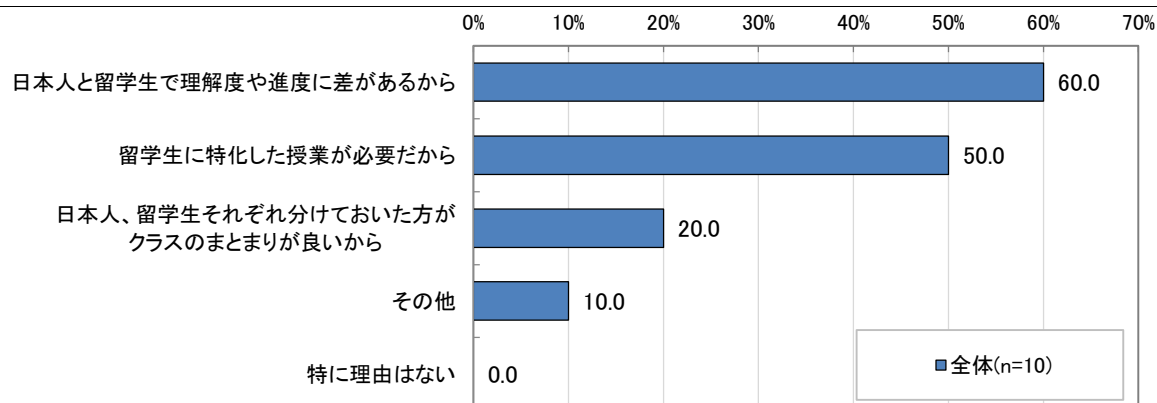


		調査数	完全にクラスを分けており、日本人学生と留学生が共に受講する授業はない	授業によって、日本人学生と留学生のクラスを分けている	クラスは分けておらず、日本人学生と留学生が共に授業を受けている	日本人学生は所属していない
	全体	120	0.0	8.3	88.3	3.3
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	13	0.0	0.0	<u>100.0</u>	0.0
	50点以上70点未満	30	0.0	13.3	80.0	6.7
	50点未満	18	0.0	0.0	94.4	5.6
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 (留学生合計1人以上5人未満の 学校)	100%	12	0.0	0.0	<u>100.0</u>	0.0
	75%以上（100%除く）	1	0.0	0.0	<u>100.0</u>	0.0
	50%以上75%未満	6	0.0	16.7	83.3	0.0
	50%未満（0%除く）	4	0.0	0.0	<u>100.0</u>	0.0
	0%	11	0.0	9.1	90.9	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 (留学生5人以上の学校)	100%	2	0.0	0.0	<u>100.0</u>	0.0
	75%以上（100%除く）	6	0.0	33.3	<u>66.7</u>	0.0
	50%以上75%未満	9	0.0	11.1	88.9	0.0
	50%未満（0%除く）	21	0.0	19.0	81.0	0.0
	0%	14	0.0	7.1	78.6	<u>14.3</u>
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	20	0.0	5.0	80.0	<u>15.0</u>
	50%以上75%未満	29	0.0	10.3	86.2	3.4
	25%以上50%未満	23	0.0	13.0	87.0	0.0
	25%未満	46	0.0	4.3	95.7	0.0
入学時日本語要件	N2以上	46	0.0	6.5	87.0	6.5
	N3以下	49	0.0	14.3	85.7	0.0
留学生受入れ意向	増やしたい	44	0.0	4.5	93.2	2.3
	現状を維持したい	66	0.0	12.1	84.8	3.0
	減らしたい・やめたい	10	0.0	0.0	90.0	10.0
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	52	0.0	9.6	90.4	0.0
	3種類未満	68	0.0	7.4	86.8	5.9

【問8で「1. 完全にクラスを分けており、日本人学生と留学生が共に受講する授業はない」「2. 授業によって、日本人学生と留学生のクラスを分けている」と回答の方】

問8-1：留学生と日本人学生のクラスを分けている理由を教えてください。

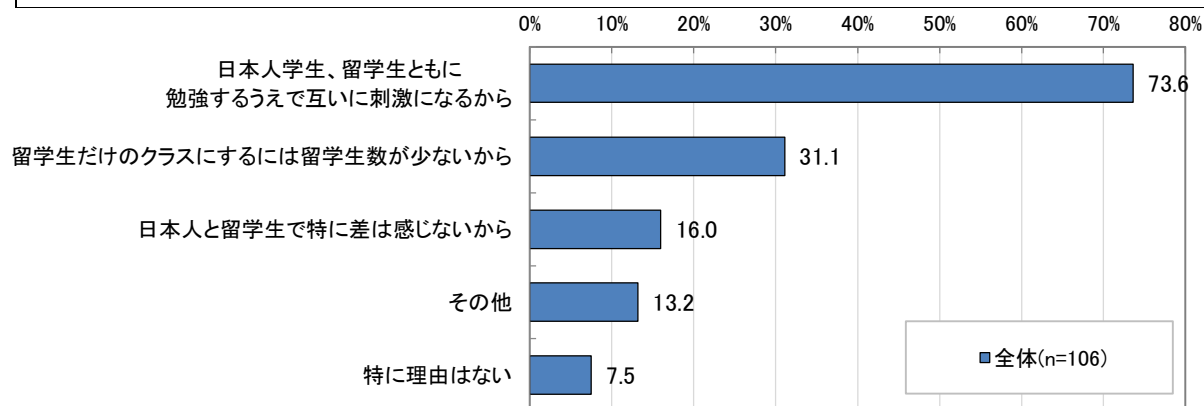
- ・ 「日本人と留学生で理解度や進度に差があるから」が60.0%と最も高く、次いで「留学生に特化した授業が必要だから」が50.0%、「日本人、留学生それぞれ分けておいた方がクラスのまとまりが良いから」が20.0%となった。また「特に理由はない」の回答はなかった。
- ・ その他の意見としては、「教室の人数定員」が挙げられた。



【問8で「3. クラスは分けておらず、日本人学生と留学生が共に授業を受けている」と回答の方】

問8-2：留学生と日本人学生のクラスを分けていない理由を教えてください。

- ・ 「日本人学生、留学生ともに勉強する上で互いに刺激になるから」が73.6%と最も高く、次いで、「留学生だけのクラスにするには留学生数が少ないから」が31.1%、「日本人と留学生で特に差は感じないから」が16.0%となった。また「特に理由はない」は7.5%であった。
- ・ その他の意見では、「同じ国家試験を受験するから」、「就職後も日本人と仕事をするから」、「日本人とのコミュニケーションで日本語能力が向上する」等の、留学生向けのメリットを挙げる声もある一方、「留学生の向上心が日本人学生の模範になる」等の、日本人学生のメリットを挙げる声も挙がった。
- ・ 養成校別にみると、学力評価試験点数が高い学校においては、「日本人と留学生で特に差は感じないから」、「日本人学生、留学生ともに勉強する上で互いに刺激になるから」等の肯定的な意見を選択する傾向にあった。

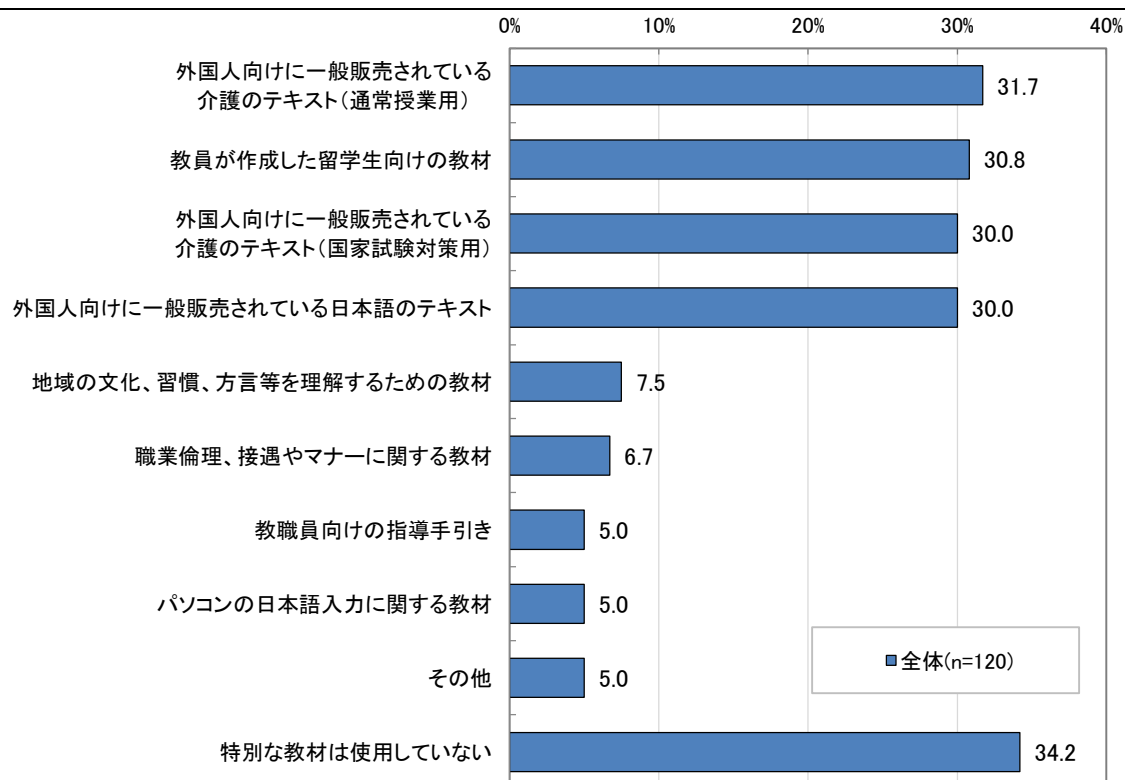


		調査数	日本人と留学生で特に差を感じないから	日本人学生、留学生ともに勉強するうえで互いに刺激になるから	留学生だけのクラスにするには留学生数が少ないから	その他	特に理由はない
	全体	106	16.0	73.6	31.1	13.2	7.5
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	13	23.1	92.3	7.7	7.7	0.0
	50点以上70点未満	24	12.5	75.0	37.5	4.2	12.5
	50点未満	17	5.9	76.5	41.2	23.5	5.9
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 (留学生合計1人以上5人未満の 学校)	100%	12	25.0	75.0	16.7	0.0	8.3
	75%以上(100%除く)	1	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
	50%以上75%未満	5	20.0	80.0	20.0	0.0	20.0
	50%未満(0%除く)	4	0.0	100.0	75.0	0.0	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 (留学生5人以上の学校)	100%	2	50.0	100.0	0.0	50.0	0.0
	75%以上(100%除く)	4	50.0	75.0	50.0	0.0	0.0
	50%以上75%未満	8	0.0	62.5	12.5	12.5	12.5
	50%未満(0%除く)	17	17.6	82.4	17.6	17.6	5.9
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	16	18.8	56.3	6.3	12.5	31.3
	50%以上75%未満	25	28.0	84.0	24.0	28.0	0.0
	25%以上50%未満	20	10.0	80.0	25.0	5.0	0.0
	25%未満	44	9.1	70.5	47.7	9.1	6.8
入学時日本語要件	N2以上	40	22.5	85.0	32.5	7.5	5.0
	N3以下	42	11.9	69.0	33.3	16.7	7.1
留学生受入れ意向	増やしたい	41	9.8	73.2	43.9	12.2	2.4
	現状を維持したい	56	17.9	76.8	25.0	12.5	8.9
	減らしたい・やめたい	9	33.3	55.6	11.1	22.2	22.2
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	47	19.1	76.6	31.9	8.5	8.5
	3種類未満	59	13.6	71.2	30.5	16.9	6.8
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が授業よって分割	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が混在	106	16.0	73.6	31.1	13.2	7.5
	日本人学生が不在	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(2)留学生をサポートするために活用する教材

問 9：留学生をサポートするために活用している教材を教えてください。

- ・ 「特別な教材は使用していない」が 34.2%と最も高く、次いで「外国人向けに一般販売されている介護のテキスト（通常授業用）」が 31.7%と続いた。
- ・ その他の意見としては、「介護関連情報のサイト紹介」、「福祉関連の専門誌、新聞」等の意見が挙げられた。
- ・ 養成校別にみると、学力評価試験点数が高い学校においては、「特別な教材は使用していない」の割合が高い一方、低い学校においては「外国人向けに一般販売されている介護のテキスト（通常授業用）」、「教員が作成した留学生向けの教材」の割合が高い。

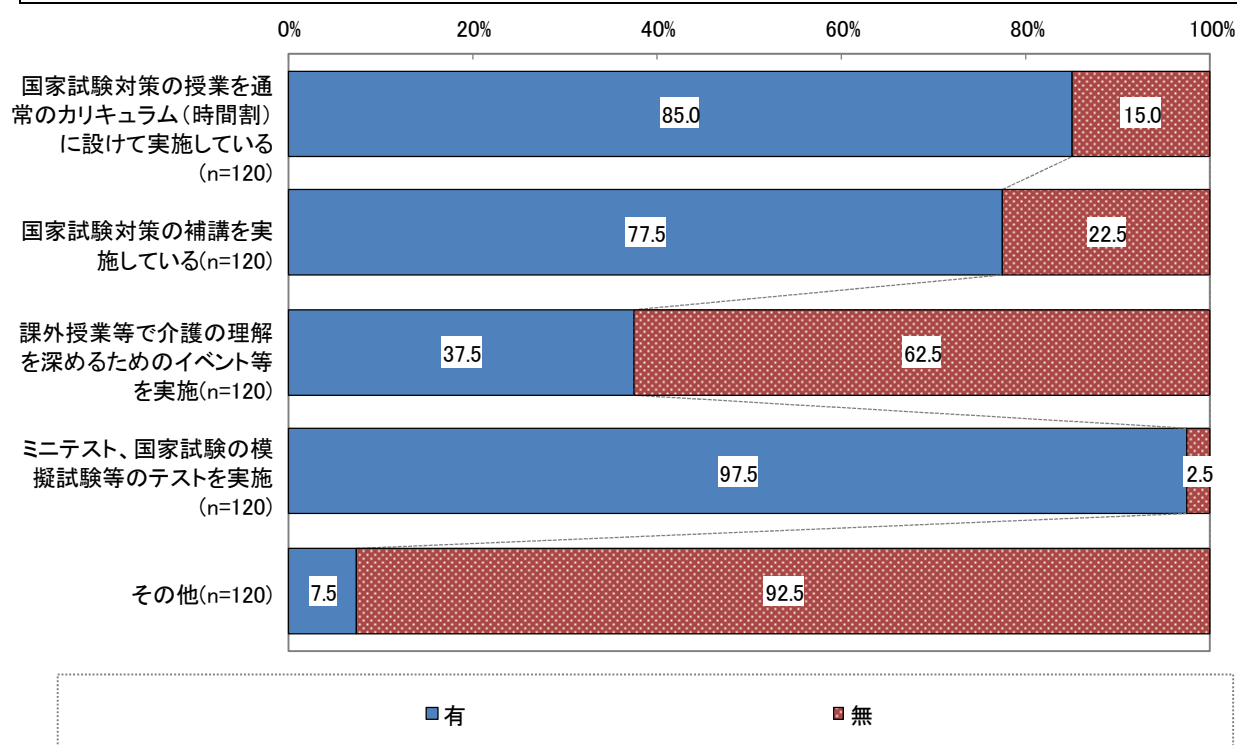


		調査数	外国人向けに一般販売されている介護のテキスト (通常授業用)	外国人向けに一般販売されている介護のテキスト (国家試験対策用)	外国人向けに一般販売されている日本語のテキスト	教員が作成した留学生向けの教材	教職員向けの指導手引き	パソコンの日本語入力に関する教材	職業倫理、接遇やマナーに関する教材	地域の文化、習慣、方言等を理解するための教材	その他	特別な教材は使用していない
	全体	120	31.7	30.0	30.0	30.8	5.0	5.0	6.7	7.5	5.0	34.2
留学生の学力評価試験点数 (学校平均)	70点以上	13	7.7	15.4	23.1	15.4	0.0	0.0	0.0	7.7	7.7	69.2
	50点以上70点未満	30	33.3	40.0	30.0	30.0	6.7	10.0	6.7	3.3	10.0	20.0
	50点未満	18	44.4	33.3	33.3	38.9	11.1	11.1	11.1	11.1	0.0	27.8
H31年3月・R2年3月の留学生の国家試験合格者率 (留学生合計1人以上5人未満の学校)	100%	12	16.7	8.3	33.3	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0	8.3	50.0
	75%以上 (100%除く)	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	50%以上75%未満	6	50.0	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7
	50%未満 (0%除く)	4	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
H31年3月・R2年3月の留学生の国家試験合格者率 (留学生5人以上の学校)	100%	11	45.5	45.5	45.5	27.3	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3
	75%以上 (100%除く)	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	50%以上75%未満	6	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	50.0
	50%未満 (0%除く)	9	33.3	33.3	33.3	44.4	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	33.3
R3年3月卒業生における留学生比率	75%以上	20	25.0	25.0	25.0	20.0	10.0	10.0	5.0	10.0	5.0	45.0
	50%以上75%未満	29	24.1	31.0	27.6	34.5	0.0	3.4	17.2	10.3	3.4	41.4
	25%以上50%未満	23	34.8	39.1	39.1	43.5	4.3	0.0	4.3	8.7	8.7	30.4
	25%未満	46	37.0	28.3	30.4	26.1	6.5	6.5	2.2	2.2	4.3	26.1
入学時日本語要件	N2以上	46	26.1	19.6	30.4	26.1	4.3	4.3	6.5	6.5	6.5	39.1
	N3以下	49	40.8	46.9	34.7	34.7	8.2	4.1	4.1	10.2	4.1	28.6
留学生受入れ意向	増やしたい	44	29.5	27.3	34.1	31.8	9.1	4.5	0.0	6.8	4.5	34.1
	現状を維持したい	66	36.4	36.4	25.8	28.8	3.0	4.5	9.1	7.6	4.5	33.3
	減らしたい・やめたい	10	10.0	0.0	40.0	40.0	0.0	10.0	20.0	10.0	10.0	40.0
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	52	36.5	36.5	36.5	28.8	5.8	5.8	7.7	7.7	3.8	25.0
	3種類未満	68	27.9	25.0	25.0	32.4	4.4	4.4	5.9	7.4	5.9	41.2
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が授業よって分割	10	60.0	60.0	20.0	40.0	0.0	10.0	20.0	20.0	0.0	20.0
	日本人学生/留学生が混在	106	30.2	27.4	31.1	30.2	5.7	3.8	5.7	6.6	4.7	34.9
	日本人学生が不在	4	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	50.0

(3)国家試験対策

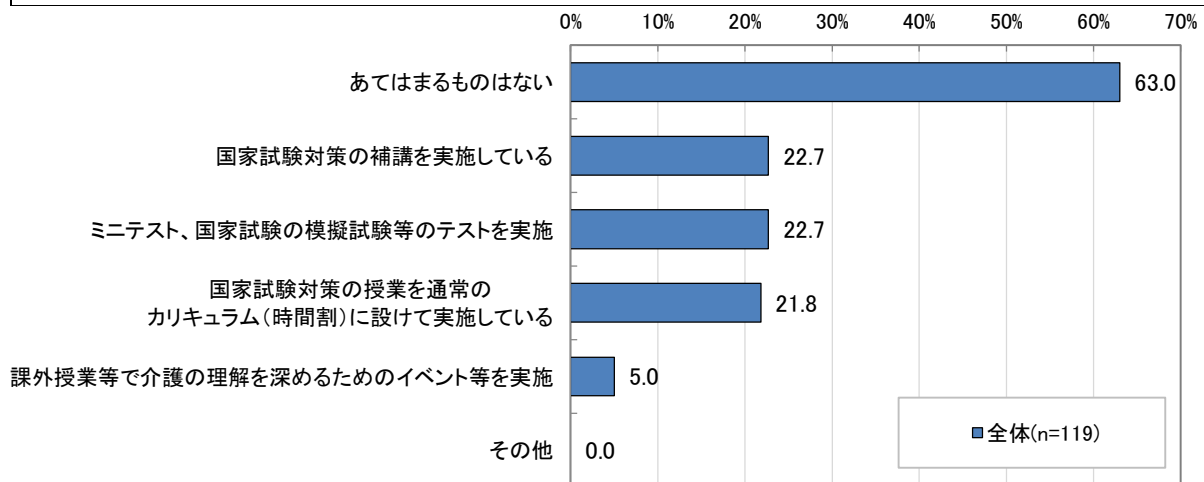
問 10：国家試験に向けて、実施している事柄について教えてください。また、それぞれにおいて留学生のみを対象している場合は、教えてください。

- ・ 「ミニテスト、国家試験の模擬試験等のテストを実施」が 97.5%と最も高く、ほとんどの学校で実施されている。
- ・ その他の意見としては、「苦手分野の把握」、「個別面談」等が挙げられた。
- ・ 養成校別にみると、学力評価試験点数が高い学校においては、「国家試験対策の補講を実施している」や「課外授業等で介護の理解を深めるためのイベント等を実施」の割合が高く、国家試験に特化した対応を行うだけでなく、介護の理解を促進する等、総合的な学びに関する対応も行えていることがうかがえる。



	調査数	国家試験対策の授業を通常のカリキュラム(時間割)に設けて実施している		国家試験対策の補講を実施している		課外授業等で介護の理解を深めるためのイベント等を実施		ミニテスト、国家試験の模擬試験等のテストを実施		その他		
		有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	
		全体		全体		全体		全体		全体		
	120	85.0	15.0	77.5	22.5	37.5	62.5	97.5	2.5	7.5	92.5	
留学生の学力評価試験点数(学校平均)	70点以上	13	76.9	23.1	92.3	7.7	61.5	38.5	100.0	0.0	15.4	84.6
	50点以上70点未満	30	93.3	6.7	80.0	20.0	53.3	46.7	96.7	3.3	3.3	96.7
	50点未満	18	83.3	16.7	77.8	22.2	33.3	66.7	100.0	0.0	0.0	100.0
H31年3月・R2年3月の留学生の国家試験合格率	100%	12	75.0	25.0	91.7	8.3	33.3	66.7	100.0	0.0	8.3	91.7
	75%以上(100%除く)	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0
	(留学生合計1人以上5人未満の学校)	6	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	16.7	83.3
	50%未満(0%除く)	4	100.0	0.0	100.0	0.0	75.0	25.0	100.0	0.0	0.0	100.0
H31年3月・R2年3月の留学生の国家試験合格率(留学生5人以上の学校)	100%	11	90.9	9.1	72.7	27.3	63.6	36.4	100.0	0.0	9.1	90.9
	75%以上(100%除く)	2	100.0	0.0	100.0	0.0	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	100.0
	50%以上75%未満	6	100.0	0.0	66.7	33.3	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	100.0
	50%未満(0%除く)	9	66.7	33.3	77.8	22.2	33.3	66.7	100.0	0.0	0.0	100.0
R3年3月卒業生における留学生比率	75%以上	20	85.0	15.0	65.0	35.0	40.0	60.0	95.0	5.0	5.0	95.0
	50%以上75%未満	29	93.1	6.9	72.4	27.6	37.9	62.1	96.6	3.4	10.3	89.7
	25%以上50%未満	23	82.6	17.4	82.6	17.4	47.8	52.2	100.0	0.0	13.0	87.0
入学時日本語要件	25%未満	46	80.4	19.6	84.8	15.2	30.4	69.6	97.8	2.2	4.3	95.7
	N2以上	46	91.3	8.7	78.3	21.7	41.3	58.7	95.7	4.3	8.7	91.3
留学生受入れ意向	N3以下	49	85.7	14.3	71.4	28.6	40.8	59.2	98.0	2.0	6.1	93.9
	増やしたい	44	84.1	15.9	79.5	20.5	40.9	59.1	100.0	0.0	6.8	93.2
留学生への独自のサポート体制	現状を維持したい	66	84.8	15.2	78.8	21.2	33.3	66.7	95.5	4.5	7.6	92.4
	減らしたい・やめたい	10	90.0	10.0	60.0	40.0	50.0	50.0	100.0	0.0	10.0	90.0
クラスの編成	3種類以上	52	86.5	13.5	88.5	11.5	44.2	55.8	100.0	0.0	7.7	92.3
	3種類未満	68	83.8	16.2	69.1	30.9	32.4	67.6	95.6	4.4	7.4	92.6
	日本人学生/留学生在が完全分割	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生在が授業よって分割	10	90.0	10.0	80.0	20.0	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	100.0
日本人学生/留学生在が混在	106	84.9	15.1	80.2	19.8	36.8	63.2	98.1	1.9	8.5	91.5	
	日本人学生が不在	4	75.0	25.0	0.0	100.0	25.0	75.0	75.0	25.0	0.0	100.0

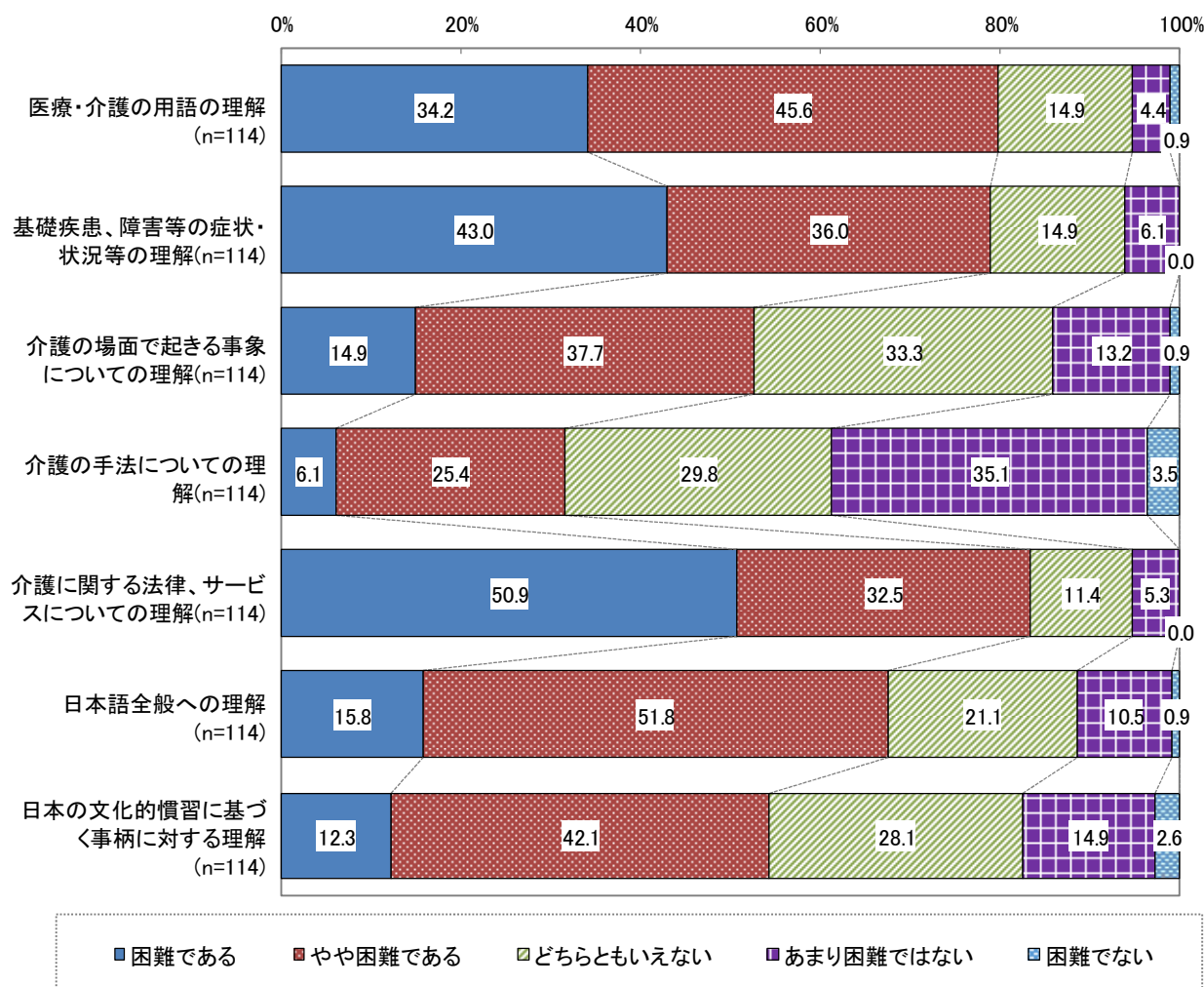
・上記のうち、留学生のみを対象としているかどうかをうかがったところ、「あてはまるものはない」が63.0%と最も高く、次いで「国家試験対策の補講を実施している」、および「ミニテスト、国家試験の模擬試験等のテストを実施」が22.7%と続いた。



【問 10 「1. 国家試験対策の授業を通常のカリキュラム（時間割）に設けて実施している」「2. 国家試験対策の補講を実施している」いずれかで有と回答の方】

問 10-1：国家試験の合格に向けて指導上困難と感じる度合いについて、以下の項目それぞれについて教えてください。

- ・ 「困難である」、「やや困難である」を合算すると、「介護に関する法律、サービスについての理解」が 83.4%と最も困難であるとなった。
- ・ 養成校別にみると、概ねどの項目においても学力評価試験点数が高い学校、入学時日本語要件 N2 以上の学校においては、「困難である」とした割合が低かったが、「介護の場面で起きる事象についての理解」については学力評価試験点数の多寡による違いがみられなかった。また、「日本語の文化的慣習に基づく事柄に対する理解」については、留学生の独自のサポート体制を複数件行っている学校の方が「困難である」とした割合が低かった。さらに、「医療・介護の用語の理解」、「基礎疾患、障害等の症状、状況等の理解」、「介護に関する法律、サービスについての理解」については、学力評価試験点数、入学時日本語要件等の属性で差はあったものの、他の項目と比べて「困難である」とされている傾向が高かった。



①医療・介護の用語の理解

		調査数	困難である	どちらともいえない	困難でない
全体		114	79.8	14.9	5.3
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	12	66.7	25.0	8.3
	50点以上70点未満	29	93.1	6.9	0.0
	50点未満	18	94.5	5.6	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生合計1人以上5人未満の 学校）	100%	11	72.7	18.2	9.1
	75%以上（100%除く）	1	100.0	0.0	0.0
	50%以上75%未満	5	80.0	20.0	0.0
	50%未満（0%除く）	4	75.0	25.0	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生5人以上の学校）	100%	2	100.0	0.0	0.0
	75%以上（100%除く）	6	50.0	33.3	16.7
	50%以上75%未満	9	100.0	0.0	0.0
	50%未満（0%除く）	20	85.0	15.0	0.0
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	18	88.8	11.1	0.0
	50%以上75%未満	28	82.2	14.3	3.6
	25%以上50%未満	21	85.7	14.3	0.0
	25%未満	45	73.3	17.8	8.9
入学時日本語要件	N2以上	44	79.5	11.4	9.1
	N3以下	46	84.8	13.0	2.2
留学生受入れ意向	増やしたい	42	83.4	9.5	7.2
	現状を維持したい	63	79.4	17.5	3.2
	減らしたい・やめたい	9	66.6	22.2	11.1
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	50	86.0	8.0	6.0
	3種類未満	64	75.0	20.3	4.7
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が授業よって分割	10	90.0	10.0	0.0
	日本人学生/留学生が混在	101	78.2	15.8	6.0
	日本人学生が不在	3	100.0	0.0	0.0

- ・ 養成校別にみると、学力評価試験点数が高い学校、入学時日本語要件 N2 以上の学校においては、「困難である」とした割合が低かった。

②基礎疾患、障害等の症状・状況等の理解

		調査数	困難である	どちらともいえない	困難でない
全体		114	79.0	14.9	6.1
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	12	75.0	8.3	16.7
	50点以上70点未満	29	93.1	6.9	0.0
	50点未満	18	88.9	11.1	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生合計1人以上5人未満の 学校）	100%	11	81.9	9.1	9.1
	75%以上（100%除く）	1	100.0	0.0	0.0
	50%以上75%未満	5	80.0	20.0	0.0
	50%未満（0%除く）	4	75.0	25.0	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生5人以上の学校）	100%	2	100.0	0.0	0.0
	75%以上（100%除く）	6	50.0	33.3	16.7
	50%以上75%未満	9	100.0	0.0	0.0
	50%未満（0%除く）	20	80.0	20.0	0.0
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	18	88.9	11.1	0.0
	50%以上75%未満	28	78.5	14.3	7.1
	25%以上50%未満	21	85.7	14.3	0.0
	25%未満	45	73.3	17.8	8.9
入学時日本語要件	N2以上	44	77.3	11.4	11.4
	N3以下	46	82.6	15.2	2.2
留学生受入れ意向	増やしたい	42	85.8	7.1	7.1
	現状を維持したい	63	74.6	20.6	4.8
	減らしたい・やめたい	9	77.8	11.1	11.1
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	50	80.0	14.0	6.0
	3種類未満	64	78.2	15.6	6.3
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が授業よって分割	10	80.0	20.0	0.0
	日本人学生/留学生が混在	101	78.2	14.9	6.9
	日本人学生が不在	3	100.0	0.0	0.0

- ・ 養成校別にみると、学力評価試験点数が高い学校、入学時日本語要件 N2 以上の学校においては、「困難である」とした割合が低かった。

③介護の場面で起きる事象についての理解

		調査数	困難である	どちらともいえない	困難でない
全体		114	52.6	33.3	14.1
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	12	50.0	33.3	16.7
	50点以上70点未満	29	62.0	31.0	6.9
	50点未満	18	55.6	27.8	16.7
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生合計1人以上5人未満の 学校）	100%	11	63.7	18.2	18.2
	75%以上（100%除く）	1	0.0	100.0	0.0
	50%以上75%未満	5	40.0	40.0	20.0
	50%未満（0%除く）	4	75.0	25.0	0.0
	0%	10	50.0	40.0	10.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生5人以上の学校）	100%	2	100.0	0.0	0.0
	75%以上（100%除く）	6	50.0	16.7	33.3
	50%以上75%未満	9	44.4	55.6	0.0
	50%未満（0%除く）	20	50.0	40.0	10.0
	0%	13	30.8	53.8	15.4
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	18	55.5	38.9	5.6
	50%以上75%未満	28	50.0	35.7	14.3
	25%以上50%未満	21	61.9	23.8	14.3
	25%未満	45	51.1	33.3	15.5
入学時日本語要件	N2以上	44	52.3	22.7	25.0
	N3以下	46	58.7	32.6	8.7
留学生受入れ意向	増やしたい	42	54.8	33.3	11.9
	現状を維持したい	63	50.8	34.9	14.3
	減らしたい・やめたい	9	55.5	22.2	22.2
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	50	54.0	34.0	12.0
	3種類未満	64	51.5	32.8	15.6
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が授業よって分割	10	20.0	60.0	20.0
	日本人学生/留学生が混在	101	54.5	31.7	13.9
	日本人学生が不在	3	100.0	0.0	0.0

- ・ 養成校別にみると、学力評価試験点数が高い学校、入学時日本語要件 N2 以上の学校においては、「困難でない」とした割合が高かった。
- ・ 学力評価試験点数の多寡によって特筆的な違いは見られなかった。

④介護の手法についての理解

		調査数	困難である	どちらともいえない	困難でない
全体		114	31.5	29.8	38.6
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	12	33.3	25.0	41.7
	50点以上70点未満	29	34.5	37.9	27.6
	50点未満	18	44.5	27.8	27.8
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生合計1人以上5人未満の 学校）	100%	11	27.3	27.3	45.5
	75%以上（100%除く）	1	0.0	100.0	0.0
	50%以上75%未満	5	40.0	20.0	40.0
	50%未満（0%除く）	4	75.0	25.0	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生5人以上の学校）	100%	2	100.0	0.0	0.0
	75%以上（100%除く）	6	33.3	16.7	50.0
	50%以上75%未満	9	22.2	33.3	44.4
	50%未満（0%除く）	20	30.0	35.0	35.0
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	18	50.0	33.3	16.7
	50%以上75%未満	28	21.4	35.7	42.9
	25%以上50%未満	21	33.4	23.8	42.9
	25%未満	45	31.1	26.7	42.2
入学時日本語要件	N2以上	44	29.6	27.3	43.2
	N3以下	46	37.0	30.4	32.6
留学生受入れ意向	増やしたい	42	31.0	28.6	40.5
	現状を維持したい	63	33.3	31.7	34.9
	減らしたい・やめたい	9	22.2	22.2	55.5
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	50	32.0	28.0	40.0
	3種類未満	64	31.3	31.3	37.5
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が授業よって分割	10	20.0	40.0	40.0
	日本人学生/留学生が混在	101	31.6	29.7	38.7
	日本人学生が不在	3	66.7	0.0	33.3

- ・ 養成校別にみると、学力評価試験点数が高い学校、入学時日本語要件 N2 以上の学校においては、「困難である」とした割合が低かった。

⑤介護に関する法律、サービスについての理解

		調査数	困難である	どちらともいえない	困難でない
全体		114	83.4	11.4	5.3
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	12	75.0	8.3	16.7
	50点以上70点未満	29	96.6	3.4	0.0
	50点未満	18	88.9	11.1	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生合計1人以上5人未満の 学校）	100%	11	72.8	9.1	18.2
	75%以上（100%除く）	1	0.0	100.0	0.0
	50%以上75%未満	5	80.0	20.0	0.0
	50%未満（0%除く）	4	100.0	0.0	0.0
	0%	10	90.0	10.0	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生5人以上の学校）	100%	2	100.0	0.0	0.0
	75%以上（100%除く）	6	83.3	0.0	16.7
	50%以上75%未満	9	100.0	0.0	0.0
	50%未満（0%除く）	20	90.0	10.0	0.0
	0%	13	84.7	15.4	0.0
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	18	83.4	16.7	0.0
	50%以上75%未満	28	85.8	3.6	10.7
	25%以上50%未満	21	95.2	4.8	0.0
	25%未満	45	77.8	17.8	4.4
入学時日本語要件	N2以上	44	81.8	9.1	9.1
	N3以下	46	89.1	6.5	4.3
留学生受入れ意向	増やしたい	42	83.3	14.3	2.4
	現状を維持したい	63	82.5	11.1	6.3
	減らしたい・やめたい	9	88.9	0.0	11.1
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	50	88.0	10.0	2.0
	3種類未満	64	79.7	12.5	7.8
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が授業よって分割	10	100.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が混在	101	81.2	12.9	5.9
	日本人学生が不在	3	100.0	0.0	0.0

- ・ 養成校別にみると、学力評価試験点数が高い学校、入学時日本語要件 N2 以上の学校においては、「困難である」とした割合が低かった。

⑥ 日本語全般への理解

		調査数	困難である	どちらともいえない	困難でない
全体		114	67.6	21.1	11.4
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	12	<u>50.0</u>	<u>8.3</u>	<u>41.7</u>
	50点以上70点未満	29	69.0	27.6	3.4
	50点未満	18	<u>88.9</u>	<u>5.6</u>	5.6
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生合計1人以上5人未満の 学校）	100%	11	<u>27.3</u>	<u>45.5</u>	<u>27.3</u>
	75%以上（100%除く）	1	<u>100.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>
	50%以上75%未満	5	<u>80.0</u>	20.0	<u>0.0</u>
	50%未満（0%除く）	4	75.0	25.0	<u>0.0</u>
	0%	10	60.0	30.0	10.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生5人以上の学校）	100%	2	<u>100.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>
	75%以上（100%除く）	6	<u>33.4</u>	<u>33.3</u>	<u>33.3</u>
	50%以上75%未満	9	<u>100.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>
	50%未満（0%除く）	20	<u>85.0</u>	15.0	<u>0.0</u>
	0%	13	<u>53.9</u>	30.8	15.4
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	18	<u>77.8</u>	<u>11.1</u>	11.2
	50%以上75%未満	28	67.9	21.4	10.7
	25%以上50%未満	21	76.2	19.0	4.8
	25%未満	45	60.0	26.7	13.3
入学時日本語要件	N2以上	44	<u>61.3</u>	22.7	15.9
	N3以下	46	<u>73.9</u>	19.6	6.5
留学生受入れ意向	増やしたい	42	64.3	21.4	14.3
	現状を維持したい	63	71.4	19.0	9.5
	減らしたい・やめたい	9	<u>55.5</u>	<u>33.3</u>	11.1
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	50	70.0	20.0	10.0
	3種類未満	64	65.6	21.9	12.5
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が授業よって分割	10	70.0	30.0	<u>0.0</u>
	日本人学生/留学生が混在	101	67.4	19.8	12.9
	日本人学生が不在	3	66.6	<u>33.3</u>	<u>0.0</u>

- ・ 養成校別にみると、学力評価試験点数が高い学校、入学時日本語要件 N2 以上の学校においては、「困難である」とした割合が低かった。

⑦日本の文化的慣習に基づく事柄に対する理解

		調査数	困難である	どちらともいえない	困難でない
全体		114	54.4	28.1	17.5
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	12	50.0	25.0	25.0
	50点以上70点未満	29	62.1	27.6	10.3
	50点未満	18	61.1	27.8	11.2
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生合計1人以上5人未満の 学校）	100%	11	54.6	9.1	36.4
	75%以上（100%除く）	1	0.0	100.0	0.0
	50%以上75%未満	5	60.0	20.0	20.0
	50%未満（0%除く）	4	50.0	50.0	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生5人以上の学校）	100%	2	100.0	0.0	0.0
	75%以上（100%除く）	6	50.0	0.0	50.0
	50%以上75%未満	9	44.4	55.6	0.0
	50%未満（0%除く）	20	55.0	45.0	0.0
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	18	55.6	27.8	16.7
	50%以上75%未満	28	53.5	28.6	17.9
	25%以上50%未満	21	52.3	38.1	9.5
	25%未満	45	57.8	22.2	20.0
入学時日本語要件	N2以上	44	56.8	20.5	22.8
	N3以下	46	54.3	32.6	13.1
留学生受入れ意向	増やしたい	42	45.2	31.0	23.8
	現状を維持したい	63	60.3	25.4	14.3
	減らしたい・やめたい	9	55.5	33.3	11.1
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	50	68.0	20.0	12.0
	3種類未満	64	43.8	34.4	21.9
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が授業よって分割	10	40.0	50.0	10.0
	日本人学生/留学生が混在	101	55.5	25.7	18.8
	日本人学生が不在	3	66.6	33.3	0.0

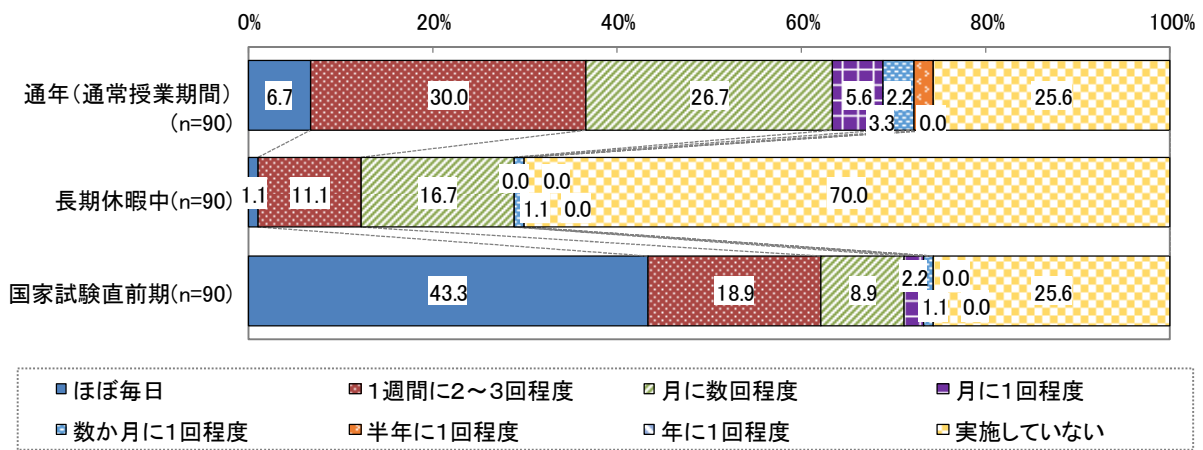
- ・ 養成校別にみると、学力評価試験点数が高い学校においては、「困難である」とした割合が低かった。
- ・ また、留学生の独自のサポート体制を複数行っている学校においては、「困難である」とした割合が高かった。

【問 10 「2. 国家試験対策の補講を実施している」で有と回答の方】

問 10-2：介護の専門学習に特化した補講（日本語学習は除く）について、おおよそどの程度の頻度で行っているか、時期ごとに教えてください。なお、複数の科目で補講を行っている場合は、そのすべての回数を足し合わせたものをお答えください。

- ・ 卒業年度の留学生向けの介護の専門学習に特化した補講に関しては、「ほぼ毎日」、「1週間に2～3回程度」を合算すると、「国家試験直前期」においては過半数の学校で週2～3回以上の介護の専門学習の補講が行われていた。
- ・ 養成校別にみると、いずれの期間においても、平成31年、令和2年の留学生の合格者率が低い学校の場合、「実施していない」割合が高い傾向にあったが、国家試験直前期においては、学力評価試験点数の高い学校も「実施していない」割合が高く、こういった学校においては留学生の自習等の時間を確保しているケースも想定される。

<卒業年度の留学生向け>



<卒業年度の留学生> 通年（通常授業期間）

	調査数	ほぼ毎日	1週間に 2～3回 程度	月に数回 程度	月に1回 程度	数か月に 1回程度	半年に1 回程度	年に1回 程度	実施して いない	
全体	90	6.7	30.0	26.7	5.6	3.3	2.2	0.0	25.6	
留学生の学力評価試験点数（学 校平均）	70点以上	11	0.0	18.2	9.1	27.3	9.1	9.1	0.0	27.3
	50点以上70点未満	23	4.3	30.4	34.8	4.3	4.3	0.0	0.0	21.7
	50点未満	14	7.1	28.6	28.6	7.1	0.0	0.0	0.0	28.6
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生合計1人以上5人未満の 学校）	100%	10	10.0	30.0	20.0	10.0	10.0	0.0	10.0	
	75%以上（100%除く）	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	50%以上75%未満	5	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	
	50%未満（0%除く）	4	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
0%	8	0.0	37.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5	
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生5人以上の学校）	100%	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
	75%以上（100%除く）	4	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	50%以上75%未満	7	0.0	57.1	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	
	50%未満（0%除く）	16	6.3	25.0	50.0	0.0	6.3	0.0	0.0	
0%	7	14.3	0.0	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0	42.9	
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	12	8.3	33.3	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	50%以上75%未満	21	4.8	28.6	28.6	4.8	4.8	0.0	0.0	
	25%以上50%未満	17	11.8	11.8	29.4	11.8	5.9	5.9	0.0	
	25%未満	39	5.1	38.5	17.9	5.1	2.6	0.0	0.0	
入学時日本語要件	N2以上	36	2.8	22.2	30.6	8.3	2.8	0.0	0.0	
	N3以下	33	9.1	39.4	27.3	6.1	3.0	3.0	0.0	
留学生受入れ意向	増やしたい	34	0.0	29.4	35.3	5.9	2.9	0.0	0.0	
	現状を維持したい	51	11.8	29.4	23.5	2.0	3.9	3.9	0.0	
	減らしたい・やめたい	5	0.0	40.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	44	4.5	31.8	36.4	9.1	2.3	2.3	0.0	
	3種類未満	46	8.7	28.3	17.4	2.2	4.3	2.2	0.0	
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	日本人学生/留学生が授業よって分割	8	12.5	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	日本人学生/留学生が混在	82	6.1	28.0	26.8	6.1	3.7	2.4	0.0	
	日本人学生が不在	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

- ・ 養成校別にみると、平成31年、令和2年の留学生の合格者率が低い学校の場合、「実施していない」割合が高い傾向にあった。

<卒業年度の留学生>長期休暇中

	調査数	ほぼ毎日	1週間に 2～3回 程度	月に数回 程度	月に1回 程度	数か月に 1回程度	半年に1 回程度	年に1回 程度	実施して いない
全体	90	1.1	11.1	16.7	0.0	1.1	0.0	0.0	70.0
留学生の学力評価試験点数（学 校平均）	70点以上	11	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	81.8
	50点以上70点未満	23	0.0	13.0	21.7	0.0	0.0	0.0	65.2
	50点未満	14	0.0	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0	57.1
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生合計1人以上5人未満の 学校）	100%	10	0.0	10.0	10.0	0.0	10.0	0.0	70.0
	75%以上（100%除く）	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	50%以上75%未満	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	50%未満（0%除く）	4	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0
0%	8	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	75.0	
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生5人以上の学校）	100%	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	75%以上（100%除く）	4	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	50%以上75%未満	7	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	85.7
	50%未満（0%除く）	16	0.0	6.3	37.5	0.0	0.0	0.0	56.3
0%	7	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	85.7	
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	12	0.0	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	50.0
	50%以上75%未満	21	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	71.4
	25%以上50%未満	17	0.0	17.6	5.9	0.0	0.0	0.0	76.5
	25%未満	39	2.6	5.1	17.9	0.0	2.6	0.0	71.8
入学時日本語要件	N2以上	36	0.0	8.3	16.7	0.0	2.8	0.0	72.2
	N3以下	33	3.0	15.2	18.2	0.0	0.0	0.0	63.6
留学生受入れ意向	増やしたい	34	0.0	5.9	17.6	0.0	0.0	0.0	76.5
	現状を維持したい	51	2.0	15.7	17.6	0.0	2.0	0.0	62.7
	減らしたい・やめたい	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	44	0.0	15.9	18.2	0.0	0.0	0.0	65.9
	3種類未満	46	2.2	6.5	15.2	0.0	2.2	0.0	73.9
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が授業よって分割	8	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	62.5
	日本人学生/留学生が混在	82	0.0	11.0	17.1	0.0	1.2	0.0	70.7
	日本人学生が不在	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

- ・ 養成校別にみると、平成31年、令和2年の留学生の合格者率が低い学校の場合、「実施していない」割合が高い傾向にあった。

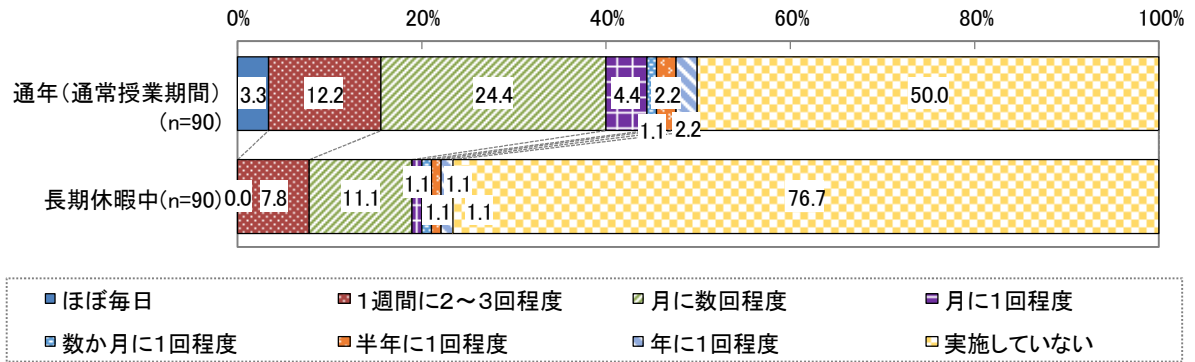
<卒業年度の留学生> 国家試験直前期

	調査数	ほぼ毎日	1週間に 2～3回 程度	月に数回 程度	月に1回 程度	数か月に 1回程度	半年に1 回程度	年に1回 程度	実施して いない
全体	90	43.3	18.9	8.9	2.2	1.1	0.0	0.0	25.6
留学生の学力評価試験点数（学 校平均）	70点以上	11	27.3	27.3	9.1	0.0	0.0	0.0	36.4
	50点以上70点未満	23	56.5	21.7	4.3	4.3	0.0	0.0	13.0
	50点未満	14	50.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	42.9
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生合計1人以上5人未満の 学校）	100%	10	50.0	10.0	20.0	10.0	0.0	0.0	10.0
	75%以上（100%除く）	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50%以上75%未満	5	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50%未満（0%除く）	4	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0
0%	8	37.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生5人以上の学校）	100%	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	75%以上（100%除く）	4	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	50%以上75%未満	7	71.4	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0
	50%未満（0%除く）	16	37.5	18.8	18.8	0.0	0.0	0.0	25.0
0%	7	28.6	14.3	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	12	33.3	58.3	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3
	50%以上75%未満	21	42.9	19.0	9.5	4.8	4.8	0.0	19.0
	25%以上50%未満	17	35.3	17.6	17.6	5.9	0.0	0.0	23.5
	25%未満	39	51.3	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	33.3
入学時日本語要件	N2以上	36	41.7	19.4	8.3	0.0	0.0	0.0	30.6
	N3以下	33	48.5	21.2	9.1	6.1	0.0	0.0	15.2
留学生受入れ意向	増やしたい	34	32.4	23.5	5.9	0.0	2.9	0.0	35.3
	現状を維持したい	51	45.1	17.6	11.8	3.9	0.0	0.0	21.6
	減らしたい・やめたい	5	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	44	47.7	25.0	9.1	2.3	0.0	0.0	15.9
	3種類未満	46	39.1	13.0	8.7	2.2	2.2	0.0	34.8
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が授業によって分割	8	50.0	37.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が混在	82	42.7	17.1	9.8	1.2	1.2	0.0	28.0
	日本人学生が不在	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

- ・ 養成校別にみると、平成31年、令和2年の留学生の合格者率が低い学校の場合、「実施していない」割合が高い傾向にあったが、学力評価試験点数が高い学校においてもその傾向があり、学校によっては学生の試験理解状況等を鑑み、国家試験直前期においてはあえて補講等を行わず、自習等の時間を確保しているケースも想定される。

- 卒業年度以外の留学生向けの介護の専門学習に特化した補講に関しては、「ほぼ毎日」、「1週間に2～3回程度」を合算すると、通年（通常授業期間）においても2割弱の学校しか補講を行っていなかった。

<卒業年度以外の留学生向け>



<卒業年度以外の留学生>通年（通常授業期間）

	調査数	ほぼ毎日	1週間に2～3回程度	月に数回程度	月に1回程度	数か月に1回程度	半年に1回程度	年に1回程度	実施していない	
全体	90	3.3	12.2	24.4	4.4	1.1	2.2	2.2	50.0	
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	11	0.0	18.2	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	63.6
	50点以上70点未満	23	0.0	8.7	34.8	4.3	0.0	4.3	8.7	39.1
	50点未満	14	0.0	7.1	14.3	7.1	0.0	0.0	0.0	71.4
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 (留学生合計1人以上5人未満の 学校)	100%	10	0.0	30.0	10.0	20.0	10.0	0.0	0.0	30.0
	75%以上(100%除く)	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50%以上75%未満	5	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0
	50%未満(0%除く)	4	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 (留学生5人以上の学校)	100%	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	75%以上(100%除く)	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0
	50%以上75%未満	7	0.0	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1
	50%未満(0%除く)	16	0.0	12.5	31.3	6.3	0.0	0.0	6.3	43.8
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	12	0.0	0.0	25.0	8.3	0.0	0.0	0.0	66.7
	50%以上75%未満	21	4.8	9.5	19.0	4.8	0.0	4.8	4.8	52.4
	25%以上50%未満	17	0.0	11.8	35.3	0.0	0.0	5.9	0.0	47.1
	25%未満	39	5.1	17.9	23.1	5.1	2.6	0.0	2.6	43.6
入学時日本語要件	N2以上	36	5.6	11.1	22.2	8.3	2.8	5.6	2.8	41.7
	N3以下	33	0.0	12.1	36.4	3.0	0.0	0.0	3.0	45.5
留学生受入れ意向	増やしたい	34	2.9	14.7	29.4	2.9	0.0	0.0	0.0	50.0
	現状を維持したい	51	3.9	11.8	23.5	3.9	2.0	3.9	3.9	47.1
	減らしたい・やめたい	5	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	80.0
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	44	2.3	11.4	29.5	9.1	0.0	4.5	2.3	40.9
	3種類未満	46	4.3	13.0	19.6	0.0	2.2	0.0	2.2	58.7
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が授業によって分割	8	0.0	12.5	37.5	12.5	0.0	12.5	0.0	25.0
	日本人学生/留学生が混在	82	3.7	12.2	23.2	3.7	1.2	1.2	2.4	52.4
	日本人学生が不在	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

- 養成校別にみると、学力評価試験点数が高い学校においても「実施していない」の傾向が高い一方、「1週間に2～3回程度」実施している傾向が高かった。

<卒業年度以外の留学生>長期休暇中

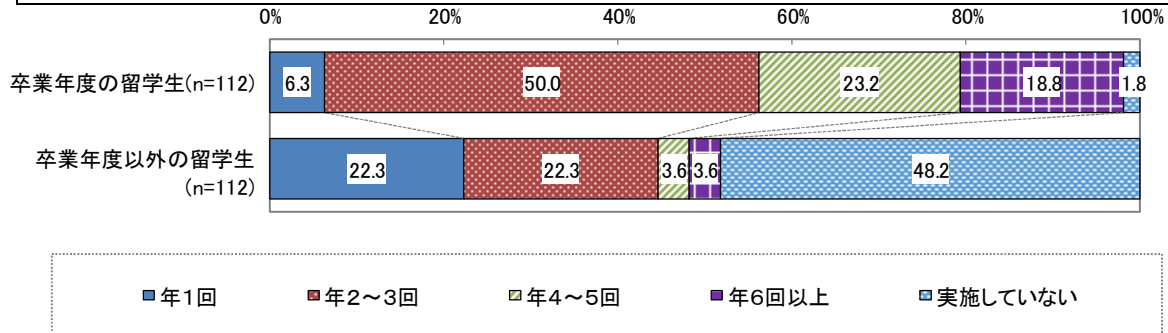
		調査数	ほぼ毎日	1週間に 2～3回 程度	月に数回 程度	月に1回 程度	数か月に 1回程度	半年に1 回程度	年に1回 程度	実施して いない
	全体	90	0.0	7.8	11.1	1.1	1.1	1.1	1.1	76.7
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	11	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	90.9
	50点以上70点未満	23	0.0	4.3	21.7	0.0	0.0	4.3	0.0	69.6
	50点未満	14	0.0	7.1	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	78.6
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生合計1人以上5人未満の 学校）	100%	10	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	80.0
	75%以上（100%除く）	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	50%以上75%未満	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	50%未満（0%除く）	4	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0
	0%	8	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	87.5
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生5人以上の学校）	100%	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	75%以上（100%除く）	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0
	50%以上75%未満	7	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	85.7
	50%未満（0%除く）	16	0.0	0.0	31.3	0.0	0.0	0.0	0.0	68.8
	0%	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	12	0.0	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0	8.3	66.7
	50%以上75%未満	21	0.0	9.5	9.5	0.0	0.0	4.8	0.0	76.2
	25%以上50%未満	17	0.0	0.0	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0	88.2
	25%未満	39	0.0	10.3	10.3	2.6	2.6	0.0	0.0	74.4
入学時日本語要件	N2以上	36	0.0	2.8	13.9	2.8	2.8	2.8	0.0	75.0
	N3以下	33	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	3.0	78.8
留学生受入れ意向	増やしたい	34	0.0	2.9	8.8	2.9	0.0	0.0	2.9	82.4
	現状を維持したい	51	0.0	11.8	13.7	0.0	2.0	2.0	0.0	70.6
	減らしたい・やめたい	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	44	0.0	6.8	15.9	2.3	0.0	2.3	0.0	72.7
	3種類未満	46	0.0	8.7	6.5	0.0	2.2	0.0	2.2	80.4
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が授業によって分割	8	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	62.5
	日本人学生/留学生が混在	82	0.0	7.3	11.0	1.2	1.2	0.0	1.2	78.0
	日本人学生が不在	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

- ・ 養成校別にみると、学力評価試験点数が高い学校においては、ほとんど「実施していない」の傾向が高かった。

【問 10 「4. ミニテスト、国家試験の模擬試験等のテストを実施」で有と回答の方】

問 10-3：介護の専門学習に関する模擬試験等（国家試験の時間制限と同様に模擬試験形式で行う試験。当協会が行う学力評価試験も含む）について、年何回程度行うか教えてください。

- ・卒業年度においては、過半数の学校が年2～3回以上は国家試験の模擬試験等を実施していた。
- ・養成校別にみると、学力評価試験が高い学校においては卒業年度の学生でなくとも国家試験の模擬試験を実施している傾向にあり、早めに国家試験に慣れさせている。



<卒業年度の留学生>

		調査数	年1回	年2～3回	年4～5回	年6回以上	実施していない
全体		112	6.3	50.0	23.2	18.8	1.8
留学生の学力評価試験点数 (学校平均)	70点以上	12	8.3	58.3	25.0	8.3	0.0
	50点以上70点未満	28	7.1	39.3	25.0	28.6	0.0
	50点未満	18	5.6	55.6	27.8	11.1	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の国家試験合格率 (留学生合計1人以上5人未満の学校)	100%	11	0.0	45.5	45.5	9.1	0.0
	75%以上 (100%除く)	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	50%以上75%未満	5	0.0	20.0	0.0	80.0	0.0
	50%未満 (0%除く)	4	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0
0%	10	0.0	40.0	30.0	30.0	0.0	
H31年3月・R2年3月の留学生の国家試験合格率 (留学生5人以上の学校)	100%	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	75%以上 (100%除く)	6	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
	50%以上75%未満	9	0.0	33.3	55.6	11.1	0.0
	50%未満 (0%除く)	19	5.3	47.4	21.1	26.3	0.0
0%	13	0.0	76.9	7.7	15.4	0.0	
R3年3月卒業生における留学生比率	75%以上	18	5.6	72.2	22.2	0.0	0.0
	50%以上75%未満	27	11.1	44.4	14.8	29.6	0.0
	25%以上50%未満	21	0.0	52.4	28.6	19.0	0.0
25%未満	44	6.8	40.9	27.3	20.5	4.5	
入学時日本語要件	N2以上	43	7.0	48.8	23.3	18.6	2.3
	N3以下	45	6.7	55.6	20.0	17.8	0.0
留学生受入れ意向	増やしたい	42	7.1	47.6	23.8	21.4	0.0
	現状を維持したい	61	4.9	47.5	26.2	18.0	3.3
	減らしたい・やめたい	9	11.1	77.8	0.0	11.1	0.0
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	50	6.0	48.0	24.0	22.0	0.0
	3種類未満	62	6.5	51.6	22.6	16.1	3.2
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が授業よって分割	10	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0
	日本人学生/留学生が混在	99	5.1	49.5	24.2	19.2	2.0
	日本人学生が不在	3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

- ・養成校別にみても、特筆的な傾向は見られなかった。

<卒業年度以外の留学生>

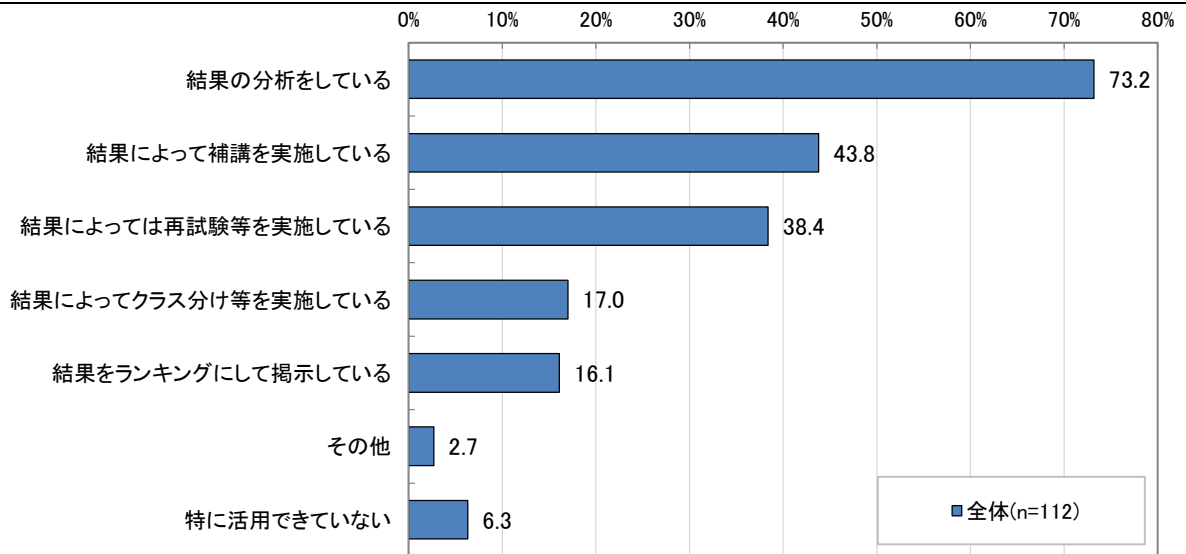
		調査数	年1回	年2～3回	年4～5回	年6回以上	実施していない
全体		112	22.3	22.3	3.6	3.6	48.2
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	12	33.3	8.3	16.7	0.0	41.7
	50点以上70点未満	28	21.4	32.1	0.0	7.1	39.3
	50点未満	18	22.2	16.7	5.6	0.0	55.6
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 (留学生合計1人以上5人未満の 学校)	100%	11	18.2	18.2	18.2	9.1	36.4
	75%以上(100%除く)	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	50%以上75%未満	5	20.0	20.0	0.0	20.0	40.0
	50%未満(0%除く)	4	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 (留学生5人以上の学校)	100%	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	75%以上(100%除く)	6	0.0	16.7	0.0	0.0	83.3
	50%以上75%未満	9	44.4	22.2	0.0	0.0	33.3
	50%未満(0%除く)	19	26.3	21.1	0.0	5.3	47.4
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	18	27.8	22.2	0.0	0.0	50.0
	50%以上75%未満	27	18.5	25.9	3.7	3.7	48.1
	25%以上50%未満	21	38.1	14.3	4.8	4.8	38.1
	25%未満	44	15.9	22.7	4.5	4.5	52.3
入学時日本語要件	N2以上	43	18.6	32.6	2.3	4.7	41.9
	N3以下	45	22.2	13.3	4.4	4.4	55.6
留学生受入れ意向	増やしたい	42	19.0	16.7	2.4	4.8	57.1
	現状を維持したい	61	23.0	27.9	4.9	1.6	42.6
	減らしたい・やめたい	9	33.3	11.1	0.0	11.1	44.4
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	50	28.0	26.0	2.0	2.0	42.0
	3種類未満	62	17.7	19.4	4.8	4.8	53.2
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が授業よって分割	10	10.0	20.0	0.0	10.0	60.0
	日本人学生/留学生が混在	99	24.2	22.2	4.0	3.0	46.5
	日本人学生が不在	3	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7

- ・ 養成校別にみると、学力評価試験が高い学校においては「実施していない」の割合が低く、卒業年度の学生でなくとも模擬試験を実施し、早めに国家試験に慣れさせている。

【問 10 「4. ミニテスト、国家試験の模擬試験等のテストを実施」で有と回答の方】

問 10-4：介護の専門学習に関するミニテスト、国家試験の模擬試験等の結果の活用方法について教えてください。

- ・ 「結果の分析をしている」が 73.2%と最も高く、次いで「結果によって補講を実施している」が 43.8%と続いた。
- ・ 養成校別にみると、学力評価試験点数が高い学校においては「結果によってクラス分け等を実施している」等、習熟度別に指導を行っている傾向にあり、低い学校においては「結果によっては再試験等を実施している」、「結果によって補講を実施している」、「結果をランキングにして掲示している」といった傾向にある。

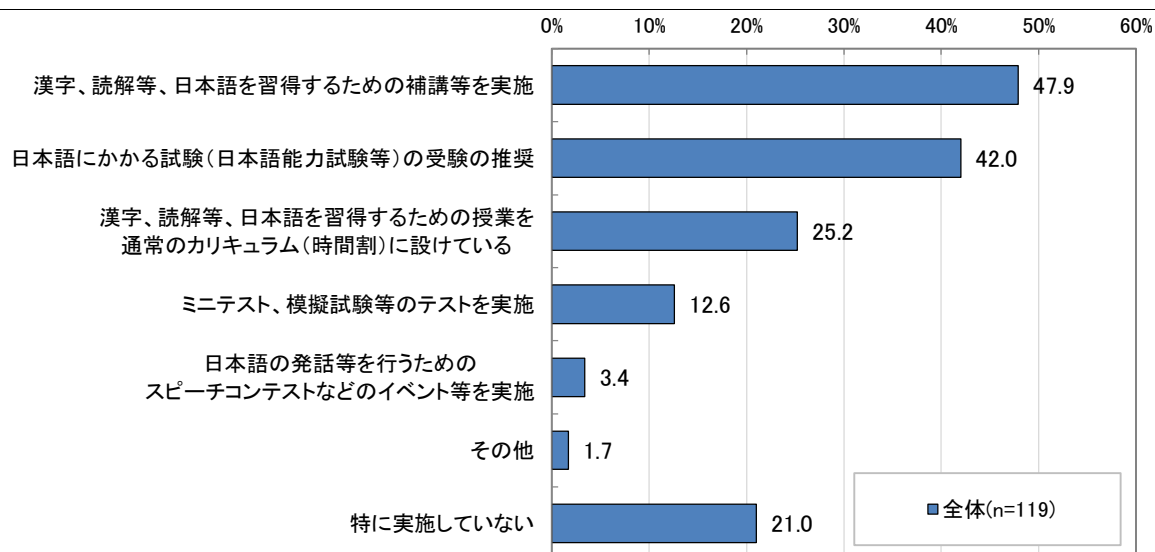


		調査数	結果の分析をしている	結果によって再試験等を実施している	結果によって補講を実施している	結果によってクラス分け等を実施している	結果をランキングにして掲示している	その他	特に活用できていない
	全体	112	73.2	38.4	43.8	17.0	16.1	2.7	6.3
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	12	<u>50.0</u>	41.7	41.7	<u>41.7</u>	<u>0.0</u>	8.3	0.0
	50点以上70点未満	28	<u>85.7</u>	39.3	53.6	21.4	17.9	3.6	3.6
	50点未満	18	<u>55.6</u>	<u>50.0</u>	<u>55.6</u>	<u>5.6</u>	<u>22.2</u>	0.0	5.6
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 (留学生合計1人以上5人未満の 学校)	100%	11	<u>90.9</u>	45.5	<u>54.5</u>	<u>27.3</u>	18.2	0.0	0.0
	75%以上(100%除く)	1	<u>100.0</u>	<u>100.0</u>	<u>100.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	0.0	0.0
	50%以上75%未満	5	<u>20.0</u>	<u>60.0</u>	<u>60.0</u>	20.0	20.0	0.0	0.0
	50%未満(0%除く)	4	75.0	<u>75.0</u>	<u>75.0</u>	<u>0.0</u>	<u>25.0</u>	0.0	0.0
	0%	10	70.0	30.0	40.0	10.0	10.0	0.0	<u>20.0</u>
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 (留学生5人以上の学校)	100%	2	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	<u>50.0</u>	<u>0.0</u>	<u>50.0</u>	0.0
	75%以上(100%除く)	6	<u>83.3</u>	<u>50.0</u>	<u>33.3</u>	<u>50.0</u>	<u>0.0</u>	0.0	0.0
	50%以上75%未満	9	<u>88.9</u>	<u>22.2</u>	<u>33.3</u>	<u>44.4</u>	<u>0.0</u>	0.0	0.0
	50%未満(0%除く)	19	<u>89.5</u>	47.4	47.4	10.5	<u>36.8</u>	0.0	0.0
	0%	13	76.9	38.5	38.5	15.4	15.4	0.0	7.7
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	18	<u>88.9</u>	<u>27.8</u>	50.0	16.7	16.7	5.6	5.6
	50%以上75%未満	27	70.4	48.1	40.7	11.1	<u>22.2</u>	3.7	3.7
	25%以上50%未満	21	66.7	42.9	52.4	23.8	14.3	0.0	4.8
	25%未満	44	70.5	36.4	40.9	18.2	13.6	2.3	9.1
入学時日本語要件	N2以上	43	69.8	39.5	46.5	14.0	11.6	4.7	4.7
	N3以下	45	75.6	40.0	44.4	20.0	15.6	0.0	6.7
留学生受入れ意向	増やしたい	42	71.4	40.5	38.1	14.3	14.3	2.4	4.8
	現状を維持したい	61	73.8	37.7	49.2	19.7	16.4	1.6	6.6
	減らしたい・やめたい	9	77.8	33.3	<u>33.3</u>	11.1	<u>22.2</u>	<u>11.1</u>	11.1
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	50	76.0	30.0	50.0	26.0	20.0	2.0	4.0
	3種類未満	62	71.0	45.2	38.7	9.7	12.9	3.2	8.1
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が授業によって分割	10	<u>90.0</u>	40.0	50.0	<u>40.0</u>	<u>30.0</u>	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が混在	99	71.7	38.4	43.4	15.2	15.2	2.0	7.1
	日本人学生が不在	3	66.7	33.3	<u>33.3</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	<u>33.3</u>	0.0

(4)日本語の専門学習

問 11：留学生を対象とした貴校独自が実施している日本語の専門学習について、該当するものを教えてください。

- ・「漢字、読解等、日本語を習得するための補講等を実施」が 47.9%と最も高く、次いで「日本語にかかる試験（日本語能力試験等）の受験の推奨」が 42.0%と続いた。
- ・養成校別にみると、学力評価試験点数が高い学校、平成 31 年、令和 2 年の留学生の合格者率が高い学校においては、「特に実施していない」の傾向が高く、そもそも日本語指導を積極的に行わなくともよい現状があることがうかがえる。

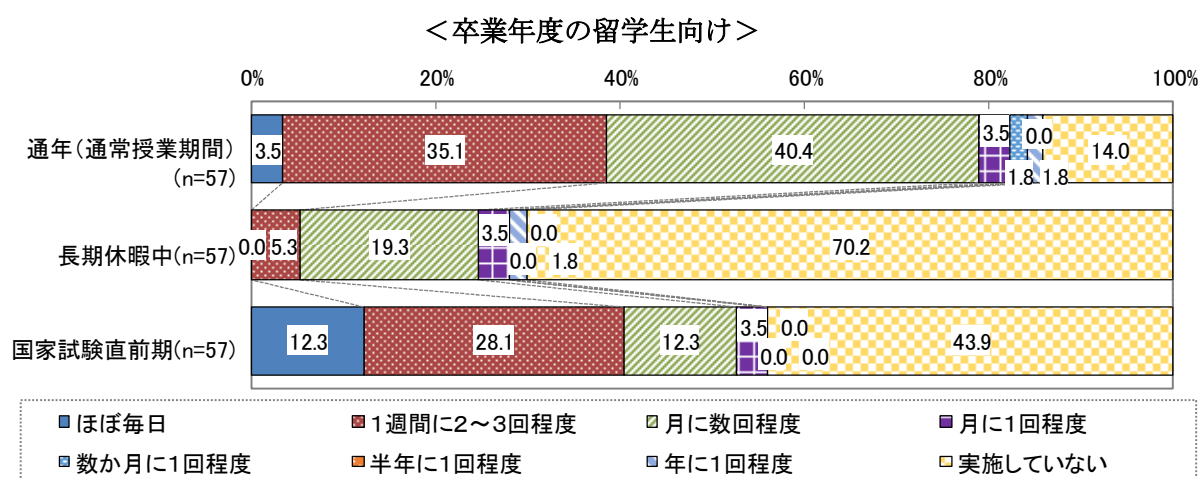


		調査数	漢字、読解等、日本語を習得するための授業を通常のカリキュラム(時間割)に設けている	漢字、読解等、日本語を習得するための補講等を実施	日本語の発話等を行うためのスピーチコンテストなどのイベント等を実施	ミニテスト、模擬試験等のテストを実施	日本語にかかる試験(日本語能力試験等)の受験の推奨	その他	特に実施していない
	全体	119	25.2	47.9	3.4	12.6	42.0	1.7	21.0
留学生の学力評価試験点数(学校平均)	70点以上	13	15.4	<u>23.1</u>	0.0	7.7	<u>23.1</u>	7.7	<u>46.2</u>
	50点以上70点未満	29	34.5	55.2	10.3	13.8	51.7	0.0	<u>10.3</u>
	50点未満	18	22.2	<u>33.3</u>	5.6	<u>27.8</u>	44.4	0.0	11.1
H31年3月・R2年3月の留学生の国家試験合格者率(留学生合計1人以上5人未満の学校)	100%	12	25.0	41.7	8.3	<u>0.0</u>	<u>25.0</u>	8.3	25.0
	75%以上(100%除く)	1	<u>100.0</u>	<u>0.0</u>	0.0	<u>0.0</u>	<u>100.0</u>	0.0	<u>0.0</u>
	50%以上75%未満	6	<u>0.0</u>	<u>66.7</u>	0.0	<u>0.0</u>	50.0	0.0	<u>33.3</u>
	50%未満(0%除く)	4	25.0	50.0	0.0	<u>25.0</u>	50.0	0.0	<u>0.0</u>
H31年3月・R2年3月の留学生の国家試験合格者率(留学生5人以上の学校)	100%	2	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	0.0	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	0.0	<u>100.0</u>
	75%以上(100%除く)	6	16.7	50.0	0.0	<u>0.0</u>	<u>16.7</u>	0.0	<u>50.0</u>
	50%以上75%未満	9	<u>11.1</u>	<u>77.8</u>	0.0	11.1	<u>55.6</u>	0.0	11.1
	50%未満(0%除く)	21	<u>42.9</u>	42.9	<u>14.3</u>	<u>23.8</u>	<u>61.9</u>	0.0	<u>9.5</u>
R3年3月卒業生における留学生比率	75%以上	20	<u>40.0</u>	50.0	10.0	<u>20.0</u>	40.0	0.0	<u>10.0</u>
	50%以上75%未満	28	<u>14.3</u>	<u>53.6</u>	3.6	<u>17.9</u>	42.9	3.6	21.4
	25%以上50%未満	23	21.7	47.8	4.3	13.0	43.5	4.3	21.7
	25%未満	46	26.1	45.7	0.0	6.5	41.3	0.0	23.9
入学時日本語要件	N2以上	45	<u>31.1</u>	<u>31.1</u>	2.2	8.9	<u>31.1</u>	2.2	<u>33.3</u>
	N3以下	49	24.5	<u>67.3</u>	6.1	<u>18.4</u>	<u>51.0</u>	2.0	<u>8.2</u>
留学生受入れ意向	増やしたい	44	22.7	<u>56.8</u>	2.3	15.9	43.2	0.0	18.2
	現状を維持したい	65	29.2	43.1	4.6	12.3	41.5	3.1	20.0
	減らしたい・やめたい	10	<u>10.0</u>	40.0	0.0	<u>0.0</u>	40.0	0.0	<u>40.0</u>
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	51	29.4	<u>56.9</u>	7.8	13.7	<u>54.9</u>	2.0	11.8
	3種類未満	68	22.1	41.2	0.0	11.8	32.4	1.5	<u>27.9</u>
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	0.0	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	0.0	<u>0.0</u>
	日本人学生/留学生が授業よって分割	10	<u>60.0</u>	<u>80.0</u>	10.0	10.0	50.0	0.0	<u>0.0</u>
	日本人学生/留学生が混在	105	22.9	46.7	2.9	12.4	41.9	1.9	21.9
	日本人学生が不在	4	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	0.0	<u>25.0</u>	<u>25.0</u>	0.0	<u>50.0</u>

【問 11 で「2. 漢字、読解等、日本語を習得するための補講等を実施」と回答の方】

問 11-1：日本語の専門学習に関する補講について、おおよその頻度を教えてください。なお、補講の内容によって頻度は異なる可能性があります、平均的なものをお答えください。

- ・卒業年度の留学生向けの日本語の専門学習に特化した補講に関しては、「ほぼ毎日」、「1週間に2～3回程度」を合算すると、「通年（通常授業期間）」、「国家試験直前期」においては4割程度の学校で週2～3回以上の日本語の専門学習の補講が行われていた。
- ・養成校別にみると、学力評価試験が高い学校においては、国家試験直前期に「実施していない」の割合が高く、日本語学習ではなく、試験対策等、その他の事柄に時間を割いている傾向がうかがえる。



<卒業年度の留学生>通年（通常授業期間）

	調査数	ほぼ毎日	1週間に2～3回程度	月に数回程度	月に1回程度	数か月に1回程度	半年に1回程度	年に1回程度	実施していない
全体	57	3.5	35.1	40.4	3.5	1.8	0.0	1.8	14.0
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	3	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	50点以上70点未満	16	0.0	37.5	43.8	0.0	0.0	6.3	12.5
	50点未満	6	0.0	16.7	66.7	16.7	0.0	0.0	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格率 （留学生合計1人以上5人未満の 学校）	100%	5	0.0	40.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	75%以上（100%除く）	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50%以上75%未満	4	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50%未満（0%除く）	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格率 （留学生5人以上の学校）	100%	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	75%以上（100%除く）	3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3
	50%以上75%未満	7	0.0	28.6	57.1	0.0	0.0	0.0	14.3
	50%未満（0%除く）	9	0.0	33.3	33.3	11.1	0.0	0.0	22.2
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	10	0.0	20.0	50.0	0.0	0.0	10.0	20.0
	50%以上75%未満	15	6.7	60.0	20.0	0.0	6.7	0.0	6.7
	25%以上50%未満	11	0.0	45.5	36.4	9.1	0.0	0.0	9.1
	25%未満	21	4.8	19.0	52.4	4.8	0.0	0.0	19.0
入学時日本語要件	N2以上	14	7.1	28.6	42.9	0.0	7.1	0.0	14.3
	N3以下	33	3.0	39.4	39.4	6.1	0.0	0.0	12.1
留学生受入れ意向	増やしたい	25	4.0	24.0	52.0	4.0	4.0	0.0	12.0
	現状を維持したい	28	3.6	39.3	32.1	3.6	0.0	0.0	3.6
	減らしたい・やめたい	4	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	29	3.4	51.7	27.6	0.0	3.4	0.0	10.3
	3種類未満	28	3.6	17.9	53.6	7.1	0.0	0.0	17.9
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が授業よって分割	8	0.0	62.5	12.5	0.0	0.0	0.0	25.0
	日本人学生/留学生が混在	49	4.1	30.6	44.9	4.1	2.0	2.0	12.2
	日本人学生が不在	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

・ 養成校別にみても、特筆的な傾向は見られなかった。

<卒業年度の留学生>長期休暇中

	調査数	ほぼ毎日	1週間に2～3回程度	月に数回程度	月に1回程度	数か月に1回程度	半年に1回程度	年に1回程度	実施していない
全体	57	0.0	5.3	19.3	3.5	0.0	0.0	1.8	70.2
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7
	50点以上70点未満	16	0.0	6.3	31.3	0.0	0.0	0.0	62.5
	50点未満	6	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	66.7
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格率 （留学生合計1人以上5人未満の 学校）	100%	5	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	80.0
	75%以上（100%除く）	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50%以上75%未満	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	75.0
	50%未満（0%除く）	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格率 （留学生5人以上の学校）	100%	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	75%以上（100%除く）	3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7
	50%以上75%未満	7	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	85.7
	50%未満（0%除く）	9	0.0	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0	66.7
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	10	0.0	0.0	30.0	0.0	0.0	0.0	70.0
	50%以上75%未満	15	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0
	25%以上50%未満	11	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	81.8
	25%未満	21	0.0	0.0	33.3	4.8	0.0	0.0	57.1
入学時日本語要件	N2以上	14	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	71.4
	N3以下	33	0.0	9.1	12.1	6.1	0.0	3.0	69.7
留学生受入れ意向	増やしたい	25	0.0	4.0	20.0	8.0	0.0	0.0	68.0
	現状を維持したい	28	0.0	7.1	17.9	0.0	0.0	0.0	71.4
	減らしたい・やめたい	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	75.0
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	29	0.0	10.3	24.1	0.0	0.0	0.0	65.5
	3種類未満	28	0.0	0.0	14.3	7.1	0.0	3.6	75.0
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が授業よって分割	8	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	87.5
	日本人学生/留学生が混在	49	0.0	4.1	22.4	4.1	0.0	2.0	67.3
	日本人学生が不在	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

・ 養成校別にみても、特筆的な傾向は見られなかった。

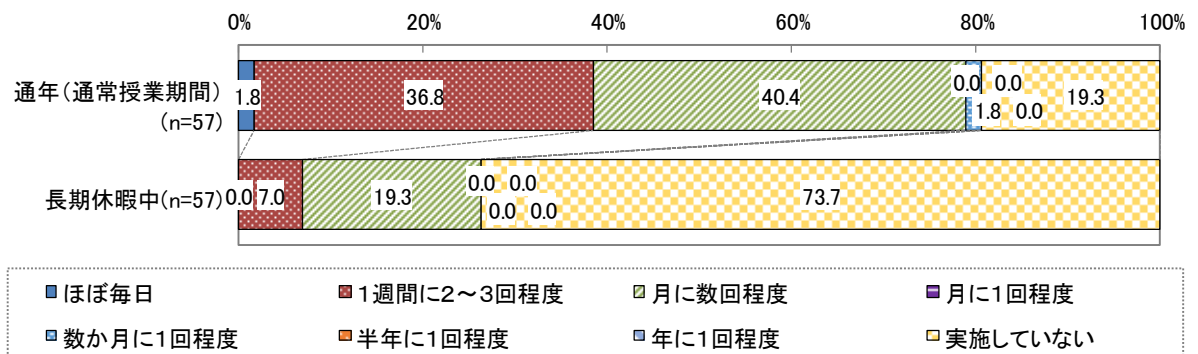
<卒業年度の留学生> 国家試験直前期

	調査数	ほぼ毎日	1週間に 2～3回 程度	月に数回 程度	月に1回 程度	数か月に 1回程度	半年に1 回程度	年に1回 程度	実施して いない
全体	57	12.3	28.1	12.3	3.5	0.0	0.0	0.0	43.9
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
	50点以上70点未満	16	6.3	31.3	12.5	6.3	0.0	0.0	43.8
	50点未満	6	16.7	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生合計1人以上5人未満の 学校）	100%	5	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0
	75%以上（100%除く）	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50%以上75%未満	4	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	50%未満（0%除く）	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生5人以上の学校）	100%	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	75%以上（100%除く）	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
	50%以上75%未満	7	0.0	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	57.1
	50%未満（0%除く）	9	11.1	22.2	22.2	0.0	0.0	0.0	44.4
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	10	20.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	40.0
	50%以上75%未満	15	13.3	26.7	6.7	0.0	0.0	0.0	53.3
	25%以上50%未満	11	18.2	45.5	9.1	0.0	0.0	0.0	27.3
	25%未満	21	4.8	23.8	19.0	4.8	0.0	0.0	47.6
入学時日本語要件	N2以上	14	14.3	21.4	7.1	7.1	0.0	0.0	50.0
	N3以下	33	15.2	30.3	12.1	3.0	0.0	0.0	39.4
留学生受入れ意向	増やしたい	25	12.0	20.0	16.0	4.0	0.0	0.0	48.0
	現状を維持したい	28	14.3	35.7	10.7	3.6	0.0	0.0	35.7
	減らしたい・やめたい	4	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	29	6.9	37.9	13.8	0.0	0.0	0.0	41.4
	3種類未満	28	17.9	17.9	10.7	7.1	0.0	0.0	46.4
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が授業よって分割	8	25.0	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5
	日本人学生/留学生が混在	49	10.2	26.5	14.3	4.1	0.0	0.0	44.9
	日本人学生が不在	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

- ・ 養成校別にみると、学力評価試験が高い学校においては「実施していない」の割合が高く、国家試験直前期においては、日本語学習ではなく、試験対策等、その他の事柄に時間を割いている傾向がうかがえる。

- ・卒業年度以外の留学生向けの日本語の専門学習に特化した補講に関しては、「ほぼ毎日」、「1週間に2～3回程度」を合算すると、「通年（通常授業期間）」で4割弱程度、「長期休暇中」に1割弱程度の学校で週2～3回以上の日本語の専門学習の補講が行われていた。
- ・養成校別にみると、学力評価試験が高い学校においては、通年、長期休暇中ともに「実施していない」とした回答がなく、卒業年度以外の留学生においても何らかの日本語学習を実施している傾向にある。これらの学校においては、先述のとおり、国家試験直前期に「実施していない」の割合が高いことから、卒業年度になる前に日本語学習である程度成果を出し、卒業年度においては試験対策等、その他の事柄に時間を割いている傾向がうかがえる。

<卒業年度以外の留学生向け>



<卒業年度以外の留学生>通年（通常授業期間）

	調査数	ほぼ毎日	1週間に 2～3回 程度	月に数回 程度	月に1回 程度	数か月に 1回程度	半年に1 回程度	年に1回 程度	実施して いない
全体	57	1.8	36.8	40.4	0.0	1.8	0.0	0.0	19.3
留学生の学力評価試験点数（学 校平均）	70点以上	3	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50点以上70点未満	16	0.0	43.8	31.3	0.0	0.0	0.0	25.0
	50点未満	6	0.0	16.7	50.0	0.0	0.0	0.0	33.3
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生合計1人以上5人未満の 学校）	100%	5	0.0	40.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	75%以上（100%除く）	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50%以上75%未満	4	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50%未満（0%除く）	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
0%	6	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	50.0	
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生5人以上の学校）	100%	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	75%以上（100%除く）	3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	50%以上75%未満	7	0.0	42.9	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	50%未満（0%除く）	9	0.0	44.4	33.3	0.0	0.0	0.0	22.2
0%	7	0.0	57.1	28.6	0.0	0.0	0.0	14.3	
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	10	0.0	30.0	40.0	0.0	0.0	0.0	30.0
	50%以上75%未満	15	0.0	60.0	26.7	0.0	6.7	0.0	6.7
	25%以上50%未満	11	0.0	54.5	36.4	0.0	0.0	0.0	9.1
	25%未満	21	4.8	14.3	52.4	0.0	0.0	0.0	28.6
入学時日本語要件	N2以上	14	0.0	28.6	42.9	0.0	7.1	0.0	21.4
	N3以下	33	3.0	42.4	39.4	0.0	0.0	0.0	15.2
留学生受入れ意向	増やしたい	25	4.0	24.0	48.0	0.0	4.0	0.0	20.0
	現状を維持したい	28	0.0	46.4	32.1	0.0	0.0	0.0	21.4
	減らしたい・やめたい	4	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	29	0.0	48.3	34.5	0.0	3.4	0.0	13.8
	3種類未満	28	3.6	25.0	46.4	0.0	0.0	0.0	25.0
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が授業よって分割	8	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が混在	49	2.0	30.6	42.9	0.0	2.0	0.0	22.4
	日本人学生が不在	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

- ・ 養成校別にみると、学力評価試験が高い学校においては「実施していない」とした学校はなく、卒業年度以外の留学生においても、通常授業期間で日本語対策を行っている。

<卒業年度以外の留学生>長期休暇中

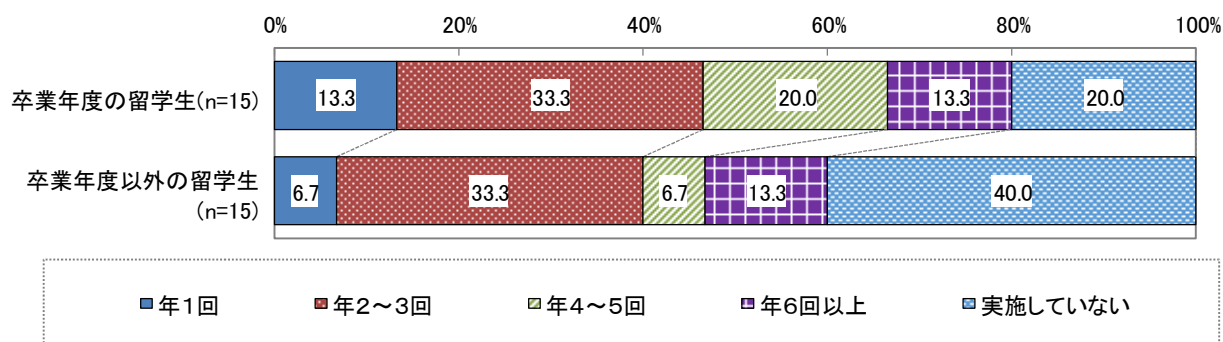
		調査数	ほぼ毎日	1週間に 2～3回 程度	月に数回 程度	月に1回 程度	数か月に 1回程度	半年に1 回程度	年に1回 程度	実施して いない
	全体	57	0.0	7.0	19.3	0.0	0.0	0.0	0.0	73.7
留学生の学力評価試験点数（学 校平均）	70点以上	3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
	50点以上70点未満	16	0.0	6.3	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	56.3
	50点未満	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格率 （留学生合計1人以上5人未満の 学校）	100%	5	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0
	75%以上（100%除く）	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50%以上75%未満	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0
	50%未満（0%除く）	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格率 （留学生5人以上の学校）	0%	6	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3
	100%	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	75%以上（100%除く）	3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	50%以上75%未満	7	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	71.4
R3年3月卒業生における 留学生比率	50%未満（0%除く）	9	0.0	11.1	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
	0%	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	75%以上	10	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0
	50%以上75%未満	15	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0
入学時日本語要件	25%以上50%未満	11	0.0	0.0	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	72.7
	25%未満	21	0.0	4.8	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
	N2以上	14	0.0	7.1	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	64.3
留学生受入れ意向	N3以下	33	0.0	9.1	15.2	0.0	0.0	0.0	0.0	75.8
	増やしたい	25	0.0	8.0	16.0	0.0	0.0	0.0	0.0	76.0
	現状を維持したい	28	0.0	7.1	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0	71.4
留学生への独自のサポート体制	減らしたい・やめたい	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0
	3種類以上	29	0.0	10.3	27.6	0.0	0.0	0.0	0.0	62.1
	3種類未満	28	0.0	3.6	10.7	0.0	0.0	0.0	0.0	85.7
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が授業よって分割	8	0.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	62.5
	日本人学生/留学生が混在	49	0.0	4.1	20.4	0.0	0.0	0.0	0.0	75.5
	日本人学生が不在	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

- ・ 養成校別にみると、学力評価試験が高い学校、平成31年、令和2年の留学生の合格率が高い学校の場合、卒業年度以外の留学生、かつ長期休暇中であっても日本語対策を行っている。

【問 11 で「4. ミニテスト、模擬試験等のテストを実施」と回答の方】

問 11-2：日本語に関する模擬試験等（実際の試験の時間制限と同様に模擬試験形式で行う試験）について、年何回程度行っているか教えてください。

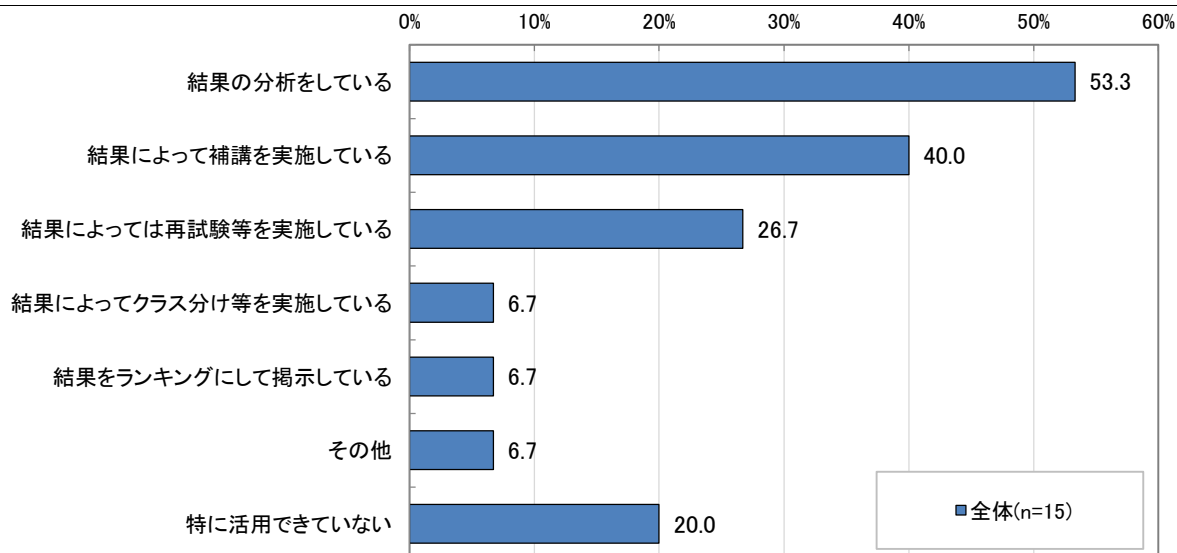
・卒業年度においては、半数弱の学校が年 2～3 回以上は日本語に関する模擬試験等を実施していた。



【問 11 で「4. ミニテスト、模擬試験等のテストを実施」と回答の方】

問 11-3：日本語に関するミニテスト、模擬試験等の結果の活用方法について教えてください。

- ・ 「結果の分析をしている」が 53.3%と最も高く、次いで「結果によって補講を実施している」が 40.0%と続いた。

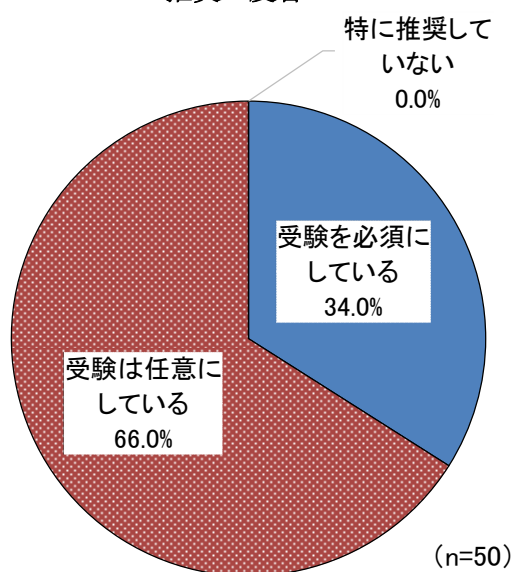


【問 11 で「5. 日本語にかかる試験（日本語能力試験等）の受験の推奨」と回答の方】

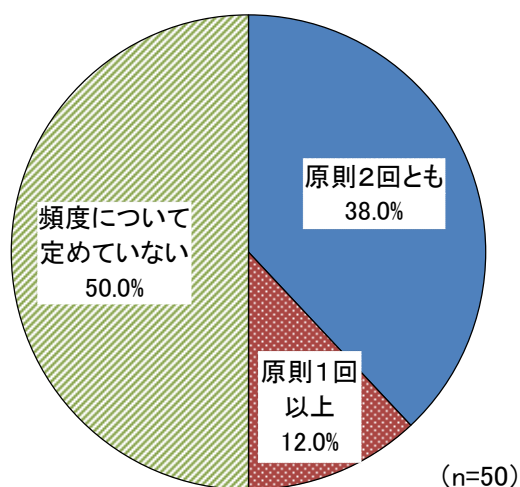
問 11-4：日本語能力試験（JLPT）の受験の推奨について、対応内容を教えてください。

- ・ 推奨の度合いについては、「受験は任意にしている」が 66.0%と最も高く、次いで「受験を必須にしている」が 34.0%、「特に推奨していない」を回答した学校はなかった。
- ・ 推奨回数については、「頻度について定めていない」が 50.0%と最も高く、次いで「原則 2 回とも」が 38.0%、「原則 1 回以上」が 12.0%となった。
- ・ 養成校別にみると、学力評価試験点数が高い学校においては、受験を必須としており、かつ年 2 回ある日本語能力試験（JLPT）のうち 2 回ともを必須としている傾向にある。

<推奨の度合い>



<推奨回数>



< 推奨の度合い >

		調査数	受験を必須にしている	受験は任意にしている	特に推奨していない
	全体	50	34.0	66.0	0.0
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	3	<u>66.7</u>	<u>33.3</u>	0.0
	50点以上70点未満	15	<u>46.7</u>	<u>53.3</u>	0.0
	50点未満	8	<u>12.5</u>	<u>87.5</u>	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生合計1人以上5人未満の 学校）	100%	3	<u>66.7</u>	<u>33.3</u>	0.0
	75%以上（100 % 除く）	1	<u>0.0</u>	<u>100.0</u>	0.0
	50%以上75%未満	3	<u>0.0</u>	<u>100.0</u>	0.0
	50%未満（0 % 除く）	2	<u>0.0</u>	<u>100.0</u>	0.0
	0%	2	<u>0.0</u>	<u>100.0</u>	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生5人以上の学校）	100%	-	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	0.0
	75%以上（100 % 除く）	1	<u>100.0</u>	<u>0.0</u>	0.0
	50%以上75%未満	5	<u>60.0</u>	<u>40.0</u>	0.0
	50%未満（0 % 除く）	13	38.5	61.5	0.0
	0%	6	<u>16.7</u>	<u>83.3</u>	0.0
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	8	37.5	62.5	0.0
	50%以上75%未満	12	<u>41.7</u>	<u>58.3</u>	0.0
	25%以上50%未満	10	30.0	70.0	0.0
	25%未満	19	31.6	68.4	0.0
入学時日本語要件	N2以上	14	35.7	64.3	0.0
	N3以下	25	<u>40.0</u>	<u>60.0</u>	0.0
留学生受入れ意向	増やしたい	19	<u>42.1</u>	<u>57.9</u>	0.0
	現状を維持したい	27	<u>25.9</u>	<u>74.1</u>	0.0
	減らしたい・やめたい	4	<u>50.0</u>	<u>50.0</u>	0.0
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	28	<u>46.4</u>	<u>53.6</u>	0.0
	3種類未満	22	<u>18.2</u>	<u>81.8</u>	0.0
クラスの編成	日本人学生/ 留学生が完全分割	-	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	0.0
	日本人学生/ 留学生が授業よって分割	5	<u>60.0</u>	<u>40.0</u>	0.0
	日本人学生/ 留学生が混在	44	29.5	70.5	0.0
	日本人学生が不在	1	<u>100.0</u>	<u>0.0</u>	0.0

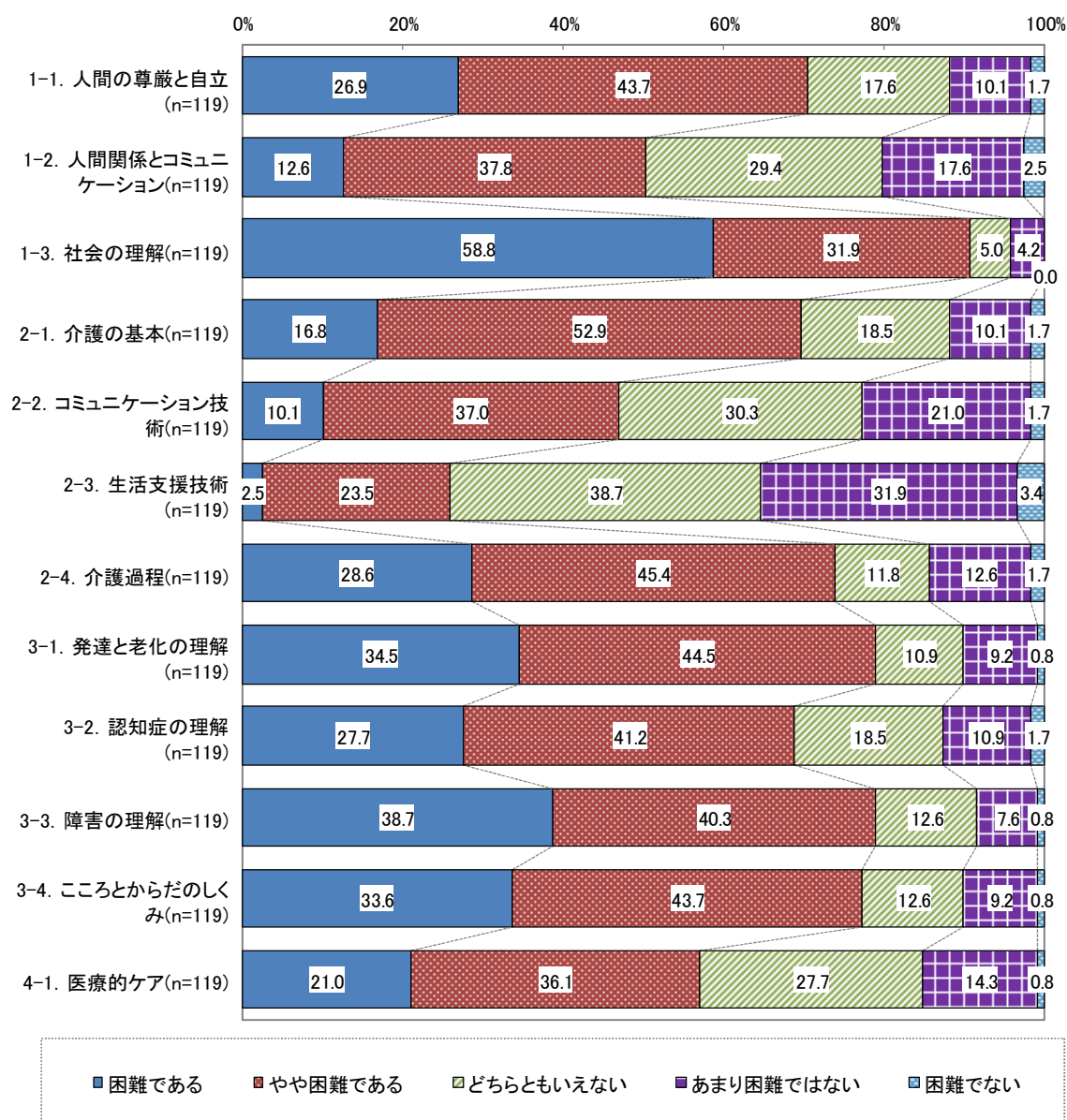
< 推奨回数 >

		調査数	原則2回 とも	原則1回 以上	頻度につ いて定め ていない
	全体	50	38.0	12.0	50.0
留学生の学力評価試験点数（学 校平均）	70点以上	3	66.7	0.0	33.3
	50点以上70点未満	15	33.3	13.3	53.3
	50点未満	8	37.5	0.0	62.5
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生合計1人以上5人未満の 学校）	100%	3	66.7	0.0	33.3
	75%以上（100%除く）	1	0.0	0.0	100.0
	50%以上75%未満	3	0.0	33.3	66.7
	50%未満（0%除く）	2	50.0	0.0	50.0
	0%	2	50.0	0.0	50.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生5人以上の学校）	100%	-	0.0	0.0	0.0
	75%以上（100%除く）	1	0.0	0.0	100.0
	50%以上75%未満	5	40.0	20.0	40.0
	50%未満（0%除く）	13	30.8	15.4	53.8
	0%	6	66.7	16.7	16.7
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	8	50.0	12.5	37.5
	50%以上75%未満	12	50.0	25.0	25.0
	25%以上50%未満	10	50.0	10.0	40.0
	25%未満	19	15.8	5.3	78.9
入学時日本語要件	N2以上	14	42.9	7.1	50.0
	N3以下	25	36.0	16.0	48.0
留学生受入れ意向	増やしたい	19	42.1	10.5	47.4
	現状を維持したい	27	33.3	11.1	55.6
	減らしたい・やめたい	4	50.0	25.0	25.0
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	28	46.4	14.3	39.3
	3種類未満	22	27.3	9.1	63.6
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が授業よって分割	5	40.0	40.0	20.0
	日本人学生/留学生が混在	44	36.4	9.1	54.5
	日本人学生が不在	1	100.0	0.0	0.0

(5)科目別の指導困難度

問 12：現行カリキュラムの3領域と医療的ケアの中で、貴校で留学生の指導を行う上で、留学生に理解してもらうことが困難と感じる度合いを教えてください。

- ・「困難である」、「やや困難である」を合算すると、「社会の理解」が90.7%と最も困難であるとなった。
- ・「あまり困難でない」、「困難でない」を合算すると、「生活支援技術」が35.3%と最も困難でないとなった。
- ・養成校別にみると、概ねどの項目においても学力評価試験点数が高い学校、入学時日本語要件 N2 以上の学校においては、「困難である」とした割合が低かったが、「社会の理解」については学力評価試験の多寡による違いがみられず、かつ学力評価試験点数による3類型でいずれの類型においても8割以上「困難である」と回答があり、留学生の能力によらず、学校教員として留学生に理解してもらうことが困難である科目であることがうかがえる。



1-1.人間の尊厳と自立

		調査数	困難である	どちらとも いえない	困難でない
	全体	119	70.6	17.6	11.8
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	13	69.3	15.4	15.4
	50点以上70点未満	29	82.7	13.8	3.4
	50点未満	18	83.4	11.1	5.6
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生合計1人以上5人未満の 学校）	100%	12	50.0	25.0	25.0
	75%以上（100%除く）	1	0.0	100.0	0.0
	50%以上75%未満	6	83.3	16.7	0.0
	50%未満（0%除く）	4	75.0	25.0	0.0
	0%	11	81.8	18.2	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生5人以上の学校）	100%	2	100.0	0.0	0.0
	75%以上（100%除く）	6	50.0	33.3	16.7
	50%以上75%未満	9	88.9	0.0	11.1
	50%未満（0%除く）	21	90.5	9.5	0.0
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	20	90.0	5.0	5.0
	50%以上75%未満	28	71.5	10.7	17.9
	25%以上50%未満	23	86.9	13.0	0.0
	25%未満	46	54.3	30.4	15.2
入学時日本語要件	N2以上	45	66.6	17.8	15.5
	N3以下	49	75.5	12.2	12.2
留学生受入れ意向	増やしたい	44	70.5	15.9	13.7
	現状を維持したい	65	69.2	21.5	9.2
	減らしたい・やめたい	10	80.0	0.0	20.0
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	51	72.6	15.7	11.7
	3種類未満	68	69.1	19.1	11.8
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が授業よって分割	10	100.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が混在	105	66.7	20.0	13.3
	日本人学生が不在	4	100.0	0.0	0.0

- ・ 養成校別にみると、学力評価試験点数が高い学校、入学時日本語要件 N2 以上の学校においては、「困難である」とした割合が低かった。

1-2.人間関係とコミュニケーション

		調査数	困難である	どちらとも いえない	困難でない
	全体	119	50.4	29.4	20.1
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	13	53.9	23.1	23.1
	50点以上70点未満	29	48.2	41.4	10.3
	50点未満	18	66.7	16.7	16.7
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生合計1人以上5人未満の 学校）	100%	12	50.0	16.7	33.3
	75%以上（100%除く）	1	0.0	100.0	0.0
	50%以上75%未満	6	66.7	16.7	16.7
	50%未満（0%除く）	4	75.0	25.0	0.0
	0%	11	63.6	27.3	9.1
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生5人以上の学校）	100%	2	100.0	0.0	0.0
	75%以上（100%除く）	6	33.4	33.3	33.3
	50%以上75%未満	9	44.4	44.4	11.1
	50%未満（0%除く）	21	61.9	28.6	9.5
	0%	14	35.7	28.6	35.7
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	20	70.0	15.0	15.0
	50%以上75%未満	28	39.3	32.1	28.6
	25%以上50%未満	23	56.5	34.8	8.7
	25%未満	46	45.6	32.6	21.8
入学時日本語要件	N2以上	45	46.7	24.4	28.8
	N3以下	49	51.1	32.7	16.3
留学生受入れ意向	増やしたい	44	45.5	31.8	22.8
	現状を維持したい	65	50.8	32.3	16.9
	減らしたい・やめたい	10	70.0	0.0	30.0
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	51	49.0	31.4	19.6
	3種類未満	68	51.5	27.9	20.6
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が授業によって分割	10	50.0	50.0	0.0
	日本人学生/留学生が混在	105	50.4	28.6	20.9
	日本人学生が不在	4	50.0	0.0	50.0

- ・ 養成校別にみると、学力評価試験点数が高い学校においては、「困難である」とした割合が低かった。

1-3.社会の理解

		調査数	困難である	どちらとも いえない	困難でない
	全体	119	90.7	5.0	4.2
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	13	84.6	7.7	7.7
	50点以上70点未満	29	100.0	0.0	0.0
	50点未満	18	88.9	11.1	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生合計1人以上5人未満の 学校）	100%	12	75.0	16.7	8.3
	75%以上（100%除く）	1	100.0	0.0	0.0
	50%以上75%未満	6	100.0	0.0	0.0
	50%未満（0%除く）	4	75.0	25.0	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生5人以上の学校）	100%	2	100.0	0.0	0.0
	75%以上（100%除く）	6	100.0	0.0	0.0
	50%以上75%未満	9	100.0	0.0	0.0
	50%未満（0%除く）	21	100.0	0.0	0.0
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	20	95.0	5.0	0.0
	50%以上75%未満	28	96.5	0.0	3.6
	25%以上50%未満	23	100.0	0.0	0.0
	25%未満	46	82.6	10.9	6.5
入学時日本語要件	N2以上	45	84.5	6.7	8.9
	N3以下	49	95.9	2.0	2.0
留学生受入れ意向	増やしたい	44	86.3	9.1	4.5
	現状を維持したい	65	92.3	3.1	4.6
	減らしたい・やめたい	10	100.0	0.0	0.0
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	51	92.2	3.9	3.9
	3種類未満	68	89.7	5.9	4.4
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が授業よって分割	10	100.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が混在	105	89.5	5.7	4.8
	日本人学生が不在	4	100.0	0.0	0.0

- ・ 養成校別にみると、入学時日本語要件 N2 以上の学校においては、「困難である」とした割合が低かった。
- ・ 学力評価試験点数の多寡によって特筆的な違いは見られず、かつ学力評価試験点数による 3 類型でいずれの類型においても 8 割以上「困難である」と回答があり、留学生の能力によらず、学校教員として留学生に理解してもらうことが困難である科目であることがうかがえる。

2-1.介護の基本

		調査数	困難である	どちらとも いえない	困難でない
	全体	119	69.7	18.5	11.8
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	13	61.6	23.1	15.4
	50点以上70点未満	29	79.3	13.8	6.9
	50点未満	18	88.9	11.1	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生合計1人以上5人未満の 学校）	100%	12	41.7	25.0	33.3
	75%以上（100%除く）	1	0.0	100.0	0.0
	50%以上75%未満	6	83.3	16.7	0.0
	50%未満（0%除く）	4	100.0	0.0	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生5人以上の学校）	100%	2	100.0	0.0	0.0
	75%以上（100%除く）	6	50.0	33.3	16.7
	50%以上75%未満	9	100.0	0.0	0.0
	50%未満（0%除く）	21	76.2	23.8	0.0
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	20	85.0	10.0	5.0
	50%以上75%未満	28	60.8	17.9	21.5
	25%以上50%未満	23	82.6	17.4	0.0
	25%未満	46	63.0	23.9	13.1
入学時日本語要件	N2以上	45	62.2	22.2	15.5
	N3以下	49	77.5	12.2	10.2
留学生受入れ意向	増やしたい	44	70.4	18.2	11.4
	現状を維持したい	65	66.1	21.5	12.3
	減らしたい・やめたい	10	90.0	0.0	10.0
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	51	70.6	17.6	11.7
	3種類未満	68	69.1	19.1	11.8
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が授業よって分割	10	80.0	20.0	0.0
	日本人学生/留学生が混在	105	69.5	18.1	12.4
	日本人学生が不在	4	50.0	25.0	25.0

- ・ 養成校別にみると、学力評価試験点数が高い学校、入学時日本語要件 N2 以上の学校においては、「困難である」とした割合が低かった。

2-2.コミュニケーション技術

		調査数	困難である	どちらとも いえない	困難でない
	全体	119	47.1	30.3	22.7
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	13	69.2	15.4	15.4
	50点以上70点未満	29	41.3	44.8	13.8
	50点未満	18	61.2	16.7	22.2
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生合計1人以上5人未満の 学校）	100%	12	50.0	16.7	33.3
	75%以上（100%除く）	1	0.0	100.0	0.0
	50%以上75%未満	6	50.0	33.3	16.7
	50%未満（0%除く）	4	100.0	0.0	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生5人以上の学校）	100%	2	100.0	0.0	0.0
	75%以上（100%除く）	6	50.0	33.3	16.7
	50%以上75%未満	9	66.6	22.2	11.1
	50%未満（0%除く）	21	33.3	52.4	14.3
R3年3月卒業生における 留学生比率	0%	14	21.4	35.7	42.9
	75%以上	20	55.0	25.0	20.0
	50%以上75%未満	28	28.5	35.7	35.7
	25%以上50%未満	23	56.5	34.8	8.7
入学時日本語要件	25%未満	46	50.0	28.3	21.8
	N2以上	45	48.9	22.2	28.9
	N3以下	49	44.9	32.7	22.4
留学生受入れ意向	増やしたい	44	52.3	27.3	20.5
	現状を維持したい	65	41.6	35.4	23.0
	減らしたい・やめたい	10	60.0	10.0	30.0
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	51	45.1	31.4	23.5
	3種類未満	68	48.6	29.4	22.1
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が授業よって分割	10	30.0	70.0	0.0
	日本人学生/留学生が混在	105	48.5	27.6	23.8
	日本人学生が不在	4	50.0	0.0	50.0

・ 養成校別にみても、特筆的な傾向は見られなかった。

2-3.生活支援技術

		調査数	困難である	どちらとも いえない	困難でない
	全体	119	26.0	38.7	35.3
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	13	23.1	<u>23.1</u>	<u>53.8</u>
	50点以上70点未満	29	17.2	<u>55.2</u>	27.6
	50点未満	18	<u>55.6</u>	<u>16.7</u>	27.8
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生合計1人以上5人未満の 学校）	100%	12	<u>8.3</u>	41.7	<u>50.0</u>
	75%以上（100%除く）	1	<u>0.0</u>	<u>100.0</u>	<u>0.0</u>
	50%以上75%未満	6	<u>50.0</u>	33.3	<u>16.7</u>
	50%未満（0%除く）	4	<u>50.0</u>	<u>50.0</u>	<u>0.0</u>
	0%	11	<u>9.1</u>	<u>63.6</u>	27.3
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生5人以上の学校）	100%	2	<u>100.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>
	75%以上（100%除く）	6	16.7	<u>50.0</u>	33.3
	50%以上75%未満	9	<u>33.3</u>	33.3	33.3
	50%未満（0%除く）	21	23.8	42.9	33.4
	0%	14	21.4	35.7	<u>42.9</u>
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	20	<u>45.0</u>	30.0	<u>25.0</u>
	50%以上75%未満	28	21.5	39.3	39.3
	25%以上50%未満	23	26.0	34.8	39.1
	25%未満	46	19.6	<u>45.7</u>	34.8
入学時日本語要件	N2以上	45	<u>15.5</u>	<u>53.3</u>	31.1
	N3以下	49	28.5	<u>28.6</u>	<u>42.8</u>
留学生受入れ意向	増やしたい	44	22.8	36.4	<u>40.9</u>
	現状を維持したい	65	24.6	41.5	33.8
	減らしたい・やめたい	10	<u>50.0</u>	30.0	<u>20.0</u>
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	51	19.6	43.1	37.2
	3種類未満	68	30.8	35.3	33.8
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が授業よって分割	10	30.0	40.0	30.0
	日本人学生/留学生が混在	105	24.8	39.0	36.2
	日本人学生が不在	4	<u>50.0</u>	<u>25.0</u>	<u>25.0</u>

- ・ 養成校別にみると、学力評価試験点数が高い学校においては、「困難である」とした割合が低かった。
- ・ また、入学時日本語要件 N2 以上の学校においては「どちらともいえない」とした割合が最も高かったが、N3 以下の学校においては「困難でない」とした割合が高かった。

2-4.介護過程

		調査数	困難である	どちらとも いえない	困難でない
	全体	119	74.0	11.8	14.3
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	13	<u>61.6</u>	15.4	<u>23.1</u>
	50点以上70点未満	29	<u>89.7</u>	3.4	6.9
	50点未満	18	<u>88.9</u>	5.6	5.6
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生合計1人以上5人未満の 学校）	100%	12	<u>58.3</u>	8.3	<u>33.3</u>
	75%以上（100%除く）	1	<u>0.0</u>	<u>100.0</u>	<u>0.0</u>
	50%以上75%未満	6	<u>83.3</u>	<u>0.0</u>	16.7
	50%未満（0%除く）	4	<u>100.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生5人以上の学校）	100%	2	<u>100.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>
	75%以上（100%除く）	6	<u>50.0</u>	<u>33.3</u>	16.7
	50%以上75%未満	9	77.7	11.1	11.1
	50%未満（0%除く）	21	<u>90.5</u>	4.8	4.8
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	20	<u>90.0</u>	10.0	<u>0.0</u>
	50%以上75%未満	28	67.9	3.6	<u>28.6</u>
	25%以上50%未満	23	<u>82.6</u>	13.0	4.3
	25%未満	46	67.4	<u>17.4</u>	15.2
入学時日本語要件	N2以上	45	<u>64.4</u>	15.6	<u>20.0</u>
	N3以下	49	<u>81.7</u>	8.2	10.2
留学生受入れ意向	増やしたい	44	75.0	11.4	13.7
	現状を維持したい	65	72.3	13.8	13.8
	減らしたい・やめたい	10	<u>80.0</u>	<u>0.0</u>	<u>20.0</u>
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	51	74.5	9.8	15.7
	3種類未満	68	73.5	13.2	13.2
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が授業よって分割	10	70.0	<u>20.0</u>	10.0
	日本人学生/留学生が混在	105	74.3	11.4	14.3
	日本人学生が不在	4	75.0	<u>0.0</u>	<u>25.0</u>

- ・ 養成校別にみると、学力評価試験点数が高い学校、入学時日本語要件 N2 以上の学校においては、「困難である」とした割合が低かった。

3-1. 発達と老化の理解

		調査数	困難である	どちらとも いえない	困難でない
	全体	119	79.0	10.9	10.0
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	13	76.9	7.7	15.4
	50点以上70点未満	29	86.2	13.8	0.0
	50点未満	18	94.5	0.0	5.6
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生合計1人以上5人未満の 学校）	100%	12	58.3	8.3	33.3
	75%以上（100%除く）	1	100.0	0.0	0.0
	50%以上75%未満	6	100.0	0.0	0.0
	50%未満（0%除く）	4	75.0	25.0	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生5人以上の学校）	100%	2	100.0	0.0	0.0
	75%以上（100%除く）	6	66.7	16.7	16.7
	50%以上75%未満	9	66.6	33.3	0.0
	50%未満（0%除く）	21	90.5	9.5	0.0
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	20	90.0	10.0	0.0
	50%以上75%未満	28	75.0	10.7	14.3
	25%以上50%未満	23	78.2	21.7	0.0
	25%未満	46	78.2	6.5	15.2
入学時日本語要件	N2以上	45	73.4	13.3	13.3
	N3以下	49	81.6	12.2	6.1
留学生受入れ意向	増やしたい	44	90.9	2.3	6.8
	現状を維持したい	65	72.3	15.4	12.3
	減らしたい・やめたい	10	70.0	20.0	10.0
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	51	80.4	11.8	7.9
	3種類未満	68	78.0	10.3	11.8
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が授業よって分割	10	80.0	20.0	0.0
	日本人学生/留学生が混在	105	78.1	10.5	11.5
	日本人学生が不在	4	100.0	0.0	0.0

- ・ 養成校別にみると、学力評価試験点数が高い学校、入学時日本語要件 N2 以上の学校においては、「困難である」とした割合が低かった。

3-2.認知症の理解

		調査数	困難である	どちらとも いえない	困難でない
	全体	119	68.9	18.5	12.6
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	13	<u>53.9</u>	<u>30.8</u>	15.4
	50点以上70点未満	29	<u>82.8</u>	17.2	<u>0.0</u>
	50点未満	18	<u>88.8</u>	<u>5.6</u>	5.6
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生合計1人以上5人未満の 学校）	100%	12	<u>41.7</u>	<u>25.0</u>	<u>33.3</u>
	75%以上（100%除く）	1	<u>0.0</u>	<u>100.0</u>	<u>0.0</u>
	50%以上75%未満	6	<u>100.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>
	50%未満（0%除く）	4	<u>75.0</u>	<u>25.0</u>	<u>0.0</u>
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生5人以上の学校）	100%	2	<u>100.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>
	75%以上（100%除く）	6	66.7	16.7	16.7
	50%以上75%未満	9	66.6	<u>33.3</u>	<u>0.0</u>
	50%未満（0%除く）	21	<u>80.9</u>	19.0	<u>0.0</u>
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	20	<u>75.0</u>	20.0	5.0
	50%以上75%未満	28	64.2	14.3	<u>21.5</u>
	25%以上50%未満	23	<u>73.9</u>	<u>26.1</u>	<u>0.0</u>
	25%未満	46	67.4	17.4	15.2
入学時日本語要件	N2以上	45	<u>64.4</u>	22.2	13.3
	N3以下	49	<u>73.5</u>	14.3	12.2
留学生受入れ意向	増やしたい	44	72.8	18.2	9.1
	現状を維持したい	65	66.2	18.5	15.3
	減らしたい・やめたい	10	70.0	20.0	10.0
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	51	<u>74.5</u>	<u>11.8</u>	13.7
	3種類未満	68	64.7	<u>23.5</u>	11.8
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が授業によって分割	10	<u>90.0</u>	10.0	<u>0.0</u>
	日本人学生/留学生が混在	105	65.7	20.0	14.3
	日本人学生が不在	4	<u>100.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>

- ・ 養成校別にみると、学力評価試験点数が高い学校、入学時日本語要件 N2 以上の学校においては、「困難である」とした割合が低かった。

3-3.障害の理解

		調査数	困難である	どちらとも いえない	困難でない
	全体	119	79.0	12.6	8.4
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	13	77.0	7.7	15.4
	50点以上70点未満	29	96.5	3.4	0.0
	50点未満	18	94.4	5.6	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生合計1人以上5人未満の 学校）	100%	12	58.3	16.7	25.0
	75%以上（100%除く）	1	0.0	100.0	0.0
	50%以上75%未満	6	100.0	0.0	0.0
	50%未満（0%除く）	4	100.0	0.0	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生5人以上の学校）	100%	2	100.0	0.0	0.0
	75%以上（100%除く）	6	66.7	16.7	16.7
	50%以上75%未満	9	77.8	22.2	0.0
	50%未満（0%除く）	21	90.5	9.5	0.0
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	20	100.0	0.0	0.0
	50%以上75%未満	28	75.0	7.1	17.9
	25%以上50%未満	23	82.6	17.4	0.0
	25%未満	46	71.7	19.6	8.7
入学時日本語要件	N2以上	45	73.3	13.3	13.3
	N3以下	49	83.7	10.2	6.1
留学生受入れ意向	増やしたい	44	86.4	6.8	6.8
	現状を維持したい	65	73.8	16.9	9.2
	減らしたい・やめたい	10	80.0	10.0	10.0
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	51	84.3	5.9	9.8
	3種類未満	68	75.0	17.6	7.4
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が授業よって分割	10	90.0	10.0	0.0
	日本人学生/留学生が混在	105	77.2	13.3	9.6
	日本人学生が不在	4	100.0	0.0	0.0

- ・ 養成校別にみると、学力評価試験点数が高い学校、入学時日本語要件 N2 以上の学校においては、「困難である」とした割合が低かった。

3-4.こころとからだのしくみ

		調査数	困難である	どちらとも いえない	困難でない
	全体	119	77.3	12.6	10.0
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	13	69.3	15.4	15.4
	50点以上70点未満	29	89.7	6.9	3.4
	50点未満	18	88.9	11.1	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生合計1人以上5人未満の 学校）	100%	12	66.7	0.0	33.3
	75%以上（100%除く）	1	100.0	0.0	0.0
	50%以上75%未満	6	100.0	0.0	0.0
	50%未満（0%除く）	4	100.0	0.0	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生5人以上の学校）	100%	2	100.0	0.0	0.0
	75%以上（100%除く）	6	50.0	33.3	16.7
	50%以上75%未満	9	77.8	22.2	0.0
	50%未満（0%除く）	21	90.5	9.5	0.0
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	20	90.0	5.0	5.0
	50%以上75%未満	28	78.6	7.1	14.3
	25%以上50%未満	23	86.9	13.0	0.0
	25%未満	46	67.4	19.6	13.0
入学時日本語要件	N2以上	45	73.4	13.3	13.3
	N3以下	49	81.6	12.2	6.1
留学生受入れ意向	増やしたい	44	79.5	13.6	6.8
	現状を維持したい	65	76.9	10.8	12.3
	減らしたい・やめたい	10	70.0	20.0	10.0
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	51	82.4	7.8	9.8
	3種類未満	68	73.5	16.2	10.3
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が授業よって分割	10	80.0	20.0	0.0
	日本人学生/留学生が混在	105	76.2	12.4	11.5
	日本人学生が不在	4	100.0	0.0	0.0

- ・ 養成校別にみると、学力評価試験点数が高い学校、入学時日本語要件 N2 以上の学校においては、「困難である」とした割合が低かった。

4-1.医療的ケア

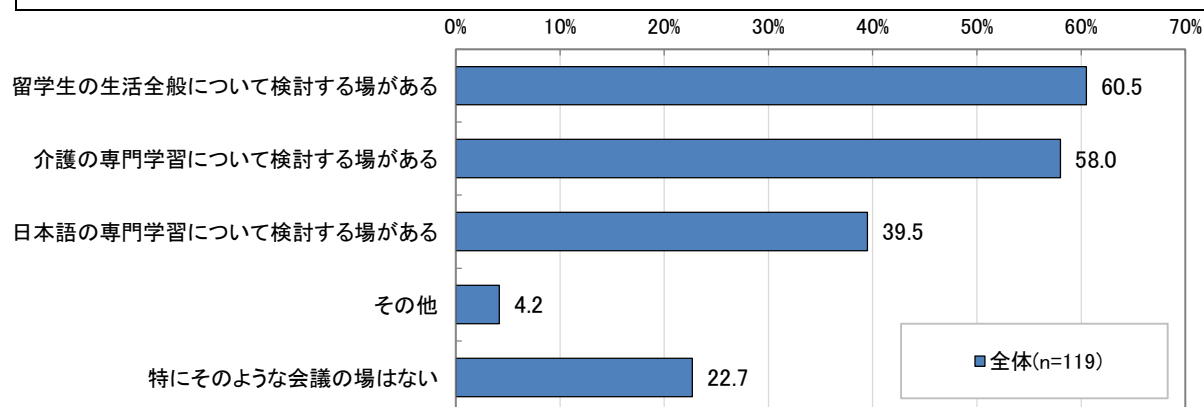
		調査数	困難である	どちらとも いえない	困難でない
	全体	119	57.1	27.7	15.1
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	13	<u>38.5</u>	<u>38.5</u>	<u>23.1</u>
	50点以上70点未満	29	58.6	27.6	13.8
	50点未満	18	<u>72.2</u>	27.8	<u>0.0</u>
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生合計1人以上5人未満の 学校）	100%	12	<u>41.7</u>	25.0	<u>33.3</u>
	75%以上（100%除く）	1	<u>0.0</u>	<u>100.0</u>	<u>0.0</u>
	50%以上75%未満	6	66.6	33.3	<u>0.0</u>
	50%未満（0%除く）	4	50.0	<u>50.0</u>	<u>0.0</u>
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生5人以上の学校）	100%	2	<u>100.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>
	75%以上（100%除く）	6	<u>33.4</u>	<u>50.0</u>	16.7
	50%以上75%未満	9	<u>44.4</u>	33.3	<u>22.2</u>
	50%未満（0%除く）	21	<u>76.2</u>	19.0	<u>4.8</u>
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	20	65.0	20.0	15.0
	50%以上75%未満	28	<u>67.9</u>	21.4	10.7
	25%以上50%未満	23	<u>69.6</u>	21.7	8.6
	25%未満	46	<u>41.3</u>	<u>39.1</u>	19.6
入学時日本語要件	N2以上	45	<u>51.2</u>	<u>35.6</u>	13.3
	N3以下	49	61.2	22.4	16.3
留学生受入れ意向	増やしたい	44	59.1	18.2	<u>22.8</u>
	現状を維持したい	65	55.3	<u>33.8</u>	10.8
	減らしたい・やめたい	10	60.0	30.0	<u>10.0</u>
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	51	60.8	21.6	17.7
	3種類未満	68	54.5	32.4	13.2
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が授業よって分割	10	<u>70.0</u>	30.0	<u>0.0</u>
	日本人学生/留学生が混在	105	54.2	28.6	17.2
	日本人学生が不在	4	<u>100.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>

- ・ 養成校別にみると、学力評価試験点数が高い学校、入学時日本語要件 N2 以上の学校においては、「困難である」とした割合が低かった。

(5)教育方針や課題等の検討会議

問 13：貴校では、留学生の教育方針や課題等を教員等で検討する会議の場がありますか。

- ・「留学生の生活全般について検討する場がある」が60.5%と最も高く、次いで「介護の専門学習について検討する場がある」が58.0%と続いた。
- ・その他の意見としては、「広報部署と連携」、「学科会」等の意見が挙げられた。
- ・養成校別にみても、特筆的な傾向は見られなかった。



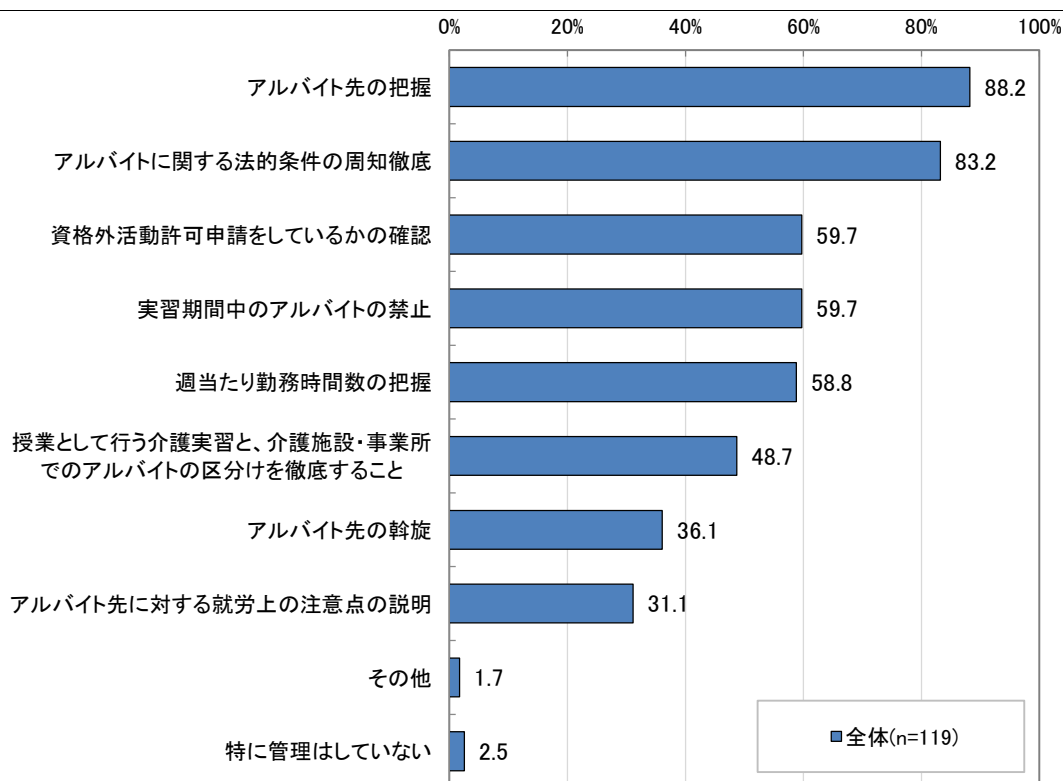
	調査数	介護の専門学習について検討する場がある	日本語の専門学習について検討する場がある	留学生の生活全般について検討する場がある	その他	特にそのような会議の場はない	
全体	119	58.0	39.5	60.5	4.2	22.7	
留学生の学力評価試験点数 (学校平均)	70点以上	13	46.2	30.8	53.8	7.7	23.1
	50点以上70点未満	29	65.5	55.2	79.3	0.0	13.8
	50点未満	18	55.6	22.2	61.1	0.0	33.3
H31年3月・R2年3月の留学生の国家試験合格者率 (留学生合計1人以上5人未満の学校)	100%	12	75.0	41.7	75.0	8.3	8.3
	75%以上 (100%除く)	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50%以上75%未満	6	50.0	0.0	66.7	0.0	16.7
	50%未満 (0%除く)	4	100.0	75.0	100.0	0.0	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の国家試験合格者率 (留学生5人以上の学校)	100%	2	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	75%以上 (100%除く)	6	50.0	33.3	33.3	16.7	33.3
	50%以上75%未満	9	55.6	55.6	55.6	0.0	44.4
	50%未満 (0%除く)	21	57.1	42.9	61.9	4.8	23.8
R3年3月卒業生における留学生比率	75%以上	20	60.0	40.0	55.0	0.0	30.0
	50%以上75%未満	28	46.4	39.3	60.7	7.1	21.4
	25%以上50%未満	23	65.2	47.8	65.2	0.0	21.7
入学時日本語要件	25%未満	46	58.7	34.8	60.9	6.5	21.7
	N2以上	45	60.0	28.9	60.0	4.4	22.2
	N3以下	49	57.1	51.0	63.3	4.1	20.4
留学生受入れ意向	増やしたい	44	61.4	40.9	59.1	6.8	18.2
	現状を維持したい	65	56.9	38.5	64.6	3.1	23.1
	減らしたい・やめたい	10	50.0	40.0	40.0	0.0	40.0
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	51	56.9	52.9	74.5	0.0	17.6
	3種類未満	68	58.8	29.4	50.0	7.4	26.5
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が授業よって分割	10	80.0	40.0	40.0	0.0	20.0
	日本人学生/留学生が混在	105	57.1	41.0	62.9	4.8	21.9
	日本人学生が不在	4	25.0	0.0	50.0	0.0	50.0

6. 留学生のアルバイト

(1)アルバイトの管理

問 14：貴校では、留学生が行うアルバイトをどのように管理していますか。

- ・ 「アルバイト先の把握」が88.2%と最も高く、次いで「アルバイトに関する法的条件の周知徹底」が83.2%と続いた。
- ・ その他の意見としては、「2年生からアルバイトはほとんどない」、「エージェントと密に連絡を取る」等の意見が挙げられた。
- ・ 養成校別にみると、学力評価試験点数の高い学校においては、いずれの項目も該当しない傾向にある。

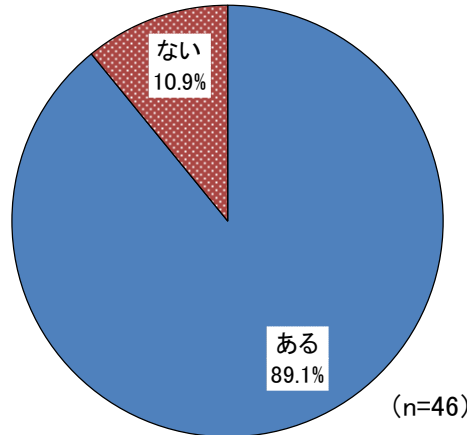


		調査数	アルバイトに関する法的条件の周知徹底	資格外活動許可申請をしているかの確認	アルバイト先の把握	アルバイト先の回転	週当たり勤務時間の把握	アルバイト先に対する就労上の注意点の説明	実習期間中のアルバイトの禁止	授業として行う介護実習と、介護施設・事業所でのアルバイトの区分けを徹底すること	その他	特に管理はしていない
	全体	119	83.2	59.7	88.2	36.1	58.8	31.1	59.7	48.7	1.7	2.5
留学生の学力評価試験点数 (学校平均)	70点以上	13	69.2	61.5	76.9	30.8	38.5	30.8	61.5	38.5	7.7	0.0
	50点以上70点未満	29	93.1	79.3	96.6	44.8	65.5	31.0	79.3	72.4	0.0	0.0
	50点未満	18	83.3	55.6	94.4	44.4	61.1	27.8	61.1	27.8	0.0	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の国家試験合格率 (留学生合計1人以上5人未満の学校)	100%	12	75.0	58.3	75.0	25.0	58.3	0.0	66.7	33.3	0.0	16.7
	75%以上 (100%除く)	1	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50%以上75%未満	6	100.0	50.0	100.0	50.0	83.3	16.7	83.3	33.3	0.0	0.0
	50%未満 (0%除く)	4	75.0	50.0	100.0	0.0	75.0	50.0	100.0	25.0	0.0	0.0
H31年3月・R2年3月の留学生の国家試験合格率 (留学生5人以上の学校)	100%	2	100.0	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	75%以上 (100%除く)	6	50.0	16.7	83.3	16.7	50.0	16.7	100.0	66.7	0.0	0.0
	50%以上75%未満	9	88.9	77.8	77.8	33.3	33.3	0.0	33.3	44.4	22.2	0.0
	50%未満 (0%除く)	21	95.2	76.2	90.5	57.1	57.1	38.1	61.9	57.1	0.0	0.0
R3年3月卒業生における留学生比率	100%	11	72.7	45.5	100.0	18.2	54.5	27.3	72.7	54.5	0.0	0.0
	75%以上 (100%除く)	2	100.0	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	50%以上75%未満	6	50.0	16.7	83.3	16.7	50.0	16.7	100.0	66.7	0.0	0.0
	50%未満 (0%除く)	9	88.9	77.8	77.8	33.3	33.3	0.0	33.3	44.4	22.2	0.0
入学時日本語要件	50%未満	21	95.2	76.2	90.5	57.1	57.1	38.1	61.9	57.1	0.0	0.0
	0%	14	85.7	57.1	100.0	21.4	64.3	35.7	57.1	57.1	0.0	0.0
	75%以上	20	85.0	65.0	90.0	30.0	80.0	30.0	50.0	55.0	0.0	0.0
	50%以上75%未満	28	89.3	57.1	85.7	39.3	60.7	35.7	64.3	64.3	3.6	3.6
留学生受入れ意向	25%以上50%未満	23	82.6	78.3	82.6	43.5	52.2	34.8	47.8	47.8	0.0	4.3
	25%未満	46	78.3	52.2	91.3	34.8	54.3	28.3	67.4	37.0	2.2	2.2
	N2以上	45	80.0	62.2	86.7	26.7	60.0	37.8	68.9	48.9	2.2	2.2
留学生への独自のサポート体制	N3以下	49	89.8	55.1	95.9	49.0	57.1	30.6	55.1	63.3	2.0	0.0
	増やしたい	44	75.0	47.7	88.6	36.4	50.0	31.8	54.5	43.2	2.3	0.0
	現状を維持したい	65	89.2	66.2	89.2	40.0	63.1	29.2	64.6	52.3	0.0	3.1
クラスの編成	減らしたい・やめたい	10	80.0	70.0	80.0	10.0	70.0	40.0	50.0	50.0	10.0	10.0
	3種類以上	51	90.2	74.5	88.2	52.9	64.7	37.3	56.9	68.6	0.0	2.0
	3種類未満	68	77.9	48.5	88.2	23.5	54.4	26.5	61.8	33.8	2.9	2.9
留学生への独自のサポート体制	日本人学生/留学生が完全分割	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が授業よって分割	10	80.0	30.0	90.0	30.0	50.0	20.0	70.0	70.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が混在	105	83.8	61.9	88.6	38.1	58.1	31.4	58.1	47.6	1.9	2.9
	日本人学生が不在	4	75.0	75.0	0.0	100.0	50.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0

【問 14 で「4. アルバイト先の斡旋」と回答の方】

問 14-1：留学生のアルバイト先として、介護施設・事業所のアルバイトを斡旋したことはありますか。

- ・ 「ある」が 89.1%、「ない」が 10.9%となった。
- ・ 養成校別にみても、特筆的な傾向は見られなかった。

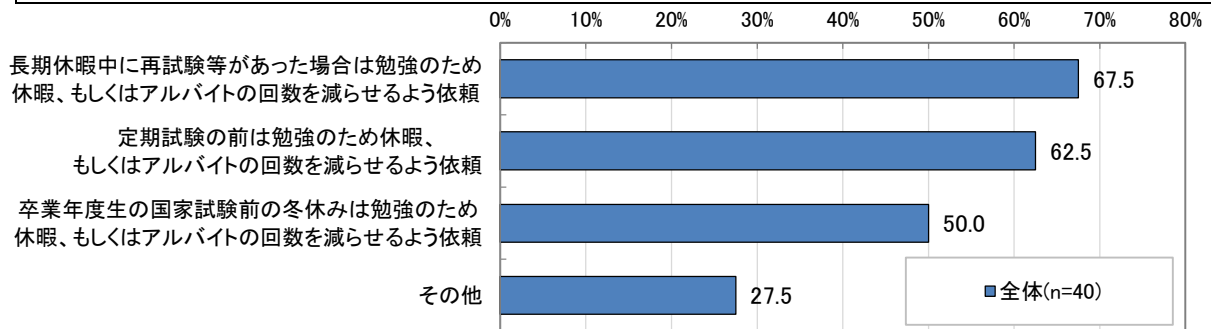


		調査数	ある	ない
	全体	46	89.1	10.9
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	4	<u>100.0</u>	<u>0.0</u>
	50点以上70点未満	14	85.7	14.3
	50点未満	9	88.9	11.1
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生合計1人以上5人未満の 学校）	100%	3	<u>100.0</u>	<u>0.0</u>
	75%以上（100 % 除く）	-	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>
	50%以上75%未満	3	<u>66.7</u>	<u>33.3</u>
	50%未満（0 % 除く）	-	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生5人以上の学校）	100%	2	<u>50.0</u>	<u>50.0</u>
	75%以上（100 % 除く）	1	<u>100.0</u>	<u>0.0</u>
	50%以上75%未満	1	<u>100.0</u>	<u>0.0</u>
	50%未満（0 % 除く）	5	80.0	20.0
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	12	91.7	8.3
	50%以上75%未満	3	<u>100.0</u>	<u>0.0</u>
	25%以上50%未満	8	87.5	12.5
	25%未満	11	90.9	9.1
入学時日本語要件	N2以上	10	90.0	10.0
	N3以下	17	88.2	11.8
		13	<u>76.9</u>	<u>23.1</u>
留学生受入れ意向	増やしたい	24	<u>100.0</u>	<u>0.0</u>
	現状を維持したい	16	87.5	12.5
	減らしたい・やめたい	3	<u>66.7</u>	<u>33.3</u>
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	27	92.6	7.4
	3種類未満	3	<u>66.7</u>	<u>33.3</u>
クラスの編成	3種類以上	28	85.7	14.3
	3種類未満	18	<u>94.4</u>	<u>5.6</u>
	日本人学生/ 留学生が完全分割	-	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>
	日本人学生/ 留学生が授業よって分割	3	<u>100.0</u>	<u>0.0</u>
留学生への独自のサポート体制	日本人学生/ 留学生が混在	42	90.5	9.5
	日本人学生が不在	1	<u>0.0</u>	<u>100.0</u>

【問 14-1 で「1. ある」と回答の方】

問 14-1-A：留学生のアルバイト先の介護施設・事業所等へ、以下の依頼を行っているかについて教えてください。

- ・ 「長期休暇中に再試験等があった場合は勉強のため休暇、もしくはアルバイトの回数を減らせるよう依頼」が 67.5%と最も高く、次いで「定期試験の前は勉強のため休暇、もしくはアルバイトの回数を減らせるよう依頼」が 62.5%、「卒業年度生の国家試験前の冬休みは勉強のため休暇、もしくはアルバイトの回数を減らせるよう依頼」が 50.0%となった。
- ・ その他の意見としては、「規則正しい生活習慣を身につける」、「実習でアルバイトできない無給期間への支援」、「年間予定を知らせる」、「試験前等は学生本人に回数調整を指導」等の意見が挙げられた。
- ・ 養成校別にみると、学力評価試験点数の低い学校においては、いずれの項目も実施していない傾向がある。



		調査数	定期試験の前は勉強のため休暇、もしくはアルバイトの回数を減らせるよう依頼	長期休暇中に再試験等があった場合は勉強のため休暇、もしくはアルバイトの回数を減らせるよう依頼	卒業年度生の国家試験前の冬休みは勉強のため休暇、もしくはアルバイトの回数を減らせるよう依頼	その他
	全体	40	62.5	67.5	50.0	27.5
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	4	<u>100.0</u>	75.0	50.0	<u>0.0</u>
	50点以上70点未満	12	<u>75.0</u>	75.0	<u>75.0</u>	25.0
	50点未満	7	<u>42.9</u>	<u>57.1</u>	<u>14.3</u>	<u>42.9</u>
H31年3月・R2年3月の留学生の国家試験合格者率（留学生合計1人以上5人未満の学校）	100%	3	<u>100.0</u>	<u>100.0</u>	<u>100.0</u>	<u>66.7</u>
	75%以上（100%除く）	-	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>
	50%以上75%未満	2	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	<u>100.0</u>
	50%未満（0%除く）	-	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>
	0%	1	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	<u>100.0</u>
H31年3月・R2年3月の留学生の国家試験合格者率（留学生5人以上の学校）	100%	1	<u>100.0</u>	<u>100.0</u>	<u>100.0</u>	<u>0.0</u>
	75%以上（100%除く）	1	<u>100.0</u>	<u>100.0</u>	<u>100.0</u>	<u>0.0</u>
	50%以上75%未満	3	66.7	66.7	<u>33.3</u>	<u>33.3</u>
	50%未満（0%除く）	11	63.6	<u>81.8</u>	54.5	18.2
	0%	3	<u>33.3</u>	<u>33.3</u>	<u>33.3</u>	<u>33.3</u>
R3年3月卒業生における留学生比率	75%以上	6	<u>33.3</u>	66.7	<u>33.3</u>	<u>33.3</u>
	50%以上75%未満	10	60.0	70.0	<u>80.0</u>	<u>10.0</u>
	25%以上50%未満	9	<u>77.8</u>	66.7	44.4	<u>33.3</u>
	25%未満	15	66.7	66.7	<u>40.0</u>	<u>33.3</u>
入学時日本語要件	N2以上	10	70.0	60.0	50.0	<u>40.0</u>
	N3以下	24	66.7	<u>79.2</u>	54.2	25.0
留学生受入れ意向	増やしたい	14	<u>50.0</u>	<u>57.1</u>	<u>35.7</u>	28.6
	現状を維持したい	25	68.0	72.0	56.0	28.0
	減らしたい・やめたい	1	<u>100.0</u>	<u>100.0</u>	<u>100.0</u>	<u>0.0</u>
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	24	70.8	70.8	58.3	20.8
	3種類未満	16	<u>50.0</u>	62.5	<u>37.5</u>	<u>37.5</u>
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>
	日本人学生/留学生が授業によって分割	3	<u>100.0</u>	<u>100.0</u>	<u>66.7</u>	<u>0.0</u>
	日本人学生/留学生が混在	37	59.5	64.9	48.6	29.7
	日本人学生が不在	-	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>

7. 留学生のモチベーション管理

(1)特別なサポート体制

問 15：貴校では、留学生を退学させないため、また学業を継続させるために、学業の度合いや生活習慣等について、どのような特別なサポート体制をとっていますか。

- ・生活状況や体調の把握が最も多く、次いで日本での生活支援が多く挙げられ、学習を行うための留学生の生活支援、その把握とする意見が多かったが、留学生への独自のサポート体制（P10）でも記載した通り、学力評価試験点数の低い学校においては、点数の高い学校より「生活全般に対する相談体制整備」を行っている傾向にあり、こういった生活支援を行う必要がある学生が多い場合、学校教員の負担が増え、ひいては学習指導体制に影響が及ぶ可能性も存在する。

code	内容	件数
1	授業や課題等の理解度、授業の進め方に配慮	15
2	日本での生活支援	26
3	生活状況や体調の把握	42
4	サポートする側の連携、情報共有	17
5	コミュニケーション	40
6	留学生の国家試験合格者や卒業生の体験の講話	1
7	その他	4
8	特になし	7

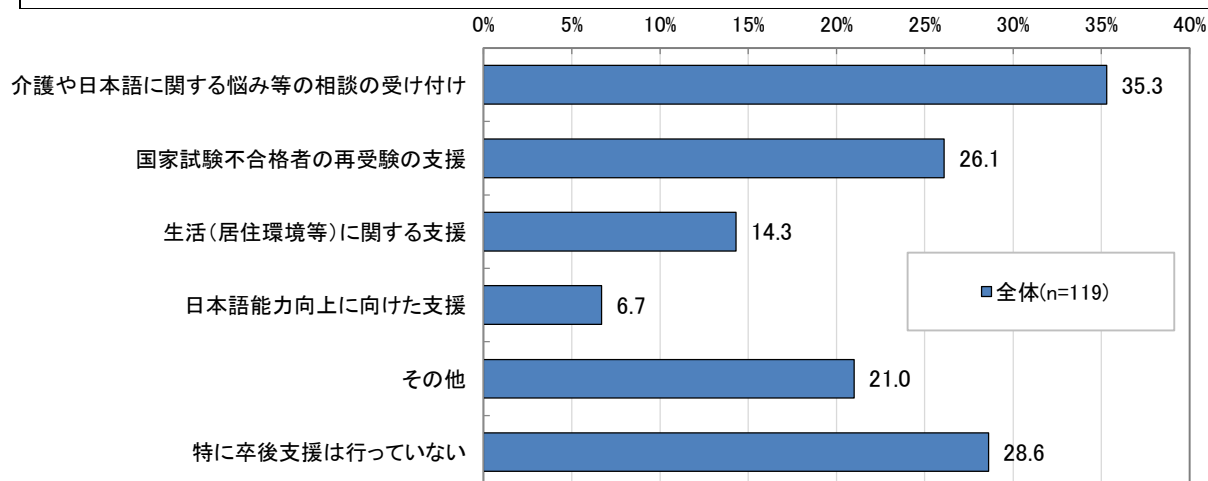
152

8. 留学生の卒後支援

(1) 卒後支援

問 16：卒業後の留学生に対し、貴校ではどのような支援を行っているかについて教えてください。

- ・ 「介護や日本語に関する悩み等の相談の受け付け」が 35.3%と最も高く、次いで「国家試験不合格者の再受験の支援」が 26.1%と続いた。
- ・ その他の意見としては、「卒業生セミナー、卒業後研修を開催」、「職場との良好な関係維持のための支援」、「納税や市役所からの文書等についての対応方法指導」、「ビザの更新・変更等に関する支援」等の意見が挙げられた。
- ・ 養成校別にみると、学力評価試験点数の高い学校においては、「日本語能力向上に向けた支援」、「生活（居住環境等）に関する支援」を行っている傾向にあった。また、学力評価試験点数の低い学校ほど、「特に卒後支援は行っていない」とする傾向にある。

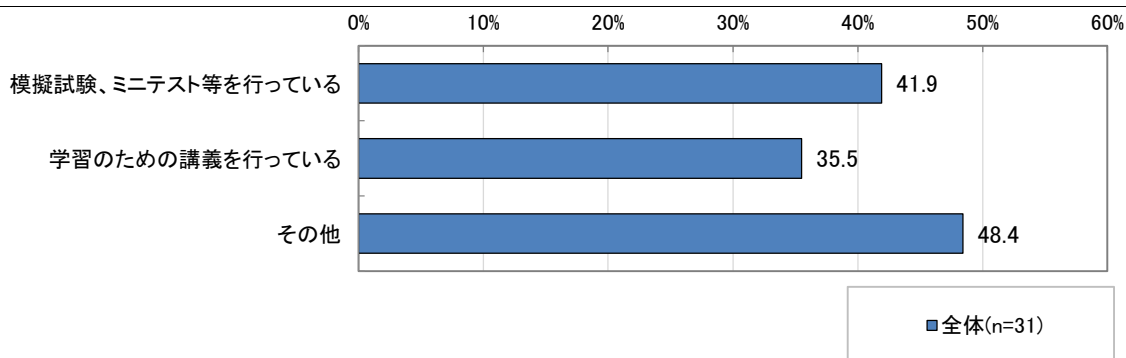


		調査数	国家試験 不合格者 の再受験 の支援	日本語能 力向上に 向けた支 援	介護や日 本語に関 する悩み 等の相談 の受け付 け	生活（居 住環境 等）に関 する支援	その他	特に卒業 支援は 行って いない
	全体	119	26.1	6.7	35.3	14.3	21.0	28.6
留学生の学力評価試験点数（学 校平均）	70点以上	13	30.8	15.4	30.8	23.1	23.1	30.8
	50点以上70点未満	29	24.1	6.9	37.9	13.8	20.7	20.7
	50点未満	18	27.8	5.6	38.9	11.1	11.1	44.4
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生合計1人以上5人未満の 学校）	100%	12	8.3	0.0	41.7	8.3	41.7	16.7
	75%以上（100%除く）	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50%以上75%未満	6	0.0	0.0	50.0	16.7	16.7	33.3
	50%未満（0%除く）	4	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	50.0
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生5人以上の学校）	100%	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
	75%以上（100%除く）	6	16.7	0.0	66.7	33.3	33.3	0.0
	50%以上75%未満	9	44.4	0.0	22.2	0.0	0.0	44.4
	50%未満（0%除く）	21	61.9	14.3	52.4	19.0	4.8	14.3
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	20	25.0	5.0	30.0	20.0	15.0	35.0
	50%以上75%未満	28	28.6	10.7	46.4	25.0	21.4	14.3
	25%以上50%未満	23	30.4	13.0	39.1	8.7	26.1	26.1
	25%未満	46	23.9	2.2	30.4	6.5	21.7	34.8
入学時日本語要件	N2以上	45	24.4	6.7	40.0	11.1	20.0	24.4
	N3以下	49	30.6	8.2	36.7	16.3	22.4	26.5
留学生受入れ意向	増やしたい	44	25.0	4.5	29.5	11.4	13.6	31.8
	現状を維持したい	65	30.8	9.2	40.0	15.4	23.1	26.2
	減らしたい・やめたい	10	0.0	0.0	30.0	20.0	40.0	30.0
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	51	29.4	9.8	39.2	11.8	27.5	17.6
	3種類未満	68	23.5	4.4	32.4	16.2	16.2	36.8
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	日本人学生/留学生が授業よって分割	10	10.0	10.0	50.0	10.0	10.0	30.0
	日本人学生/留学生が混在	105	28.6	6.7	34.3	15.2	21.9	27.6
	日本人学生が不在	4	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	50.0

【問 16 で「1. 国家試験不合格者の再受験の支援」と回答の方】

問 16-1：国家試験不合格者の再受験の支援として、どのようなことを行っているかについて教えてください。

- ・ 「その他」が 48.4%と最も高かった。
- ・ その他の意見としては、「受験申込書や応募書類の取り寄せ、記入法やアドバイス、相談」、「個別支援体制を整えている」等の意見が挙げられた。
- ・ 養成校別にみても、特筆的な傾向は見られなかった。

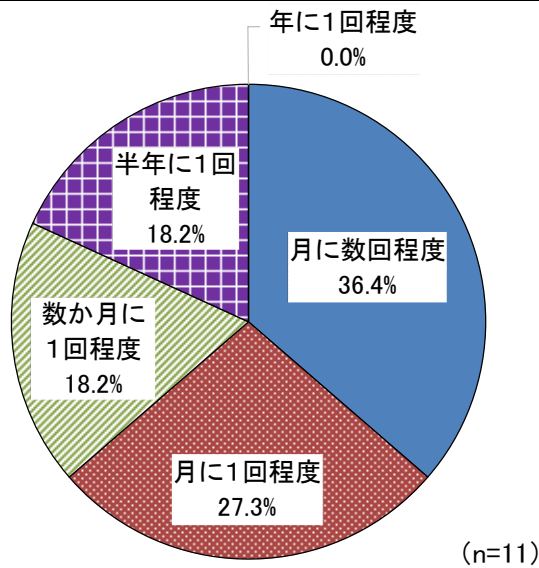


		調査数	学習のための講義を行っている	模擬試験、ミニテスト等を行っている	その他
	全体	31	35.5	41.9	48.4
留学生の学力評価試験点数（学校平均）	70点以上	4	<u>25.0</u>	<u>25.0</u>	<u>75.0</u>
	50点以上70点未満	7	42.9	42.9	42.9
	50点未満	5	<u>60.0</u>	40.0	<u>20.0</u>
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生合計1人以上5人未満の 学校）	100%	1	<u>0.0</u>	<u>100.0</u>	<u>0.0</u>
	75%以上（100%除く）	1	<u>100.0</u>	<u>100.0</u>	<u>0.0</u>
	50%以上75%未満	-	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>
	50%未満（0%除く）	1	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	<u>100.0</u>
	0%	4	<u>75.0</u>	50.0	<u>25.0</u>
H31年3月・R2年3月の留学生の 国家試験合格者率 （留学生5人以上の学校）	100%	-	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>
	75%以上（100%除く）	1	<u>100.0</u>	<u>100.0</u>	<u>0.0</u>
	50%以上75%未満	4	<u>0.0</u>	<u>25.0</u>	<u>75.0</u>
	50%未満（0%除く）	13	38.5	38.5	46.2
	0%	3	33.3	33.3	<u>66.7</u>
R3年3月卒業生における 留学生比率	75%以上	5	40.0	<u>20.0</u>	40.0
	50%以上75%未満	8	<u>25.0</u>	37.5	<u>62.5</u>
	25%以上50%未満	7	28.6	42.9	57.1
	25%未満	11	<u>45.5</u>	<u>54.5</u>	<u>36.4</u>
入学時日本語要件	N2以上	11	27.3	36.4	54.5
	N3以下	15	<u>46.7</u>	40.0	46.7
留学生受入れ意向	増やしたい	11	<u>45.5</u>	36.4	54.5
	現状を維持したい	20	30.0	45.0	45.0
	減らしたい・やめたい	-	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>
留学生への独自のサポート体制	3種類以上	15	26.7	33.3	53.3
	3種類未満	16	43.8	50.0	43.8
クラスの編成	日本人学生/留学生が完全分割	-	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>
	日本人学生/留学生が授業よって分割	1	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	<u>100.0</u>
	日本人学生/留学生が混在	30	36.7	43.3	46.7
	日本人学生が不在	-	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>

【問 16-1 で「1. 学習のための講義を行っている」と回答の方】

問 16-1-A 再受験の支援で行う講義の頻度を教えてください。

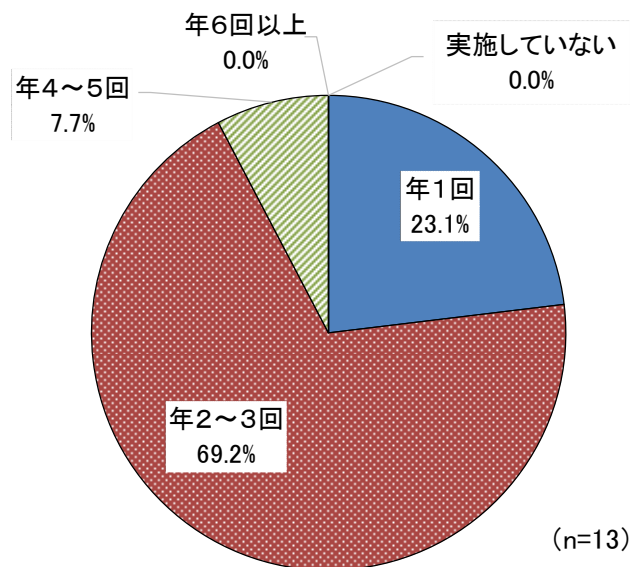
- ・ 「月に数回程度」が 36.4%と最も高く、次いで「月に1回程度」が 27.3%と続いた。



【問 16-1 で「2. 模擬試験、ミニテスト等を行っている」と回答の方】

問 16-1-B : 再受験の支援で行う介護の専門学習に関する模擬試験等（国家試験の時間制限と同様に模擬試験形式で行う試験。当協会が行う学力評価試験も含む）について、年何回程度行うか教えてください。

- ・ 「年2～3回」が 69.2%と最も高く、次いで「年1回」が 23.1%と続いた。



9. その他の事柄

(1)国家試験対策に関する自由意見

問 17：留学生の国家試験対策について、養成校としてどのようなことが課題となるか、どの観点からでもかまいませんので、ご意見をお聞かせください。

- ・ 日本語の理解度に関する意見が最も多く、次いで学校の体制や教え方等についての意見が多かった。
- ・ 養成校で指導するカリキュラムを科目別に見た際の指導の困難度（P57～P69）において、入学時日本語要件 N3 以下の学校で、N2 以上の学校より指導が困難とされる割合が高い結果となったが、そもそも国家試験を解く際には日本語を理解できないと問題が読めず、回答できないことから、日本語に難がある留学生の場合、国家試験対策において指導が困難になりやすいことがうかがえる。

code	内容	件数
1	日本語の理解度	57
2	アルバイトと学業の両立が難しい	8
3	モチベーションアップ	9
4	経験、学力の差	3
5	試験の事例問題に苦慮	1
6	日本の文化や生活習慣の理解度	4
7	介護の内容を日本語で理解すること	1
8	学校の体制、教え方等	10
9	留学生への正しい情報伝達	1
10	国家試験への受験対策支援	9
11	新型コロナの影響	1
12	課題は多い	1
13	留学生だけに課題があるわけではない	1
14	その他	2
15	特になし	3

111

第 5 章 試行試験・学力評価試験等 調査結果

1. 複数の国家試験データの分析について

(1) データ分析の目的・手法

以下の目的、手法にて分析を行った。

図表：複数の国家試験データの分析 目的・手法

データ分析の目的	介護福祉士国家試験の科目別得点率を比較した際、留学生在が苦手とする科目が存在するか否かを明らかにすること
データ分析の手法	日本人高校生、留学生、日本人学生の国家試験データの得点率を、領域別・科目別に得点率算出し、ヒートマップを作成する

(2) データを入手した試験

本事業では、当協会が実施した以下調査（イ．～オ．）以外にも、文部科学省から福祉系高校に所属する学生のデータの入手（以下、ア．）も受け、データを分析した。

図表：使用したデータ

試験種別	番号	対象者	実施日	データ抽出先
令和元年度 介護福祉士国家試験 にかかるデータ	ア.	令和元年度卒業の 高校生	令和元年度介護 福祉士国家試験 日と同一日	文部科学省から提供
	イ.	令和元年度卒業の 留学生	令和元年度介護 福祉士国家試験 日と同一日	当協会にて令和元年度に独 自に抽出
	ウ.	令和2年度卒業予定の 留学生	令和2年 9/30～10/30	本事業にて行った試行試験の 結果をもって当協会にて独自 に抽出
令和2年度 学力評価試験 にかかるデータ	エ.	令和2年度卒業予定の 日本人学生	令和2年 11/23～11/29	本事業にて行った学力評価 試験の結果をもって当協会に て独自に抽出
	オ.	令和2年度卒業予定の 留学生	令和2年 11/23～11/29	本事業にて行った学力評価 試験の結果をもって当協会に て独自に抽出

(3) データ分析結果

以下のとおりの結果となった。

- ・ 「社会の理解」、「障害の理解」、「こころとからだのしくみ」、「総合問題」については、日本人、外国人双方において得点率が低い項目である。
- ・ 全体傾向としては日本人と外国人の得点傾向は変わらないが、「人間関係とコミュニケーション」、「介護過程」等においては日本人が9割程度得点できているところ一方で外国人の得点率が低く、得点すべき問題を落としていることがうかがえる。

図表：データ分析結果（高数値が赤、低数値が青）

領域	科目群	R1国家試験			R2学力評価試験	
		日本人(※1)	留学生(※2)	留学生(※3)	日本人(※4)	留学生(※5)
人間と社会	人間の尊厳と自立	92.9%	79.0%	64.8%	89.9%	67.4%
	人間関係とコミュニケーション	88.0%	76.7%	65.3%	84.1%	52.7%
	社会の理解	51.7%	40.0%	47.7%	49.5%	30.5%
介護	介護の基本	76.2%	67.3%	55.5%	57.6%	39.6%
	コミュニケーション技術	73.5%	66.4%	53.9%	74.4%	42.3%
	生活支援技術	82.8%	65.6%	52.0%	73.9%	45.8%
	介護過程	91.0%	67.0%	54.1%	69.0%	40.2%
こころとからだのしくみ	発達と老化の理解	76.9%	60.9%	55.2%	53.9%	35.6%
	認知症の理解	76.8%	59.4%	49.6%	69.3%	47.4%
	障害の理解	59.4%	47.7%	44.4%	68.9%	43.6%
	こころとからだのしくみ	65.5%	49.6%	45.4%	63.4%	42.5%
医療的ケア	医療的ケア	92.4%	76.7%	62.9%	67.4%	47.8%
総合問題	総合問題	62.5%	49.9%	43.5%	49.4%	33.4%

※1 (2) 番号ア. のデータ

※2 (2) 番号イ. のデータ

※3 (2) 番号ウ. のデータ

※4 (2) 番号エ. のデータ

※5 (2) 番号オ. のデータ

2. 学力評価試験の分析について

(1) データ分析の目的・手法

以下の目的、手法にて分析を行った。

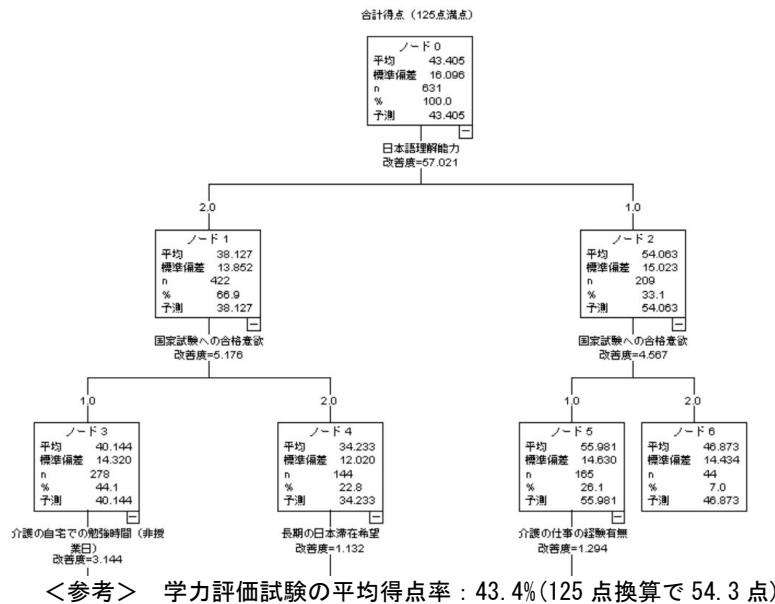
図表：学力評価試験の分析 目的・手法

データ分析の目的	アンケート回答結果(養成校票(第3章 養成校に所属する留学生の学習に関する調査結果) / 留学生票(第4章 養成校での留学生の学習指導に関する調査結果))と、学力評価試験結果との関連を分析することで、どのような要因の違いで、高得点/低得点に分かれるか、いくつかのパターンを見ること
データ分析の手法	決定木分析(CRT) [※]

※ 決定木分析とは

今回の分析では、学力評価試験の得点率を目的変数として、その得点率の高い/低いを分ける要因となる項目をツリー状に階層的に深掘りしていく分析手法である。また、階層が上位のものほど、目的変数の高低を分ける要因として影響が高い項目であるといえる。

図表：決定木分析(イメージ図)



(2) 学力評価試験データの整理

留学生票/養成校票/学力評価試験全てのデータの紐づけを行った。いずれの調査においても、回答者の養成校/留学生に無記名の通し番号を配布しており、当該通し番号を活用して紐づけした。

留学生票においては1,011人、養成校票においては120校の回答があったが、留学生票/養成校票/学力評価試験のすべてのデータを紐づけられた養成校は67校、留学生は631人となった。

なお、データの紐づけにおいては留学生票のデータを主とし、当該結果に養成校票、学力評価試験全てのデータの紐づけを行った。

(3) データを分析する際の観点

複数の観点で分析を行うため、以下5点（①～⑤）の観点で分析を行った。

① 留学生票（第3章 養成校に所属する留学生の学習に関する調査結果）の集計データによる分析

留学生票のデータより、以下の設問を抽出・集計した結果を整理し、当該区分による得点率の違いで、高得点／低得点に分かれるかを分析した。

図表：留学生票から抽出した設問

項目名	表例			
	調査種類	設問 1	選択肢1	選択肢の振り分け
最終学歴	留学生	問5-1	大卒以上 大卒未満	4. 大学・大学院 1.~3.
看護師資格の有無	留学生	問5-2	看護師資格有 看護師資格無	1. 持っている 2. 持っていない
看護師資格の有無	留学生	問5-2	看護師資格有 看護師資格無	1. 持っている 2. 持っていない
介護関連の資格の有無	留学生	問5-3	介護関連の資格有 介護関連の資格無	1. 持っている 2. 持っていない
看護の仕事の経験有無	留学生	問5-2	看護師の仕事の経験有 看護師の仕事の経験無	1. 持っている 2. 持っていない
介護の仕事の経験有無	留学生	問5-3	介護の仕事の経験有 介護の仕事の経験無	1. 持っている 2. 持っていない
居住形態	留学生	問6	一人暮らし それ以外	1. 1人で住んでいる 2.~5.
介護施設でのアルバイト	留学生	問8	している していない	1. 2. 3. 4.
長期の日本滞在希望	留学生	問9	10年以上 10年未満	1. 2. 3.~6.
国家試験への合格意欲	留学生	問10	必ず合格したい 出来れば合格したい、合格したくない、考えたことがない	1. 必ず合格したい 2. 3. 4.
介護職員としての将来像	留学生	問11	管理者層になりたい それ以外	1. 2. 3. 4.
介護の自宅での勉強時間（授業日）	留学生	問12	3時間以上 1時間以上3時間未満 学習しない	1. 学習しない
介護の自宅での勉強時間（非授業日）	留学生	問12	3時間以上 1時間以上3時間未満 学習しない	1. 学習しない
介護の補講の参加頻度	留学生	問14	概ね参加 概ね不参加	1. 2. 3.~5.
学校の授業の満足度	留学生	問15	満足 不満足	1. 2. 3.~5.
学校の授業の理解度	留学生	問16	分かる 分からない	1. 2. 3.~5.
日本語理解能力	留学生	問19	N2以上 N3以下	1. 2. 3.~6.
日本での生活の満足度	留学生	問23	満足している 満足していない	1. 2. 3.~5.

② 養成校票（第4章 養成校での留学生の学習指導に関する調査結果）の集計データによる分析
 養成校票のデータより、以下の設問を抽出・集計した結果を整理し、当該区分による得点率の違いで、高得点/低得点に分かれるかを分析した。

図表：養成校票から抽出した設問

項目名	表例			
	調査種類	設問 1	選択肢1	選択肢の振り分け
入学時日本語要件	養成校	問3-2	N2以上 N3以下	1.の1.N1および2.N2以上に選択された方とそれ以外（全校） N3,N4,N5
留学生受入れ意向	養成校	問4	増やしたい 現状を維持したい 減らしたい・やめたい	1.増やしたい 2.現状を維持したい 3.4.
留学生への独自のサポート体制	養成校	問5	3種類以上 3種類未満	項目数 項目数
クラスの編成	養成校	問8	日本人学生/留学生が完全分割 日本人学生/留学生が授業よって分割 日本人学生/留学生が混在 日本人学生が不在	1.完全にクラスを分けており、日本人学生と留学生が共に受講する授業はない 2.授業によって、日本人学生と留学生のクラスを分けている 3.クラスは分けておらず、日本人学生と留学生が共に授業を受けている 4.日本人学生は所属していない
留学生をサポートするための教材	養成校	問9	何らかの留学生向けの教材を活用し 留学生向けに特別な教材は活用して	10.特別な教材は使用していない以外を選択 10.特別な教材は使用していないのみ選択
国家試験対策の実施有無	養成校	問10	国家試験向けの対策を行っている 国家試験向けの対策を行っていない	1.-4.のどれかが有 5.あてはまるものがない
介護の補講の頻度(卒業年度・通年)	養成校	問10-2	週に数回以上 月に1回～数回程度 月に1回未満	1.2. 3.4. 5.～8.
介護の補講の頻度(卒業年度・国家試験直前期)	養成校	問10-2	週に数回以上 月に1回～数回程度 月に1回未満	1.2. 3.4. 5.～8.
介護の補講の頻度(卒業年度以外・通年)	養成校	問10-2	週に数回以上 月に1回～数回程度 月に1回未満	1.2. 3.4. 5.～8.
国家試験対策模試の頻度(卒業年度)	養成校	問10-2	年6回以上 年2～5回 年1回・実施していない	4.年6回以上 2.3. 1.6.
国家試験対策模試の頻度(卒業年度)	養成校	問10-2	年6回以上 年2～5回 年1回・実施していない	4.年6回以上 2.3. 1.6.
日本語専門学習の実施有無	養成校	問11	日本語対策を行っている 日本語対策を行っていない	7.特に実施していない以外を選択 7.特に実施していないのみ選択
日本語学習補講の頻度(卒業年度・通年)	養成校	問11-1	週に数回以上 月に1回～数回程度 月に1回未満	1.2. 3.4. 5.～8.
日本語学習補講の頻度(卒業年度・国家試験直前期)	養成校	問11-1	週に数回以上 月に1回～数回程度 月に1回未満	1.2. 3.4. 5.～8.
日本語学習補講の頻度(卒業年度以外・通年)	養成校	問11-1	週に数回以上 月に1回～数回程度 月に1回未満	1.2. 3.4. 5.～8.
国家試験対策模試の頻度(卒業年度)	養成校	問11-2	年6回以上 年2～5回 年1回・実施していない	4.年6回以上 2.3. 1.6.
日本語試験の受験管理	養成校	問11-4 推奨内容	受講必須（2回とも） 受講必須（1回もしくは回数規定なし） 受講任意 推奨なし	1.受験を必須にしている かつ 1.原則2回とも 1.受験を必須にしている で上記以外（1回もしくは回数規定なし） 2.受験は任意にしている 3.特に推奨していない
介護のアルバイトあっせん	養成校	問14.14-1	斡旋したことがある 斡旋したことがない	問14.で4. かつ 問14-1.で1.ある 上記以外

③ 学力評価試験の領域別・科目別による分析

どのような領域・科目の得点率の違いで、高得点／低得点に分かれるかを分析した。

図表：領域別・科目別区分

4 領域区分	<ul style="list-style-type: none"> ・人間と社会 ・介護 ・こころとからだのしくみ ・医療的ケア
12 科目区分	<ul style="list-style-type: none"> ・1-1. 人間の尊厳と自立 ・1-2. 人間関係とコミュニケーション ・1-3. 社会の理解 ・2-1. 介護の基本 ・2-2. コミュニケーション技術 ・2-3. 生活支援技術 ・2-4. 介護過程 ・3-1. 発達と老化の理解 ・3-2. 認知症の理解 ・3-3. 障害の理解 ・3-4. こころとからだのしくみ ・4-1. 医療的ケア

④ 学力評価試験の問題特性 7 区分による分析

作業部会にて検討・作成を行った留学生アンケート調査票のうち、介護福祉士国家試験の問題特性のうち日本語能力にかかる項目以外の 7 区分について、当該区分による得点率の違いで、高得点／低得点に分かれるかを分析した。

ア. 学力評価試験の問題特性 7 区分（日本語能力にかかる部分を除く）

以下 7 区分に整理した。

図表：問題特性区分

7 区分	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療・介護の言葉の理解 2. 病気や障害などの理解 3. 介護現場で起きるものの理解 4. 介護を必要とする人についての理解 5. 介護のやり方理解 6. 介護制度、サービスの理解 7. 介護職の専門性や役割の理解
------	--

⑤ 日本語の難しさ 13 区分による分析

介護の日本語にかかる先行研究をふまえ、介護福祉士国家試験で使用される日本語のうち、留学生の課題となることが想定される 13 区分を整理し、当該区分による得点率の違いで、高得点／低得点に分かれるかを分析した。

ア. 先行研究文献リスト

以下の先行研究を参照した。

図表：先行研究リスト

文献番号	論文種別	著者	年度	タイトル	掲載媒体	ページ数
1	-	中川健司ほか	(2014)	介護福祉士国家試験におけるカタカナ語の特徴	専門日本語教育研究16	pp.73-78
2	論文	三枝令子	(2014)	介護福祉士国家試験平易化の検証—第 25 回試験の分析	『人文・自然研究』第 8号	pp.171-189
3	論文	遠藤織枝	(2013)	わかりやすい介護用語をめざして—介護教科書の語彙調査から—	現代日本語研究会『ことば』34号	pp.73-87
4	論文	遠藤織枝ほか	(2013)	介護福祉士国家試験の平易化のために—第 23 回、24 回試験の分析	『人文・自然研究』第 7 号	pp.21-41
5	論文	遠藤織枝	(2012)	介護現場のことばのわかりにくさ：外国人介護従事者にとってのことばの問題	介護福祉学 19(1),	pp.94-100
6	論文	三枝令子	(2012)	介護福祉士国家試験の日本語：外国人介護従事者にとってのことばの問題	介護福祉学19(1),	pp.26-33
7	論文	遠藤織枝	(2012)	介護現場のことば	現代日本語研究会『ことば』33 号	pp.102-120
8	報告	厚生労働省	(2012)	経済連携協定 (EPA)介護福祉士候補者に配慮した国家試験のあり方に関する検討会報告書	-	-
9	論文	立川和美	(2011)	EPAをめぐる国内での日本語教育の現状—インドネシア人看護・介護福祉士候補者への教育と国家試験に向けた方策—	流通経済大学社会学部論叢 22(1)	pp.101-111
10	論文	中川 健司	(2010)	介護福祉士候補者が国家試験を受験する上で必要な漢字知識の検証	日本語教育2010 年 147 巻	pp.67-81
11	報告	日本語教育学会「看護と介護の日本語教育」ワーキンググループ	(2010)	介護福祉士国家試験問題の日本語の難しさについて考えるための基礎資料（改訂版）—第 21 回・第 22 回試験の全問分析結果のまとめ(2010 年 12月)—	-	-

イ. 先行研究による日本語の難しさ 13 区分

先行研究の分析結果による日本語の難しさ 13 区分は以下のとおりである。

図表：日本語の難しさ区分

日本語区分		設問文等の例
大項目	小項目	
1. 試験問題の文意のわかりにくさ	1. 長い文、複雑な文による難しさ	・ 1 文が長いなど、構造が複雑であるケース
	2. 受身形の使用による難しさ	・ 受身形が使用されているケース 【例】緩和された、限定されている、障害されやすい、断られた、適用される 等
	3. 否定表現による難しさ	・ 文章中に否定表現が使用されている 【例】加入している者は～することはない、～でなければ行つことができない 等
	4. 主語が表示されない文による難しさ	・ 1 題の問題の中に複数の文が含まれていたり、複数の人物が出ているのに主語が示されないケース

日本語区分		設問文等の例
大項目	小項目	
2. 試験問題の用語の わかりにくさ	5. 読み方の揺れによる難しさ	・ 同様の漢字で別の読み方があるケース 【例】ウヘンマヒ/ミギカタマヒ、 ケンソク/ケンガワ 等
	6. 表記の揺れによる難しさ	・ 同一表現で別表記も存在するケース 【例】続柄/続き柄、かぶり上衣/かぶり上着、 排泄/排せつ 等
	7. 難解な漢語の使用による難しさ	・ 語彙自体が難しい漢字で表現されているケース 【例】骨粗鬆症、欠伸 等
	8. 外来語/カタカナ語による難しさ	・ 外来語やカタカナ語が使用されているケース 【例】ペースメーカー、ミトン、ケアマネジャー、 カンファレンス、カテテル 等
	9. 多義語による難しさ	・ 多義語が使用されているケース 【例】いどう（移動、異同、異動）、 しこう（嗜好、思考、志向、至高、歯垢） 等
	10. 類義語による難しさ	・ 類義語が使用されているケース 【例】嘔吐物/吐物、内服/服用/服薬、 舌下剤/舌下錠、居宅介護/在宅介護 等
	11. 複合語による難しさ	・ 2つ以上の意味のある言葉が重なって複合語として 表記があるケース 【例】傾眠状態、意思伝達
	12. 省略語による難しさ	・ 省略して表記があるケース 【例】人口10万対→人口10万人に対して、 原則黄色→原則として黄色、 咀嚼力→咀嚼能力 等
	13. 長い漢字列による難しさ	・ 漢字の組み合わせで長い語彙になっているケース 【例】認知症対応型共同生活介護事業所、 全国健康保険協会管掌健康保険 等

(4) 分析結果

(3)の観点を踏まえ分析し、以下の結果となった。

① 養成校の属性・留学生の属性から見た得点の多寡に影響する要因の把握

ア. 留学生票の集計データによる分析 結果

以下の通りの結果となった。

(全体の得点率平均=43.4%)

パターン	項目	得点率	125点換算得点	構成比
高得点層	①「日本語理解能力」=「N2以上」	54.1%	67.6点	33.1%
	①&②「国家試験への合格意欲」=「必ず合格したい」	56.0%	70.0点	26.1%
中間層 (平均得率近辺点)	①「日本語理解能力」=「N3以下」	38.1%	47.6点	66.9%
	①&②「国家試験への合格意欲」=「必ず合格したい」	40.1%	40.1点	44.1%
	①&②&③「介護の自宅での勉強時間(非授業日)」=「3時間以上」	43.7%	54.6点	15.7%
低得点層	①「日本語理解能力」=「N3以下」	38.1%	47.6点	66.9%
	①&②「国家試験への合格意欲」=「できれば合格したい」以下	34.2%	42.8点	22.8%
	①&②&③「長期の日本滞在希望」=「10年未満」	31.7%	39.6点	10.0%

また、上記パターン（高得点層、中間層、低得点層）の属性のうち最も特徴的な属性（青網掛け部分）について、留学生票のその他属性とクロス集計した結果、以下の通りの結果となった。（傾向が見られた箇所を中心に集計表から一部抜粋）

<最終学歴>

		調査数	大卒以上	大卒未満
	全体	631	26.0	74.0
得点層	留学生高得点層	165	32.1	67.9
	留学生中間得点層	72	26.4	73.6
	留学生低得点層	31	16.1	83.9

・高得点層に大卒以上が多く、低得点層に大卒未満が多い傾向となった。

<看護師資格の有無>

		調査数	看護師資格有	看護師資格無
	全体	631	28.8	71.2
得点層	留学生高得点層	165	29.1	70.9
	留学生中間得点層	72	41.7	58.3
	留学生低得点層	31	12.9	87.1

・高得点層においても看護師資格の非保持者が多いが、低得点層においては非保持者がさらに多い傾向となった。

<看護の仕事の経験有無>

		調査数	看護師の仕事の経験有	看護師の仕事の経験無
	全体	183	64.5	35.5
得点層	留学生高得点層	48	66.7	33.3
	留学生中間得点層	30	73.3	26.7
	留学生低得点層	4	50.0	50.0

<介護関連資格の有無>

		調査数	介護関連の資格有	介護関連の資格無
	全体	631	10.6	89.4
得点層	留学生高得点層	165	7.3	92.7
	留学生中間得点層	72	13.9	86.1
	留学生低得点層	31	9.7	90.3

・介護資格の有無による特筆的な傾向はみられなかった。

<介護の仕事の経験有無>

		調査数	介護の仕事の経験有	介護の仕事の経験無
	全体	68	42.6	57.4
得点層	留学生高得点層	12	33.3	66.7
	留学生中間得点層	10	20.0	80.0
	留学生低得点層	3	66.7	33.3

<介護施設でのアルバイト>

		調査数	している	していない
全体		628	82.3	17.7
得点層	留学生高得点層	165	77.0	23.0
	留学生中間得点層	72	93.1	6.9
	留学生低得点層	31	96.8	3.2

- ・高得点層が最も介護施設でのアルバイトをしていない傾向となった。施設のアルバイトをせずとも高得点を取ることのできる層が一定層存在することがうかがえる。

<介護の自宅での勉強時間(授業日)>

		調査数	3時間以上	1時間以上 3時間未満	学習しない
全体		623	22.6	66.1	11.2
得点層	留学生高得点層	165	18.2	68.5	13.3
	留学生中間得点層	72	16.7	70.8	12.5
	留学生低得点層	31	41.9	54.8	3.2

- ・低得点層が最も自宅で勉強している時間が長い傾向にあった。
- ・低得点層においては、勉強をしている時間は長いが得点が低い。日本語能力等、もともと^の素養によるところも一定程度あることが想定されるものの、効率よく学習する方法等においてもサポートが必要であることがうかがえる。

<介護の補講の参加頻度>

		調査数	概ね参加	概ね不参加
全体		623	75.9	24.1
得点層	留学生高得点層	165	73.9	26.1
	留学生中間得点層	72	90.3	9.7
	留学生低得点層	31	90.3	9.7

- ・高得点層が最も補講に参加していない傾向にあった。ただし、高得点を取ることのできる留学生は、そもそも補講の対象者でない可能性があることに留意が必要である。
- ・中間得点、低得点層であるにもかかわらず補講に「概ね不参加」の留学生が1割程度存在する。これらの留学生の対処をしていかない限り、これらの層は国家試験本番でも不合格になる可能性が高いことが想定される。

<学校の授業の満足度>

		調査数	満足	不満足
全体		621	81.6	18.4
得点層	留学生高得点層	165	83.0	17.0
	留学生中間得点層	72	75.0	25.0
	留学生低得点層	31	93.5	6.5

<学校の授業の理解度>

		調査数	分かる	分からない
全体		621	82.1	17.9
得点層	留学生高得点層	165	85.5	14.5
	留学生中間得点層	72	81.9	18.1
	留学生低得点層	31	74.2	25.8

- ・低得点層については授業の満足度は高く、理解度が低い傾向にあった。
- ・授業の満足度が高くとも、授業を理解できない限り国家試験問題も理解できない可能性が高い。授業の評価を行う際は、「理解度」を確認しつつ進めていくことが必要である。

<日本での生活の満足度>

		調査数	満足している	満足していない
全体		618	74.4	25.6
得点層	留学生高得点層	165	70.9	29.1
	留学生中間得点層	72	77.8	22.2
	留学生低得点層	31	83.9	16.1

- ・低得点層が最も日本での生活に満足している傾向にあった。先述した<介護の補講の参加頻度>、<介護の自宅での勉強時間(授業日)>、<介護の自宅での勉強時間(非授業日)>にあるように、低得点層においては補講にも積極的に参加し、自宅での勉強時間もしっかり取っていることから、充実度としては高いことが想定される。

イ. 養成校票の集計データによる分析 結果

以下の通りの結果となった。

(全体の得点率平均=43.4%)

パターン	項目	得点率	125点換算得点	構成比
高得点層	①「日本語専門学習の実施有無」=「対策を行っていない」	54.6%	68.3点	11.4%
	①&②「入学時日本語要件」=「N2以上」	58.0%	72.5点	5.2%
中間層① (平均得率近辺点)	①「日本語専門学習の実施有無」=「対策を行っている」	42.0%	52.5点	88.6%
	①&②「留学生への独自のサポート体制」=「3種類以上」	44.4%	55.5点	37.7%
中間層② (平均得率近辺点)	①「日本語専門学習の実施有無」=「対策を行っている」	42.0%	52.5点	88.6%
	①&②「留学生への独自のサポート体制」=「3種類未満」	40.2%	50.3点	50.9%
	①&②&③「入学時日本語要件」=「N2以上」	43.5%	54.4点	13.5%
低得点層	①「日本語専門学習の実施有無」=「対策を行っている」	42.0%	52.5点	88.6%
	①&②「留学生への独自のサポート体制」=「3種類未満」	40.2%	50.3点	50.9%
	①&②&③「入学時日本語要件」=「N3以下」	38.9%	48.6点	37.4%

また、上記パターン（高得点層、中間層①、中間層②、低得点層）の属性のうち最も特徴的な属性（青網掛け部分）について、養成校票のその他属性とクロス集計した結果、以下の通りとなった。（傾向が見られた箇所を中心に集計表から一部抜粋）

<R3年3月卒業生における留学生比率>

		調査数	75%以上	50%以上 75%未満	25%以上 50%未満	25%未満
	全体	60	21.7	26.7	21.7	30.0
養成校層	養成校高得点層	6	0.0	50.0	16.7	33.3
	養成校中間得点層①	13	23.1	15.4	30.8	30.8
	養成校中間得点層②	7	28.6	14.3	28.6	28.6
	養成校低得点層	12	33.3	25.0	16.7	25.0

- ・高得点層においては、留学生比率75%以上の学校がなかった。
- ・低得点層になるにつれ、やや留学生比率が上がる傾向にあった。

<留学生受入れ意向>

		調査数	増やしたい	現状を維持したい	減らしたい・やめたい
	全体	60	31.7	60.0	8.3
養成校層	養成校高得点層	6	33.3	33.3	33.3
	養成校中間得点層①	13	30.8	69.2	0.0
	養成校中間得点層②	7	28.6	57.1	14.3
	養成校低得点層	12	50.0	50.0	0.0

- ・低得点層において半数が「増やしたい」としていた。留学生受入れを増やした場合、これまで以上に留学生への指導体制や指導方法等の改善が必要であることが想定され、こういった学校がどのような改善等を図っていくかが、留学生全体での国家試験合格率向上の為に重要であることが想定される。

<留学生をサポートするための教材>

		調査数	何らかの留学生向けの教材を活用している	留学生向けに特別な教材は活用していない
	全体	60	66.7	33.3
養成校層	養成校高得点層	6	33.3	66.7
	養成校中間得点層①	13	84.6	15.4
	養成校中間得点層②	7	57.1	42.9
	養成校低得点層	12	75.0	25.0

- ・高得点層においては、特別な教材を使用していない傾向にあった。

<国家試験対策の実施有無>

		調査数	国家試験向けの対策を行っている	国家試験向けの対策を行っていない
全体		60	40.0	60.0
養成校層	養成校高得点層	6	50.0	50.0
	養成校中間得点層①	13	30.8	69.2
	養成校中間得点層②	7	28.6	71.4
	養成校低得点層	12	66.7	33.3

・得点の差による特筆的な傾向はみられなかった。

<介護の補講の頻度(卒業年度・通年)>

		調査数	週に数回以上	月に1回～数回程度	月に1回未満
全体		47	10.6	25.5	63.8
養成校層	養成校高得点層	4	25.0	0.0	75.0
	養成校中間得点層①	12	0.0	50.0	50.0
	養成校中間得点層②	6	0.0	16.7	83.3
	養成校低得点層	7	0.0	28.6	71.4

<介護の補講の頻度(卒業年度・国家試験直前期)>

		調査数	週に数回以上	月に1回～数回程度	月に1回未満
全体		47	63.8	8.5	27.7
養成校層	養成校高得点層	4	50.0	0.0	50.0
	養成校中間得点層①	12	83.3	8.3	8.3
	養成校中間得点層②	6	50.0	0.0	50.0
	養成校低得点層	7	57.1	14.3	28.6

・高得点層においても補講の回数が少ない学校が多く、得点の差による特筆的な傾向はみられない。

<介護の補講の頻度(卒業年度以外・通年)>

		調査数	週に数回以上	月に1回～数回程度	月に1回未満
全体		47	10.6	25.5	63.8
養成校層	養成校高得点層	4	25.0	0.0	75.0
	養成校中間得点層①	12	0.0	50.0	50.0
	養成校中間得点層②	6	0.0	16.7	83.3
	養成校低得点層	7	0.0	28.6	71.4

・高得点層においても補講の回数が少ない学校が多く、得点の差による特筆的な傾向はみられない。

② 試験の内容から見た得点の多寡に影響する要因の把握

ア. 学力評価試験の領域別・科目別による分析 結果

以下の通りの結果となった。

4 領域区分 分析結果

(全体の得点率平均=43.4%)

パターン	項目	得点率	125点換算得点	構成比
高得点層①	①「介護」領域=得点率45.4%超	56.8%	71.0点	49.0%
	①&②「こころとからだのしくみ」領域=得点率59.4%超	67.5%	84.4点	17.6%
高得点層②	①「介護」領域=得点率45.4%超	56.8%	71.0点	49.0%
	①&②「こころとからだのしくみ」領域=得点率59.4%以下	50.8%	63.5点	31.4%
	①&②&③「介護」領域=得点率54.7%超	55.5%	69.4点	15.6%
低得点層①	①「介護」領域=得点率45.4%以下	30.5%	38.1点	51.0%
	①&②「介護」領域=得点率30.5%以下	24.7%	30.8点	27.1%

12科目区分 分析結果

(全体の得点率平均=43.4%)

パターン	項目	得点率	125点換算得点	構成比
高得点層	①「2-3.生活支援技術」=得点率51.9%超	57.0%	71.3点	46.2%
	①&②「3-4.こころとからだのしくみ」=得点率57.7%超	64.7%	80.9点	22.9%
	①&②&③「2-3.生活支援技術」=得点率71.2%超	69.6%	87.0点	12.2%
中間層	①「2-3.生活支援技術」=得点率51.9%超	57.0%	71.3点	46.2%
	①&②「3-4.こころとからだのしくみ」=得点率57.7%以下	49.5%	61.9点	23.3%
	①&②&③「3-2.認知症の理解」=得点率54.2%以下	46.2%	57.8点	13.7%
低得点層①	①「2-3.生活支援技術」=得点率51.9%以下	31.8%	39.8点	53.8%
	①&②「2-3.生活支援技術」=得点率32.7%以下	25.7%	32.1点	28.6%
低得点層②	①「2-3.生活支援技術」=得点率51.9%以下	31.8%	39.8点	53.8%
	①&②「2-3.生活支援技術」=得点率32.7%超	38.6%	48.3点	25.2%
	①&②&③「3-2.認知症の理解」=得点率45.9%以下	35.7%	44.6点	16.8%

イ. 学力評価試験の問題特性 7 区分による分析 結果

以下の通りの結果となった。

(全体の得点率平均=43.4%)

パターン	項目	得点率	125点換算得点	構成比
高得点層①	①「5.介護のやり方理解」=得点率54.9%超	58.9%	73.6点	41.9%
	①&②「1.医療・介護の言葉の理解」=得点率60.9%超	67.3%	84.1点	18.6%
高得点層②	①「5.介護のやり方理解」=得点率54.9%超	58.9%	73.6点	41.9%
	①&②「1.医療・介護の言葉の理解」=得点率60.9%以下	52.3%	65.4点	23.3%
	①&②&③「3.介護現場で起きることの理解」=得点率52.4%超	55.3%	69.1点	13.6%
低得点層①	①「5.介護のやり方理解」=得点率54.9%以下	32.2%	40.3点	58.1%
	①&②「5.介護のやり方理解」=得点率37.8%以下	26.2%	32.8点	33.0%

ウ. 日本語の難しさ 13 区分による分析

以下の通りの結果となった。

(全体の得点率平均=43.4%)

パターン	項目	得点率	125点換算得点	構成比
高得点層	①「難解な漢語の使用による難しさ」=得点率43.8%超	56.5%	70.6点	47.5%
	①&②「複合語による難しさ」=得点率54.8%超	65.6%	82.0点	19.8%
	①&②&③「難解な漢語の使用による難しさ」=得点率64.6%超	70.3%	87.9点	10.8%
中間層	①「難解な漢語の使用による難しさ」=得点率43.8%超	56.5%	70.6点	47.5%
	①&②「複合語による難しさ」=得点率54.8%以下	50.0%	62.5点	27.6%
	①&②&③「複合語による難しさ」=得点率40.5%以下	45.1%	56.4点	12.5%
低得点層①	①「難解な漢語の使用による難しさ」=得点率43.8%以下	31.6%	39.5点	52.5%
	①&②「難解な漢語の使用による難しさ」=得点率31.2%以下	26.4%	33.0点	29.0%
低得点層②	①「難解な漢語の使用による難しさ」=得点率43.8%以下	31.6%	39.5点	52.5%
	①&②「難解な漢語の使用による難しさ」=得点率31.2%超	38.1%	47.6点	23.5%
	①&②&③「長い文、複雑な文による難しさ」=得点率54.2%以下	34.7%	43.4点	15.2%

付属資料

資料1：留学生アンケート調査票

問1. あなたが、学校の先生や職員から伝えられている通し番号を入力してください。分からない場合は、先生や職員に聞いて、入力してください。

通し番号

<あなたの情報について聞きます>

問2. あなたの性別を教えてください。(合うもの1つに○)

1. 男
2. 女
3. 答えたくない

問3. あなたの年齢を教えてください。(合うもの1つに○)

1. ～25歳以下
2. 26歳～30歳
3. 31歳～35歳
4. 36歳以上

問4. あなたの国籍を教えてください。(合うもの1つに○)

※国の順番は、今年入学された留学生の皆さんの数が多い順に並べています

1. ベトナム
2. ネパール
3. 中国
4. フィリピン
5. インドネシア
6. ミャンマー
7. スリランカ
8. ブータン
9. モンゴル
10. バングラディシュ
11. 台湾
12. 韓国
13. カンボジア
14. タイ
15. インド
16. その他 ()

問5. あなたの母国で卒業した学校、持っている資格について教えてください。(それぞれ最も合うもの1つに○)

1. あなたの母国での最終学歴	1. 高等学校未満	2. 高等学校
2. あなたの母国での看護に関係がある(看護師など) 資格、卒業資格	3. 短期大学・専門学校	4. 大学・大学院
3. あなたの母国での介護に関係がある(介護士など) 資格	1. 持っている ⇒問5-1へ	2. 持っていない
	1. 持っている ⇒問5-2へ	2. 持っていない

令和2年11月 (調査B 留学生業)

厚生労働省 老人保健健康増進等事業
「外国人介護人材の質の向上等に資する学習支援等調査研究事業」

養成校に所属する留学生の学習に関するアンケート調査

【本調査の目的】

現在、介護福祉士養成施設(以下、学校という)の外国人留学生(以下、留学生という)のみなさんの数は、学生会員の約30%と増えており、年々増えています。

留学生のみなさんは、介護福祉士国家試験(以下、国家試験という)に合格していただく必要がりますが、日本人学生とは違い、日本語のEJが苦手なことで問題を解くのに苦労することがあるかと思われています。

今回の調査は、留学生のみなさんが日本語や介護の勉強をするうえで、どのようなことに関わっているのかを知ること、みなさんにとって効果的な授業の教え方を考えるため、行うものです。

留学生のみなさんが勉強をする上で役に立つような検討をしたいため、ぜひ、調査へのご協力をお願いいたします。

【本調査の対象】

全国の養成校に所属する2020年度に卒業する予定の留学生のみなさん

【回答期限】

11月23日(月・祝) までに WEBにてご回答ください。

【調査票の取扱いに関しまして】

- ・ 回答いただいた内容は、取りまとめ、厚生労働省に提出します。
- ・ 調査に答えなかったとしても、そのことで差支えに不利が生じることはありません。また、みなさんがどの(白)にアンケートに答えなかったかについて、学校の先生や職員があなた個人を特定して内容を見ることはできませんので、安心してご回答ください。

■ 本調査に関する問合せ先

〒105-0011 東京都港区芝公園3-1-22 日本能率協会ビル5階
株式会社日本能率協会総合研究所 福祉・医療・労働政策研究部
担当: 布施、岡田
TEL: (03)5426-6031(平日 10:00～17:00) FAX: 03-3432-1837

■ 本事業の趣旨等に関する問合せ先

〒113-0033 東京都文京区本郷3-3-10 藤和シニアコーポレーション2階
公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会 事務局
担当: 山田
TEL: 03-3830-0471(平日 10:00～17:00) FAX: 03-3830-0472

【問5.2.で1.を選択した方】

問5-1. あなたは、あなたの国で福祉の仕事をした経験がありますか。(合うもの1つに○)

1. ある
2. ない

【問5.3.で1.を選択した方】

問5-2. あなたは、あなたの国で介護の仕事をした経験がありますか。(合うもの1つに○)

1. ある
2. ない

問6. あなたは、今どのようなところに誰と住んでいますか。(最も合うもの1つに○)

1. マンション・アパート等に1人で住んでいる
2. マンション・アパート等に友達などといっしょに住んでいる
3. マンション・アパート等に家族と住んでいる
4. 寮に住んでいる
5. 親戚・知人の家に住んでいる
6. その他 ()

問7. あなたは、学校の授業料や生活費をどうやって払っていますか。(合うものいくつでも○)

1. 自分が奨学金で払っている
2. 自分がお金を借りて払っている
3. 自分がアルバイト等の仕事をして払っている
4. 自分の貯金から払っている
5. 親などの家族が払っている
6. その他 ()

問8. あなたはどこでアルバイトをしていますか。(合うもの1つに○)

1. 介護施設でアルバイトをしている ⇒問8-1A
2. 介護施設でもアルバイトをしているし、そのほかのところでもアルバイトをしている ⇒問8-1B
3. 介護施設ではないところのみでアルバイトをしている ⇒問9A
4. アルバイトはしていない ⇒問9A

【問8で1.2.を選択した方】

問8-1. あなたは介護施設で、どんな仕事をしていますか。(合うものいくつでも○)

1. 利用者への身体介護(移動の介助、着脱の介助、食事の介助等)
2. レクリエーションの介助やコミュニケーション
3. ハンドメイドキッキングや清掃など
4. 介助に使う物の準備(車いす、おむつ、シーツなど)
5. その他 ()

【問8で1.2.を選択した方】

問8-2. あなたがアルバイトをしている介護施設について、教えてください。(それぞれ最も合うもの1つに○)

1. 留学生が参加できる介護の研修がある	1. はい	2. いいえ
2. 留学生が参加できる日本語の研修がある	1. はい	2. いいえ
3. 介護について、分からないことが質問できる	1. はい	2. いいえ
4. 日本語について、分からないことが質問できる	1. はい	2. いいえ
5. 仕事の学校の勉強を大切にしようとしている	1. はい	2. いいえ

【問8で1.2.を選択した方】

問8-3. あなたが介護施設でアルバイトをして、どんな良いことがありますか。(合うものいくつでも○)

1. 医療・介護の言葉を理解できるようになった
2. 病気や障害などについて理解ができるようになった
3. 介護現場で起こることが理解できるようになった
4. 介護が必要の人について理解できるようになった
5. 介護技術(介助方法)について理解できるようになった
6. 介護に関する制度、サービスについて理解できるようになった
7. 日本語能力が上がった
8. 日本の文化や生活習慣が理解できるようになった
9. 介護職の役割が理解できるようになった
10. 役割とは、やらなければならぬ役に立つ仕事のことです
11. 自分が介護職として働くことがイメージできた

<あなたの将来のことについて聞きます>

問9. あなたは、学校を卒業したあと、どのくらい日本に住みたいですか。(最も合うもの1つに○)

1. 日本に永住※したい ※永住とは、ずっと住むことです
2. 10年くらいは日本に住みたい
3. 5年くらいは日本に住みたい
4. 1~2年程度は日本に住みたい
5. すぐに帰国したい・日本を離れたい
6. その他 ()

問10. あなたは、介護福祉士国家試験に合格したいですか。(最も合うもの1つに○)

1. 必ず合格したい
2. できれば合格したい
3. 合格したくない
4. 今まで合格したかどうかを考えたことがない

問11. あなたは就職後、どんな介護職になりたいですか。(最も合うもの1つに○)

1. 介護施設・事業所等を経営(※)したい
- (※) 経営とは、自分で会社などをやることです
2. 介護施設・事業所等でリーダーとして頑張りたい
3. 介護施設・事業所等で働けるだけでいい
4. 介護施設・事業所等で働きたいと思わない

＜あなたの普段行っている介護の勉強について聞きます＞

問12. あなたは、毎日自分でどのくらい介護の勉強をしていますか。(それぞれ最も合うもの1つに○)

※授業のある日については、学校の授業時間は入れないでください

区分	学習しない	1時間 くらい	2時間 くらい	3時間 くらい	4時間 くらい	5時間 以上
授業のある日	1	2	3	4	5	6
授業のない日	1	2	3	4	5	6

問13. あなたは、介護の勉強で困ったとき、学校の先生や職員に相談できますか。

1. できている
2. できていない

問14. あなたは、学校の介護の補講(※)に参加していますか。(最も合うもの1つに○)

(※)補講とは、いつもの授業の他にある授業のことです

1. 参加しなければならないものは、全部参加している
2. 時々参加している
3. ほとんど参加していない
4. ほとんど参加していない ⇒問14-1へ
5. 補講はない

【問14で4.を選択した方】

問14-1. 補講に参加しない理由を教えてください。(合うものいくつでも○)

1. 自分には必要ないと思うから
2. アルバイトがあるから
3. 授業の他には勉強したくないから
4. その他()

問15. あなたは学校の授業に満足していますか。(最も合うもの1つに○)

1. 満足
2. 少し満足
3. どちらでもない
4. 少し不満
5. 不満

問16. あなたが、学校の授業の学習について、どのくらいわかりますか。(最も合うもの1つに○)

1. よく分かる
2. 少し分かる
3. どちらともいえない
4. あまり分かりづらい
5. 分からない

問17. あなたが、学校の授業の科目について、難しいと感じる科目を、教えてください。(合うものいくつでも○)

領域	科目
1. 人間と社会	1-1. 人間の尊厳と自立 1-2. 人間関係とコミュニケーション 1-3. 社会の理解
2. 介護	2-1. 介護の基本 2-2. コミュニケーション技術 2-3. 介護計画技術 2-4. 介護実践技術
3. ここから先のくみ	3-1. 発達と老化の理解 3-2. 認知症の理解 3-3. 障がい者の理解 3-4. こころから学ぶくみ
4. 医療的ケア	4-1. 医療的ケア

※難しいと感じる科目を選択し、いただく

問18. あなたが国家試験について勉強を行う中で、次の項目は、どのくらい難しいですか。(それぞれ最も当てはまるもの1つに○)

項目	困難の度合い
1. 医療・介護の言葉の理解	1. 難しい 2. 少し難しい 3. どちらでもない 4. あまり難しくない 5. 難しくない
2. 解剖や生理学の理解	
3. 介護現場で起きることの理解	
4. 介護を必要とする人についての理解	
5. 介護のやり方理解	
6. 介護制度、サービスの理解	
7. 日本語を話すこと	
8. 日本の文化や生活習慣の理解	
9. 介護職の専門性や役割(※)の理解	

(※) 役割とは、やらなければならない役に立つ仕事のことです

※それぞれの項目ごとに選択し、いただく

<あなたの普段行っている日本語の勉強について聞きます>

問19. あなたは、現在（2020年9月1日現在）の日本語能力試験（JLPT）のどのレベルの試験に合格していますか。（合うもの1つに○）

1. N1に合格している
2. N2に合格している
3. N3に合格している
4. N4に合格している
5. N5に合格している
6. どの試験も合格していない

問20. あなたは、次の欄で、どのくらい日本語がわかりますか。（それぞれ丸も合うもの1つに○）

区分	まったく わからない	あまり わからない	どちらとも いえない	たいがい わかる	よくわかる	まったく がたい
日常生活	1	2	3	4	5	
学校での授業	1	2	3	4	5	
介護施設・事務所でのレイト-介護実習※	1	2	3	4	5	6
介護福祉士国家試験の勉強	1	2	3	4	5	6

（※）介護実習とは、学校（介護福祉士養成校）の授業でする介護実習のことです

問21. あなたが、日本語の勉強に困ったとき、あなたは、学校の先生や職員に相談できますか。（合うもの1つに○）

1. できている
2. できていない

<あなたの日本での生活について聞きます>

問22. あなたが、日本での生活に困ったとき、あなたは、学校の先生や職員に相談できますか。（合うもの1つに○）

1. できている
2. できていない

問23. あなたは、日本の生活に満足していますか。（最も合うもの1つに○）

1. 満足
2. 少し満足
3. どちらともいえない
4. 少し不満
5. 不満

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

資料2：養成校アンケート調査票

貴校の4桁の養成校の番号（会員番号）を教えてください。

養成校の番号
(会員番号)

＜貴校の留学生の人数について伺います＞

問1. 現在（令和2年11月1日）貴校に所属している令和3年3月卒業予定者の留学生、日本人学生の人数を教えてください。なお、留学生においては、日本語能力試験のレベル別に人数を教えてください。該当者がいない場合は、0人と入力してください。

出身国	人数	
	R3年3月卒業予定者	合計()人
1. 日本人学生総数		合計()人
2. 留学生総数	うちN1()人 N2()人 N3()人 N4()人 N5()人	合計()人

把握していない()人

問2. 貴校を卒業した留学生の人数と日本人学生の人数、及び介護福祉士国家試験受験者数と合格者数を教えてください。なお、留学生においては、日本語能力試験のレベル別に人数を教えてください。該当者がいない場合は、0人と記載してください。

出身国	H31年3月卒業者		R2年3月卒業者	
	入学時	卒業時	入学時	卒業時
1. 日本人学生総数	合計()人	合計()人	合計()人	合計()人
2. 留学生総数	N1()人 N2()人 N3()人 N4()人 N5()人	N1()人 N2()人 N3()人 N4()人 N5()人	N1()人 N2()人 N3()人 N4()人 N5()人	N1()人 N2()人 N3()人 N4()人 N5()人

※入学時、卒業までの退学者数は全体的な人数のみの確認
※国家試験受験者数と国家試験合格者数についてはレベルの詳細を確認

※それぞれ人数を教えてください

令和3年11月（調査A 養成校版）

厚生労働省 老人保健健康増進事業
「外国人介護人材の質の向上等に資する学習支援等調査研究事業」

養成校での留学生の学習指導に関するアンケート調査

【本調査の目的】

令和元年度、介護福祉士養成施設（以下、養成校という）の外国人留学生（以下、留学生という）の数は、全入学者の約30%となっており、年々増加しています。その一方で、留学生の介護福祉士国家試験（以下、国家試験という）の合格率は低く、留学生の国家試験合格者を日本人学生の合格率と同じレベルに引き上げることが喫緊の課題であり、協会としても責務であると認識しています。このことを踏まえ、協会では今年度、厚生労働省の補助事業（外国人介護人材の質の向上等に資する学習支援等調査研究事業）を実施いたします。本事業では、養成校に所属する外国人留学生の国家試験の合格率向上を目的としており、今年度の国家試験から実施される養成校別の合格者の公表や、令和9年度から完全実施を予定している介護福祉士資格取得方法の一元化を見据え、協会全体で取り組むものです。このたびは、事業の一環として、養成校および養成校に所属する留学生に対してアンケート調査を実施いたします。つきましては、本事業の趣旨をご理解いただき、下記のとおり、本年度事業へのご協力をお願いいたします。何卒よろしくお願いたします。

【本調査の対象】

全国の養成校のうち、本年度で卒業する留学生が所属している養成校

【回答期限】

11月23日（月・祝）までに WEBにてご回答ください。

【調査票の取扱いに関して】

ご回答いただきました内容につきましては、次のように取扱いします。
・ 調査結果については取りまじめを行い、厚生労働省に提出させていただきます。
・ 調査への拒否があっても、そのことで不利が生じることは一切ございません。

■ 本調査に関する問合せ先

〒105-0011 東京都港区芝公園3-1-22 日本能率協会ビル5階
株式会社日本能率協会総合研究所 福祉・医療・労働政策研究部
担当：布施、岡田
TEL: (03)5474-0120-304-603(平日 10:00～17:00) FAX: 03-3432-1837

■ 本事業の趣旨等に関する問合せ先

〒113-0033 東京都文京区本郷3-3-10 藤和シニアコーポレーション御茶ノ水2階
公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会 事務局
担当：山田
TEL: 03-3830-0471(平日 10:00～17:00) FAX: 03-3830-0472

＜留学生に求める能力・資質について伺います＞

問3. 貴校では、留学生の入学試験（選抜）において、どのような留学生の能力を合格の要件にしていますか。（あてはまるものいくつかでも○）

1. 介護に関する知識 ⇒問3-1A
2. 日本語能力 ⇒問3-1.2A
3. 介護を学ぶ意欲 ⇒問3-1A
4. 日本で就業する意欲 ⇒問3-1A
5. 修学資金や日本での生活費等への経費支弁能力 ⇒問3-1A
6. その他の内容 () ⇒問3-1A
7. 上記のいずれも要件にはしていない ⇒問4A

【問3で7以外を選択した方】

問3-1. 貴校では、入学試験で確認する留学生の能力について、どのような方法で確認していますか。（あてはまるものいくつかでも○）

1. 面接
2. 作文
3. 介護に関する筆記試験（上記2.以外）
4. 日本語に関する筆記試験
5. その他の方法 ()

【問3で2を選択した方】

問3-2. 貴校では、「日本語能力」の要件をどのレベルに定めていますか。（あてはまるものいくつかでも○、もしくは要件を記入）

入学の際、試験等で判定している項目 (あてはまるものいくつかでも○)	応募資格の要件 (要件を記載もしくは記載)
1. 日本語能力試験 (JLPT)	1. N1 2. N2以上 3. N3以上 4. N4以上 5. N5以上
2. 日本語NAT-TEST	1. 1級 2. 2級以上 3. 3級以上 4. 4級以上 5. 5級以上
3. 実用日本語検定J.TEST	1. A-CLレベル 2. D-Eレベル 3. F-CLレベル 試験の点数が () 点以上
4. 日本語検定EUIの日本語科目	450点中 () 点以上
5. BJTビジネス日本語能力テスト	() 点以上
6. 法務大臣により告示されている 日本語教育機関で教育を受けた期間	() ヶ月以上
7. 国外の日本語教育機関で教育を受けた期間	() ヶ月以上
8. 筆記試験（上記の日本語試験以外で 貴校独自で行うもの）	※詳細を記載してください ()
9. その他の方法 ()	※詳細を記載してください ()

＜留学生の募集について伺います＞

問4. 介護福祉士養成課程への留学生の受入れ意向を教えてください。（願もあてはまるもの1つに○）

1. 増やしたい ⇒問5A
2. 現状を維持したい ⇒問5A
3. 減らしたい ⇒問4-1A
4. やめたい ⇒問4-1A

【問4で3.4.を選択した方】

問4-1. 留学生の受入れを減らしたい、やめたいと思った理由を教えてください。（あてはまるものいくつかでも○）

1. 指導方法（教える方）が分からないから ⇒問4-1A
2. 職員・教員の負担が大きすぎるから ⇒問4-1A
3. その他 ()

【問4-1で2.を選択した方】

問4-1-A. どのような負担が大きいかが教えてください。（あてはまるものいくつかでも○）

1. 介護の専門学習への指導の負担
2. 日本語の専門学習への指導の負担
3. 生活指導、生活支援の負担
4. その他 ()

＜留学生への受入れ体制について伺います＞

問5. 留学生に対し、貴校独自でのようなサポート体制をとっていますか。（あてはまるものいくつかでも○）

1. 留学生の支援を担当する専門部門を設置
2. 留学生専任の教員・職員を配置
3. 学習に関する相談体制の整備
4. 日本語学習を専門に支援する体制の整備
5. 生活全般に関する相談体制の整備
6. その他 ()

問6. 貴校では、留学生をサポートするために、どのような機関と提携していますか。（あてはまるものいくつかでも○）

1. 近隣の日本語学校（自校のグループ校） ⇒問6-1A
2. 近隣の日本語学校（自校のグループ校以外）
3. 近隣の病院・介護施設・事業所（自校のグループ施設）
4. 近隣の病院・介護施設・事業所（自校のグループ施設以外） ⇒問6-3A
5. 都道府県や地方自治体
6. 日本を指導する外部団体（NPO等）
7. 留学生の生活費を指導する外部団体（NPO等）
8. 地元教育機関（大学、短期大学等）
9. 外国人を扱っている紹介会社
10. その他 ()
11. 特に提携している機関はない

[問6で1.2.を選択した方]

問6-1. 留学生のサポートについて、日本語学校とどのような提携を行っているかについて教えてください。(あてはまるものいくつかでも)

1. 日ごろからの授業等で講師派遣としての協力
2. 授業外での留学生の日本語の指導の協力
3. 留学生の日本語の問題等についての相談窓口等の協力
4. 介護施設から紹介された留学生を受け入れている
5. その他 ()

[問6で1.2.を選択した方]

問6-2. 留学生のサポートに関する日本語学校との提携について、課題があれば教えてください。(自由記述)

<提携していくにあたっての課題> ※詳しくご記載ください

[問6で3.4.を選択した方]

問6-3. 留学生のサポートについて、近隣の介護施設・事業所とどのような提携を行っているかについて教えてください。(あてはまるものいくつかでも)

1. アルバイトの受け入れ先としての協力
2. 車測先としての協力
3. 上記1.、2. 以外の介護現場を理解するための見学・演習等への協力
4. 授業の進度について共有している
5. 介護施設から紹介された留学生を受け入れている
6. その他 ()

[問6で3.4.を選択した方]

問6-4. 留学生のサポートに関する近隣の介護施設・事業所との提携について、課題があれば教えてください。(自由記述)

<提携していくにあたっての課題> ※詳しくご記載ください

問7. 貴校では、留学生に対する施設等の整備について、どのようなことを行っていますか。(あてはまるものいくつかでも)

1. 寮の整備
2. 寮監の配置
3. 留学生のための修学資金制度
4. 礼拝所の宗教施設の設置等、信仰がある留学生への配慮
5. その他 ()
6. 特に行っていない

<留学生への教育について伺います>

問8. 貴校では、留学生と日本人学生のクラスを分けていますか。(あてはまるもの1つを○)

1. 完全にクラスを分けており、日本人学生と留学生と共に受講する授業はない ⇒問8-1へ
2. 授業によって、日本人学生と留学生のクラスを分けている ⇒問8-1へ
3. クラスは分けておらず、日本人学生と留学生が共に授業を受けている ⇒問8-2へ
4. 日本人学生は所属していない

[問8で1.2.を選択した方]

問8-1. 留学生と日本人学生のクラスを分けている理由を教えてください。(あてはまるものいくつかでも)

1. 日本人と留学生で理解度や進度に差があるから
2. 日本人、留学生それぞれ分けておいた方がクラスのまとまりが良いから
3. 留学生に特化した授業が必要だから
4. その他 ()
5. 特に理由はなし

[問8で3.を選択した方]

問8-2. 留学生と日本人学生のクラスを分けていない理由を教えてください。(あてはまるものいくつかでも)

1. 日本人と留学生で特に差は感じないから
2. 日本人学生、留学生ともに勉強するうえで互いに刺激になるから
3. 留学生だけのクラスにするには留学生数が少ないから
4. その他 ()
5. 特に理由はなし

問9. 留学生をサポートするために活用している教材を教えてください。(あてはまるものいくつかでも)

1. 外国人向けに一般販売されている介護のテキスト (通常授業用)
2. 外国人向けに一般販売されている介護のテキスト (国家試験対策用)
3. 外国人向けに一般販売されている日本語のテキスト
4. 教員が作成した留学生向けの教材
5. 教職員向けの指導手引き
6. パソコンの日本語入力に関する教材
7. 職業倫理、接遇やマナーに関する教材
8. 地域の文化、習慣、方言等を理解するための教材
9. その他 ()
10. 特別な教材は使用していない

問10. 国家試験に向けて、実施している事柄について教えてください。また、それぞれにおいて留学生のみを対象している場合は、教えてください。(あてはまるものいくつでも○)

項目	実施有無	対象者の名前
1. 国家試験対策の授業を通常のカリキュラム(時間割)に設けて実施している	有・無 ⇒有の場合問10-1へ	有・無
2. 国家試験対策の補講を実施している	有・無 ⇒有の場合問10-1へ	有・無
3. 課外授業等で介護の理解を深めるためのイベント等を実施	有・無	有・無
4. ミニテスト、国家試験の模擬試験等のテストを実施	有・無 ⇒有の場合問10-3へ	有・無
5. その他()	有・無	有・無

※その他を入力した方のみ実施有無等は表示させる

【問10.1.および2.のいずれかで有を選択した方】

問10-1. 国家試験の合格に向けて精選上困難と感ずる度合いについて、以下の項目それぞれについて教えてください。(それぞれ最も当てはまるもの1つに○)

項目	困難の度合い
1. 医療・介護の用語の理解	
2. 基礎疾患、障害等の症状・状況等の理解	
3. 介護の現場で起きる事象についての理解	
4. 介護の手法についての理解	
5. 介護に関する法律、サービスについての理解	
6. 日本語全般への理解	
7. 日本の文化的背景に基づき事柄に対する理解	

※それぞれ項目ごとに選択いただく

【問10.2.で有を選択した方】

問10-2. 介護の専門学習に特化した補講(日本語学習は除く)について、おおよそどの程度の頻度で行っているか、時期ごとに教えてください。なお、複数の科目で補講を行っている場合は、そのすべての回数を足し合わせたものを教えてください。(それぞれ最も当てはまるもの1つに○)

時期	実施頻度
1. 通年(通常授業期間)	1. ほぼ毎日
2. 長期休暇中	2. 1週間に2~3回程度
3. 国家試験直前	3. 月に数回程度
	4. 月に1回程度
	5. 数か月に1回程度
	6. 半年に1回程度
	7. 年に1回程度
	8. 実施していない

※期間×時期を確認する

＜卒業年度以外の留学生＞

時期	実施頻度
1. 通年(通常授業期間)	1. ほぼ毎日
2. 長期休暇中	2. 1週間に2~3回程度
	3. 月に数回程度
	4. 月に1回程度
	5. 数か月に1回程度
	6. 半年に1回程度
	7. 年に1回程度
	8. 実施していない

※期間×時期を確認する

【問10.4.で有を選択した方】

問10-3. 介護の専門学習に関する模擬試験等(国家試験の時間制限と同様に模擬試験形式で行う試験。本会が行う学力評価試験も含む)について、年何回程度行いか教えてください。(それぞれ最も当てはまるもの1つに○)

対象	模擬試験の実施頻度
卒業年度の留学生	1. 年1回
	2. 年2~3回
	3. 年4~5回
卒業年度以外の留学生	4. 年6回以上
	5. 実施していない

※対象ごとに模擬試験の実施頻度をそれぞれ選択いただく

【問10.4.4.で有を選択した方】

問10-4. 介級の専門学習に関するミニテスト、国家試験の模擬試験等の結果の活用方法について教えてください。(あてはまるものいくつかでも)

1. 結果の分析をしている
2. 結果によっては再試験等を実施している
3. 結果によって補講を実施している
4. 結果によってクラス分け等を実施している
5. 結果をランキングにして掲示している
6. その他 ()
7. 特に活用できていない

問11. 留学生を対象とした資料独自が実施している日本語の専門学習について、該当するものを教えてください。(あてはまるものいくつかでも)

1. 漢字、読解等、日本語を習得するための授業を通常のカリキュラム (時間割) に設けている
2. 漢字、読解等、日本語を習得するための補講等を実施 ⇒問11-1ハ
3. 日本語の発話等を行うためのスピーチコンテストなどのイベント等を実施
4. ミニテスト、模擬試験等のテストを実施 ⇒問11-2ハ
5. 日本語にかかる試験 (日本語能力試験等) の受験の推奨 ⇒問11-4ハ
6. その他 ()
7. 特に実施していない

【問11で2.を選択した方】

問11-1. 日本語の専門学習に関する補講について、おおよその頻度を教えてください。なお、補講の内容によって頻度は異なる可能性があります。平均的なものをお答えください。(それぞれ最も当てはまるもの1つに○)

対象	時期	実施頻度
卒業年度の留学生	通年 (通常授業期間)	1. ほぼ毎日 2. 1週間に2～3回程度 3. 月に数回程度 4. 月に1回程度 5. 数か月1回程度 6. 半年に1回程度 7. 年に1回程度 8. 実施していない
	長期休暇中	
	国家試験直前前	
卒業年度以外の留学生	通年 (通常授業期間)	
	長期休暇中	

※それぞれの時期での補講の実施頻度を選択いただく

【問11で3.を選択した方】

問11-2. 日本語に関する模擬試験等 (実際の試験の時間制限と同様に模擬試験形式で行う試験) について、年何回程度行っているか教えてください。(それぞれ最も当てはまるもの1つに○)

対象	模擬試験の実施頻度
卒業年度の留学生	1. 年1回 2. 年2～3回 3. 年4～5回 4. 年6回以上 5. 実施していない
卒業年度以外の留学生	

※対象ごとに模擬試験の実施頻度をそれぞれ選択いただく

【問11で3.を選択した方】

問11-3. 日本語に関するミニテスト、模擬試験等の結果の活用方法について教えてください。(あてはまるものいくつかでも)

1. 結果の分析をしている
2. 結果によっては再試験等を実施している
3. 結果によって補講を実施している
4. 結果によってクラス分け等を実施している
5. 結果をランキングにして掲示している
6. その他 ()
7. 特に活用できていない

【問11で4.を選択した方】

問11-4. 日本語能力試験 (JLPT) の受験の推奨について、対応内容を教えてください。(それぞれ最も当てはまるもの1つに○)

推奨の内容	推奨の回数
1. 受験を必須にしている 2. 受験は任意にしている 3. 特に推奨していない	(左記で1、2、選択の場合) 1. 原則2回とも 2. 原則1回以上 3. 頻度について定めていない

問12. 現行カリキュラムの3領域と医務的ケアの中で、貴校で留学生の指導を行う上で、留学生に理解してもらおうことが困難と感じる度合いを教えてください。(それぞれ最も当てはまるもの1つに○)

領域		困難の度合い
1. 人間と社会	1-1. 人間の尊厳と自立	1. 困難である 2. やや困難である 3. どちらとも言いえない 4. あまり困難ではない 5. 困難ではない
	1-2. 人間関係とコミュニケーション	
	1-3. 社会の理解	
2. 介護	2-1. 介護の基本	
	2-2. コミュニケーション技術	
	2-3. 生活支援技術	
	2-4. 介護過程	
3. こころからのしきみ	3-1. 発達と老化の理解	
	3-2. 認知症の理解	
	3-3. 障害の理解	
4. 医務的ケア	3-4. こころからのしきみ	
	4-1. 医務的ケア	

※それぞれの項目ごとに選択いただく

問13. 貴校では、留学生の教育方針や課題等を教員等で検討する会議の場がありますか。(あてはまるものいくつかを○)

1. 介護の専門学習について検討する場がある
2. 日本語の専門学習について検討する場がある
3. 留学生の生活全般について検討する場がある
4. その他 ()
5. 特にそのような会議の場はない

＜留学生のアルバイトについて伺います＞

問14. 貴校では、留学生が行うアルバイトをどのように管理していますか。(あてはまるものいくつかを○)

1. アルバイトに関する法的条件(※)の周知徹底
2. 資格外活動許可申請をしているかの確認
3. アルバイト先の把握
4. アルバイト先の斡旋 ⇒問14-1-A
5. 週当たり勤務時間数の把握
6. アルバイト先に対する就労上の注意点の説明
7. 実習期間中のアルバイトの禁止
8. 授業として行う介護実習と、介護施設・事業所でのアルバイトの区分けを徹底すること
9. その他 ()
10. 特に管理はしていない

(※) 留学生(在留資格「留学」対象者)にかかると資格外活動について(入管法第19条より)

留学生がアルバイト等(許可された在留資格に於ける活動)を行うときは、以下の事項を守る必要があります。違反すると、在留資格が取り消しになります。

- ▶ アルバイトを行う際は、あらかじめ(在籍する教育機関が学期で定める長期休業期間)にあると認められる期間は、あらかじめ(在籍する教育機関が学期で定める長期休業期間)にあること
- ▶ 主として、レストラン、スナックなど、店内の清掃が10ルクス以下の喫茶店・バーなど、麻雀屋・パチンコ店、スロットマシン、賭博店、派遣請負業、アルバイトビザ取得後販売、インターネット上で提供される娯楽に従事するアルバイト等、風俗関連の業務でアルバイトをすることは禁止

【問14で4.を選択した方】

問14-1. 留学生のアルバイト先として、介護施設・事業所のアルバイトを斡旋したことはありますか。(どちらかに○)

1. ある ⇒問14-1-A
2. ない ⇒問15へ

【問14-1で1.を選択した方】

問14-1-A. 留学生のアルバイト先の介護施設・事業所等へ、以下の依頼を行っているかについて教えてください。(あてはまるものいくつかを○)

1. 定期試験の前は勉強のため休暇、もしくはアルバイトの回数を減らせるよう依頼
2. 長期休業中に再試験等があった場合は勉強のため休暇、もしくはアルバイトの回数を減らせるよう依頼
3. 卒業年度生の国家試験前の冬休みは勉強のため休暇、もしくはアルバイトの回数を減らせるよう依頼
4. その他 ()

＜留学生のモチベーション管理について伺います＞

問15. 貴校では、留学生を退学させないため、また学業を継続させるために、卒業の度合いや生活習慣等について、どのような特別なサポート体制をとっていますか。(自由記述)

＜サポート体制＞ 例) 2日連続で無断欠席した場合は自宅訪問を実施 等

＜留学生の卒業支援について伺います＞

問16. 卒業後の留学生に対し、貴校ではどのような支援を行っているかについて教えてください。(あてはまるものいくつかでもO)

1. 国家試験不合格者の再受験の支援 ⇒問16-1-A
2. 日本語能力向上に向けた支援
3. 介護や日本語に関する協定等の相談の受け付け
4. 生活（居住環境等）に関する支援
5. その他 ()
6. 特に卒業支援は行っていない

【問16で1.を選択した方】

問16-1. 国家試験不合格者の再受験の支援として、どのようなことを行っているかについて教えてください。(あてはまるものいくつかでもO)

1. 学習のための講義を行っている⇒問16-1-A
2. 模擬試験、ミニテスト等を行っている ⇒問16-1-B
3. その他 ()

【問16-1で1.を選択した方】

問16-1-A. 再受験の支援で行う講義の頻度を教えてください。(最も当てはまるもの1つにO)

1. 月に数回程度
2. 月に1回程度
3. 数か月に1回程度
4. 半年に1回程度
5. 年に1回程度

【問16-1で2.を選択した方】

問16-1-B. 再受験の支援で行う介護の専門学習に関する模擬試験等（国家試験の時間制限と同様に模擬試験形式で行う試験。本会が行う学力評価試験も含む）について、年何回程度行うか教えてください。(最も当てはまるもの1つにO)

1. 年1回
2. 年2～3回
3. 年4～5回
4. 年6回以上
5. 実施していない

＜その他の事例＞

問17. 留学生の国家試験対策について、養成校としてどのようなことが課題となるか、どの観点からでもかまいませんので、ご意見をお聞かせください。(自由記述)

＜課題＞

以上でアンケートは終了です。
ご協力ありがとうございました。

令和2年度 厚生労働省 老人保健健康増進等事業

**外国人介護人材の質の向上等に資する学習支援等調査研究事業
報告書**

令和3年3月

公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-3-10 藤和シティコープ御茶ノ水 2階
TEL 03-3830-0471 FAX 03-3830-0472